

平成25年度 横浜市外国人意識調査

調査結果報告書

平成26年3月

横浜市政策局

調査の目的

横浜市では、平成19年3月に「ヨコハマ国際まちづくり指針」を策定し、市内の日本人と外国人が互いの文化を尊重し、暮らしやすく活動しやすいまちづくりを進めています。

こうした中で、横浜市在住外国人の生活意識やニーズを把握し、市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、平成21年度に引き続き、「横浜市外国人意識調査」を実施しました。

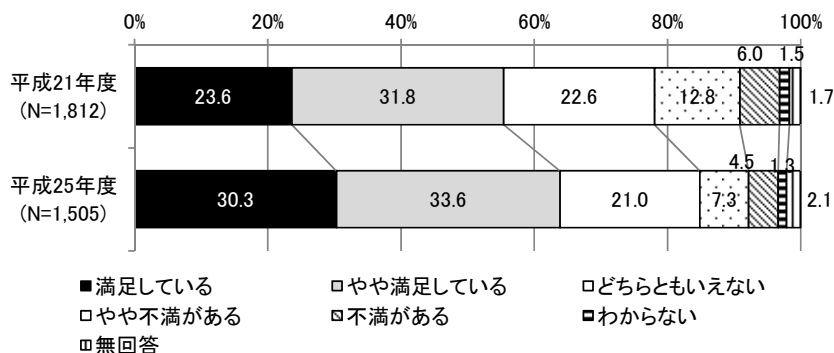
調査結果のポイント

ポイント ① 暮らしの満足度

満足度が6割を超える

前回調査より8ポイント以上増

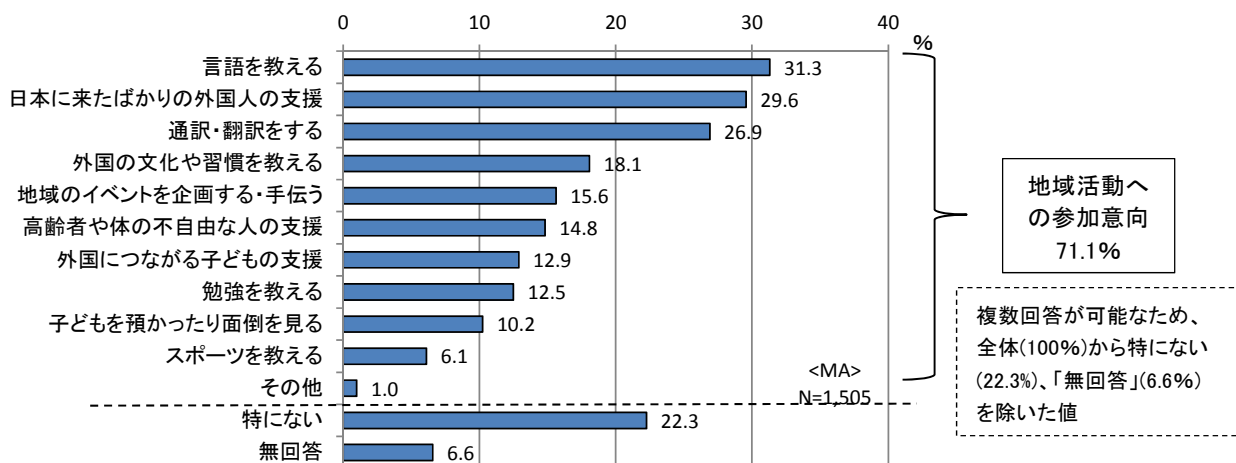
今の自分の暮らしに『満足』（満足している+やや満足している）である人は63.9%で、平成21年度調査と比較すると8ポイント以上増加しました。



ポイント ② 地域活動

7割以上に参加意向あり

「やってみたい地域活動は何ですか」という問いに対する回答から、71.1%の回答者に地域活動への参加意向があることが分かりました。

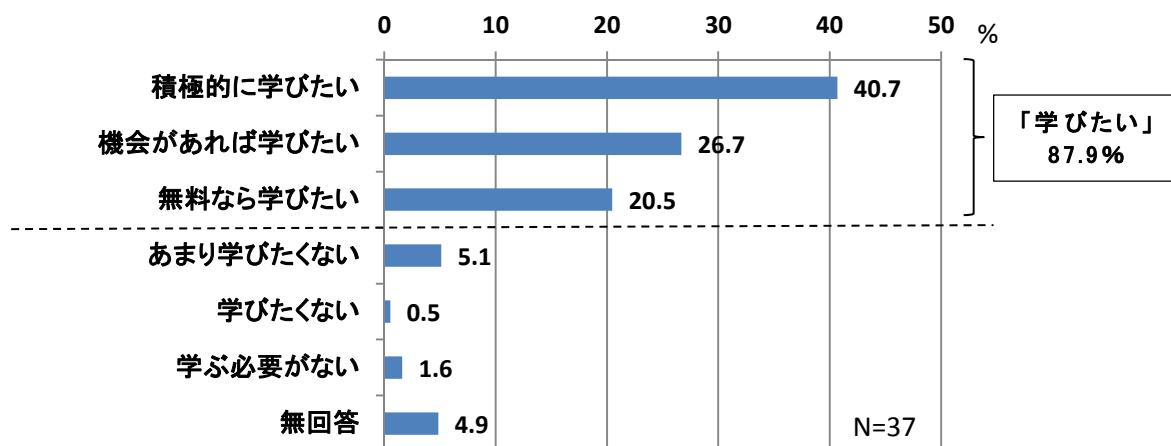


ポイント ③ 困りごと 「日本語の不自由さ」が第一位

「困っていることや心配なこと」の第一位は、平成21年度に引き続き『日本語の不自由さ』でした。また、「日本語の不自由さ」と回答した人の日本語学習意向は87.9%と極めて高いことが分かりました。

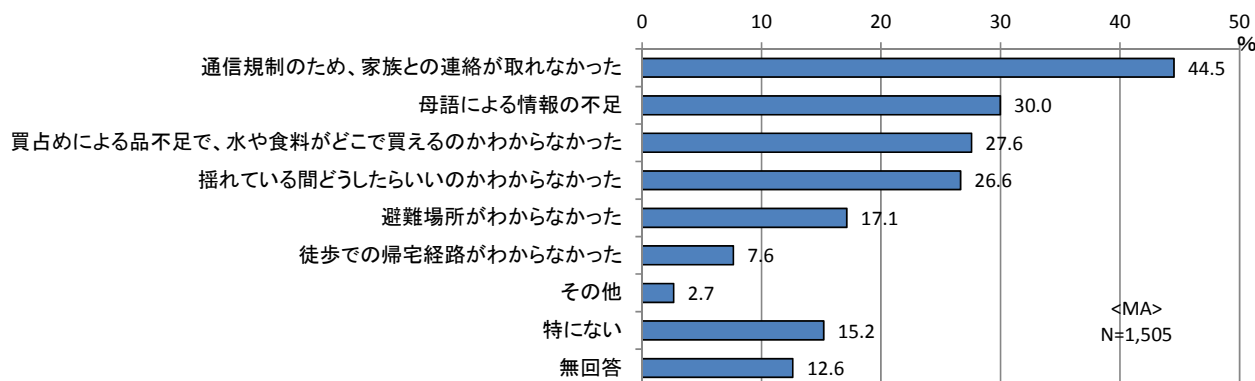
順位	項目	平成25年度	平成21年度(順位)
1	日本語の不自由さ	24.7%	30.6%(1)
2	仕事探し	16.7%	27.6%(3)
3	病院・診療所に外国語のできる人がいない	14.4%	17.5%(6)
4	税金	14.1%	27.8%(2)
5	外国語の通じる病院・診療所の探し方	13.6%	14.6%(7)

「日本語の不自由さに困っている人」の日本語の学習意向



ポイント ④ 東日本大震災時に困ったこと 母語による情報の不足が3割

「東日本大震災の時、困ったこと」として、3割の回答者が『母語情報の不足』を挙げています。



平成25年度 横浜市外国人意識調査

目 次

調査概要	2
I. 集計分析結果（概要）	3
1. 回答者の属性	3
2. 生活の満足度や困っていることについて	4
3. ことばについて	6
4. 情報の入手方法について	10
5. 行政窓口でのサービスについて	11
6. 防災について	12
7. 子育て・教育について	15
8. 多文化共生について	17
9. 住まいの環境について	19
10. 地域とのつながりについて	19
11. 東日本大震災の時、困ったことについて	21
12. その他	22
II. 集計分析結果	23
1. 回答者の属性	23
2. 生活の満足度や困っていることについて	36
3. ことばについて	51
4. 情報の入手方法について	68
5. 行政窓口でのサービスについて	73
6. 防災について	79
7. 子育て・教育について	90
8. 多文化共生について	98
9. 住まいの環境について	120
10. 地域とのつながりについて	122
11. 東日本大震災の時、困ったことについて	129
12. その他	134
調査票	143

横浜市外国人意識調査

調査概要

調査対象	5,000人（市内在住外国人のうち満20歳以上の人） （住民基本台帳からの無作為抽出による）
回収数	1,505件
回収率	30.1%
調査方法	郵送によるアンケート形式（日本語、英語、中国語、 ハングル、スペイン語、ポルトガル語）
調査期間	平成25年7月
調査実施機関	株式会社 地域環境計画
報告図表の見方	図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意 味は次のとおり。
MA :	複数回答の設問
N :	その設問に対する回答者数

※集計結果の見方

- ・ 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回答者数を基本としている（N=1,505）。

※クロス集計表の見方

濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶしている。

薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、特徴的な項目（全体の数値と比べて概ね10ポイント以上数値が高い項目）については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

I. 集計分析結果（概要）

1. 回答者の属性

【性別】

- 女性 57.9%、男性 38.8%

【年齢】

- 若年層（39歳以下）48.6%、中年層（40～59歳）38.9%、高年層（60歳以上）12.0%

【居住区】

- 「中区」（15.4%）、「鶴見区」（10.7%）、「神奈川区」（9.0%）、「南区」（8.6%）、「港北区」（8.2%）の5区で全体の51.9%

【国籍】

- 「中国」（45.6%）、「韓国・朝鮮」（18.3%）で全体の63.9%

【在留資格】

- 「永住者」（41.5%）、「日本人の配偶者等」（13.0%）、「特別永住者」（9.6%）

【日本での居住開始時期】

- 1995年から2009年にかけて日本を訪れている人が50.8%

【横浜市での居住開始時期】

- 1995年以降の滞在が77.1%

【横浜に住む理由】

- 「配偶者や家族が住んでいる」（53.4%）、「勤務先や学校が市内である」（32.6%）

【日本または横浜市への定住希望】

- 「横浜市に住み続けたい」84.1%

【家族構成】

- 「父母と子〔二世帯〕」（38.4%）、「夫婦だけ」（29.6%）、「ひとり暮らし」（14.4%）

【職業】

- 「主婦・主夫」（25.6%）、「現業職」（15.0%）、「専門技術職」（12.0%）、「無職」（10.8%）、「事務職」（10.4%）

【居住形態】

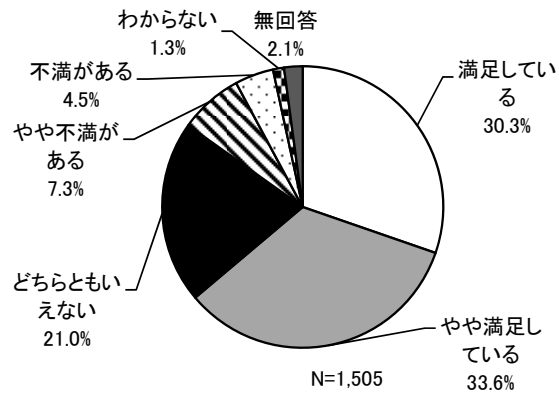
- 「借家（民間アパート・民間賃貸マンション）」（34.8%）、「持ち家（マンション・共同住宅）」（20.9%）、「持ち家（一戸建て）」18.1%

2. 生活の満足度や困っていることについて

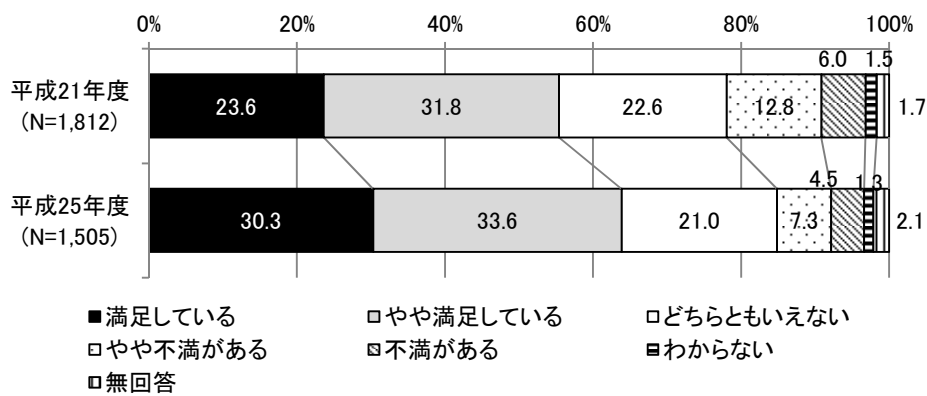
現在の暮らしの満足度

63.9%が満足しており、不満を持つ人は11.8%

平成21年度調査と比較すると、「満足している」「やや満足している」の合計が8ポイント以上の増加となっている。

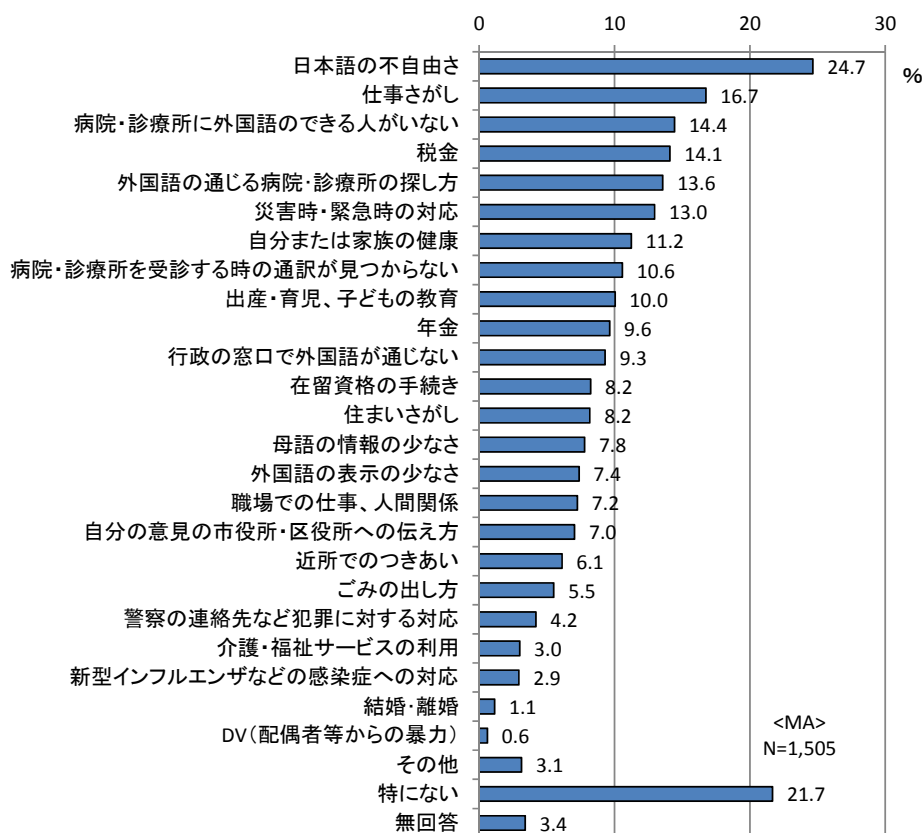


<参考 平成21年度調査結果との比較>



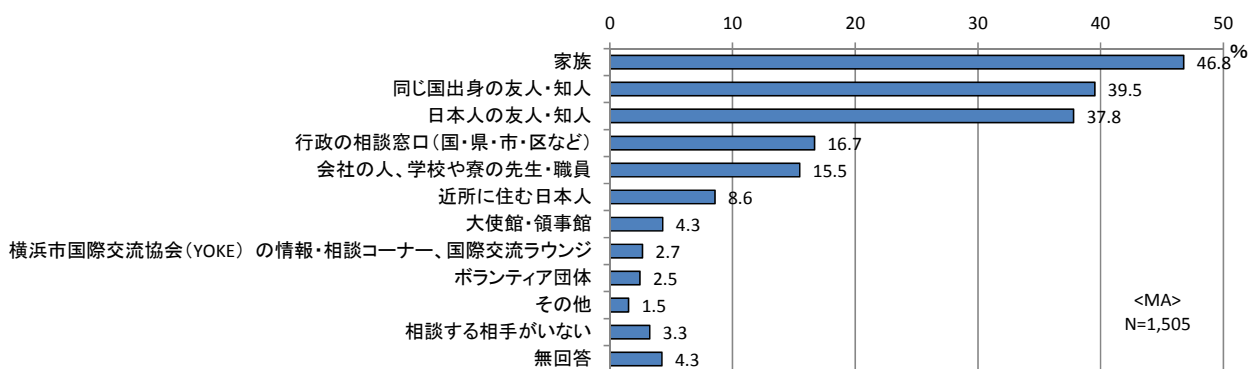
横浜での生活で、困っていることや心配なこと

困っていること上位3項目は、「日本語の不自由さ」(24.7%)、「仕事さがし」(16.7%)、「病院・診療所に外国語のできる人がいない」(14.4%)。「特にない」は21.7%。



横浜での生活で困っていることや心配なことがあったときの相談先

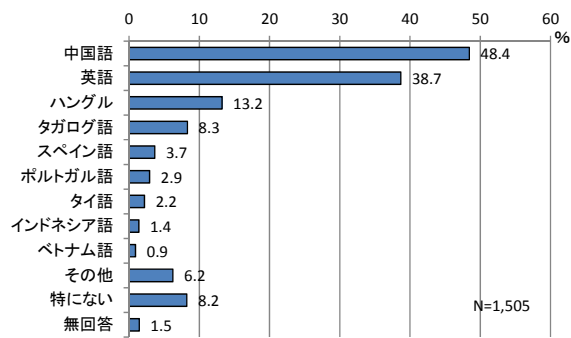
相談先では、「家族」46.8%、「同じ国出身の友人・知人」39.5%、「日本人の友人・知人」37.0%



3. ことばについて

日本語以外で日常会話のできる外国語

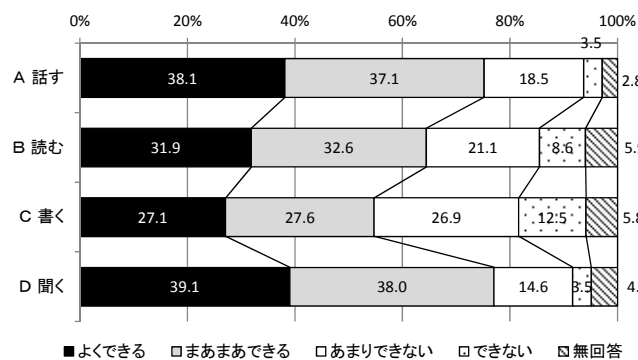
「中国語」(48.4%)と「英語」(38.7%)が多い



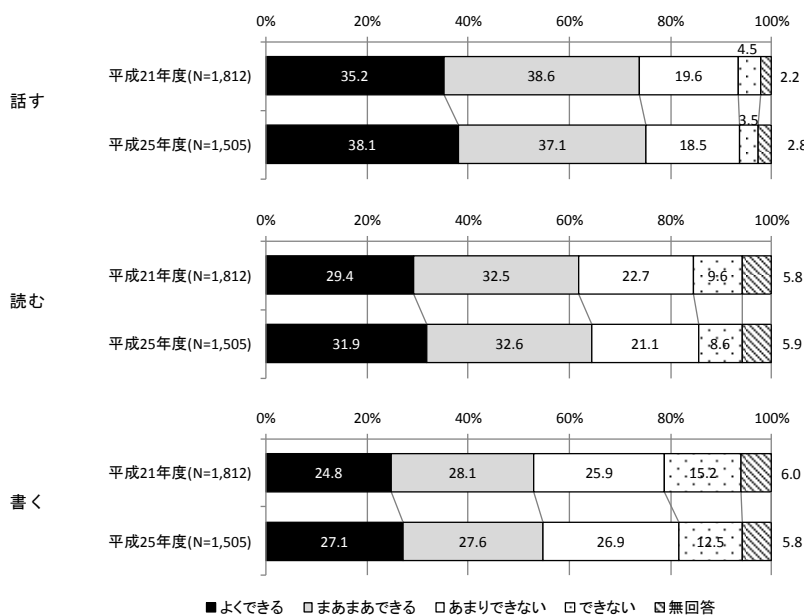
どのくらい日本語ができるか

「日本語の会話ができる」73.8%、「日本語を読むことができる」61.9%、「日本語を書くことができる」52.9%

平成21年度調査と比較すると、「話す・読む・書く」のいずれも「よくできる」の数値が2~3ポイント増加している。



<参考 平成21年度調査結果との比較>

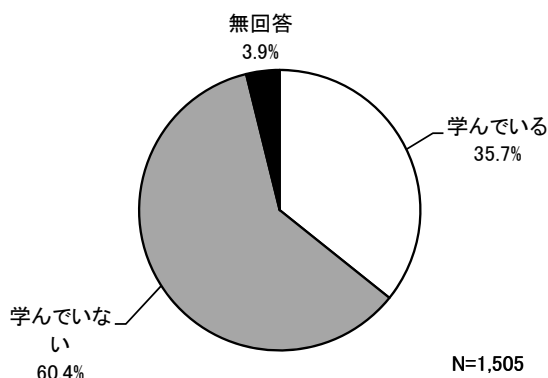


注) 21年度調査では「聞く」の項目がない

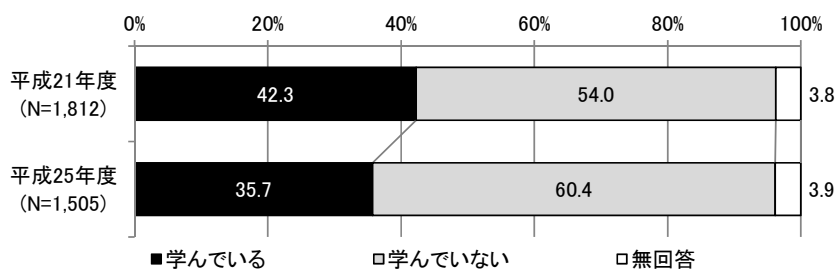
日本語を学んでいるか

「学んでいない」60.4%、「学んでいる」35.7%

平成 21 年度調査と比較すると、「学んでいる」は 42.3%より 6.5 ポイント減少、「学んでいない」は 54.0%より 6.4 ポイント増加している。

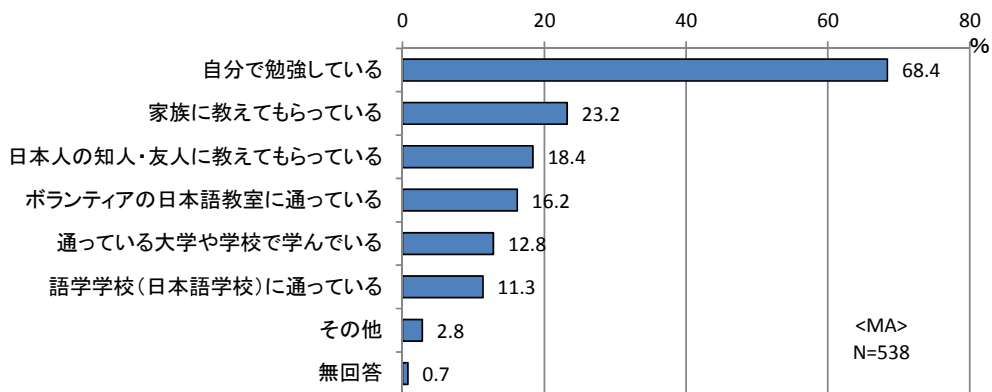


<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



日本語をどのような方法で学んでいるか

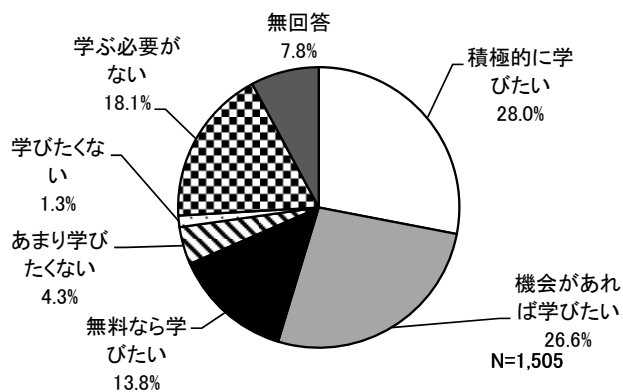
「自分で勉強している」68.4%、「家族に教えてもらっている」23.2%、「日本人の知人・友人に教えてもらっている」18.4%



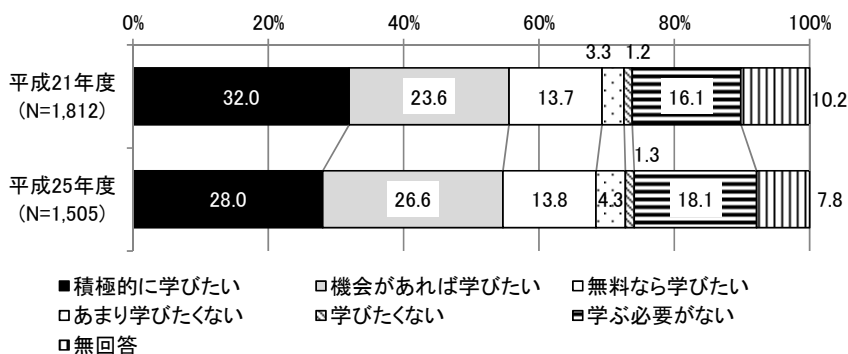
今後、日本語を学びたいと思うか

日本語を学びたいとしているのは全体の 68.4%

平成 21 年度調査と比較すると、「積極的に学びたい」「機会があれば学びたい」を合わせた日本語を学びたいとする人は 69.3%から 68.4%に 0.9 ポイントの微減となった。なお、「学ぶ必要がない」については 16.1%から2ポイントの増加である。

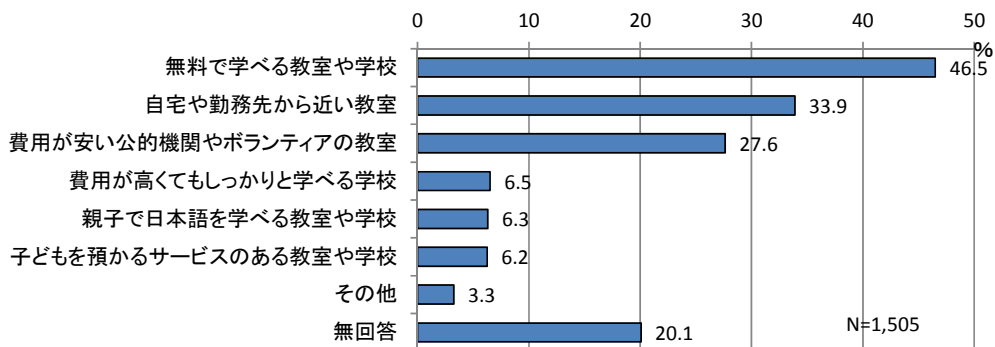


<参考 平成 21 年度調査結果との比較>

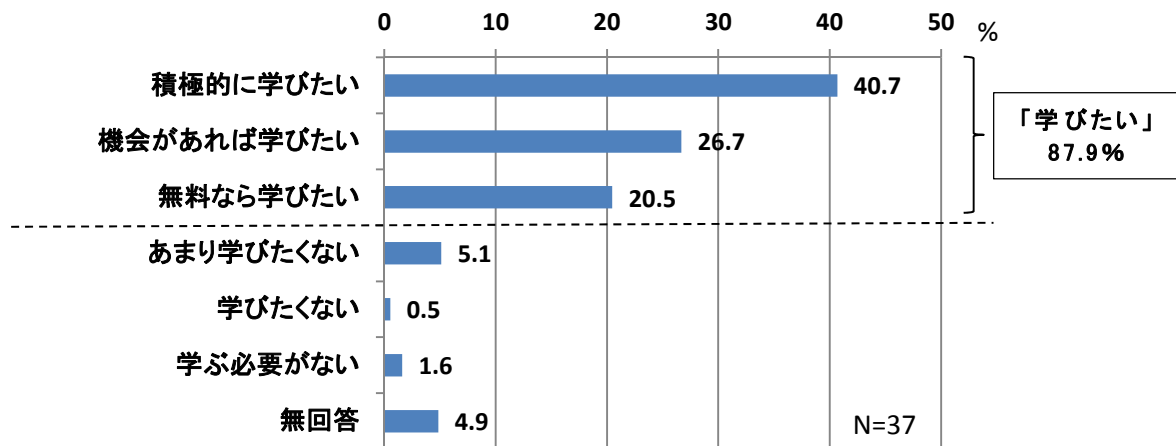


どのようなところで、日本語を学びたいと思うか

「無料で学べる教室や学校」46.5%、「自宅や勤務先から近い教室」33.9%、「費用が安い公的機関やボランティアの教室」27.6%



「困っていることや心配なこと」で「日本語の不自由さ」に回答した人の日本語の学習意欲は87.9%と極めて高く、特に積極的に学びたい人は「費用が安い公的機関やボランティアの教室」で学びたいとする割合が高い。

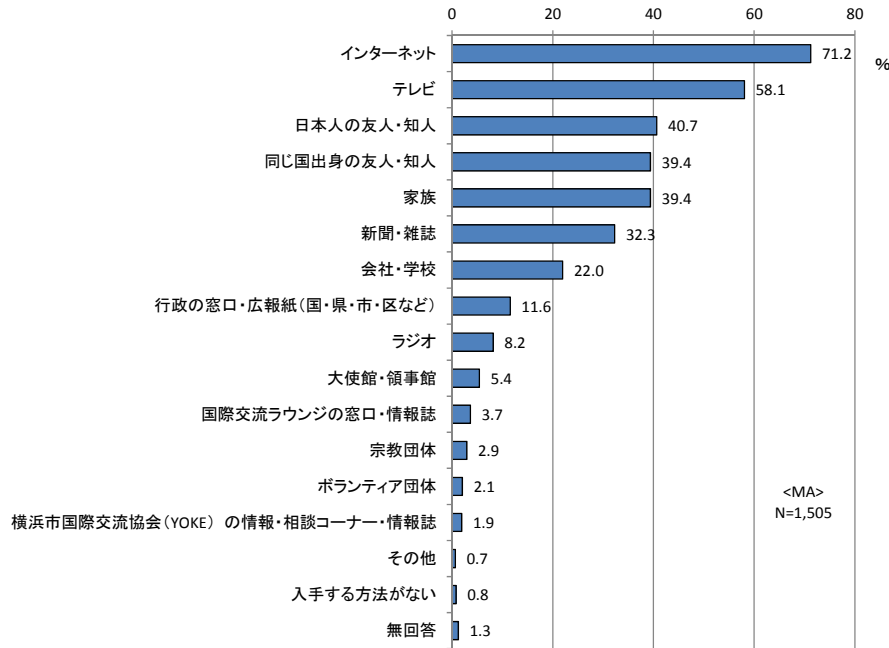


4. 情報の入手方法について

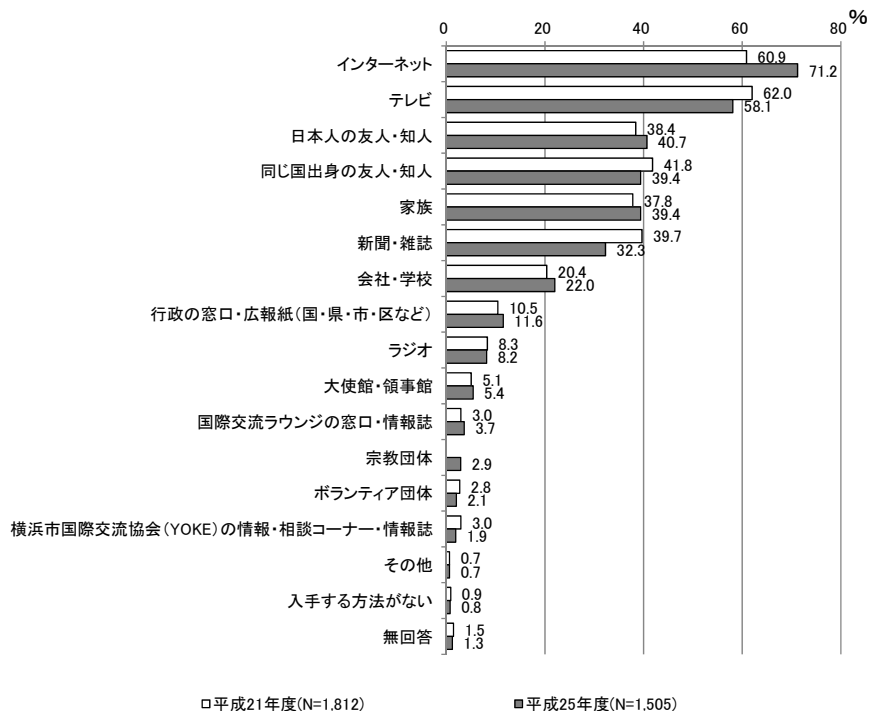
生活に必要な情報の入手方法

「インターネット」(71.2%)、「テレビ」(58.1%)が多い

平成21年度調査と比較すると、「テレビ」が62.0%で最も多かったが3.9ポイント減少して2位に後退、一方「インターネット」が60.9%から10.4ポイント大きく増加して1位に上昇した。



<参考 平成21年度調査結果との比較>



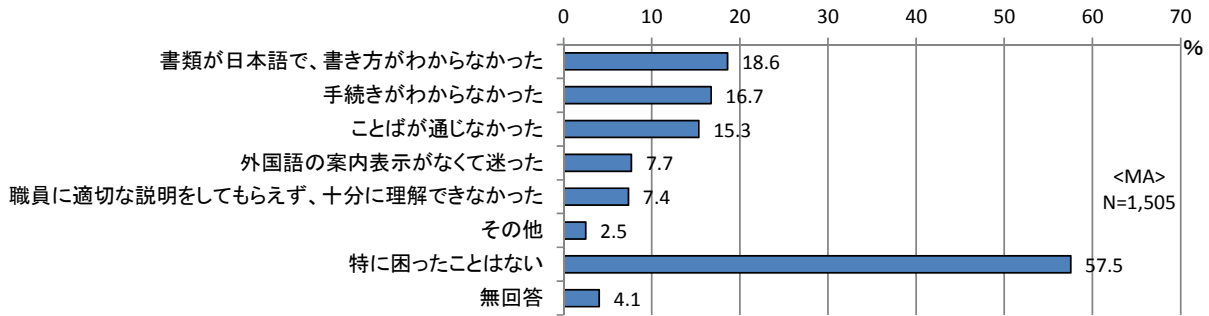
注) 21年度調査では「宗教団体」がなく、「家族」のうち誰かを選ぶ付問がある

5. 行政窓口でのサービスについて

区役所などの窓口で、困ったことはあるか

「特に困ったことはない」が 57.5%

困っていることでは、「書類が日本語で、書き方がわからなかった」(18.6%)、「手続きがわからなかった」(16.7%)、「ことばが通じなかった」(15.3%)が多い

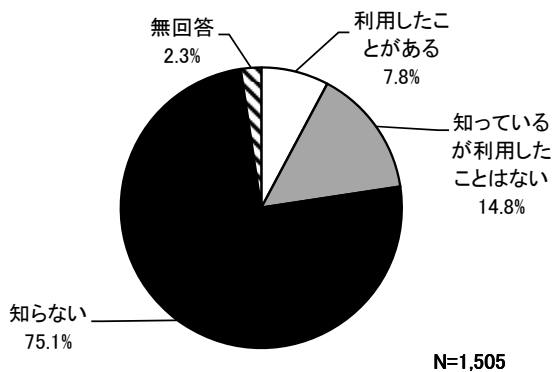


外国語のできる国際サービス員の認知及び利用

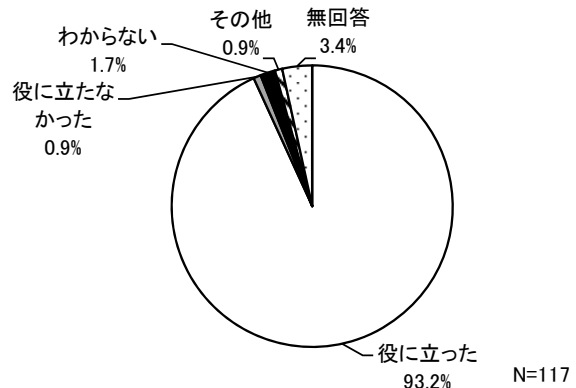
外国語のできる国際サービス員の認知度は 22.6%、利用経験は 7.8%

利用者の 93.2%が「役に立った」と回答

国際サービス員の認知度



国際サービス員の有用度

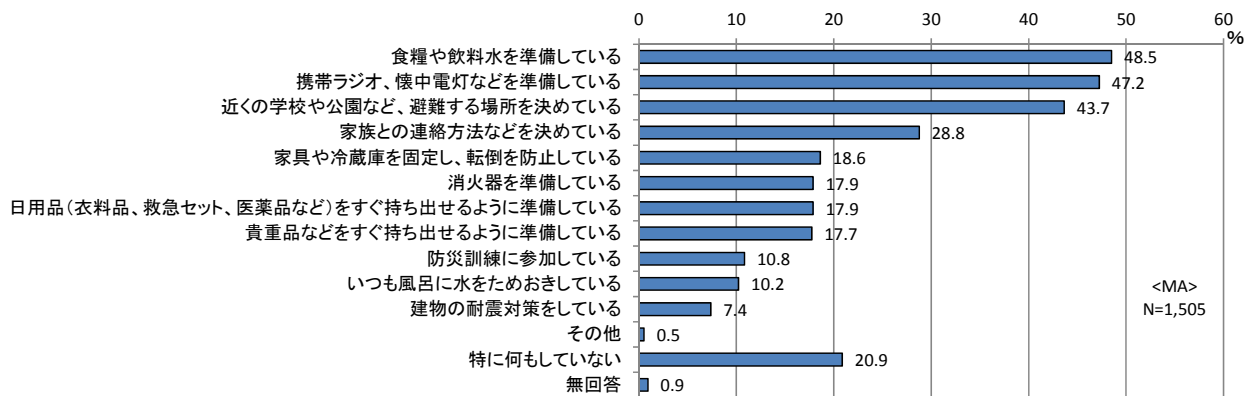


6. 防災について

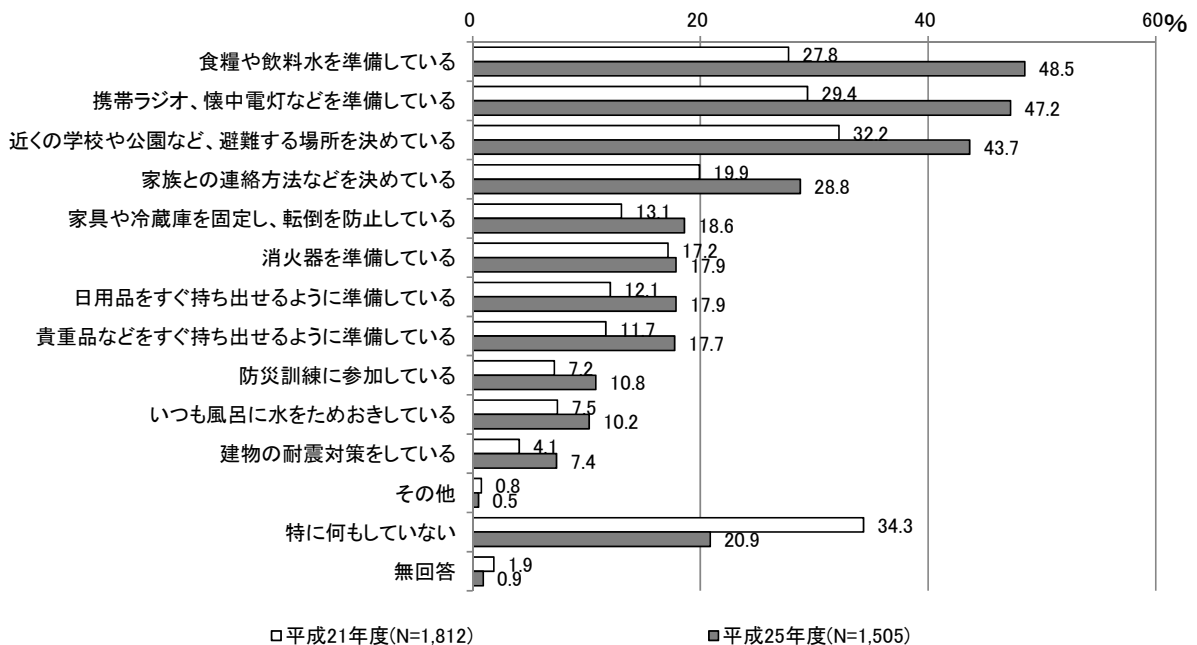
日頃からの災害への備え

「食糧や飲料水を準備している」48.5%、「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」47.2%、「近くの学校や公園など、避難する場所を決めている」43.7%

平成21年度調査と比較すると、平成21年度では「特に何もしていない」が34.3%で最も多かったが、13.5ポイント減少して5位に後退しており、平成23年の東日本大震災を経験して、防災意識に大きな変化があったことがうかがわれる。

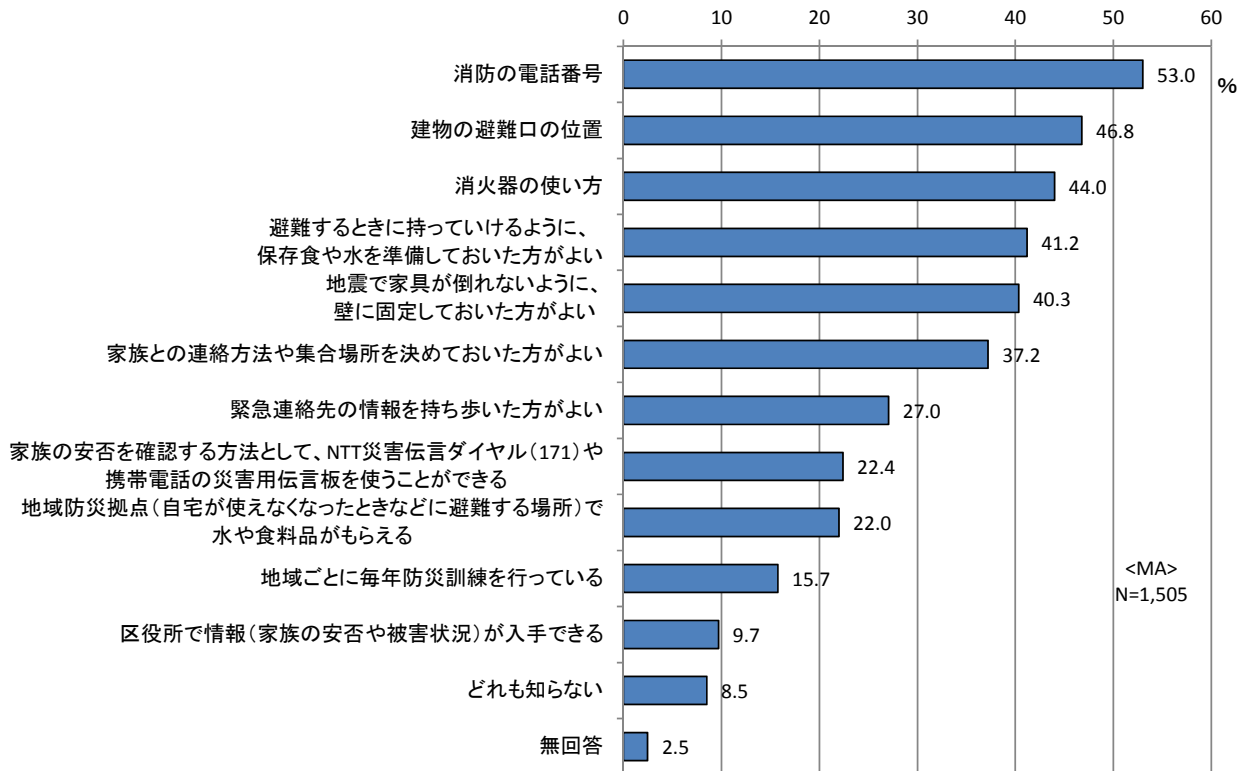


<参考 平成21年度調査結果との比較>



災害に関する知識

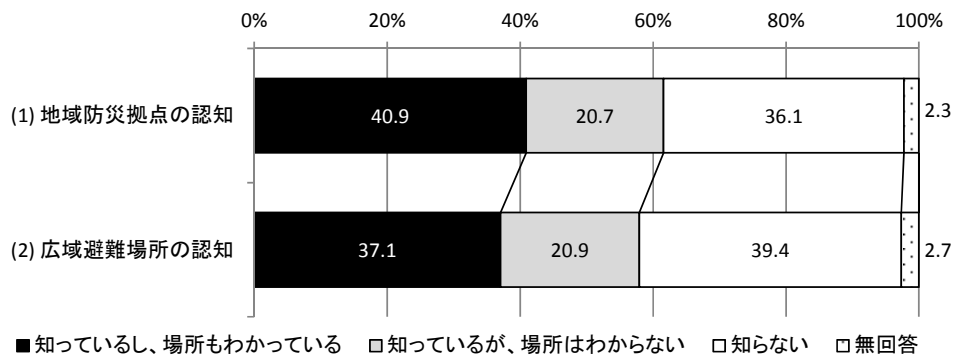
「消防の電話番号」(53.0%)が1位



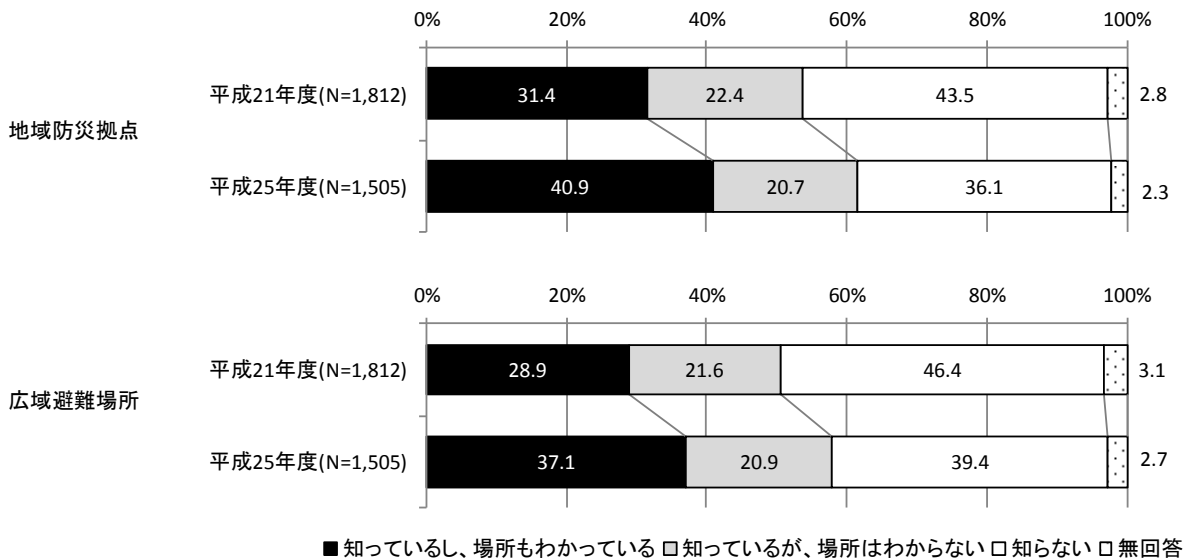
地域防災拠点、広域避難場所の認知

地域防災拠点は「知っているし、場所もわかっている」が40.9%、広域避難場所は「知らない」が39.4%で1位

平成21年度調査と比較すると、地域防災拠点については「知っているし、場所もわかっている」(31.4%)が9.5ポイント上昇、「知らない」(43.5%)は7.3ポイント減少し、広域避難場所については「知っているし、場所もわかっている」(28.9%)が8.2ポイント上昇、「知らない」(46.4%)は7.0ポイント減少しており、ともに周知が進んでいる。



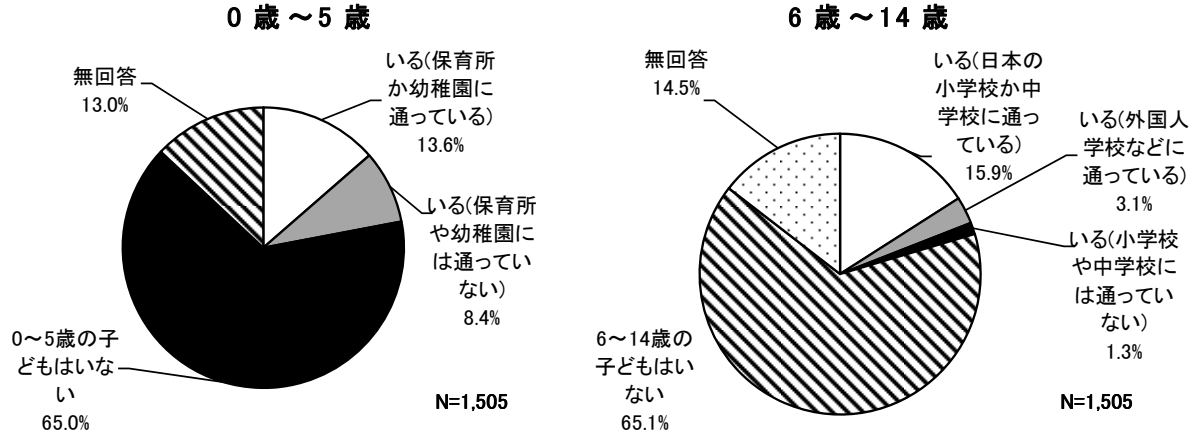
<参考 平成21年度調査結果との比較>



7. 子育て・教育について

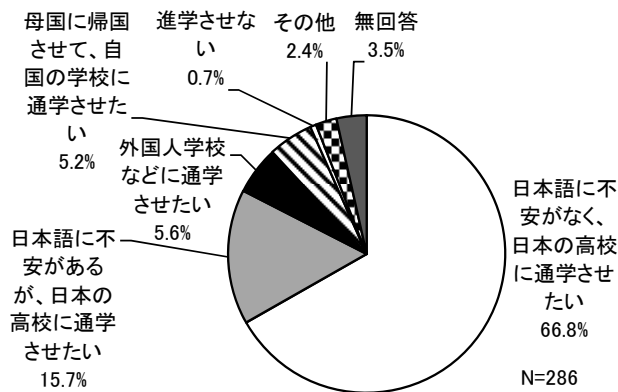
0歳～5歳、6歳～14歳の子どもの有無

「0歳～5歳の子どもがいる」は全体の22.2%、「6歳～14歳の子どもがいる」は全体の20.3%



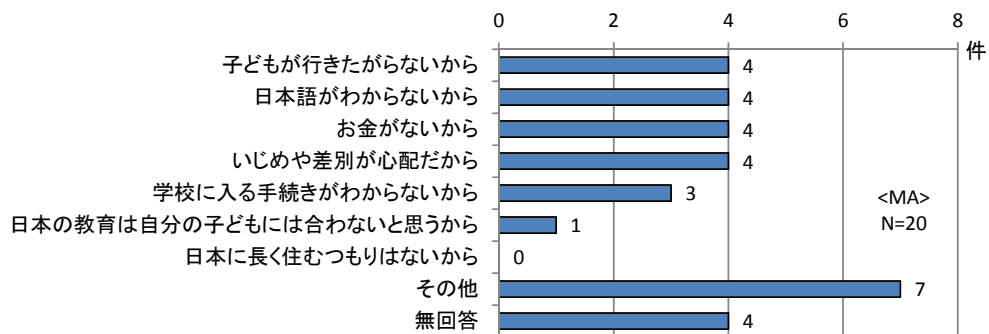
中学校を卒業したあとのような進路に進ませたいか

「日本の高校に通学させたい」82.5%、うち「日本語に不安がある」15.7%



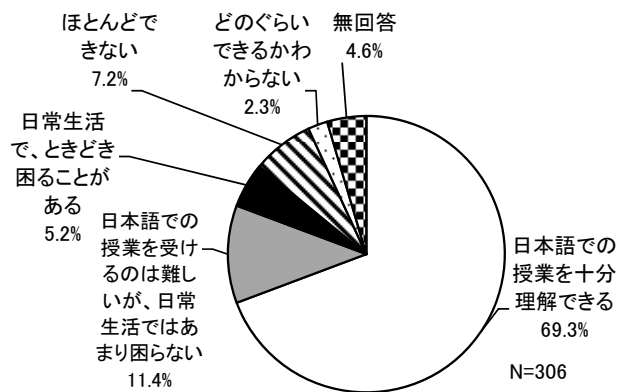
子どもが学校に通っていない理由

サンプル数(20件)は非常に少ないが、「子どもが行きたがらないから」「日本語がわからないから」「お金がないから」「いじめや差別が心配だから」などが理由



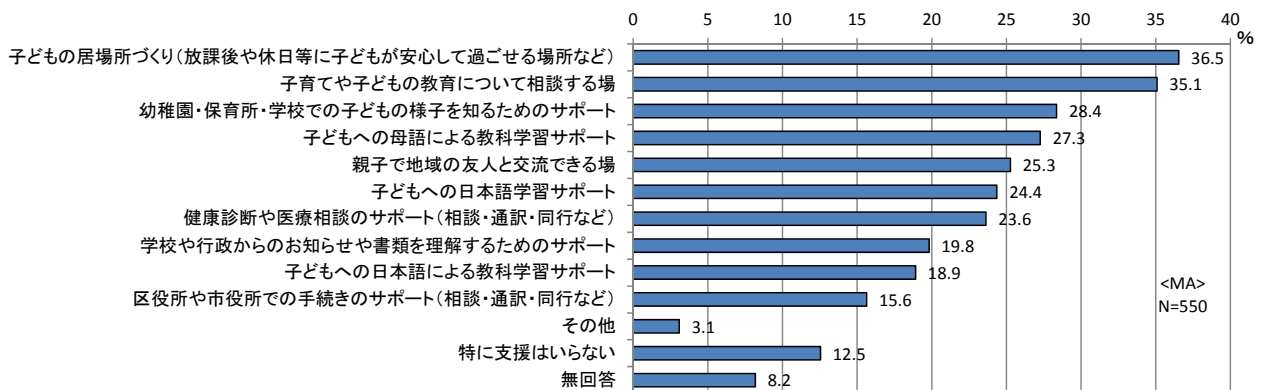
6歳～14歳の子どもは日本語がどのくらいできるか

「日本語での授業を十分理解できる」69.3%



子育てや子どもの教育に関してあったらよい支援

「子どもの居場所づくり(放課後や休日等に子どもが安心して過ごせる場所など)」36.5%、「子育てや子どもの教育について相談する場」が 35.1%

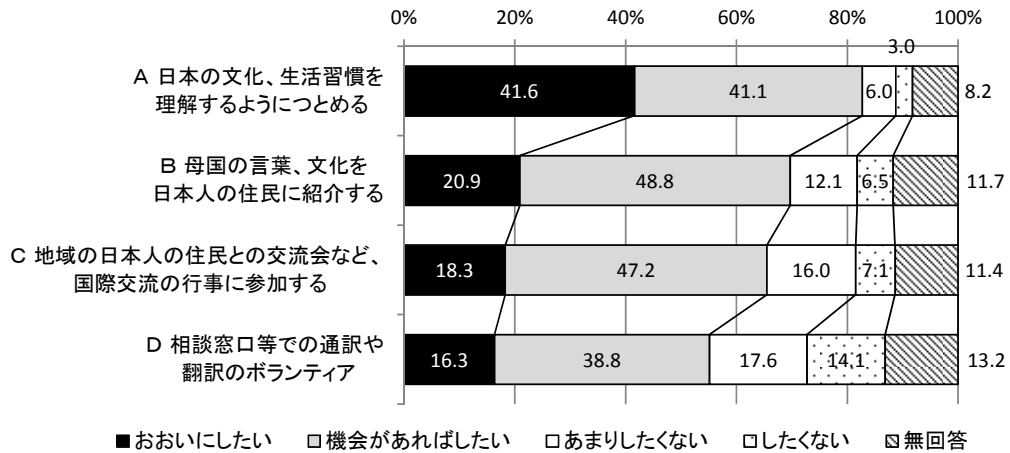


8. 多文化共生について

多文化共生のまちづくりについてできること

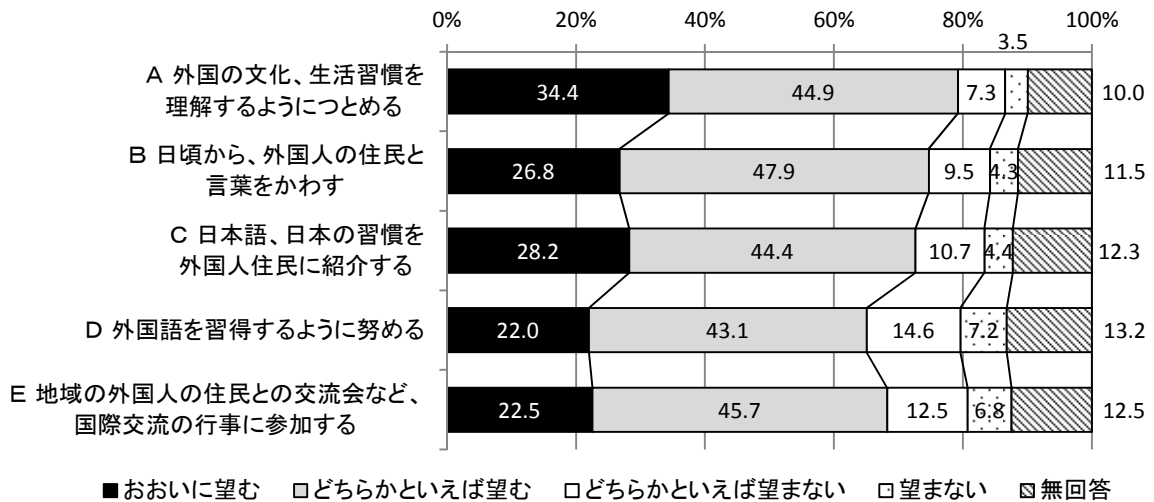
「日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる」82.7%

「母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する」69.7%



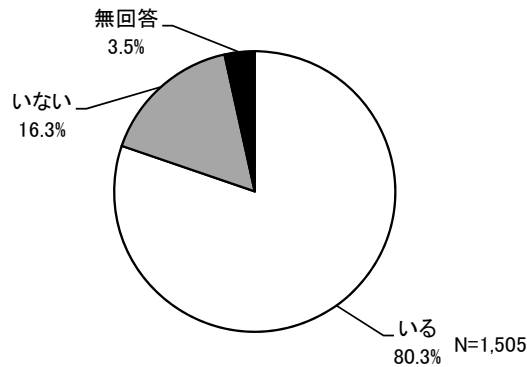
多文化共生のまちづくりについて日本人に望むこと

「外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる」79.3%、「日頃から、外国人の住民と言葉をかわす」74.7%、「日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する」72.6%



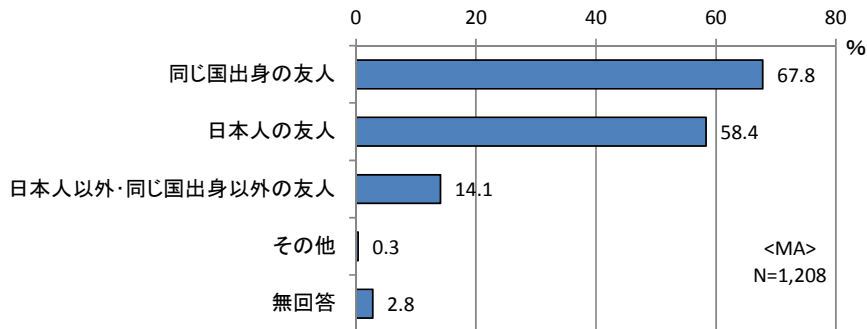
信頼して相談できる友人の存在

「いる」80.3% 「いない」16.3%



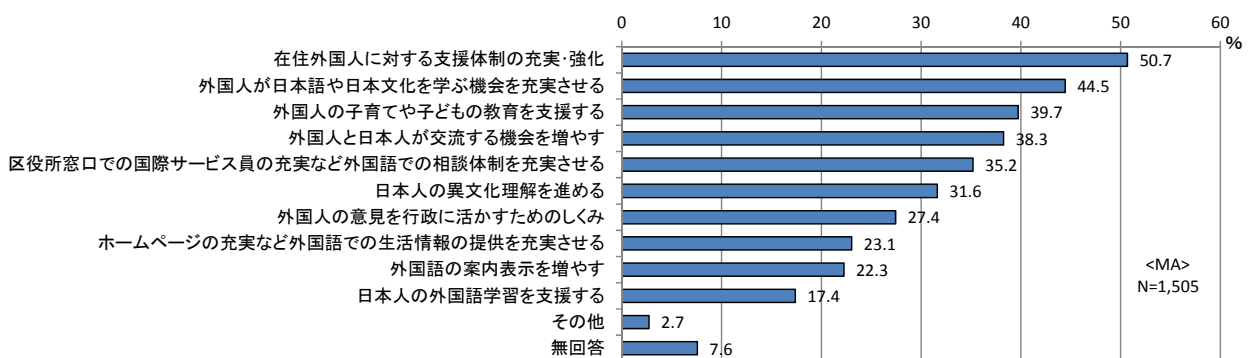
信頼して相談できる友人の存在

「同じ国出身の友人」67.8%、「日本人の友人」58.4%



横浜市に望むこと

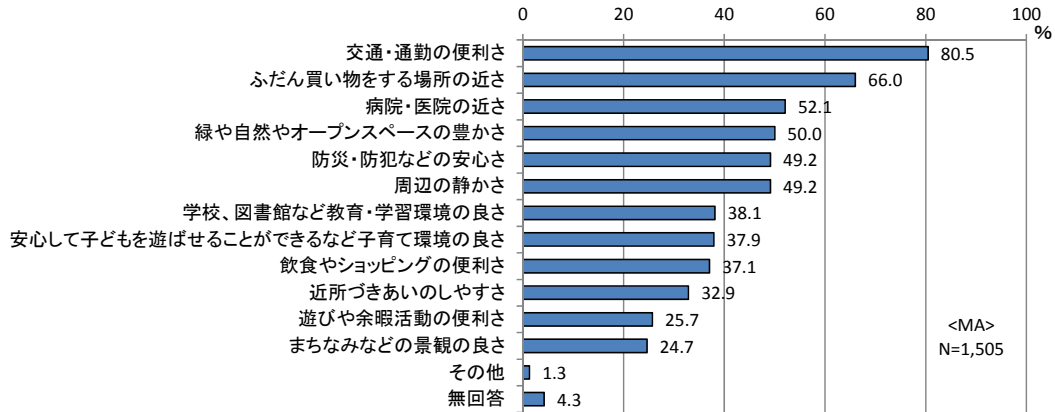
「在住外国人に対する支援体制の充実・強化」50.7%、「外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」44.5%



9. 住まいの環境について

特に重視する転居先の住まいの周辺環境

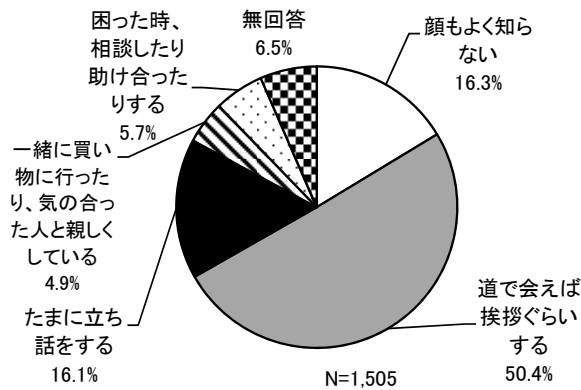
「交通・通勤の便利さ」80.5%、「ふだん買い物をする場所の近さ」66.0%、「病院・医院の近さ」(52.1%)



10. 地域とのつながりについて

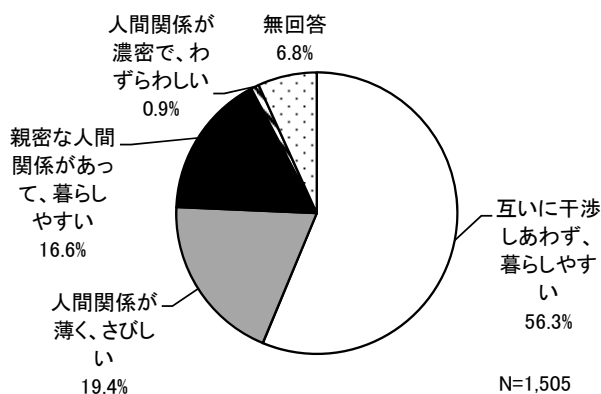
隣近所とのつきあい

「道で会えば挨拶ぐらいする」50.4%、「顔もよく知らない」16.3%、「たまに立ち話をする」16.1%



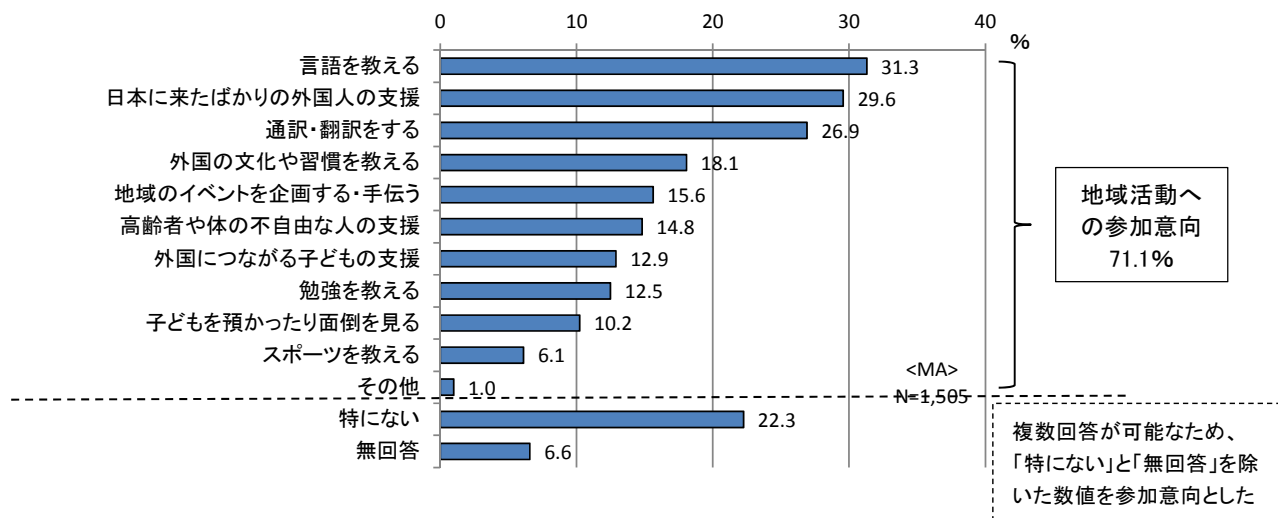
隣近所とのつきあいの感じ方

「互いに干渉しあわず、暮らしやすい」56.3%、「人間関係が薄く、さびしい」19.4%、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」16.6%



やってみたいと思う地域活動

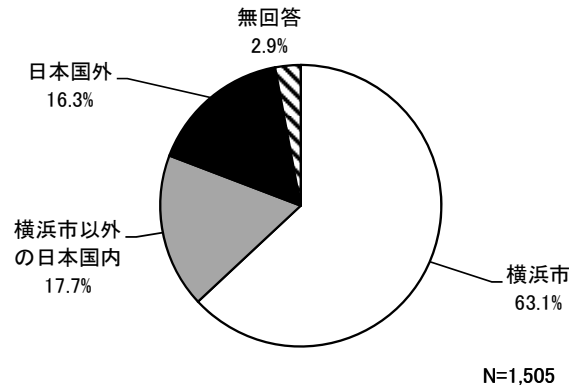
地域活動への参加意向を有している人の割合は 71.1%と高く、やってみたいと思う地域活動の内容では、「言語を教える」31.3%、「日本に来たばかりの外国人の支援」29.6%、「通訳・翻訳をする」26.9%



11. 東日本大震災の時、困ったことについて

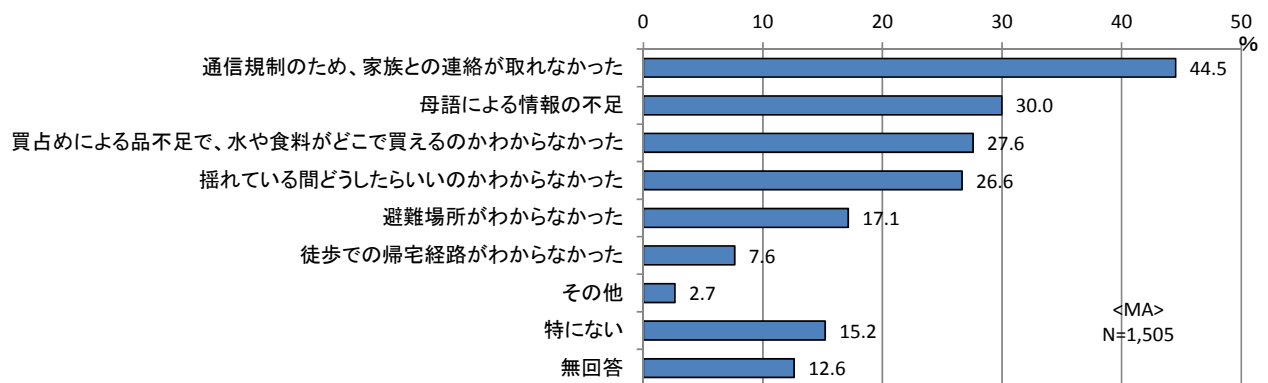
東日本大震災の時にいた場所

「横浜市」63.1%を含め、日本国内にいた人が 80.8%、



東日本大震災の時困ったこと

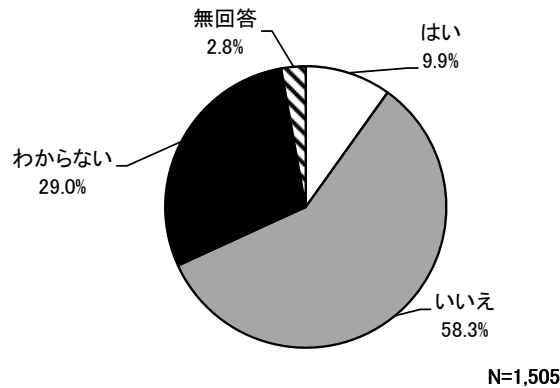
「通信規制のため、家族との連絡が取れなかった」44.5%、「母語による情報の不足」(30.0%)、「買占めによる品不足で、水や食料がどこで買えるのかわからなかった」(27.6%)、「揺れている間どうしたらいいのかわからなかった」(26.6%)



12. その他

前回調査への回答

「はい」9.9%、「いいえ」58.3%、「わからない」29.0%



横浜市にぜひ取り組んでほしいこと、日常生活の中で不便に感じていること、困っていること(自由記述)

回答数 536 件 (1,505 件の 35.6%)、延べ意見数 773 件、日本語 39.6%、中国語 27.0%、英語 23.5%、ハングル 3.8%、スペイン語 3.6%、ポルトガル語 2.5%

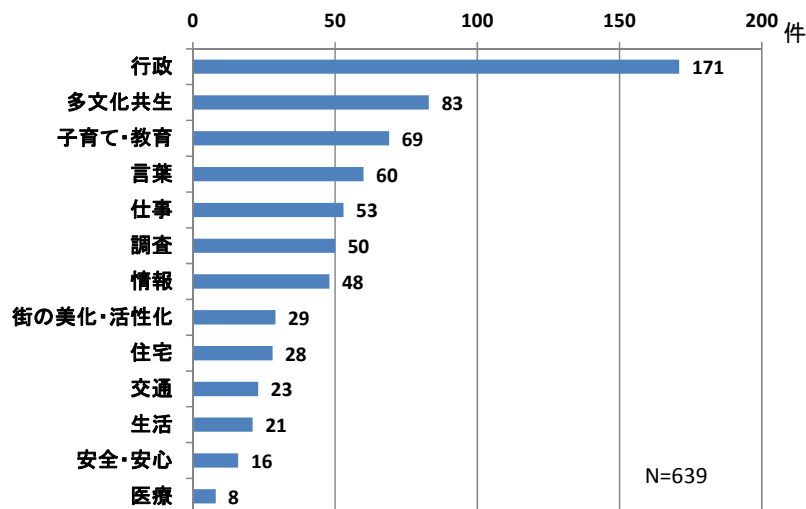
今回の調査だけでなく、横浜での生活、施策、サービスなども含め、評価する意見 134 件 (17.3%)

要望に関する意見は 639 件 (82.7%) で、分野別に見ると、「行政」、「多文化共生」、「子育て・教育」、「言葉」、「仕事」の順に多く、これら上位 5 位で全体の約 7 割

回答言語別件数

回答言語	実数(件)			構成比(%)	
	評価	要望	合計	評価	要望
日本語	25	281	306	8.2	91.8
中国語	49	160	209	23.4	76.6
英語	47	135	182	25.8	74.2
ハングル	1	28	29	3.4	96.6
スペイン語	8	20	28	28.6	71.4
ポルトガル語	4	15	19	21.1	78.9
総計	134	639	773	17.3	82.7

要望に関する意見の主な分野

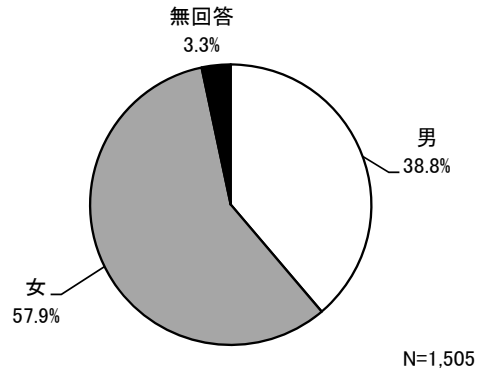


Ⅱ. 集計分析結果

1. 回答者の属性

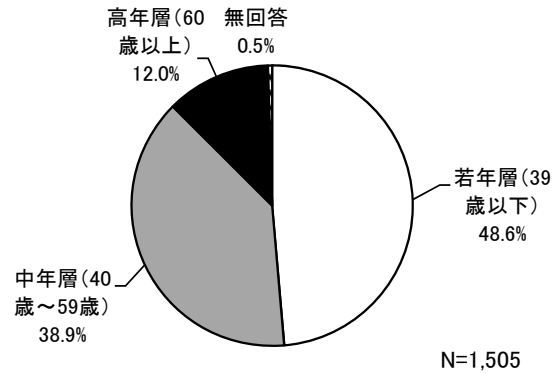
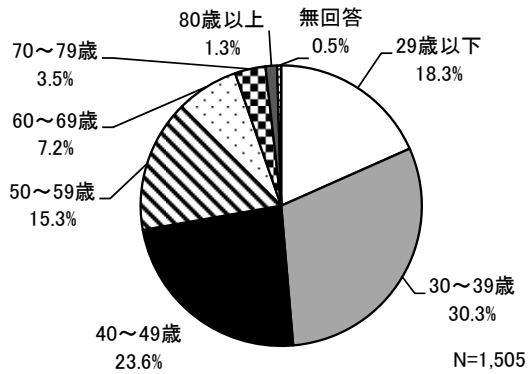
性別

- ・女性が 57.9% で、男性の 38.8% を 19.1 ポイント上回っている。



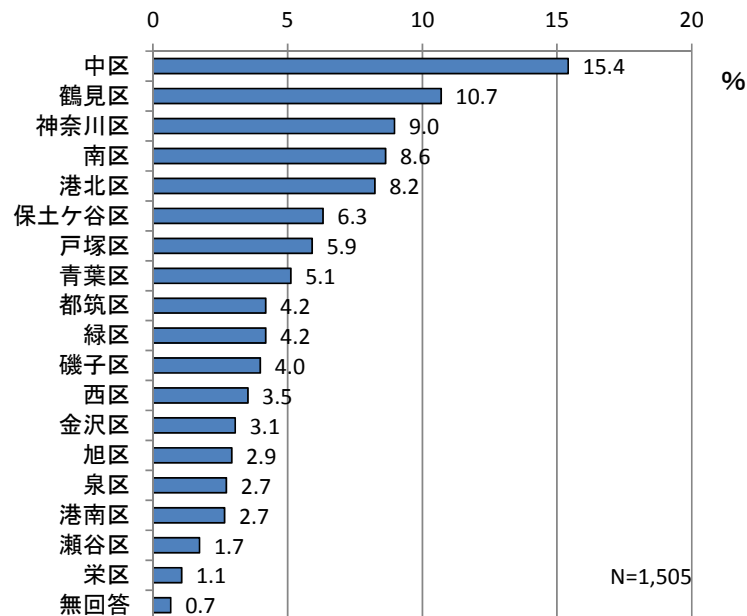
年齢

- ・10 歳階級別で見ると、「30 歳代」が最も多く 30.3%、次いで「40 歳代」が 23.6%、「29 歳以下」が 18.3%、「50 歳代」が 15.3% などとなっている。
- ・39 歳以下を「若年層」、40 歳～59 歳を「中年層」、60 歳以上を「高年層」として年齢層別にみると、「若年層」が 48.6% で全体の半数弱、次いで「中年層」が 38.9%、「高年層」が 12.0% となっている。

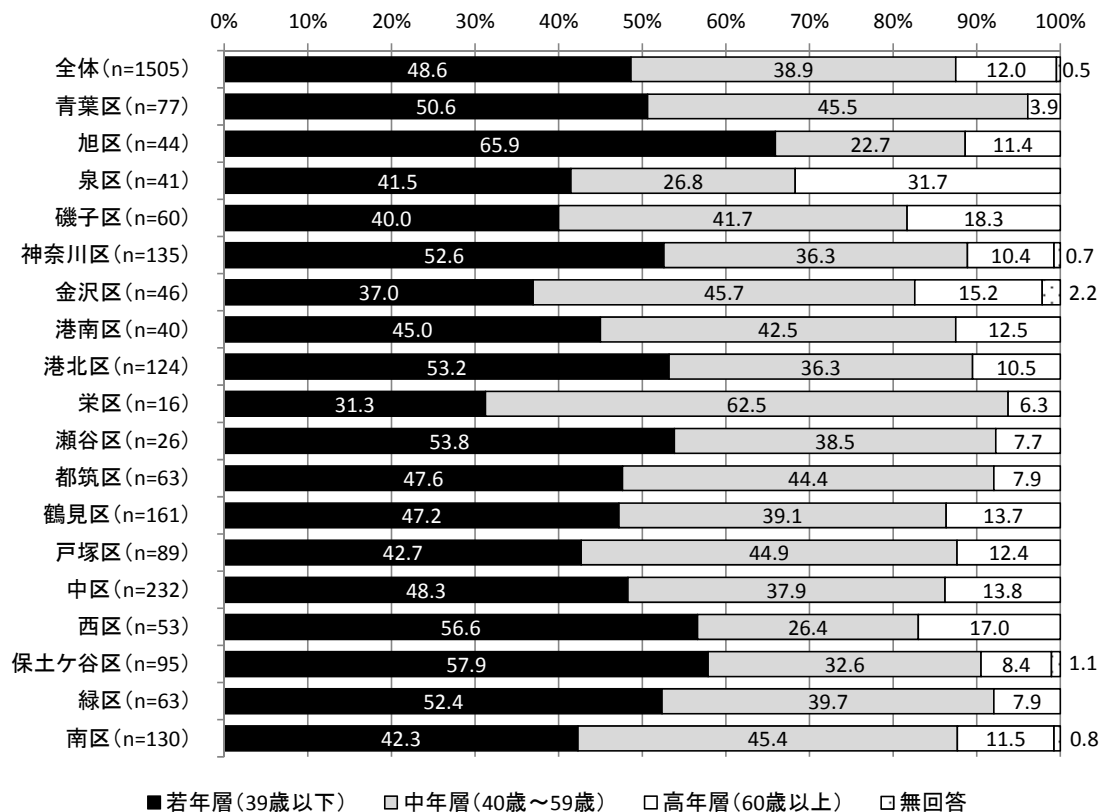


居住区

- ・最も多いのが「中区」の 15.4%、以下「鶴見区」(10.7%)、「神奈川区」(9.0%)、「南区」(8.6%)、「港北区」(8.2%)、「保土ヶ谷区」(6.3%)などの順となっている。
- ・居住区別に年齢層を見ると、旭区で若年層割合、栄区での中年層割合、泉区での高年層割合が、市全体の数値と比べて突出して高くなっている。

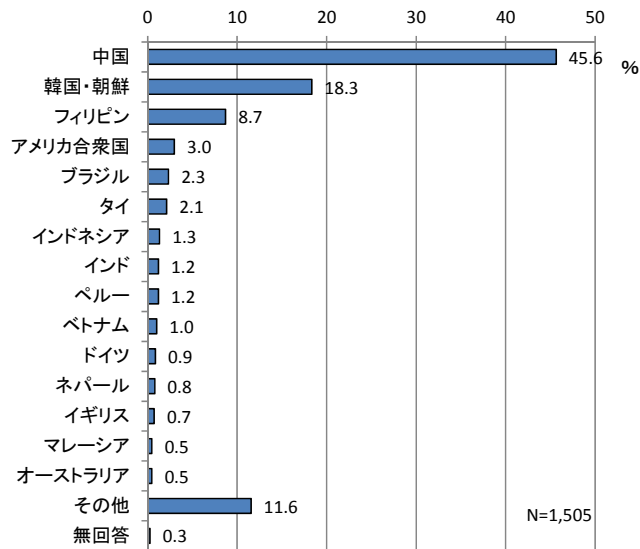


居住区別 年齢構成

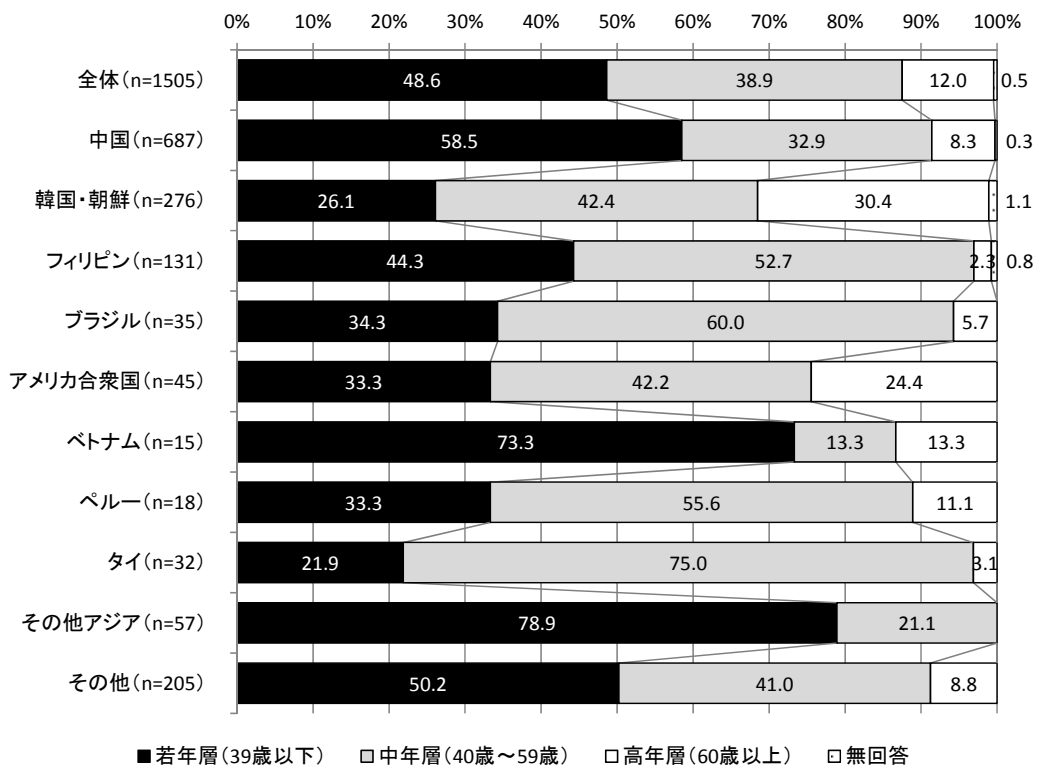


国籍（F4）

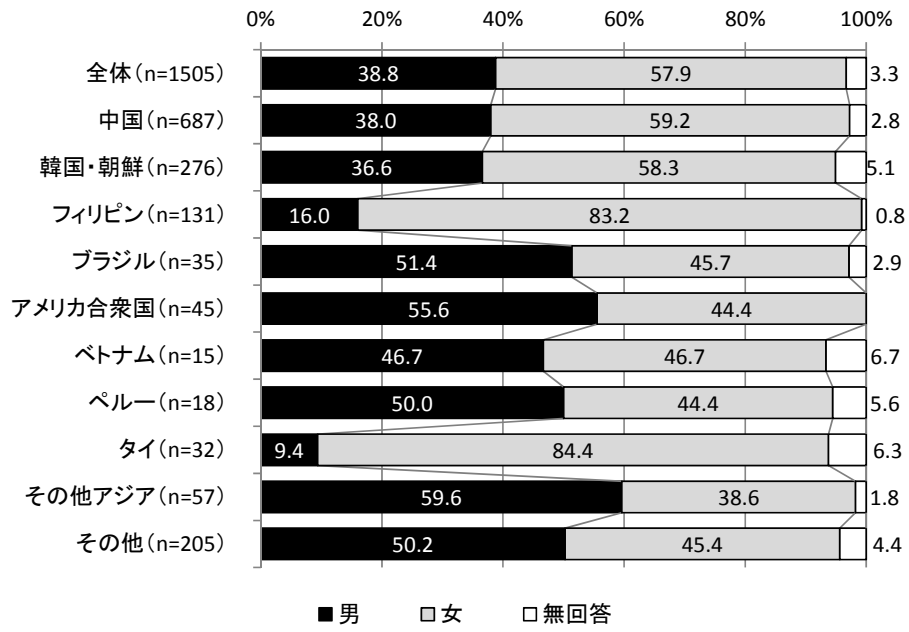
- ・「中国」が最も多く 45.6%で、全体の半数近くに達する。次いで「韓国・朝鮮」が 18.3%で、全体の2割弱である。以下「フィリピン」（8.7%）、「アメリカ合衆国」（3.0%）、「ブラジル」（2.3%）、「タイ」（2.1%）などと続く。
- ・国籍別に年齢層をみると、「ベトナム」（73.3%）では若年層が7割を超えている。「タイ」（75.0%）、「ブラジル」（60.0%）では中年層が多い。「韓国・朝鮮」（30.4%）、「アメリカ合衆国」（24.4%）では全体に比べて高年層が多くなっている。
- ・国籍別に性別を見ると、「フィリピン」、「タイ」では女性が8割以上を占める。男性は「アメリカ合衆国」、「ブラジル」、「ペルー」で5割を超える。



国籍別 年齢層

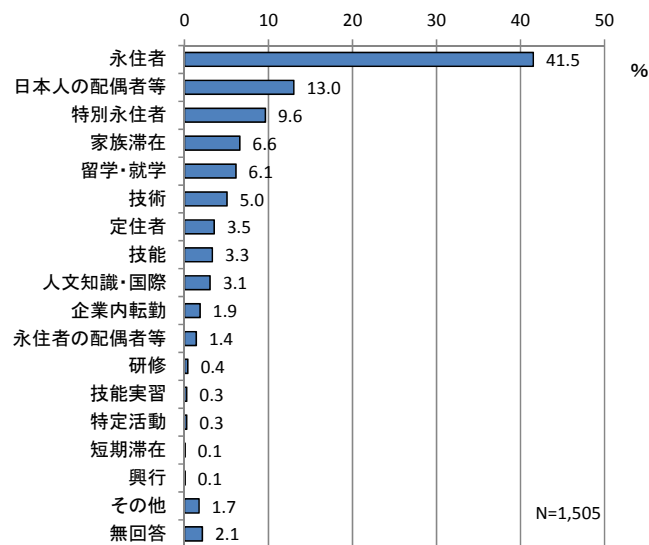


国籍別 性別

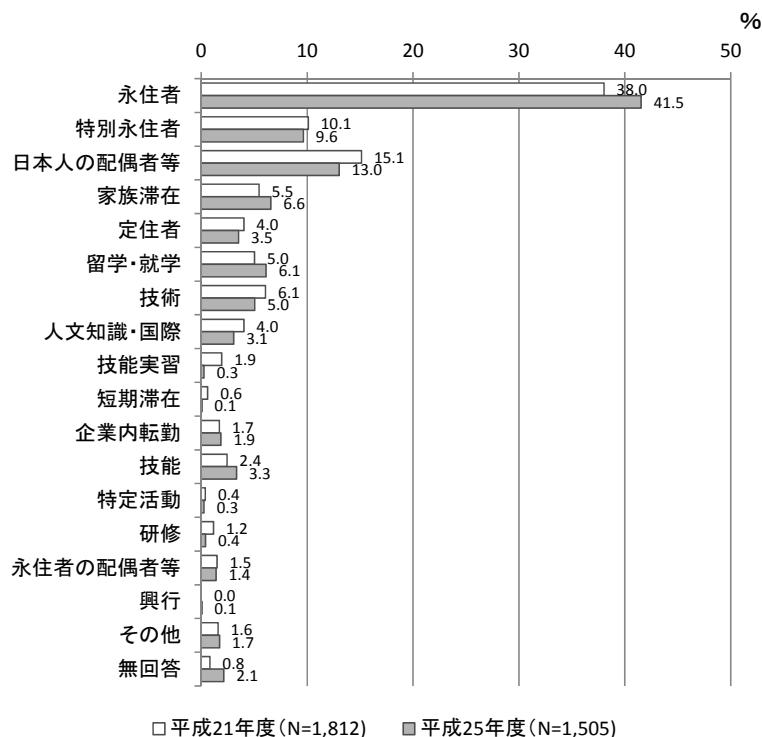


在留資格（F5）

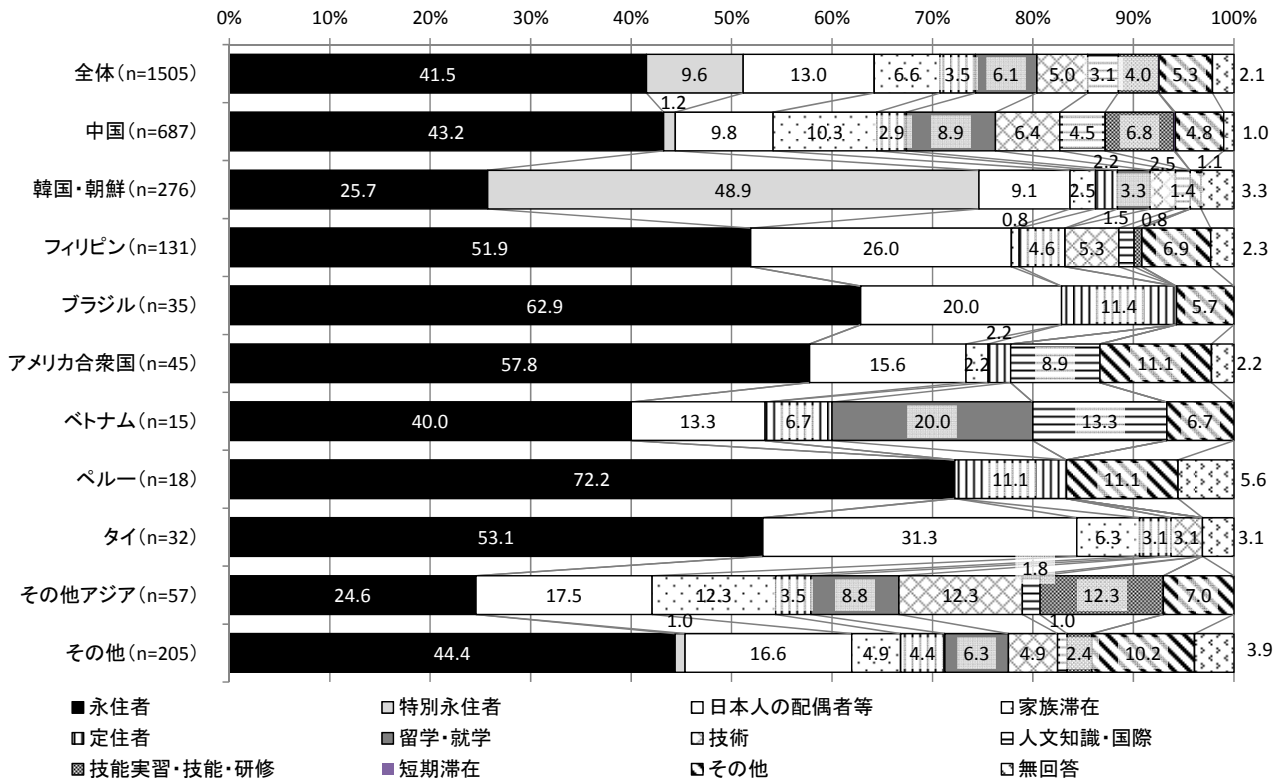
- ・「永住者」が最も多く 41.5%で、4割強を占める。次いで「日本人の配偶者等」が 13.0%である。以下「特別永住者」（9.6%）、「家族滞在」（6.6%）、「留学・就学」（6.1%）、「技術」（5.0%）などと続く。
- ・国籍別にみると、韓国・朝鮮では「特別永住者」が最も多く、他と比べて突出している。それ以外の国では「永住者」が最も多く、特にペルー、ブラジル、アメリカ合衆国で数値が高い。「日本人の配偶者等」はタイ、フィリピンで高い数値となっている。
- ・平成 21 年度調査と比較してみると、「永住者」が 3.5 ポイント増加している。



< 参考 平成 21 年度調査結果との比較 >

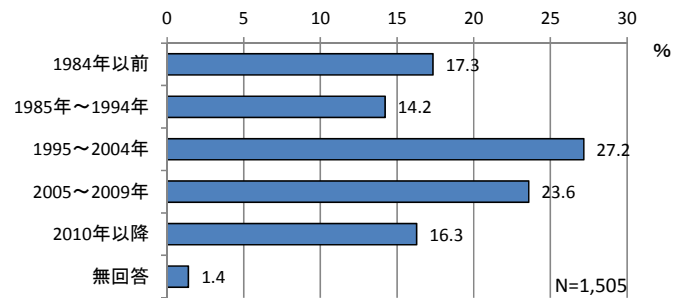
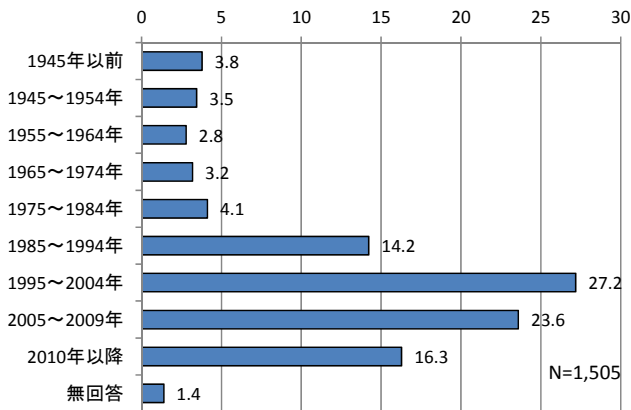


国籍別 在留資格

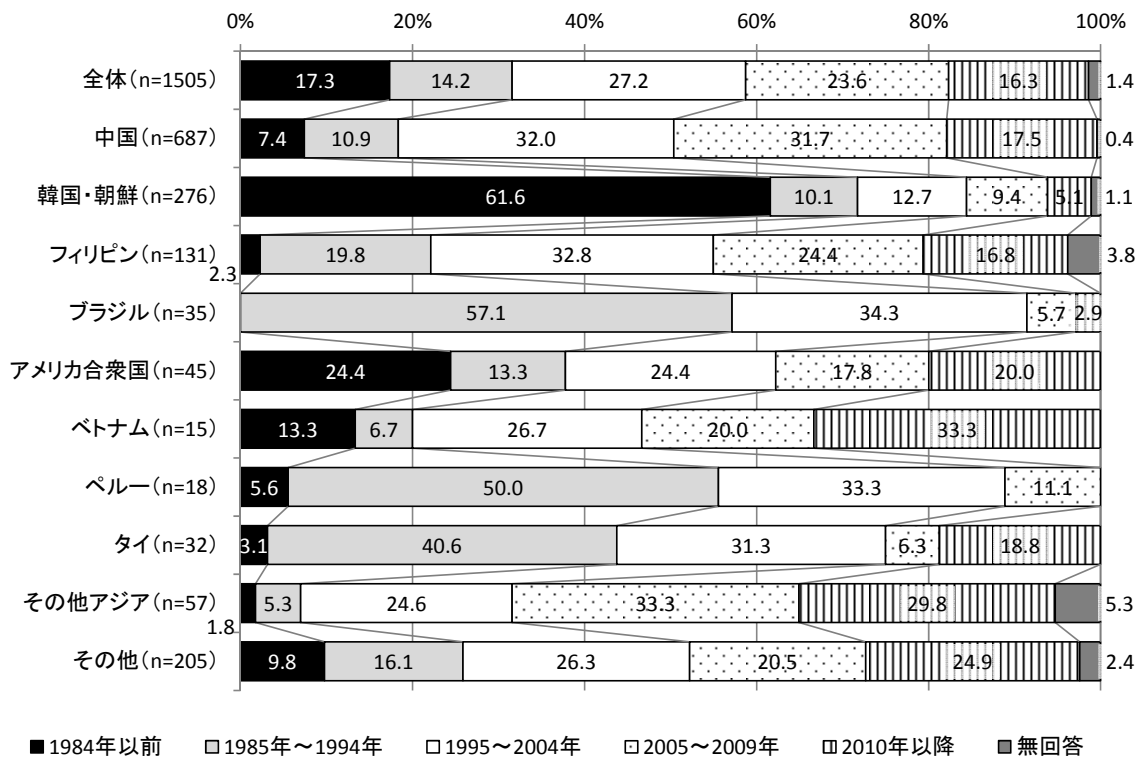


日本での居住開始時期（F6）

- ・「1995～2004年」が最も多く27.2%で、全体の3割弱となっている。次いで「2005～2009年」が23.6%で、全体の約半数が1995年から2009年にかけての間に日本を訪れている。
- ・国籍別にみると、韓国・朝鮮では「1984年以前」が最も多く、他に比べて数値も突出して高い。アメリカ合衆国では「1984年以前」「1995～2004年」が同率である。ブラジル、ペルー、タイでは「1985年～1994年」、中国、フィリピンでは「1995～2004年」が最も多くなっている。

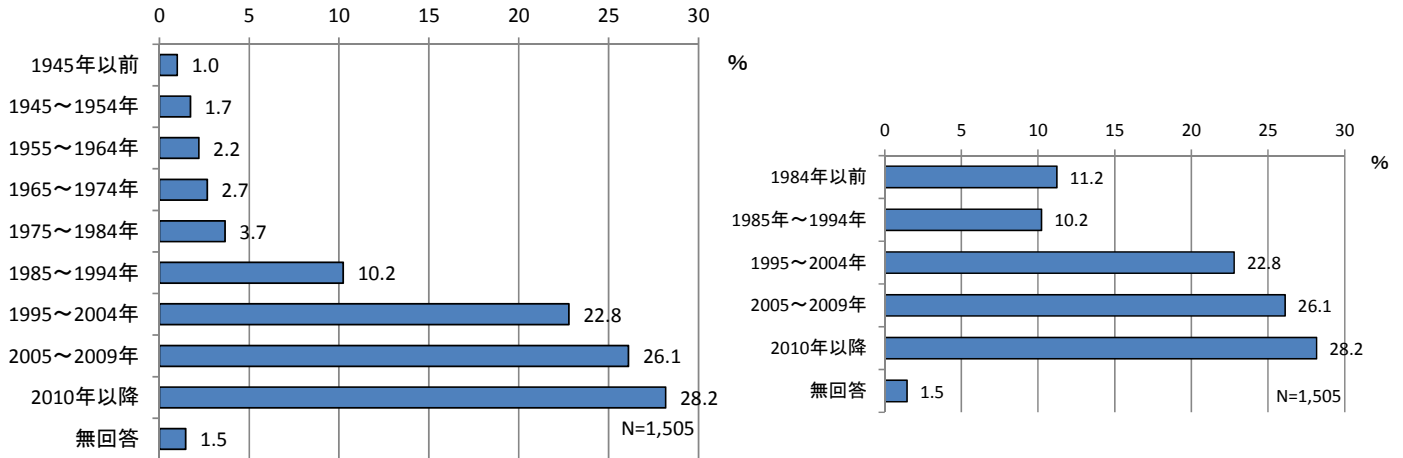


国籍別 日本での居住開始時期

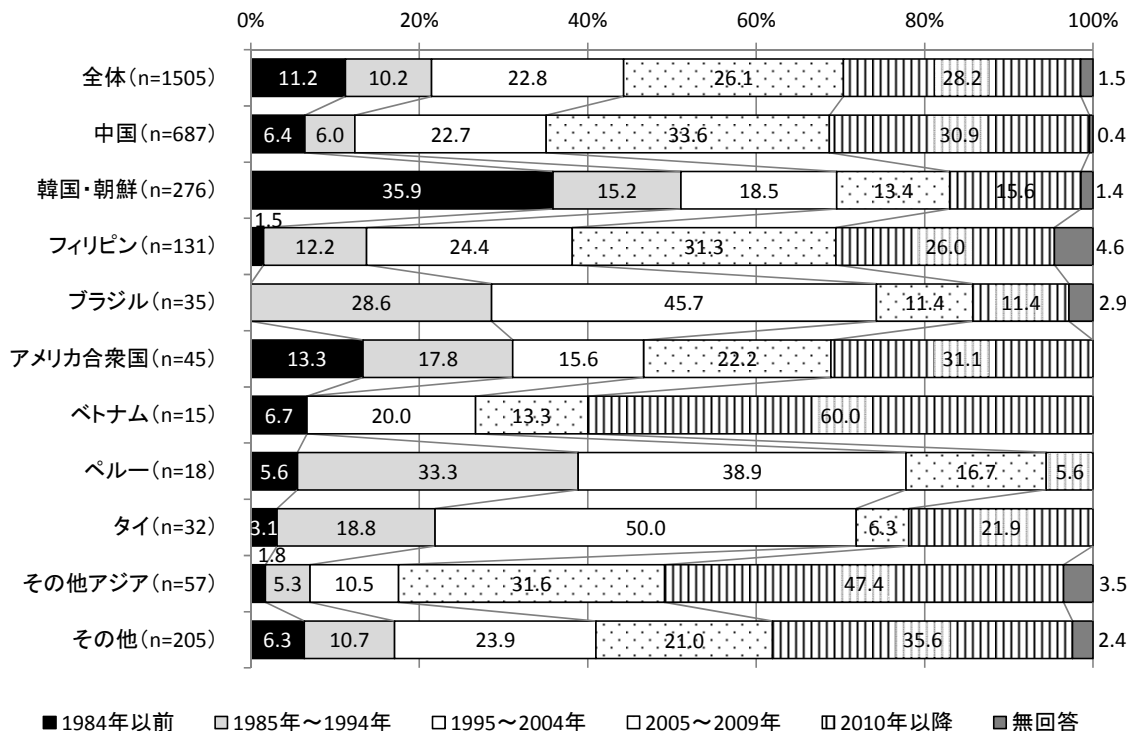


横浜市での居住開始時期（F7）

- ・「2010年以降」が最も多く28.2%で、全体の3割弱となっている。次いで「2005～2009年」が26.1%、「1995～2004年」が22.8%で、1995年以降の滞在が全体の4分の3強となっている。
- ・国籍別にみると、韓国・朝鮮では「1984年以前」が最も多い。ブラジル、ペルー、タイでは「1995～2004年」、中国、フィリピンでは「2005～2009年」、アメリカ合衆国、ベトナムでは「2010年以降」が最も多くなっている。

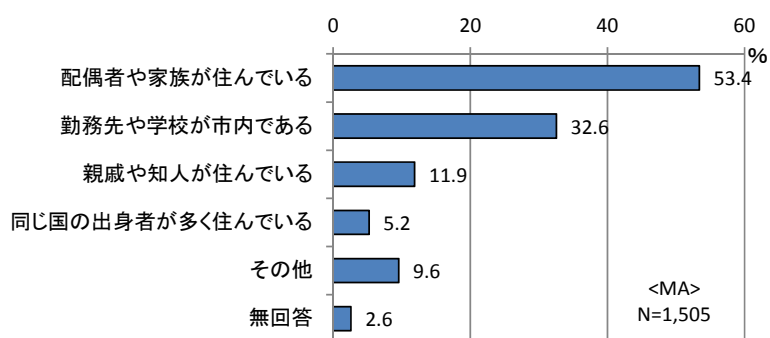


国籍別 横浜市での居住開始時期



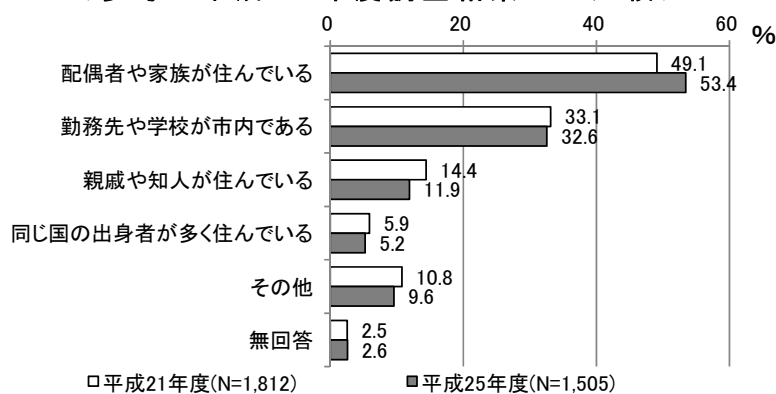
横浜に住む理由（F8）

- ・「配偶者や家族が住んでいる」が 53.4%で最も多く、半数強の人が挙げている。次いで「勤務先や学校が市内である」が 32.6%、「親戚や知人が住んでいる」が 11.9%と続く。
- ・平成 21 年度調査の結果と比較すると、全体の傾向に変化は見られない。前回は最も多かった「配偶者や家族が住んでいる」（49.1%）が、今年度調査で 4.3 ポイント増えている。



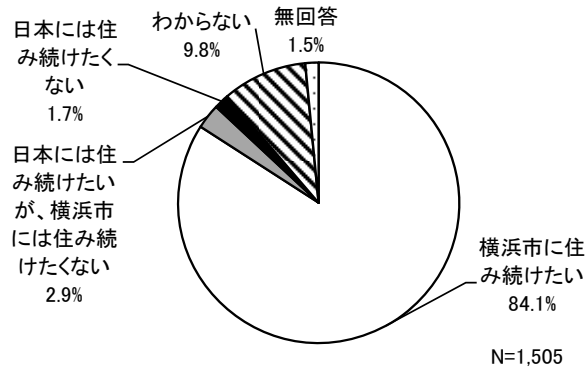
横浜に住む理由--その他	件数
仕事の都合	35
横浜が好き	22
生まれ育ったところ	21
環境がよい	19
住宅の都合	15
交通が便利	11
その他	8
学校の都合	6

<参考 平成 21 年度調査結果との比較>

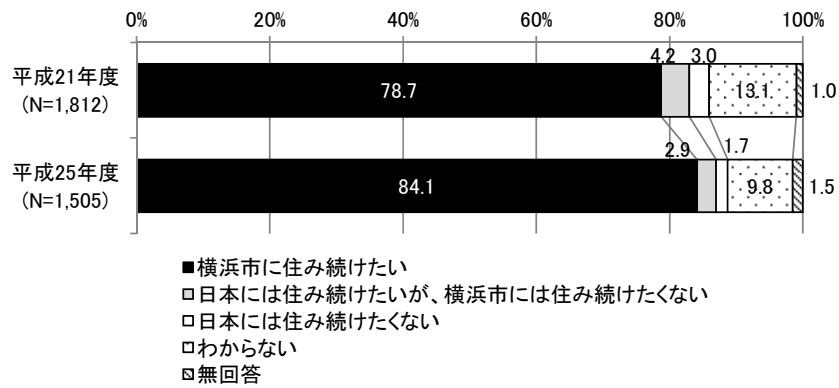


日本または横浜市への定住希望（F9）

- ・「横浜市に住み続けたい」が84.1%で多数を占める。
- ・平成21年度調査の結果と比較すると、「横浜市に住み続けたい」が78.7%となっており多数を占める傾向に変化は見られないが、今回調査ではこれより5.4ポイント増加し、定住希望が一層顕著になっている。

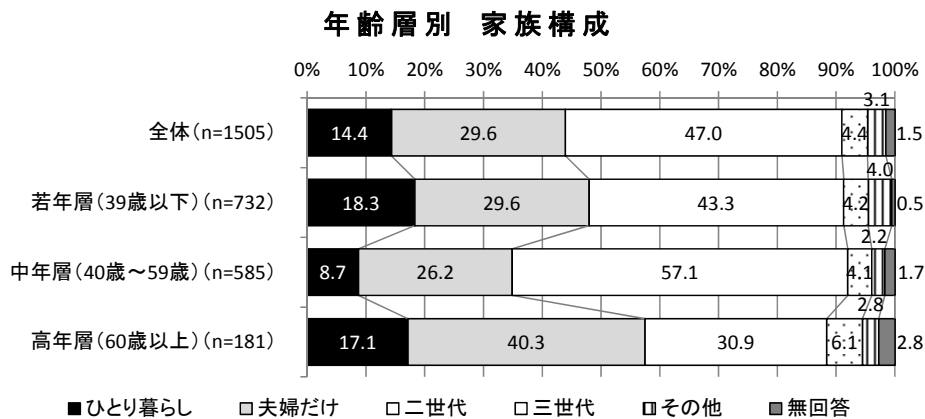
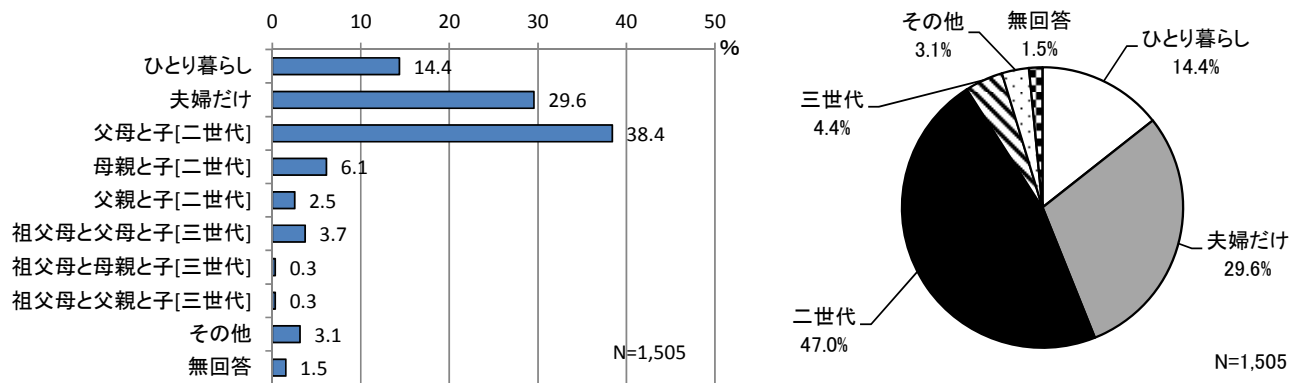


<参考 平成21年度調査結果との比較>



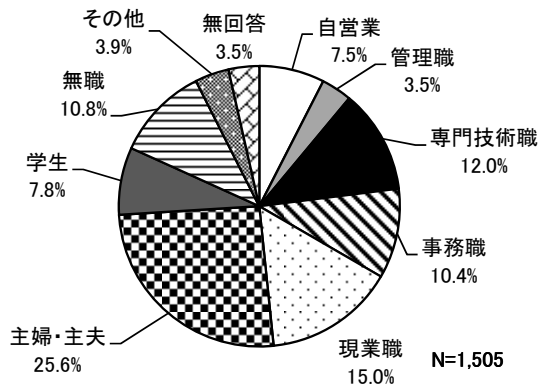
家族構成（F10）

- ・「父母と子[二世代]」が38.4%で最も多く、全体の4割弱を占める。次いで「夫婦だけ」（29.6%）、「ひとり暮らし」（14.4%）と続く。
- ・「父母と子[二世代]」「母親と子[二世代]」「父親と子[二世代]」を合わせると、「二世代」が47.0%と、全体の半数弱となっている。
- ・年齢層別にみると、若年層（39歳以下）、中年層（40歳～59歳）では「二世代」、高年層（60歳以上）では「夫婦だけ」が最も多くなっている。



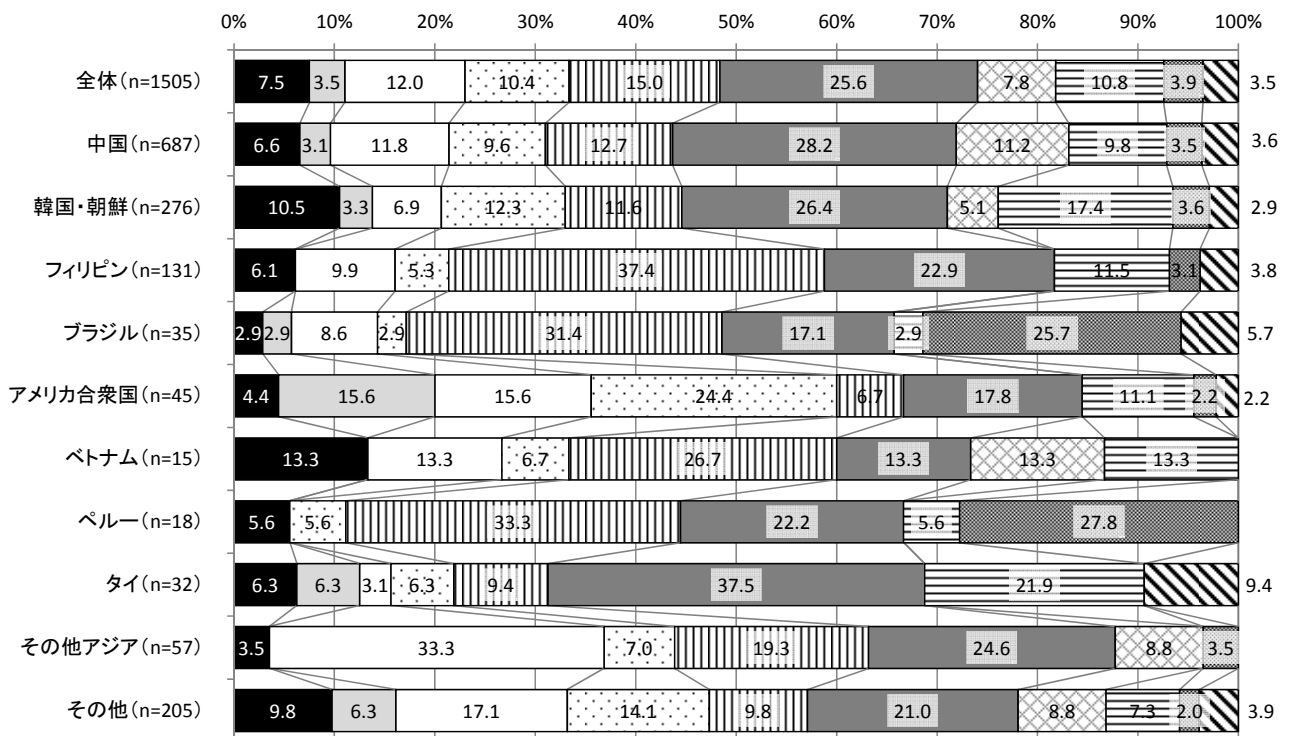
職業 (F11)

- ・「主婦・主夫」が25.6%で最も多く、全体の4分の1となっている。次いで「現業職」が15.0%、以下「専門技術職」(12.0%)、「無職」(10.8%)、「事務職」(10.4%)などとなっている。
- ・国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、タイでは「主婦・主夫」、フィリピン、ブラジル、ベトナム、ペルーでは「現業職」、アメリカ合衆国では「事務職」が最も多くなっている。



自営業(農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)
 管理職(会社の部長級以上など)
 専門技術職(勤務医師、研究所研究員、技師など)
 事務職(事務職、営業職、教員など)
 現業職(生産工程、販売・サービス業、運転手、保安職などの従事者)
 主婦・主夫
 学生
 無職
 その他

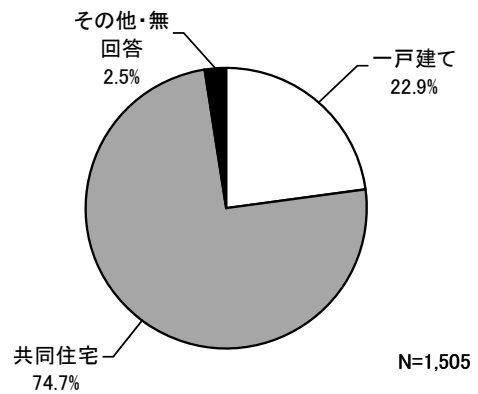
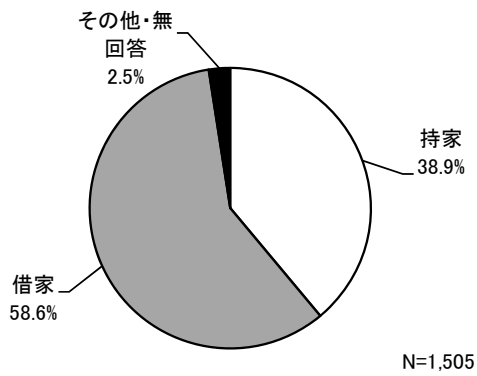
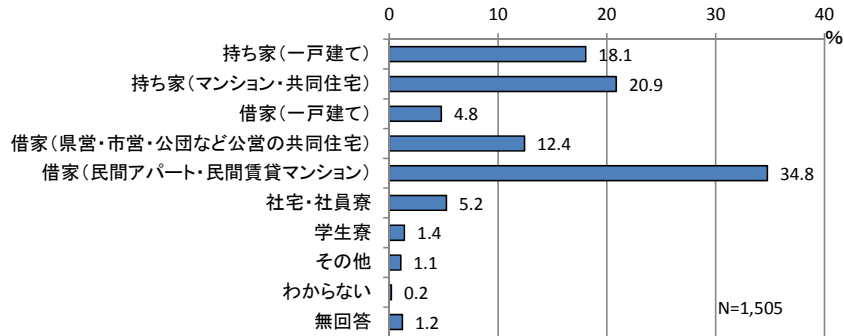
国籍別 職業



■ 自営業(農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)
 □ 管理職(会社の部長級以上など)
 □ 専門技術職(勤務医師、研究所研究員、技師など)
 □ 事務職(事務職、営業職、教員など)
 □ 現業職(生産工程、販売・サービス業、運転手、保安職などの従事者)
 ■ 主婦・主夫
 □ 学生
 □ 無職
 ■ その他
 ■ 無回答

居住形態（F12）

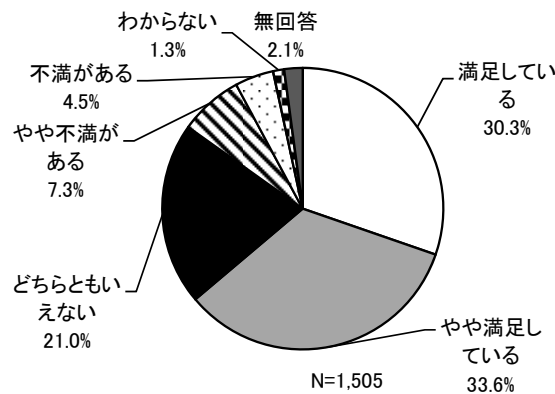
- ・「借家（民間アパート・民間賃貸マンション）」が 34.8% で最も多く、全体の約 3 分の 1 となっている。次いで「持ち家（マンション・共同住宅）」が 20.9%、持ち家（一戸建て）」が 18.1% などと続く。
- ・持家・借家の別を見ると、借家が 58.6% と全体の 6 割弱で、持家（38.9%）を大きく上回っている。
- ・一戸建て・共同住宅の別をみると、共同住宅が 74.7% で全体の 4 分の 3 近くを占める。一戸建ては 22.9% で 2 割強である。



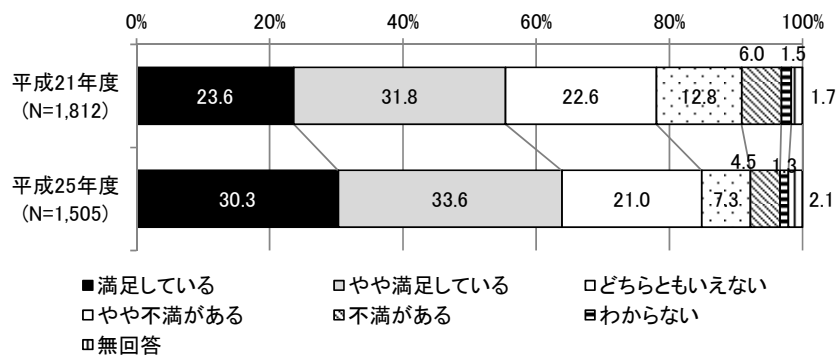
2. 生活の満足度や困っていることについて

問 13 あなたは現在の暮らしに満足していますか。(〇は1つだけ)

- ・「やや満足している」が 33.6%で最も多く、これに「満足している」が 30.3%で続く。これらを合わせると 63.9%と 6割強が現在の暮らしに満足であるとしている。一方「やや不満がある」(7.3%)、「不満がある」(4.5%)を合わせると 11.8%で、1割強が不満を感じるとしている。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「満足している」が 23.6%から 6.7ポイント、「やや満足している」が 31.8%から 1.8ポイント増加している。「満足している」「やや満足している」を合わせると 8ポイント以上の増加となっている。



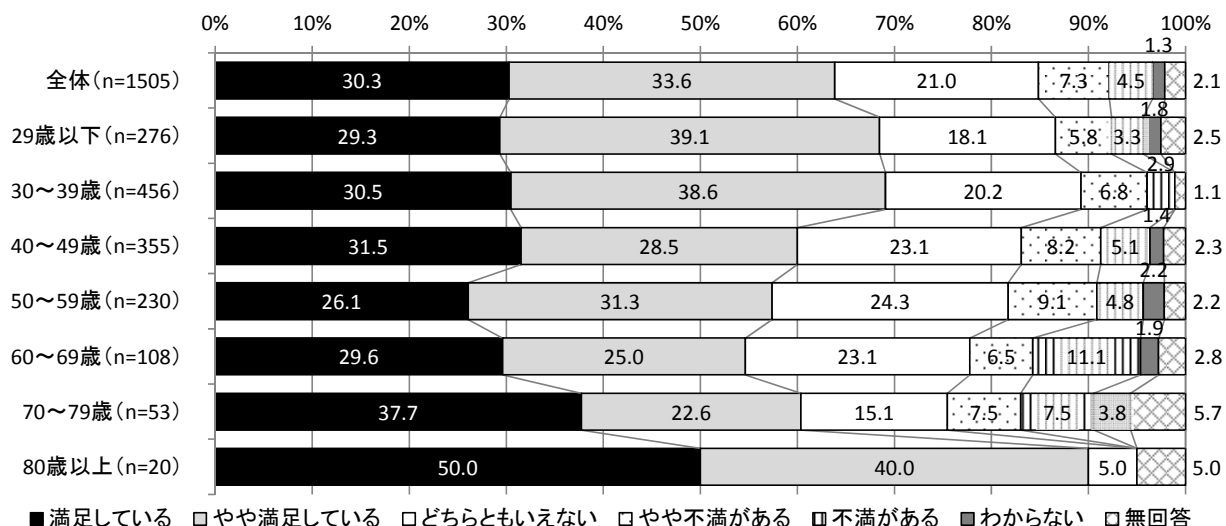
<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 現在の暮らしへの満足度

- ・年齢別では、29歳以下、30歳代、50歳代では「やや満足している」、40歳代と60歳代より上の世代では「満足している」が最も多くなっている。「満足している」の割合は高齢者層で高く、中年層で低い傾向にある。

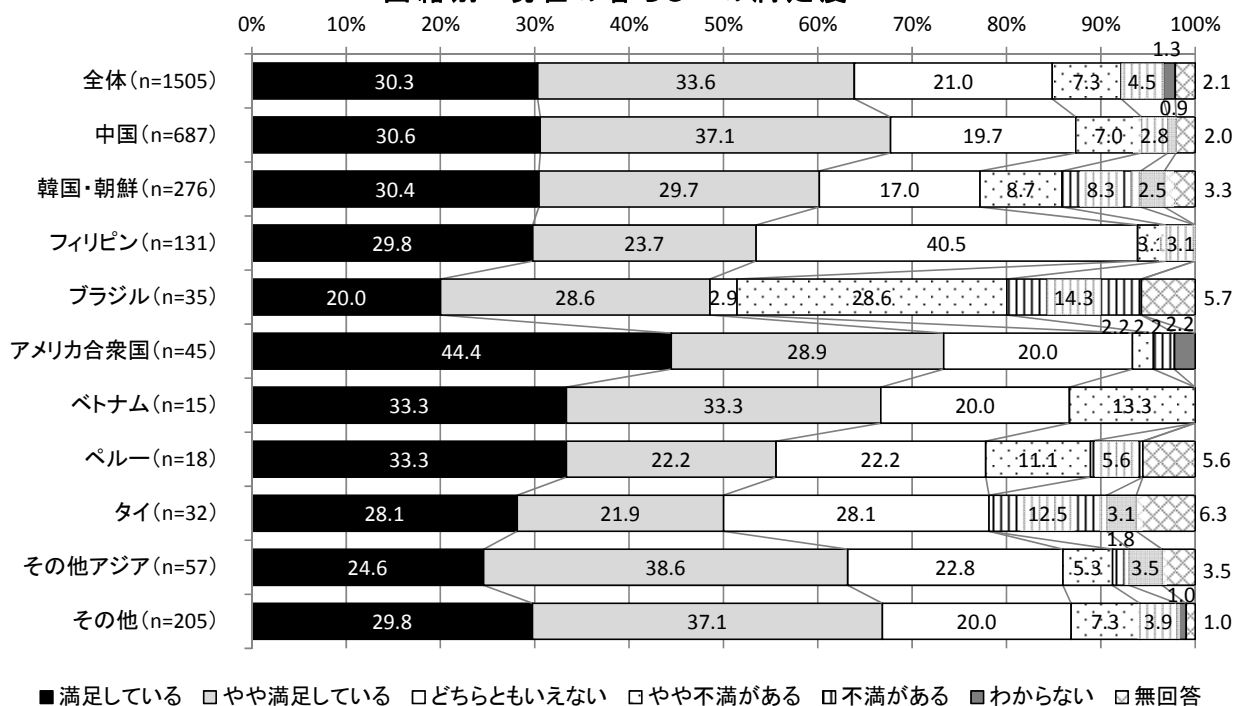
年齢別 現在の暮らしへの満足度



■ 国籍別 現在の暮らしへの満足度

- ・国籍別では、韓国・朝鮮、アメリカ合衆国、ベトナム、ペルーでは「満足している」が最も多く、特にアメリカ合衆国での数値が高い。タイでは「満足している」「どちらともいえない」が同率である。フィリピンでは「どちらともいえない」、ブラジルでは「やや不満がある」、それ以外の国では「やや満足している」が最も多くなっている。また、「やや不満がある」「不満がある」を合わせた数値がブラジルで突出して高い。

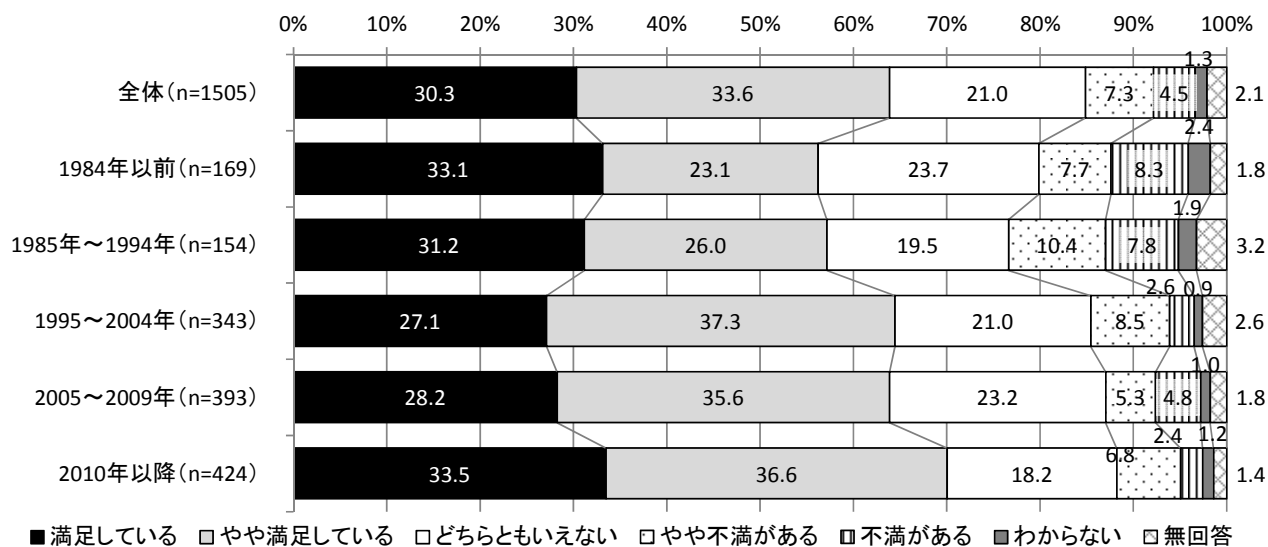
国籍別 現在の暮らしへの満足度



■ 横浜での居住開始時期別 現在の暮らしへの満足度

- ・横浜への居住開始が1984年以前と1985年～1994年では「満足している」、1995年以降では「やや満足している」が最も多くなっている。ただし「満足している」「やや満足している」を合わせた数値は、居住年数が浅い方が高い傾向にある。

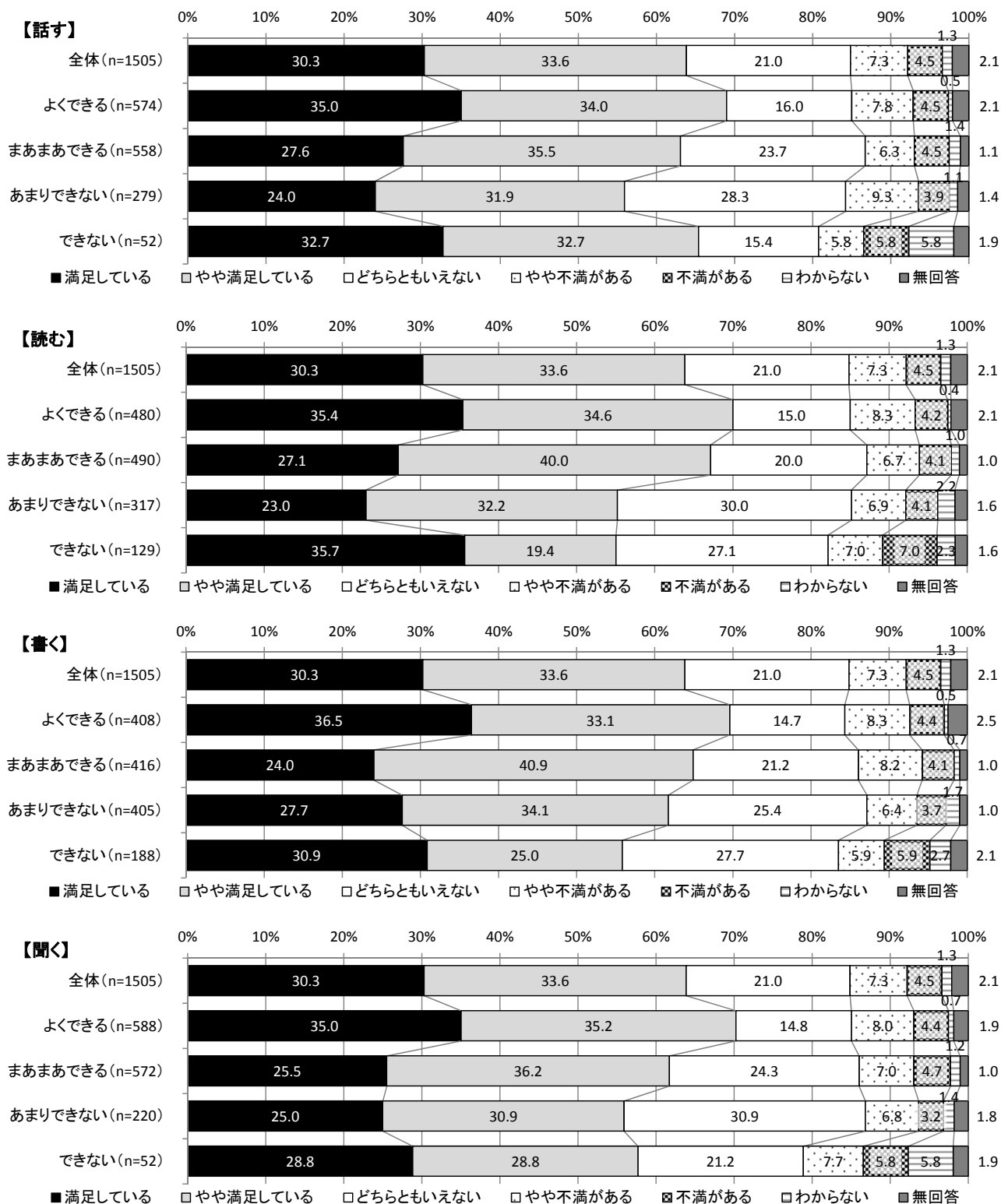
横浜での居住開始時期別 現在の暮らしへの満足度



■ 日本語習熟度別 現在の暮らしへの満足度

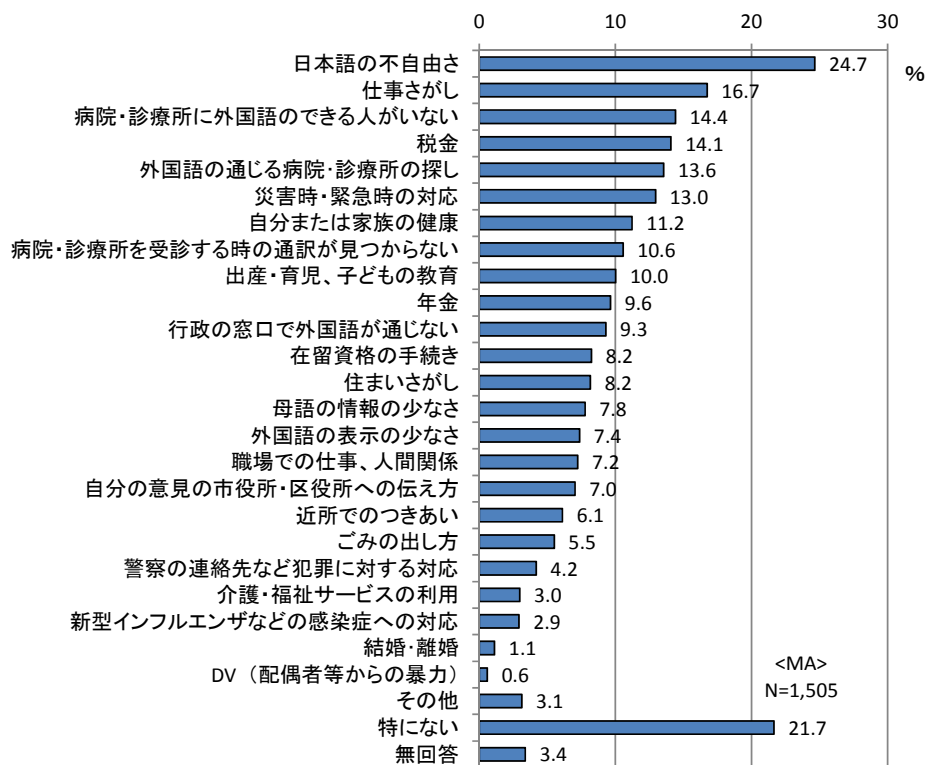
- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれも、「よくできる」人で「満足している」「やや満足している」を合わせた数値が他に比べて高くなっている。また、「話す」「読む」については「できない」人でも「満足している」の数値が高い傾向にある。

日本語習熟度別 現在の暮らしへの満足度



問 14 あなたは横浜での生活で、困っていることや心配なことはありますか。(〇は
いくつでも)

・「日本語の不自由さ」が 24.7% で最も多い。次いで多いのは「特にない」の 21.7%、次に「仕事さがし」が 16.7% となっている。以下「病院・診療所に外国語のできる人がいない」(14.4%)、「税金」(14.1%)、「外国語の通じる病院・診療所の探し」(13.6%)、「災害時・緊急時の対応」(13.0%) などと続く。



■ 年齢別 困っていることや心配なこと

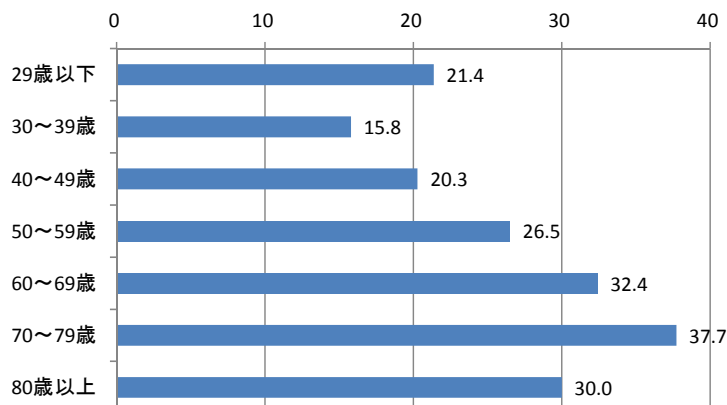
- ・ 40 歳代より下の世代では「日本語の不自由さ」、50 歳代以上の世代では「特にない」が最も多く、30 歳代を中心に若い世代で語学力の不足を挙げており、困っていることや心配なことについて「特にない」とする人は、年齢が高いほど多くなっている。また、60 歳代以上で「自分または家族の健康」の数値が、全体値に比べて高くなっている。

年齢別 困っていることや心配なこと

		問14 困っていることや心配なこと																
合計		日本語の不自由さ	母語の情報の少なさ	外国語の表示の少なさ	住まいさがし	行政の窓口で外国語が通じない	療所の探し	外国語の通じる病院・診療所	できる人がいない	病院・診療所を見つからない	時の通訳が受診する	税金	年金	介護・福祉サービスの利用	出産・育児、子どもの教育	結婚・離婚	役所への意見の伝え方	自分の住居・区
問2 年齢	全体	1505	24.7	7.8	7.4	8.2	9.3	13.6	14.4	10.6	14.1	9.6	3.0	10.0	1.1	7.0		
	29歳以下	276	24.6	8.0	8.7	10.5	8.7	14.1	11.2	8.7	20.3	8.0	1.1	9.1	0.7	9.1		
	30～39歳	456	29.6	7.9	8.1	8.3	10.3	15.1	15.6	10.7	14.9	8.8	3.5	19.3	0.9	8.1		
	40～49歳	355	23.9	8.2	5.6	7.9	8.2	13.5	17.5	13.8	12.7	11.0	1.7	8.7	2.0	6.5		
	50～59歳	230	25.2	9.6	10.4	7.8	12.6	15.7	17.4	11.7	12.6	13.0	3.9	1.7	1.7	5.7		
	60～69歳	108	12.0	4.6	4.6	5.6	4.6	8.3	7.4	6.5	11.1	9.3	4.6	0.9	0.0	3.7		
	70～79歳	53	13.2	1.9	0.0	5.7	5.7	3.8	3.8	1.9	1.9	7.5	5.7	1.9	0.0	3.8		
	80歳以上	20	25.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	5.0		

		問14 困っていることや心配なこと											無回答		
合計		D V (配偶者等からの暴力)	仕事さがし	職場での仕事、人間関係	在留資格の手続き	災害時・緊急時の対応	新型コロナウイルスへの対応	警察の連絡先など犯罪に	近所でのつきあい	自分または家族の健康	ごみの出し方	その他	特にない	無回答	
問2 年齢	全体	1505	0.6	16.7	7.2	8.2	13.0	2.9	4.2	6.1	11.2	5.5	3.1	21.7	3.4
	29歳以下	276	0.4	21.7	12.3	15.9	10.9	2.5	4.0	6.5	8.3	5.1	2.5	21.4	2.2
	30～39歳	456	0.4	18.6	6.1	9.2	16.2	3.9	5.9	7.9	7.5	6.6	4.2	15.8	3.1
	40～49歳	355	0.8	17.2	7.3	5.4	13.8	1.4	3.7	4.2	11.8	6.5	2.3	20.3	3.1
	50～59歳	230	0.9	16.5	6.1	7.4	13.5	3.5	3.5	5.7	13.0	4.3	3.9	26.5	2.6
	60～69歳	108	0.9	6.5	5.6	1.9	8.3	2.8	2.8	5.6	21.3	4.6	3.7	32.4	5.6
	70～79歳	53	0.0	1.9	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	5.7	22.6	1.9	0.0	37.7	7.5
	80歳以上	20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	25.0	0.0	0.0	30.0	10.0

問2 年齢別
問14 困っていることや心配なこと「特にない」



■ 国籍別 困っていることや心配なこと

- ・国籍別に「困っていること」の第一位をみると、多くの国で「日本語の不自由さ」があがっているのに対して、韓国・朝鮮では「特にない」が第一位であり、ベトナムでは「病院・診療所を受診するときの通訳が見つからない」が、ブラジルやペルーでは「外国語の通じる病院・診療所の探し」が第一位となっている。

国籍別 困っていることや心配なこと

		問14 困っていることや心配なこと																		
		合計	日本語の不自由さ	母語の情報の少なさ	外国語の表示の少なさ	住まいがし	じない	行政の窓口で外国語が通	療所の探し	外国語の通じる病院・診	できる人がいない	病院・診療所に見つからない	時の通訳が見つからない	病院・診療所を受診する	税金	年金	用介護・福祉サービスの利	育産・育児、子どもの教	結婚・離婚	役所への意見の市役所・区
問4 国籍（統 合）	全体	1505	24.7	7.8	7.4	8.2	9.3	13.6	14.4	10.6	14.1	9.6	3.0	10.0	1.1	7.0				
	中国	687	30.9	4.9	2.9	5.7	7.1	10.2	12.5	11.5	14.7	9.9	2.5	11.8	0.4	6.8				
	韓国・朝鮮	276	3.3	4.0	0.4	8.7	4.0	4.3	3.6	2.5	11.6	10.1	2.9	7.2	0.7	3.6				
	フィリピン	131	29.8	10.7	19.1	11.5	16.0	19.8	27.5	21.4	15.3	5.3	4.6	3.8	0.8	12.2				
	ブラジル	35	11.4	14.3	5.7	14.3	17.1	25.7	20.0	11.4	22.9	17.1	5.7	8.6	0.0	0.0				
	アメリカ合衆国	45	44.4	8.9	8.9	6.7	11.1	15.6	17.8	8.9	8.9	6.7	4.4	8.9	4.4	6.7				
	ベトナム	15	6.7	20.0	20.0	13.3	13.3	6.7	13.3	26.7	26.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0				
	ペルー	18	5.6	33.3	5.6	0.0	11.1	33.3	11.1	11.1	27.8	22.2	5.6	0.0	0.0	5.6				
	タイ	32	34.4	34.4	18.8	6.3	15.6	18.8	18.8	9.4	12.5	3.1	3.1	3.1	0.0	9.4				
	その他アジア	57	42.1	12.3	31.6	12.3	15.8	38.6	28.1	7.0	15.8	10.5	0.0	19.3	1.8	12.3				
	その他	205	24.4	10.7	15.1	12.2	14.6	22.0	21.5	11.7	12.2	9.8	3.9	11.7	3.4	9.3				
		合計	D V（配偶者等からの暴	仕事さがし	職場での仕事、人間関係	在留資格の手続き	災害時・緊急時の対応	の新型インフルエンザなどの	警察の連絡先など犯罪に	近所でのつきあい	自分または家族の健康	ごみの出し方	その他	特にない	無回答					
問4 国籍（統 合）	全体	1505	0.6	16.7	7.2	8.2	13.0	2.9	4.2	6.1	11.2	5.5	3.1	21.7	3.4					
	中国	687	0.3	17.0	6.1	11.1	13.2	2.0	4.4	6.0	11.5	4.2	2.9	18.8	3.3					
	韓国・朝鮮	276	0.4	10.9	5.8	4.7	9.1	3.6	3.3	6.2	13.8	6.2	4.0	34.1	6.5					
	フィリピン	131	1.5	16.8	8.4	5.3	13.0	3.1	3.8	6.9	9.2	4.6	1.5	20.6	2.3					
	ブラジル	35	0.0	20.0	5.7	2.9	20.0	8.6	11.4	0.0	11.4	8.6	2.9	22.9	0.0					
	アメリカ合衆国	45	0.0	11.1	6.7	0.0	13.3	2.2	4.4	4.4	15.6	8.9	2.2	22.2	0.0					
	ベトナム	15	0.0	20.0	13.3	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7					
	ペルー	18	0.0	11.1	5.6	11.1	22.2	5.6	5.6	16.7	22.2	5.6	0.0	5.6	0.0					
	タイ	32	0.0	28.1	12.5	12.5	12.5	6.3	3.1	6.3	15.6	9.4	3.1	12.5	6.3					
	その他アジア	57	1.8	22.8	12.3	3.5	12.3	3.5	7.0	7.0	7.0	1.8	0.0	15.8	3.5					
	その他	205	1.5	21.5	10.2	7.8	16.1	2.9	2.9	6.8	7.8	9.3	5.4	20.5	1.0					

■ 横浜での居住開始時期別 困っていることや心配なこと

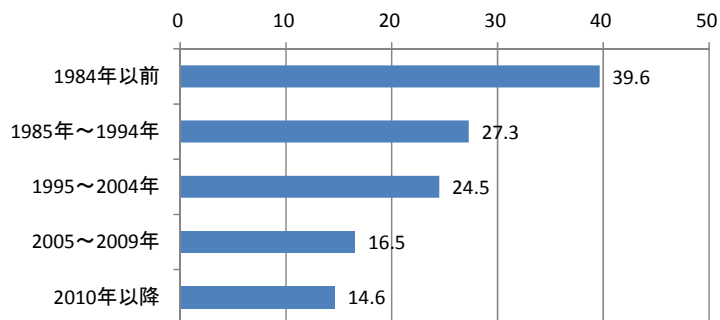
- ・横浜での居住開始時期が1995～2004年より以前では「特にない」、2005年以降では「日本語の不自由さ」が最も多い。困っていることや心配なことについて「特にない」とする人は、住み始めた時期が古いほど多く、居住年数が浅いほど「日本語の不自由さ」の数値が高い。

横浜での居住開始時期別 困っていることや心配なこと

	合計	問14 困っていることや心配なこと														
		日本語の不自由さ	母語の情報の少なさ	外国語の表示の少なさ	住まいさがし	じない窓口で外国語が通	療所の探し	外国語の通じる病院・診	できる人がいない	病院・診療所に見つからない	時の通訳	税金	年金	介護・福祉サービスの利	育 出産・育児、子どもの教	結婚・離婚
全体	1505	24.7	7.8	7.4	8.2	9.3	13.6	14.4	10.6	14.1	9.6	3.0	10.0	1.1	7.0	
問7 横浜市在住開始年(総合)	1984年以前	169	3.6	1.2	3.6	4.1	1.8	0.6	1.8	0.0	10.7	10.7	5.3	3.0	1.2	1.8
	1985年～1994年	154	16.2	8.4	8.4	7.8	9.7	13.0	14.3	10.4	16.2	12.3	6.5	3.9	3.9	7.1
	1995～2004年	343	16.0	8.7	5.8	5.8	7.9	10.2	11.7	9.0	11.4	10.5	2.0	8.7	0.9	3.2
	2005～2009年	393	31.6	7.4	4.1	9.9	10.2	14.2	17.6	13.2	15.8	9.7	3.1	14.5	0.5	9.4
	2010年以降	424	37.3	9.4	12.3	9.9	12.5	20.8	18.6	13.4	15.3	7.1	1.2	12.0	0.9	9.4

	合計	問14 困っていることや心配なこと													
		力)DV(配偶者等からの暴	仕事さがし	職場での仕事、人間関係	在留資格の手続き	災害時・緊急時の対応	の感染インフルエンザなど	対する対応	警察の連絡先など犯罪に	近所でのつきあい	自分または家族の健康	ごみの出し方	その他	特にない	無回答
全体	1505	0.6	16.7	7.2	8.2	13.0	2.9	4.2	6.1	11.2	5.5	3.1	21.7	3.4	
問7 横浜市在住開始年(総合)	1984年以前	169	0.0	8.3	3.6	1.8	5.3	2.4	1.8	5.3	18.3	4.1	2.4	39.6	5.9
	1985年～1994年	154	2.6	10.4	9.1	6.5	16.9	3.2	2.6	7.1	15.6	3.2	4.5	27.3	3.2
	1995～2004年	343	0.3	15.7	5.8	4.7	11.1	1.7	2.9	3.8	9.6	5.5	2.3	24.5	4.1
	2005～2009年	393	0.3	19.8	8.4	12.0	14.2	2.8	6.4	7.1	9.9	4.6	2.5	16.5	3.1
	2010年以降	424	0.5	20.0	7.8	11.3	15.3	4.0	4.7	7.3	9.0	8.0	4.2	14.6	1.9

問6 横浜での居住期間別
問14 困っていることや心配なこと「特にない」



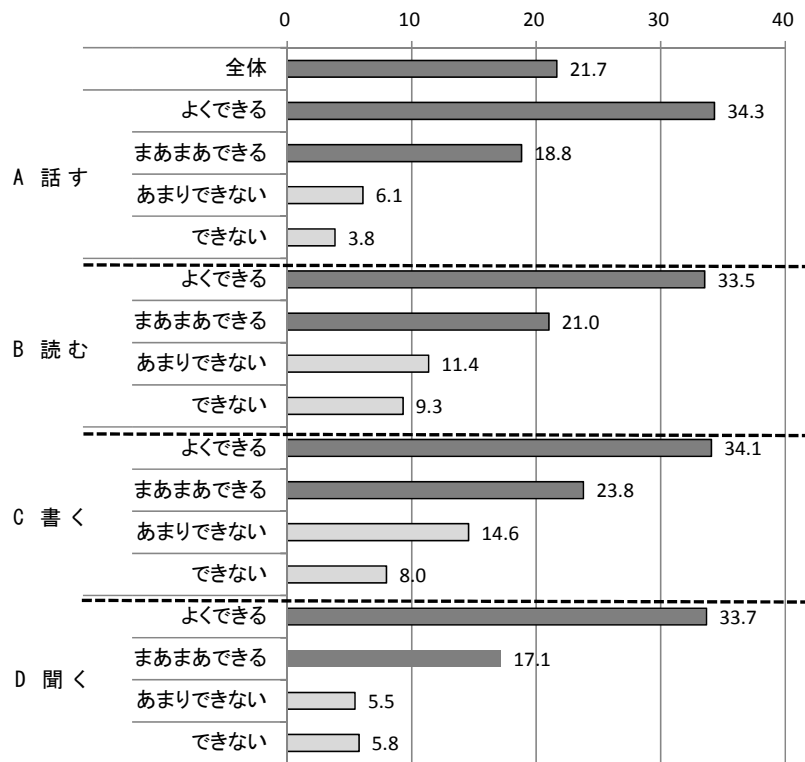
■ 日本語習熟度別 困っていることや心配なこと

- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれも、「日本語の不自由さ」「行政の窓口で外国語が通じない」「外国語の通じる病院・診療所探し」「病院・診療所に外国語のできる人がいない」「病院・診療所を受診する時の通訳が見つからない」で、できる人とできない人に大きな差がみられた。これ以外にも、話すことが「できない」では「自分の意見の市役所・区役所への伝え方」、「読む」「書く」が「できない」では「外国語の表示の少なさ」の数値が、全体値に比べて高くなっている。
- ・「特にない」の数値は、語学（「話す」「読む」「書く」「聞く」）が「よくできる」人ほど高くなっている。

日本語習熟度別 困っていることや心配なこと(抜粋)

		合計	問14 困っていることや心配なこと										
			日本語の不自由さ	母語の情報の少なさ	外国語の表示の少なさ	住まいさがし	行政の窓口で外国語が通じない	療所の探し	外国語の通じる病院・診療所	病院長・診療所に見つからない	時の通訳が通じない	病院・診療所を受診する	役所への伝え方
全体		1505	24.7	7.8	7.4	8.2	9.3	13.6	14.4	10.6	7.0	21.7	3.4
A 話す	よくできる	574	2.3	3.5	2.8	7.0	2.1	3.0	3.3	1.2	3.8	34.3	3.7
	まあまあできる	558	18.6	8.8	7.5	9.5	10.2	15.2	15.8	11.6	7.2	18.8	2.9
	あまりできない	279	70.3	14.7	16.1	9.3	19.7	29.0	30.1	23.7	12.5	6.1	1.1
	できない	52	80.8	11.5	15.4	5.8	28.8	32.7	36.5	32.7	17.3	3.8	1.9
B 読む	よくできる	480	1.9	2.3	0.6	5.6	1.3	2.5	2.5	1.3	2.7	33.5	4.0
	まあまあできる	490	19.0	8.0	5.9	9.0	7.3	10.8	12.4	9.8	8.0	21.0	2.4
	あまりできない	317	49.2	13.2	15.8	11.4	19.6	28.1	27.4	20.5	12.9	11.4	1.3
	できない	129	61.2	17.1	20.9	9.3	24.8	33.3	32.6	23.3	8.5	9.3	1.6
C 書く	よくできる	408	0.5	2.2	0.7	4.7	0.7	2.2	2.9	1.2	2.9	34.1	4.4
	まあまあできる	416	15.9	6.0	5.3	10.6	6.3	10.6	8.9	8.7	6.5	23.8	2.9
	あまりできない	405	39.3	13.3	11.4	9.1	13.8	21.2	22.5	16.8	10.6	14.6	1.2
	できない	188	58.5	14.4	20.2	10.6	27.1	30.3	31.9	20.7	11.7	8.0	1.1
D 聞く	よくできる	588	2.2	3.2	2.9	6.8	2.0	3.4	4.3	1.7	3.6	33.7	3.2
	まあまあできる	572	22.9	9.8	8.2	10.1	11.4	17.0	17.1	12.2	8.9	17.1	2.8
	あまりできない	220	74.5	15.0	16.8	8.6	19.5	30.5	29.5	25.0	10.9	5.5	0.5
	できない	52	73.1	13.5	17.3	5.8	30.8	28.8	32.7	32.7	15.4	5.8	1.9

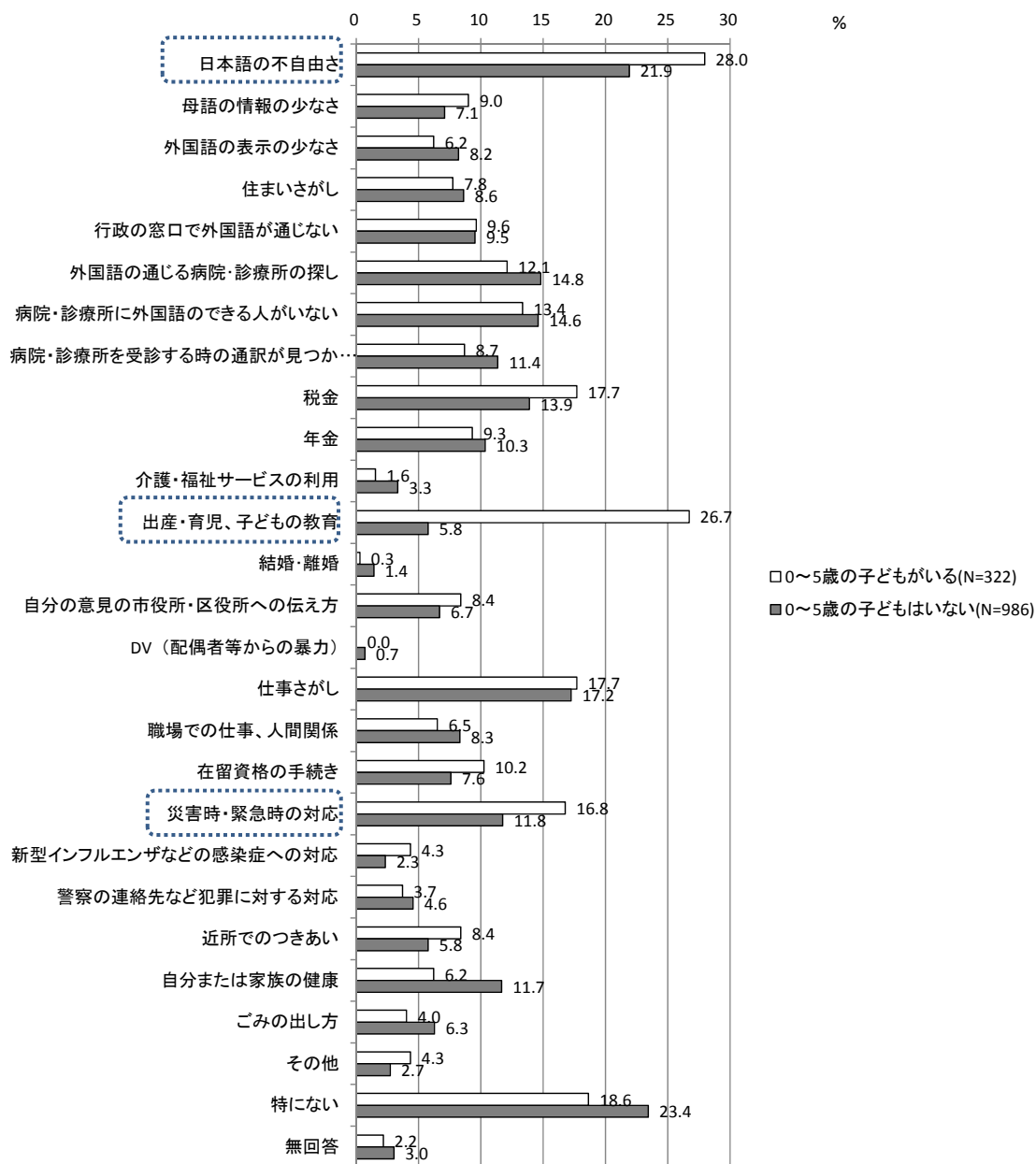
問18 日本語習熟度別
問14 困っていることや心配なこと「特にない」



■ 子どもの有無(問31)別 困っていることや心配なこと

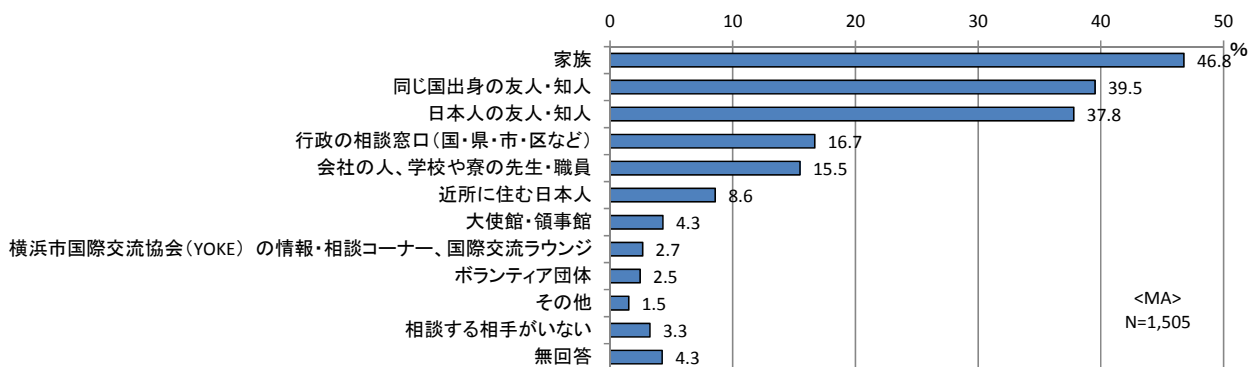
- ・ 0-5歳の子どもがいる世帯といない世帯とで比較すると、0-5歳の子どもがいる世帯では、いない世帯に比べて、「日本語の不自由さ」「出産・育児・子どもの教育」「災害時、緊急時の対応」を上げる割合がとくに高い。

子どもの有無(問31)別 困っていることや心配なこと

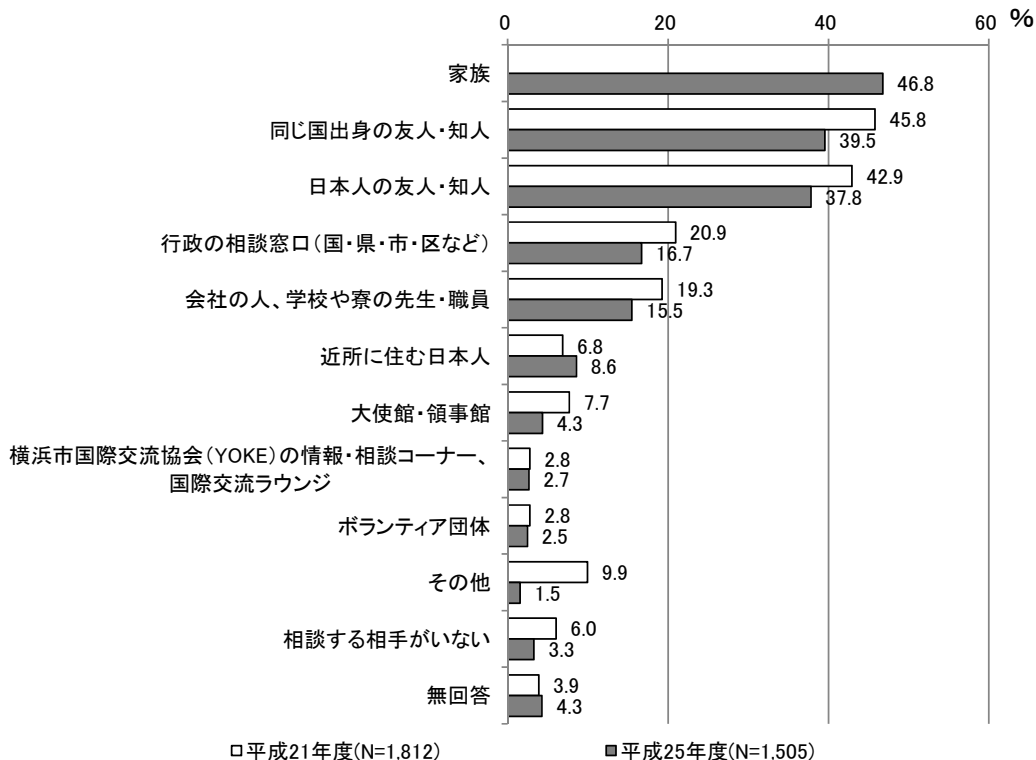


問 15 あなたは横浜での生活で、困っていることや心配なことがあったときはどこに相談しますか。(〇はいくつでも)

- ・「家族」が最も多く 46.8%で、半数近くの人が挙げている。次いで「同じ国出身の友人・知人」(39.5%)、「日本人の友人・知人」(37.%)が続き、この3つに回答が集中している。以下「行政の相談窓口(国・県・市・区など)」(16.7%)、「会社の人、学校や寮の先生・職員」(15.5%)などとなっている。
- ・平成 21 年度調査では、今回最も多かった「家族」が選択肢になかったが、次いで多かった「同じ国出身の友人・知人」が最も多く 45.8%、これに「日本人の友人・知人」が 42.9%で続いており、ともに 4 割超となっている。



<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



注) 21 年度調査では「家族」の選択肢がない

■ 年齢別 相談相手

- ・29歳以下では「同じ国出身の友人・知人」、30歳代以上の世代では「家族」が最も多くなっており、若い人ほど「同じ国出身の友人・知人」を上げる割合が多く、年齢が高くなるほど「家族」を挙げる割合が高くなっている。また、29歳以下で「会社の人、学校や寮の先生・職員」、60歳代と70歳代で「行政の相談窓口（国・県・市・区など）」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

年齢別 相談相手

		合計	問15 相談する人や場所											
			県・市・区など	行政の相談窓口（国・市・区など）	ナリ、国際交流ラウンジ（YOKO）の情報・相談コーナー	横浜市国際交流協会（YOKO）の職員	会社の人、学校や寮の先生・職員	近所に住む日本人	日本人の友人・知人	同じ国出身の友人・知人	ボランティア団体	大使館・領事館	家族	その他
全体		1505	16.7	2.7	15.5	8.6	37.8	39.5	2.5	4.3	46.8	1.5	3.3	4.3
問2 年齢	29歳以下	276	10.1	1.8	25.7	2.9	42.8	50.0	1.4	4.3	40.2	1.1	2.5	3.3
	30～39歳	456	15.1	3.3	19.3	8.3	43.6	45.8	2.4	3.9	46.7	2.2	2.6	2.6
	40～49歳	355	14.1	4.2	12.4	12.1	38.0	38.0	3.1	3.9	50.7	0.6	3.7	4.8
	50～59歳	230	21.7	1.3	10.4	11.7	35.7	33.5	3.5	7.4	47.8	1.3	4.3	3.9
	60～69歳	108	30.6	1.9	4.6	6.5	16.7	20.4	0.9	0.0	41.7	3.7	5.6	7.4
	70～79歳	53	32.1	0.0	1.9	3.8	22.6	18.9	3.8	3.8	60.4	0.0	1.9	9.4
	80歳以上	20	20.0	0.0	0.0	15.0	25.0	5.0	0.0	5.0	55.0	5.0	0.0	15.0

■ 横浜での居住開始時期別 相談相手

- ・1995年～2004年より以前に横浜居住を開始した場合では「家族」、2005年以降では「同じ国出身の友人・知人」が最も多くなっている。また、居住開始時期が古いほど「行政の相談窓口（国・県・市・区など）」の数値が高く、居住開始時期が1984年以前では市全体の数値を大きく上回っている。一方「会社の人、学校や寮の先生・職員」では居住時期が新しいほど数値が高い傾向にある。

横浜での居住開始時期別 相談相手

		合計	問15 相談する人や場所											
			県・市・区など	行政の相談窓口（国・市・区など）	ナリ、国際交流ラウンジ（YOKO）の情報・相談コーナー	横浜市国際交流協会（YOKO）の職員	会社の人、学校や寮の先生・職員	近所に住む日本人	日本人の友人・知人	同じ国出身の友人・知人	ボランティア団体	大使館・領事館	家族	その他
全体		1505	16.7	2.7	15.5	8.6	37.8	39.5	2.5	4.3	46.8	1.5	3.3	4.3
問7 横浜市在住開始年（統合）	1984年以前	169	28.4	1.2	7.1	6.5	27.2	15.4	0.6	4.1	53.3	3.0	3.0	10.1
	1985年～1994年	154	21.4	1.9	9.7	14.3	34.4	31.8	1.9	7.8	53.2	0.0	7.8	3.2
	1995～2004年	343	19.5	3.8	10.2	11.7	37.6	36.2	3.5	3.5	51.9	1.2	2.3	3.8
	2005～2009年	393	12.7	3.1	16.5	6.1	41.0	47.1	2.8	4.3	44.8	1.5	3.3	3.1
	2010年以降	424	11.3	2.1	24.3	6.6	40.6	49.1	2.1	3.5	39.6	1.7	2.6	3.1

■ 日本語の習熟度別 相談相手

- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれにおいても、「よくできる」人では「家族」が最も多く、「あまりできない」「できない」人では「同じ国出身の友人・知人」を上げる割合が高い。

		合計	問15 相談する人や場所											
			行政の相談窓口（国・市・区など）	ナナイ、国際交流ラウンジ（YOKO）の情報・相談コーナー	横浜市国際交流協会	先生・職員	会社の人、学校や寮の	近所に住む日本人	日本人の友人・知人	同じ国出身の友人・知人	ボランティア団体	大使館・領事館	家族	その他
	全体	1505	16.7	2.7	15.5	8.6	37.8	39.5	2.5	4.3	46.8	1.5	3.3	4.3
A 話す	よくできる	574	22.0	2.6	16.6	9.1	38.9	26.8	1.9	3.7	55.1	2.1	3.3	4.2
	まあまあできる	558	15.2	1.4	13.6	9.7	41.4	47.0	2.3	5.2	45.7	0.5	2.5	3.2
	あまりできない	279	9.7	5.4	17.6	6.8	34.1	51.6	4.3	4.7	39.4	2.2	3.2	2.5
	できない	52	9.6	3.8	21.2	5.8	30.8	53.8	1.9	3.8	25.0	1.9	5.8	3.8
B 読む	よくできる	480	21.5	2.1	17.5	6.7	39.6	26.5	1.3	3.3	54.4	2.1	2.5	4.8
	まあまあできる	490	16.9	2.7	16.1	9.8	42.4	47.1	2.4	3.9	44.9	0.8	2.7	1.8
	あまりできない	317	10.7	3.5	13.9	8.5	34.4	49.2	3.8	5.7	47.0	1.9	4.1	2.2
	できない	129	14.0	3.9	16.3	10.1	35.7	47.3	5.4	8.5	37.2	1.6	3.9	4.7
C 書く	よくできる	408	22.3	1.7	18.1	5.9	38.7	26.0	1.2	3.7	55.1	2.0	2.0	5.4
	まあまあできる	416	19.0	3.1	15.4	8.9	44.2	43.8	2.4	4.6	45.0	1.2	2.6	2.4
	あまりできない	405	10.1	3.5	14.8	9.9	36.5	49.6	3.0	4.0	47.9	1.5	3.2	1.2
	できない	188	14.9	3.2	16.0	10.1	33.5	45.7	5.3	7.4	37.8	2.1	4.8	4.3
D 聞く	よくできる	588	20.4	2.0	16.7	8.3	39.5	28.4	1.7	3.6	55.3	2.0	2.7	3.9
	まあまあできる	572	16.8	2.4	14.0	10.3	41.1	47.7	2.8	5.4	45.5	0.9	3.0	2.4
	あまりできない	220	8.6	5.5	18.2	5.5	34.5	52.3	4.1	5.0	39.1	1.8	1.8	2.7
	できない	52	9.6	3.8	19.2	7.7	28.8	50.0	3.8	1.9	25.0	1.9	7.7	3.8

問 16 あなたが頼りにしているボランティア団体か同じ国出身者の団体があれば教えてください。

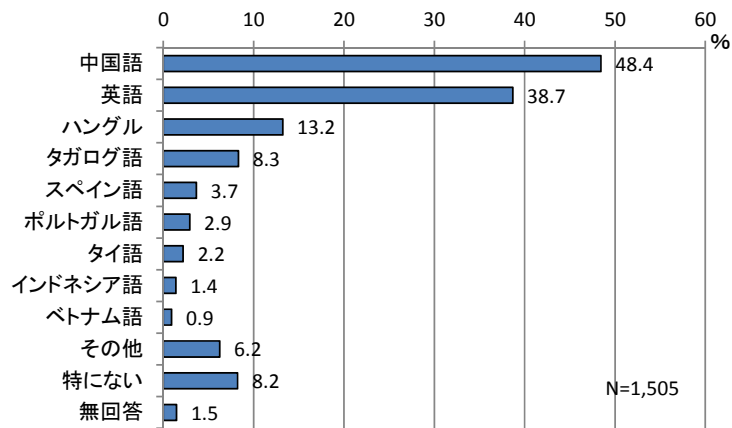
- ・ 国際交流ラウンジ、在日本大韓民国民団、華僑総会、日本語教室などの団体が挙げられている。

複数の回答があった団体	件数
国際交流ラウンジ	13
在日本大韓民国民団	8
華僑総会	6
日本語教室	6
かながわ県民活動サポートセンター	3
NPO 法人在日外国人教育生活相談センター信愛塾	2
日本語ボランティア	2
日本中国友好協会	2

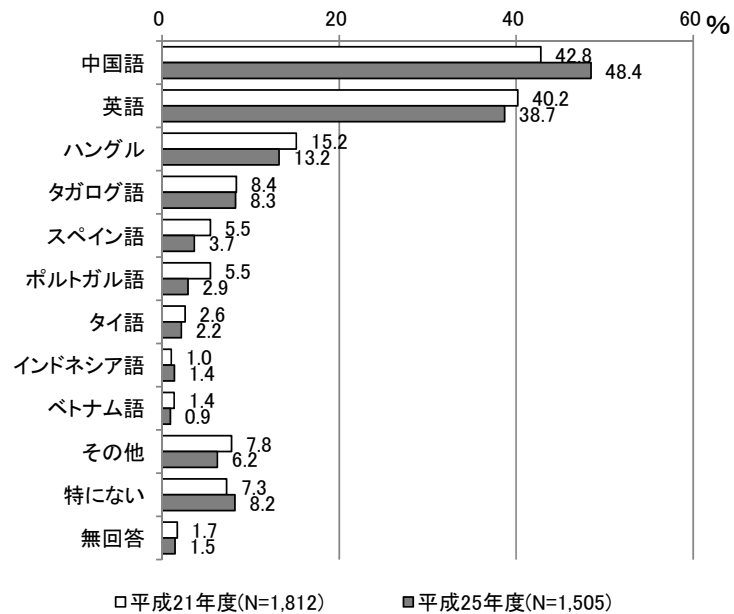
3. ことばについて

問 17 あなたは日本語以外で日常会話のできる言語はありますか。(〇はいくつでも)

- ・「中国語」が最も多く 48.4%で、全体の半数近くが挙げている。次いで「英語」が 38.7%、「ハングル」が 13.2%となっている。
- ・平成 21 年度調査においても「中国語」(42.8%)、「英語」(40.2%)、「ハングル」(15.2%)の順となっており、傾向に変化は見られない。



<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



■ 国籍別 日本語以外で日常会話のできる言語

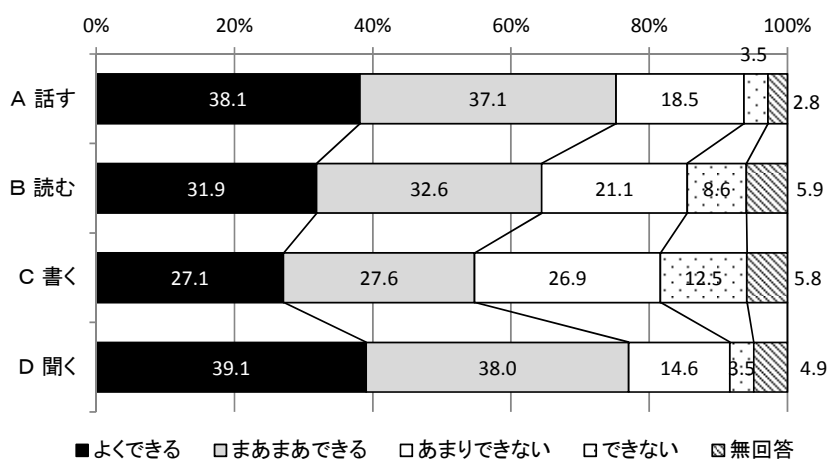
- ・いずれの国籍でも、母国の公用語が圧倒的に高い数値を占めている。それ以外に、フィリピンでは「英語」、ブラジルでは「スペイン語」、ペルーでは「ポルトガル語」の数値が市全体に比べて 10 ポイント以上高いほか、韓国・朝鮮では「特にない」を挙げた人が 3 割以上に達している。

国籍別 日本語以外で日常会話のできる言語

		合計	問17 日本語以外で日常会話のできる言語											
			英語	中国語	ハンダ語	スペイン語	ポルトガル語	タガログ語	ベトナム語	タイ語	インドネシア語	その他	特にない	無回答
問4 国籍(総合)	全体	1505	38.7	48.4	13.2	3.7	2.9	8.3	0.9	2.2	1.4	6.2	8.2	1.5
	中国	687	25.0	96.2	4.5	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	1.2	2.0	1.3
	韓国・朝鮮	276	11.2	0.7	60.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.4	4.3
	フィリピン	131	84.7	0.8	0.0	2.3	0.0	93.9	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
	ブラジル	35	25.7	0.0	0.0	22.9	94.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0
	アメリカ合衆国	45	95.6	6.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0
	ベトナム	15	33.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
	ペルー	18	27.8	0.0	0.0	94.4	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	タイ	32	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3.1	6.3	0.0	0.0
	その他アジア	57	84.2	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	15.8	0.0	0.0
その他	205	70.7	25.9	0.5	9.3	2.0	0.0	0.5	0.0	0.0	35.6	5.4	0.5	

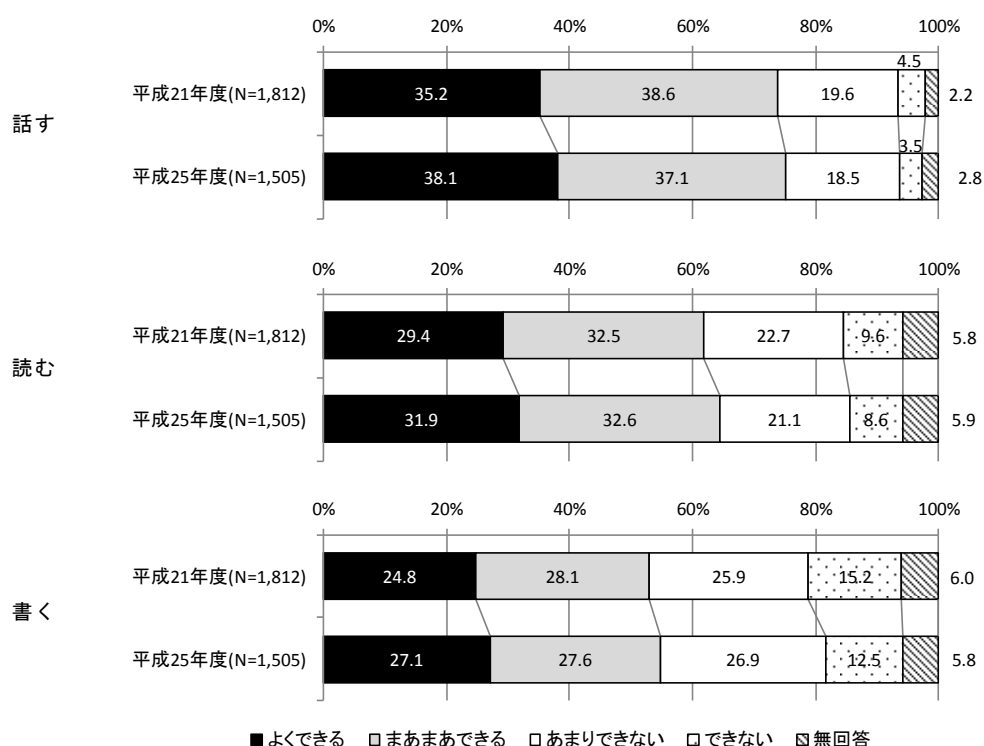
問 18 あなたはどのくらい日本語ができますか。(A～Cそれぞれについて、1～4に○は1つだけ)

- ・「話す」については、「よくできる」が38.1%で、「まあまあできる」の37.1%を僅かに上回っている。「よくできる」「まあまあできる」を合わせると75.2%で、全体の4分の3が話すことについては問題ないとしている。
- ・「読む」については、「まあまあできる」が32.6%、「よくできる」が31.9%でほぼ並ぶ。「よくできる」「まあまあできる」を合わせると64.5%と、読むことについて問題がないのは6割以上となっている。
- ・「書く」については、「まあまあできる」が27.6%、「よくできる」が27.1%、「あまりできない」が26.9%でほぼ並ぶ。「よくできる」「まあまあできる」を合わせると54.7%で、半数をやや超えている。
- ・「聞く」については、「よくできる」が39.1%、「まあまあできる」が38.0%となっている。「よくできる」「まあまあできる」を合わせると77.1%と8割弱を占め、「読む・話す・書く・聞く」の中で最も高い数値となっている。



- ・平成 21 年度調査と比較すると、「話す・読む・書く」のいずれも「よくできる」の数値が 2～3 ポイント増加している。なお、平成 21 年度調査では「聞く」の設問はない。
- ・「話す」については、「よくできる」が 35.2%から 3.0 ポイント増加、一方で「まあまあできる」は 38.6%から 1.6 ポイント減少しており、「よくできる」「まあまあできる」を合わせた数値は 1.4 ポイントの増加である。「あまりできない」「できない」についてはともにわずかに減少している。
- ・「読む」については、「よくできる」が 29.4%から 2.5 ポイント、「まあまあできる」が 32.5%から 0.1 ポイント増加しており、「よくできる」「まあまあできる」を合わせた数値は 2.6 ポイントの増加である。「あまりできない」「できない」はともにわずかに減少している。
- ・「書く」については、「よくできる」が 24.8%から 2.3 ポイント増加、一方「まあまあできる」は 28.1%から 0.5 ポイント減少しており、「よくできる」「まあまあできる」を合わせた数値は 1.8 ポイントの増加である。「あまりできない」は 1.0 ポイント増加しているが、「できない」は 2.7 ポイント減少している。

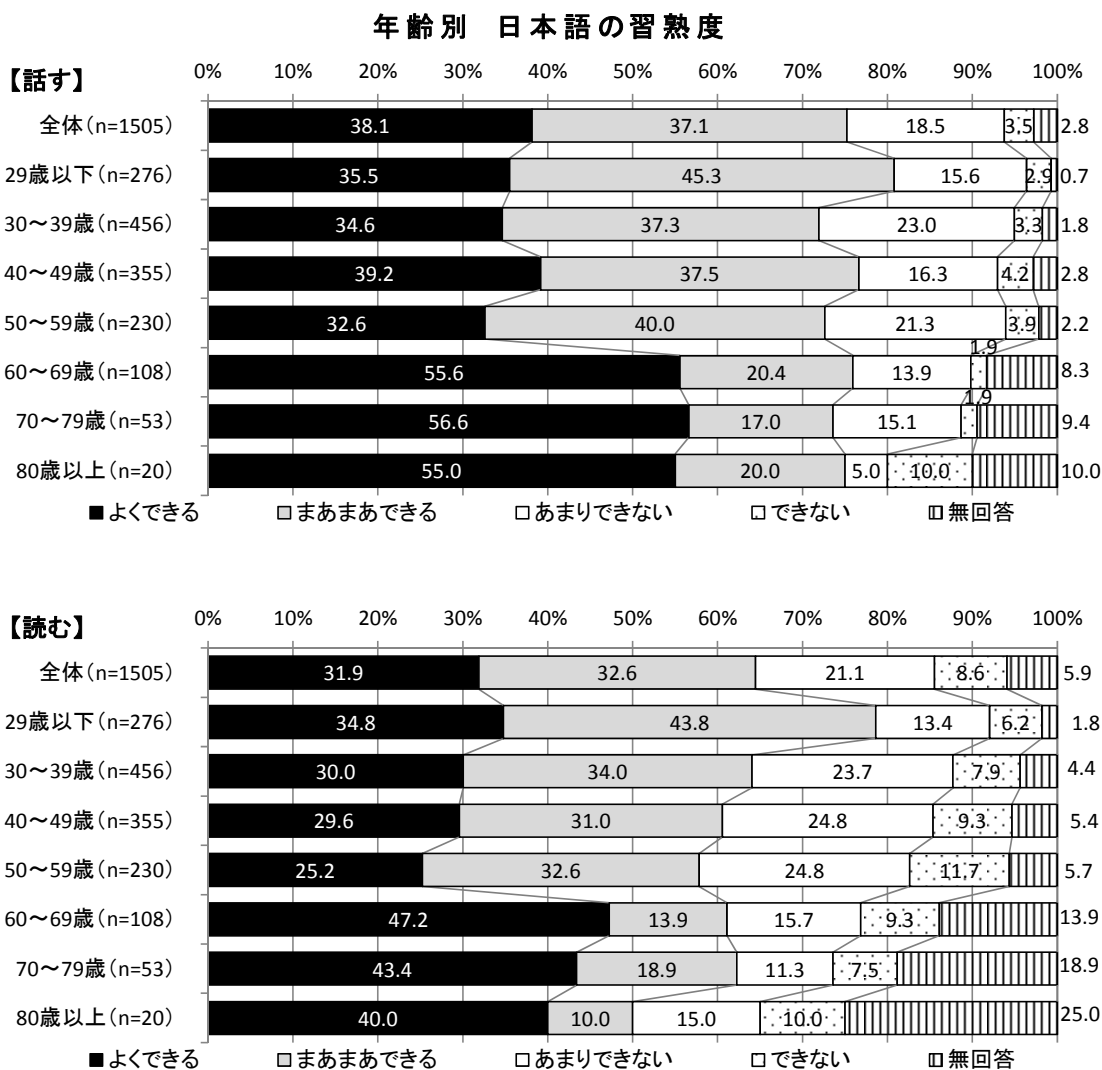
<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



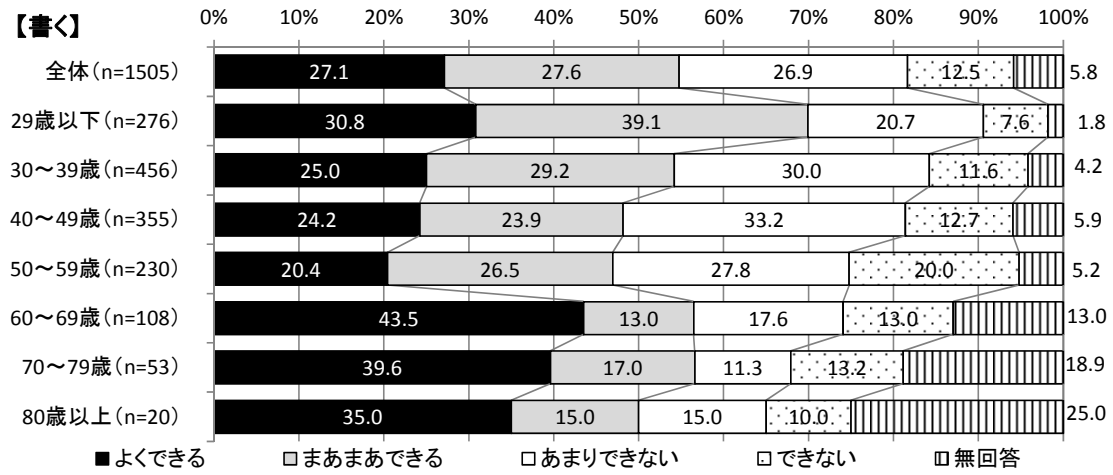
注) 21 年度調査では「聞く」の項目がない

■ 年齢別 日本語の習熟度

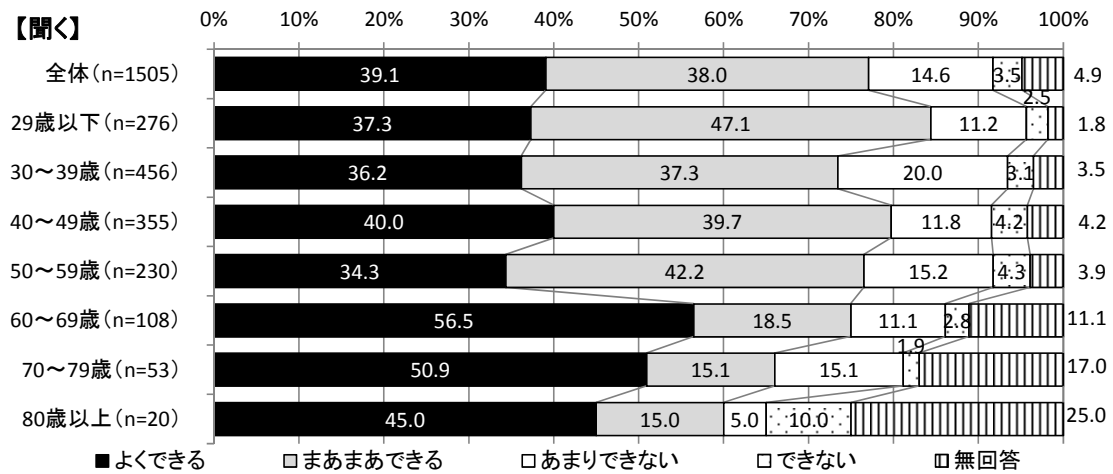
- ・「話す」については、50歳代以下では「よくできる」が30%台であるのに対して、60歳代以上では5割以上に達しており、60歳代を境に顕著な差が見られる。同様に、「読む」「書く」「聞く」とも、60歳代を境に高齢者層で習熟度が高くなっている。ただし「よくできる」「まあまあできる」を合わせると、29歳以下の数値が最も高く、特に「読む」「書く」では突出して高い数値となっている。



【書く】



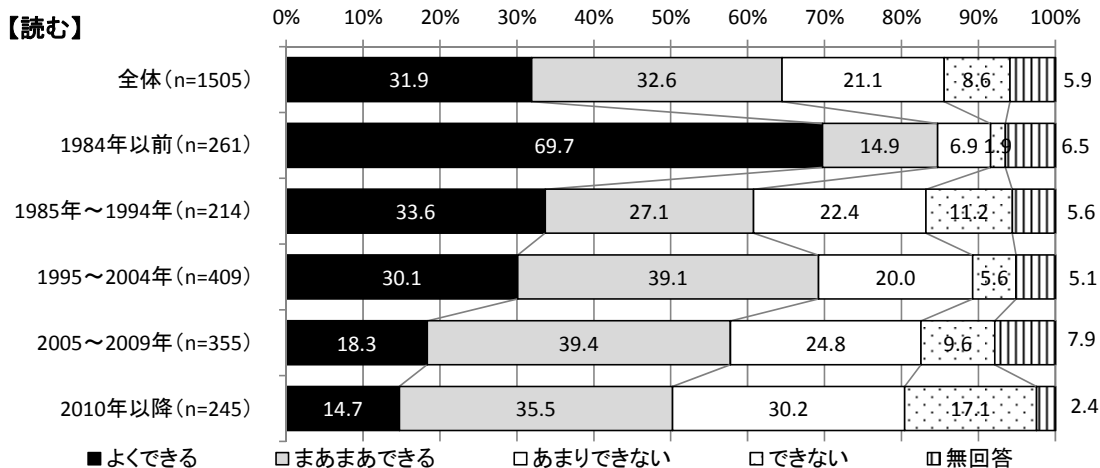
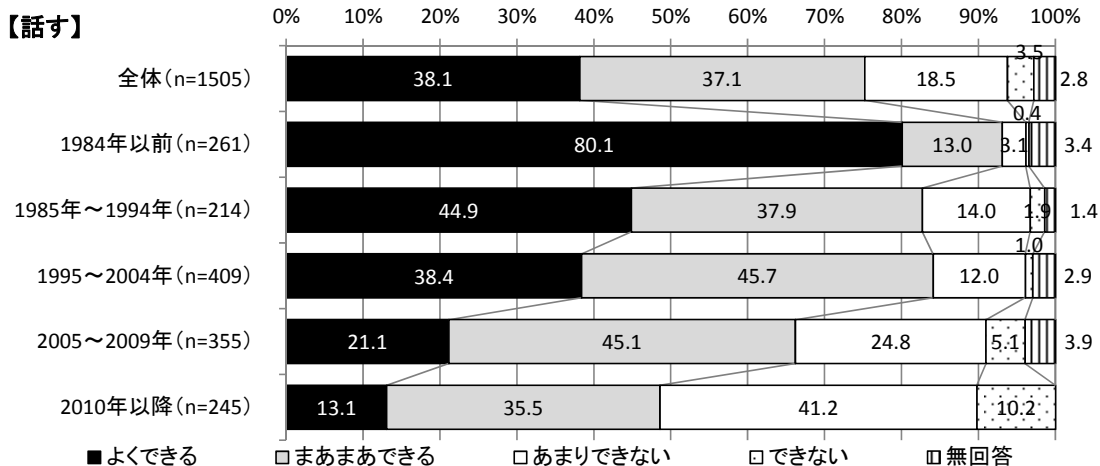
【聞く】



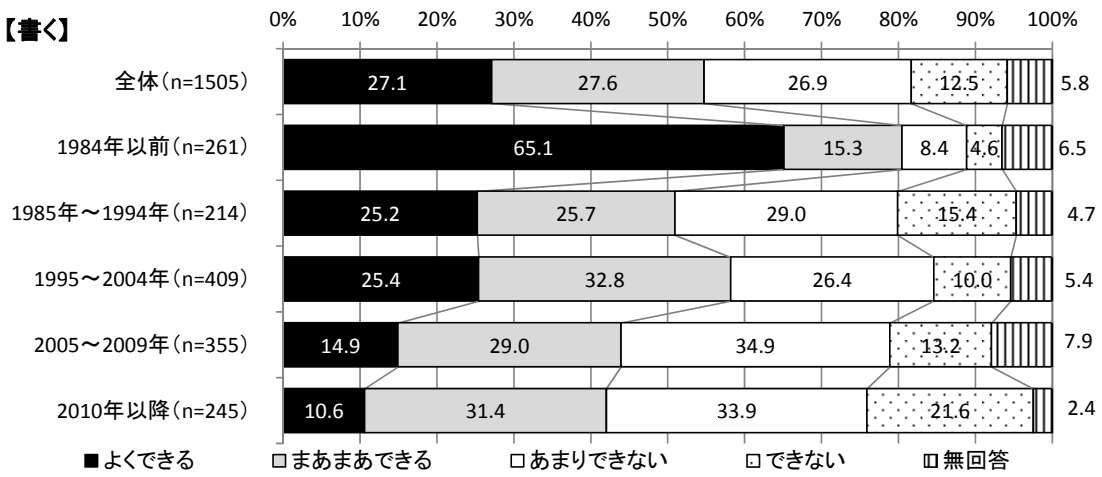
■ 日本での居住開始時期別 日本語の習熟度

- ・日本での居住開始時期が 1984 年以前では、「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれにおいても 1985 年以降に比べて「よくできる」が飛びぬけて高くなっている。なお、「よくできる」単独では居住期間が古いほど数値が高い傾向にあるが、「よくできる」「まあまあできる」を合わせると、「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれにおいても「1985 年～1994 年」より「1995～2004 年」の数値の方が高くなっている。

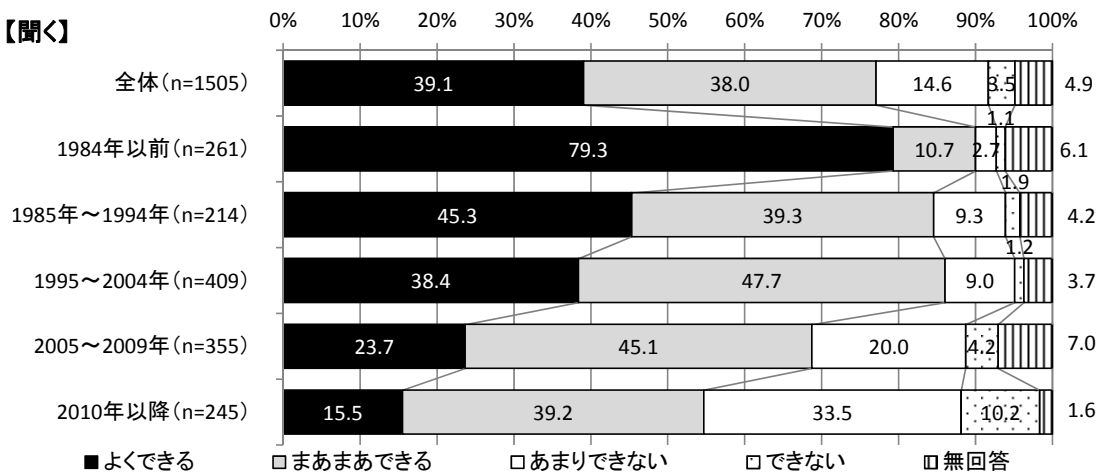
日本での居住開始時期別 日本語の習熟度



【書く】

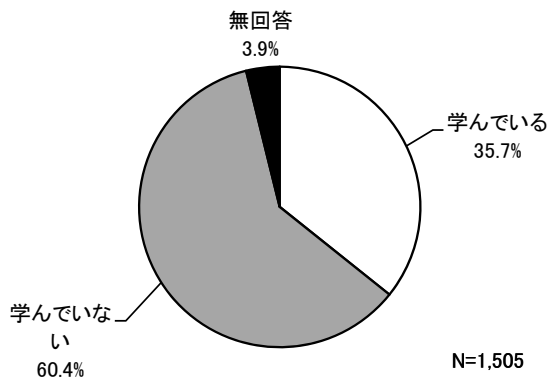


【聞く】

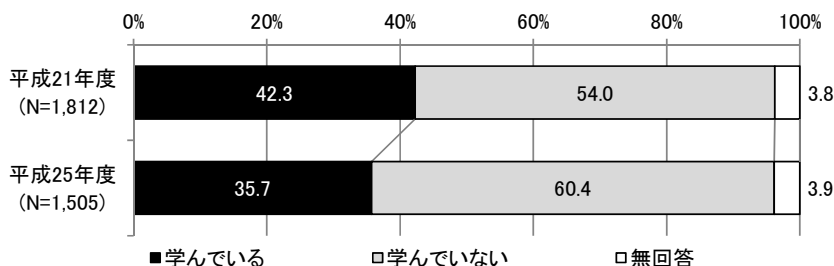


問 19 あなたは現在、日本語を学んでいますか。(○は1つだけ)

- ・「学んでいない」が 60.4%で、「学んでいる」は 35.7%より 24.7ポイント高くなっている。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「学んでいる」は 42.3%より 6.5ポイント減少、「学んでいない」は 54.0%より 6.4ポイント増加している。

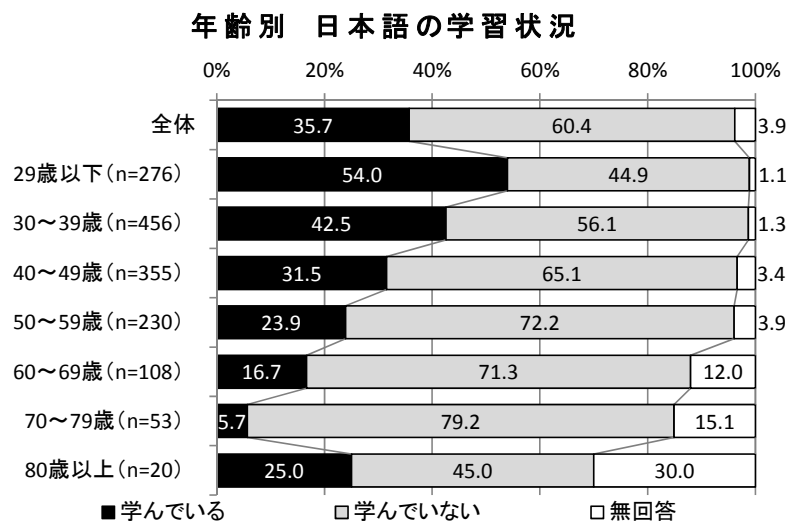


<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 日本語の学習状況

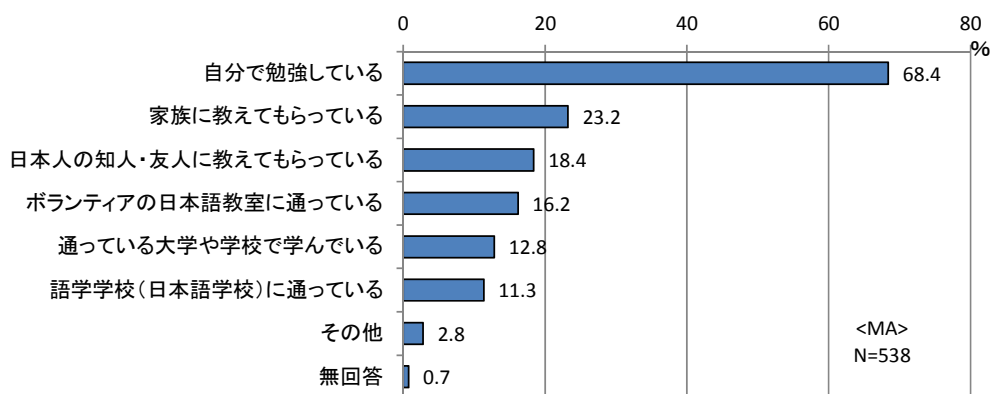
- ・80歳以上を除くと、年齢が若いほど「学んでいる」割合が高く、29歳以下では「学んでいない」より「学んでいる」割合の方が高くなっている。



問 20 問 19 で 1 に回答された方（現在、日本語を学んでいる人）にお聞きします。

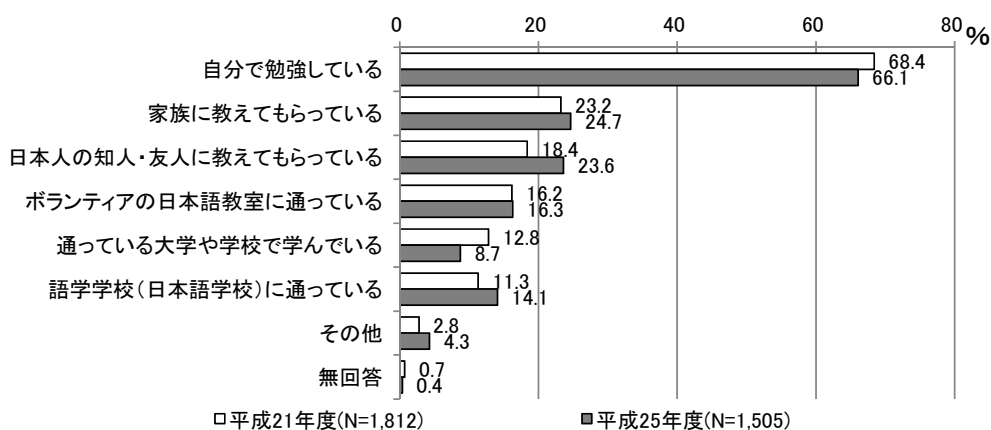
あなたは日本語をどのような方法で学んでいますか。（〇はいくつでも）

- ・「自分で勉強している」が 68.4%で圧倒的に多く、7割近くの人が挙げている。次いで「家族に教えてもらっている」が 23.2%である。以下「日本人の知人・友人に教えてもらっている」（18.4%）、「ボランティアの日本語教室に通っている」（16.2%）、「通っている大学や学校で学んでいる」（12.8%）、「語学学校（日本語学校）に通っている」（11.3%）、「その他」（2.8%）の順である。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「自分で勉強している」が 66.1%で最も多く、上位 4 位までの順位に変化はないが、「通っている大学や学校で学んでいる」が 4.1 ポイント増加、「語学学校（日本語学校）に通っている」が 2.8 ポイント減少して、5 位・6 位の順位が入れ替わった。



]

<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 日本語の学習方法

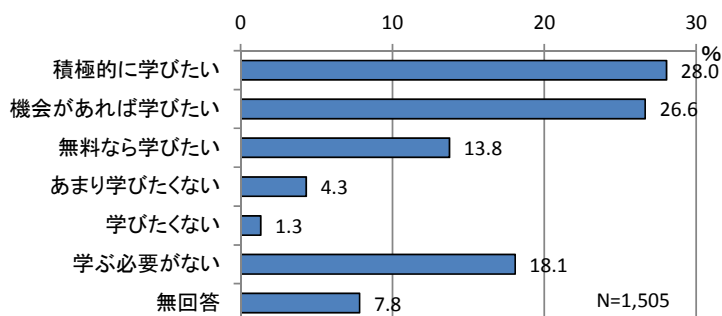
- ・概ね「自分で勉強している」が最も多いが、29歳以下では「通っている大学や学校で学んでいる」、50歳代では「家族に教えてもらっている」の数値が、全体値に比べて高くなっている。

年齢別 日本語の学習方法

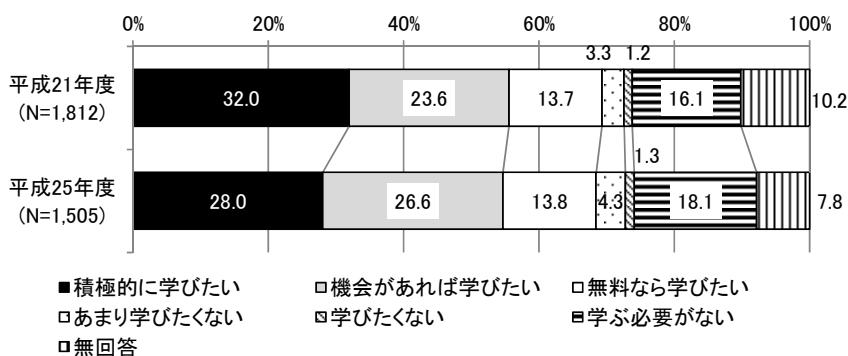
		合計	問20 学習方法							無回答
			自分で勉強している	家族に教えてもらっている	友人に教えてもらっている	日本人の知人・友人に教えてもらっている	や学校で学んでいる	通っている大学	通っている日本語教室に	
全体		538	68.4	23.2	18.4	12.8	16.2	11.3	2.8	0.7
問2 年齢	29歳以下	149	59.7	14.8	18.1	34.2	12.1	18.1	2.0	0.0
	30～39歳	194	73.2	21.1	20.1	6.7	18.6	10.3	3.6	1.0
	40～49歳	112	73.2	32.1	18.8	3.6	18.8	6.3	1.8	0.0
	50～59歳	55	65.5	34.5	16.4	0.0	18.2	9.1	5.5	1.8
	60～69歳	18	72.2	27.8	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	5.6
	70～79歳	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	80歳以上	5	80.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 21 あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- ・「積極的に学びたい」が 28.0%で最も多く、3割近くに達する。次いで「機会があれば学びたい」も 26.6%と僅差で続く。「無料なら学びたい」は 13.8%で、これらを合わせると、日本語を学びたいとする人は 68.4%となっている。一方「学ぶ必要がない」も 18.1%と、2割近くに達している。「あまり学びたくない」は 4.3%、「学びたくない」は 1.3%となっている。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「積極的に学びたい」が 32.0 %から 3.9 ポイント減少、「機会があれば学びたい」は 23.6%から 3.0 ポイント増加、「無料なら学びたい」は 13.7%からほぼ横ばいで、これらを合わせると日本語を学びたいとする人は 69.3%から 68.4%に 0.9 ポイントの微減となった。なお、「学ぶ必要がない」については 16.1%から 2 ポイントの増加である。



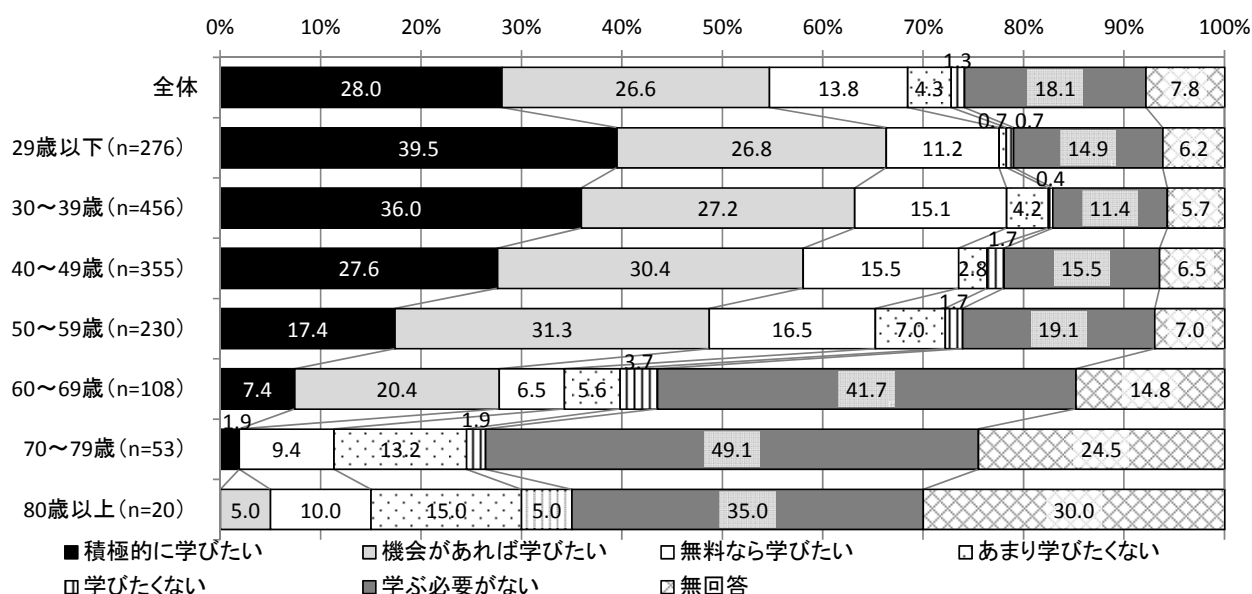
< 参考 平成 21 年度調査結果との比較 >



■ 年齢別 日本語の学習希望

- ・年齢別にみると、年齢が若いほど「積極的に学びたい」割合が高くなっており、29歳以下では39.5%、30歳代では36.0%の人が積極的な学習意欲を持っている。一方、60歳代以上では「学ぶ必要がない」の数值が、50歳代以下に比べて大きく上回っている。

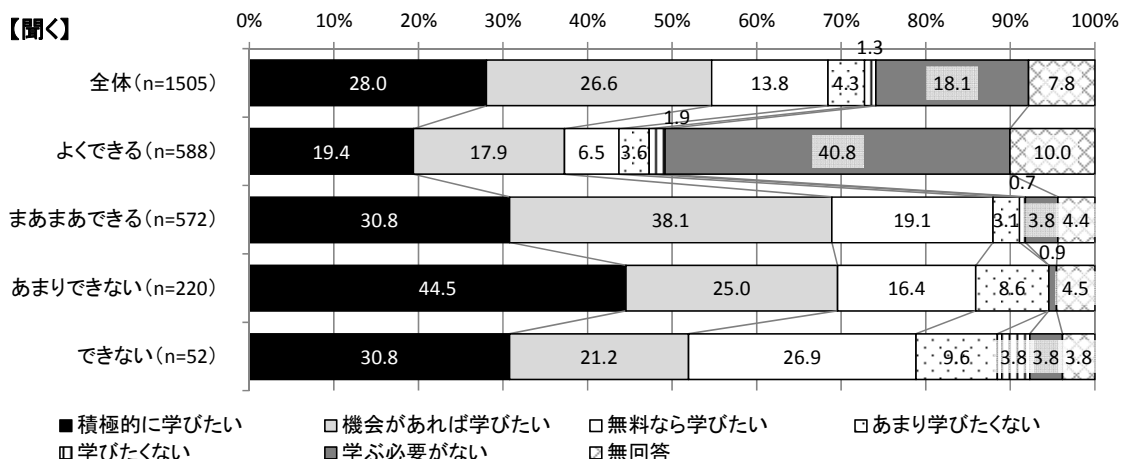
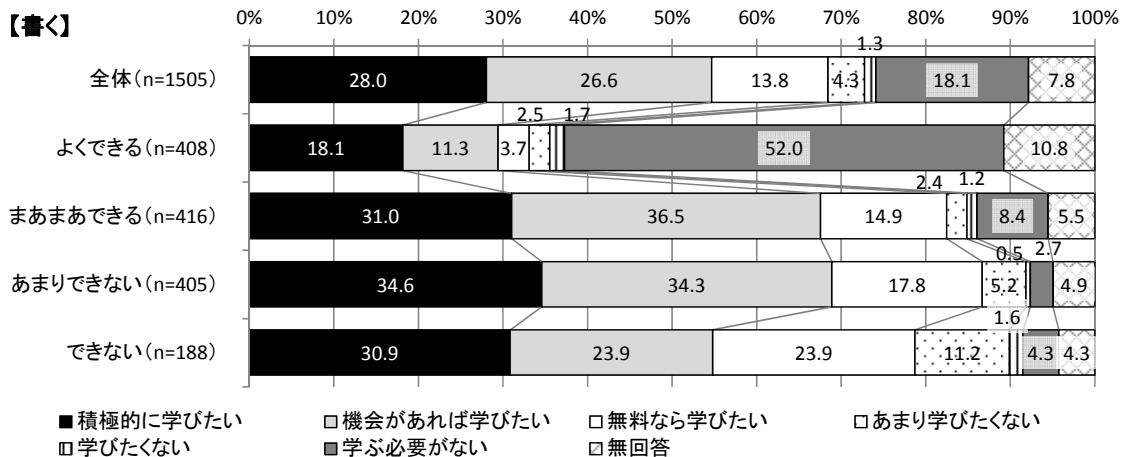
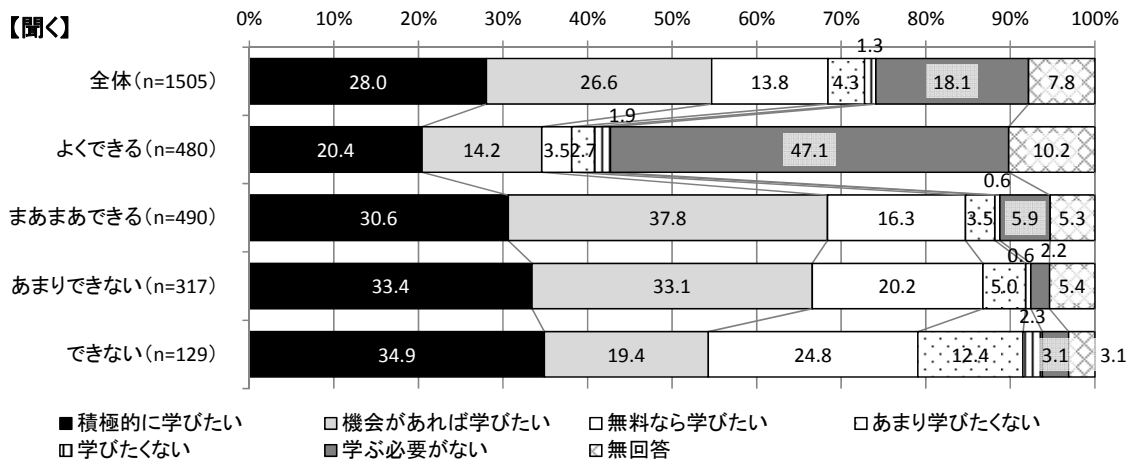
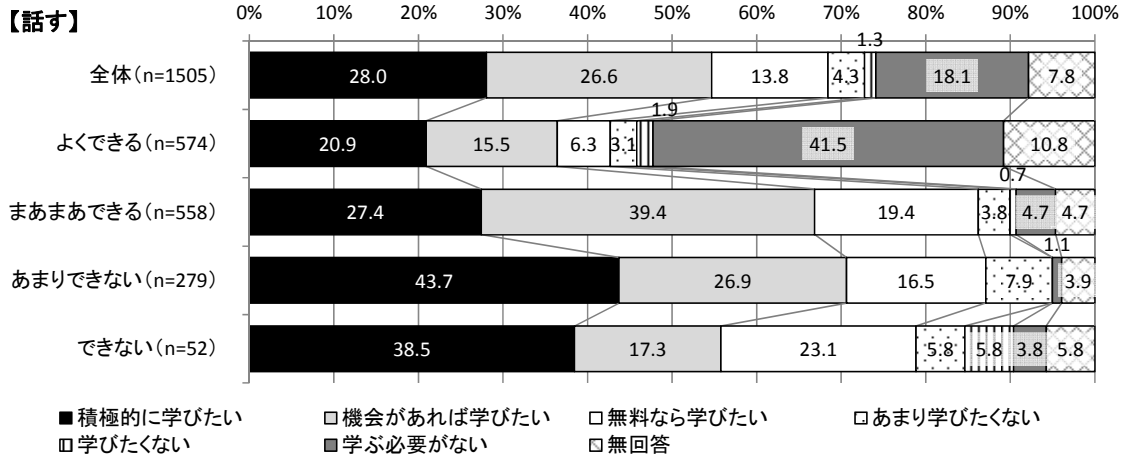
年齢別 日本語の学習希望



■ 日本語習熟度別 日本語の学習希望

- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれも、「よくできる」では「学ぶ必要がない」、「まあまあできる」では「機会があれば学びたい」、「あまりできない」「できない」では「積極的に学びたい」が最も多くなっている。また、「読む」「書く」「聞く」が「できない」では、「無料なら学びたい」の数值が全体値に比べて高くなっている。
- ・「積極的に学びたい」「機会があれば学びたい」を合わせると、「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれも、「まあまあできる」「あまりできない」では7割前後に達しているのに対し、より習熟度の低い「できない」では5割強にとどまっている。

日本語習熟度別 日本語の学習希望



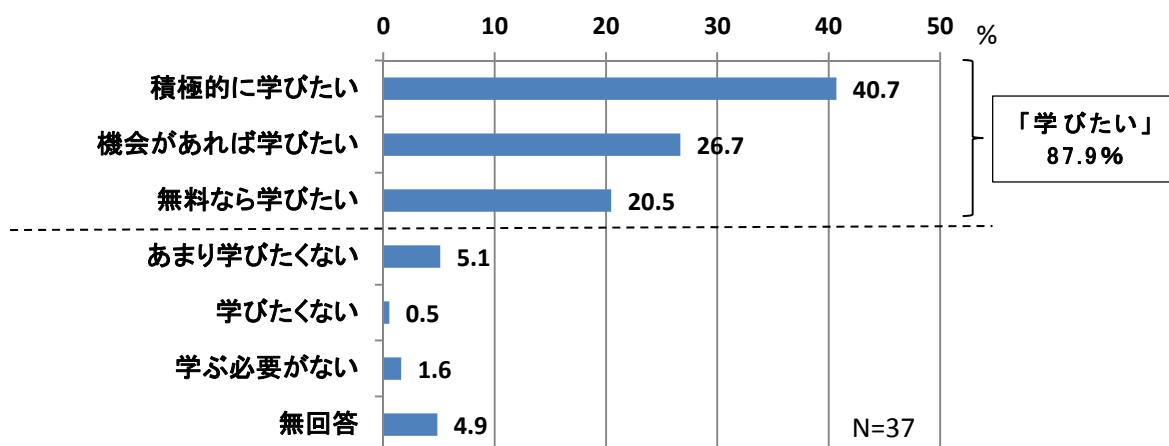
今後の日本語の学習意向

		合計	問21 今後の日本語の学習意向						
			積極的に 学びたい	機会があ れば学び たい	無料なら 学びたい	あまり学 びたくな い	学びたく ない	学ぶ必要 がない	無回答
全体		1505	28.0	26.6	13.8	4.3	1.3	18.1	7.8
A 話す	よくできる	574	20.9	15.5	6.3	3.1	1.9	41.5	10.8
	まあまあできる	558	27.4	39.4	19.4	3.8	0.7	4.7	4.7
	あまりできない	279	43.7	26.9	16.5	7.9		1.1	3.9
	できない	52	38.5	17.3	23.1	5.8	5.8	3.8	5.8
B 読む	よくできる	480	20.4	14.2	3.5	2.7	1.9	47.1	10.2
	まあまあできる	490	30.6	37.8	16.3	3.5	0.6	5.9	5.3
	あまりできない	317	33.4	33.1	20.2	5.0	0.6	2.2	5.4
	できない	129	34.9	19.4	24.8	12.4	2.3	3.1	3.1
C 書く	よくできる	408	18.1	11.3	3.7	2.5	1.7	52.0	10.8
	まあまあできる	416	31.0	36.5	14.9	2.4	1.2	8.4	5.5
	あまりできない	405	34.6	34.3	17.8	5.2	0.5	2.7	4.9
	できない	188	30.9	23.9	23.9	11.2	1.6	4.3	4.3
D 聞く	よくできる	588	19.4	17.9	6.5	3.6	1.9	40.8	10.0
	まあまあできる	572	30.8	38.1	19.1	3.1	0.7	3.8	4.4
	あまりできない	220	44.5	25.0	16.4	8.6		0.9	4.5
	できない	52	30.8	21.2	26.9	9.6	3.8	3.8	3.8
問7 横浜市在住開始年(統合)	1984年以前	169	1.8	8.3	3.0	7.1	0.6	60.9	18.3
	1985年～1994年	154	13.6	29.9	11.7	5.2	2.6	27.9	9.1
	1995～2004年	343	23.6	31.8	14.9	5.5	2.3	15.5	6.4
	2005～2009年	393	34.4	32.6	15.5	2.8	0.5	6.4	7.9
	2010年以降	424	41.5	23.6	15.8	3.1	1.2	10.6	4.2
問2 年齢	29歳以下	276	39.5	26.8	11.2	0.7	0.7	14.9	6.2
	30～39歳	456	36.0	27.2	15.1	4.2	0.4	11.4	5.7
	40～49歳	355	27.6	30.4	15.5	2.8	1.7	15.5	6.5
	50～59歳	230	17.4	31.3	16.5	7.0	1.7	19.1	7.0
	60～69歳	108	7.4	20.4	6.5	5.6	3.7	41.7	14.8
	70～79歳	53	1.9		9.4	13.2	1.9	49.1	24.5
	80歳以上	20		5.0	10.0	15.0	5.0	35.0	30.0
問2 年齢(統合)	若年層(39歳以下)	732	37.3	27.0	13.7	2.9	0.5	12.7	5.9
	中年層(40歳～59歳)	585	23.6	30.8	15.9	4.4	1.7	16.9	6.7
	高年層(60歳以上)	181	5.0	12.7	7.7	8.8	3.3	43.1	19.3
問4 国籍(統合)	中国	687	29.7	30.6	14.6	4.5	1.2	12.5	7.0
	韓国・朝鮮	276	9.4	18.5	4.7	3.6	0.4	51.1	12.3
	フィリピン	131	37.4	25.2	23.7	4.6	0.8	3.8	4.6
	ブラジル	35	28.6	28.6	20.0		2.9	11.4	8.6
	アメリカ合衆国	45	35.6	17.8	6.7	8.9	6.7	15.6	8.9
	ベトナム	15	46.7	13.3	26.7				13.3
	ペルー	18	38.9	33.3	5.6	5.6		5.6	11.1
	タイ	32	37.5	37.5	9.4	3.1		12.5	0.0
	その他アジア	57	40.4	24.6	17.5	8.8		3.5	5.3
その他	205	33.2	26.8	16.6	3.4	2.9	9.8	7.3	

■ 「日本語の不自由さに困っている人」の日本語の学習意向

- ・困っていることや心配なこと(問14)で「日本語の不自由さ」に回答した人の日本語の学習意欲は87.9%と極めて高い。
- ・日本語を学びたい場所では、全体として「無料で学べる教室や学校」を挙げる割合が高いが、「積極的に学びたい」とする人では、「費用が安い公的期間やボランティアの教室」を挙げる割合が高くなっている。

「日本語の不自由さに困っている人」の日本語の学習意向

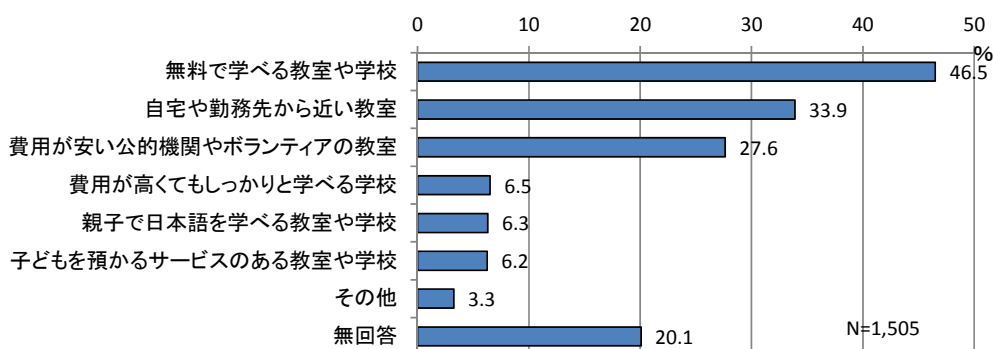


「日本語の不自由さに困っている人」の日本語の学習意向と学びたい場所

日本語に不自由を感じている人	合計	問22 日本語を学びたい場所								
		費用が高 くても しっか りと学 べる 学校	費用が安 い公的 機関や ボラン ティア の教室	無料で学 べる教 室や 学校	自宅や勤 務先から 近い教室	親子で日 本語を学 べる教 室や 学校	子どもを 預かる サービ スのある 教室や 学校	その他	無回答	
全体	371	7.0	42.3	61.5	49.1	8.9	7.5	3.5	5.9	
問21 今後の日 本語の学習意 向	積極的に学びたい	151	11.9	57.0	57.6	52.3	9.9	11.3	5.3	0.7
	機会があれば学びたい	99	6.1	42.4	55.6	54.5	9.1	7.1	2.0	3.0
	無料なら学びたい	76	0.0	27.6	81.6	47.4	7.9	5.3	1.3	5.3
	あまり学びたくない	19	10.5	5.3	36.8	21.1	0.0	0.0	5.3	31.6
	学びたくない	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	学ぶ必要がない	6	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	18	0.0	38.9	66.7	44.4	16.7	0.0	5.6	27.8	

問 22 あなたは日本語を学ぶとしたら、どのようなところで学びたいですか。(〇はいくつでも)

- ・「無料で学べる教室や学校」が 46.5%で最も多く、半数近くの人が挙げている。次いで「自宅や勤務先から近い教室」が 33.9%で3割強、「費用が安い公的機関やボランティアの教室」が 27.6%で3割弱が挙げている。以下「費用が高くてもしっかりと学べる学校」(6.5%)、「親子で日本語を学べる教室や学校」(6.3%)、「子どもを預かるサービスのある教室や学校」(6.2%)、「その他」(3.3%)の順となっている。



■ 日本語習熟度別 日本語を学びたい場所

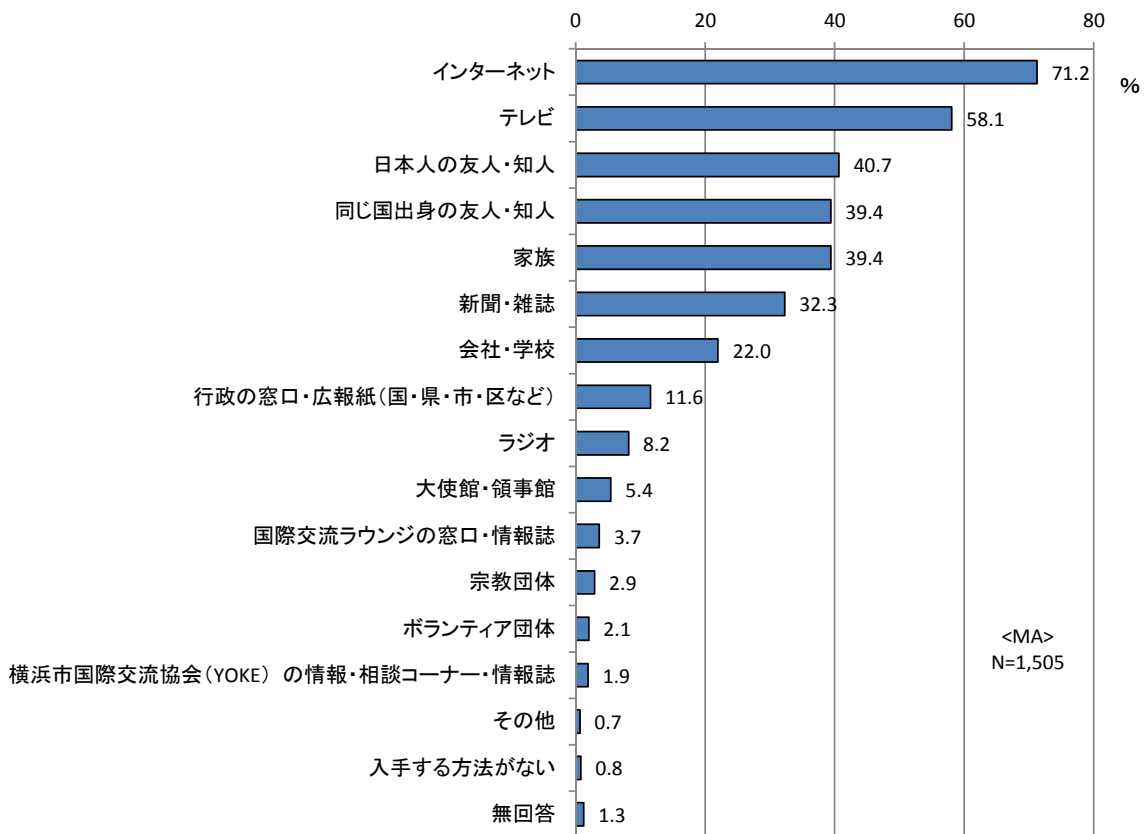
- ・「聞く」ことが「できない」のみ「自宅や勤務先から近い教室」、それ以外はいずれも「無料で学べる教室や学校」が最も多くなっている。習熟度が低いほど「無料で学べる教室や学校」の数値が高い傾向にある。

		問22 日本語を学びたい場所								
		合計	学校が 高くても 学べる	費用が 安い 公的機 関	費用が 安い ボラン ティア	無料で 学べる 教室	自宅 や勤務 先から 近い	親子 で日本 語を学 ぶ	子ども を預か るサー ビスの ある	その他
	全体	1505	6.5	27.6	46.5	33.9	6.3	6.2	3.3	20.1
A 話す	よくできる	574	7.8	17.8	31.5	23.9	5.2	5.6	4.0	37.3
	まあまあできる	558	6.6	32.8	56.1	36.7	7.0	5.2	2.0	8.4
	あまりできない	279	5.0	39.4	58.1	48.0	7.9	10.0	4.7	6.5
	できない	52	3.8	30.8	59.6	55.8	7.7	5.8	3.8	5.8
B 読む	よくできる	480	7.7	16.9	29.2	20.8	5.2	5.6	3.5	40.4
	まあまあできる	490	7.3	35.7	54.9	33.9	6.7	6.7	2.7	9.4
	あまりできない	317	6.0	35.6	57.4	53.9	8.8	6.9	5.7	4.4
	できない	129	3.9	28.7	59.7	45.7	3.9	6.2	0.8	10.9
C 書く	よくできる	408	8.1	15.4	27.0	19.4	4.7	5.1	3.2	44.1
	まあまあできる	416	7.0	35.1	54.3	30.8	6.5	6.5	3.1	10.6
	あまりできない	405	6.7	34.1	55.1	48.4	8.4	7.7	4.4	6.2
	できない	188	3.7	31.4	59.0	50.0	5.3	5.9	2.7	9.6
D 聞く	よくできる	588	8.3	18.7	33.3	24.3	5.1	5.8	3.9	35.2
	まあまあできる	572	5.8	33.2	54.9	38.1	6.6	5.6	3.0	8.0
	あまりできない	220	5.9	42.3	61.4	49.1	8.6	10.0	3.6	6.4
	できない	52	1.9	26.9	55.8	61.5	5.8	5.8	1.9	7.7

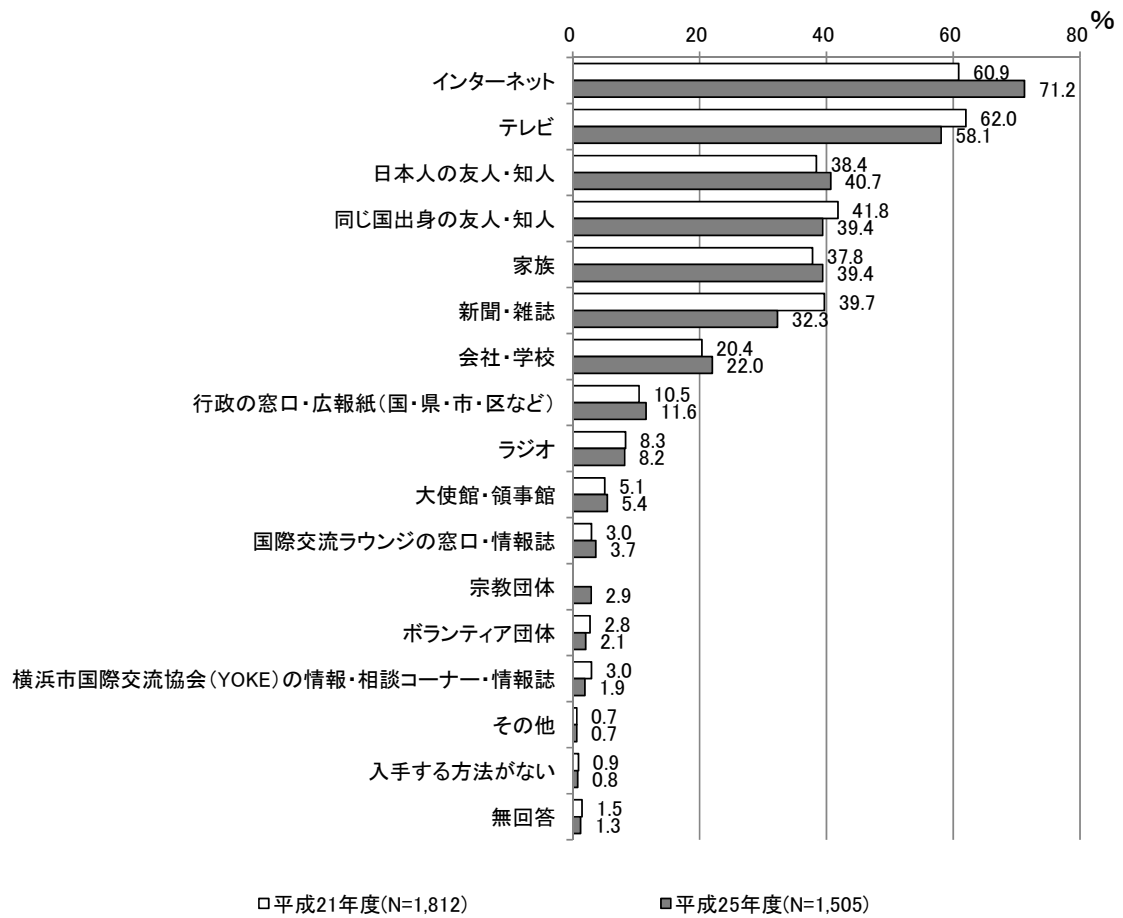
4. 情報の入手方法について

問 23 あなたは生活に必要な情報をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)

- ・「インターネット」が 71.2% で最も多く、7 割以上の方が挙げている。次いで「テレビ」が 58.1% である。以下「日本人の友人・知人」(40.7%)、「同じ国出身の友人・知人」(39.4%)、「家族」(39.4%)、「新聞・雑誌」(32.3%) を 3 割以上の方が挙げている。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「テレビ」が 62.0% で最も多かったが 3.9 ポイント減少して 2 位に後退、一方「インターネット」が 60.9% から 10.4 ポイント大きく増加して 1 位に上昇した。また、「日本人の友人・知人」が 38.4% から 2.3 ポイント増加、「同じ国出身の友人・知人」が 41.8% から 2.4 ポイント減少して 3 位と 4 位も逆転している。このほか、「新聞・雑誌」も 7.4 ポイント減少した。



＜参考 平成21年度調査結果との比較＞



注) 21年度調査では「宗教団体」がなく、「家族」のうち誰かを選ぶ付問がある

■ 年齢別 生活に必要な情報の入手方法

- ・40歳代までの世代では「インターネット」、50歳代以上の世代では「テレビ」が最も多い。50歳代を境に傾向が分かれ、「インターネット」の数値は年齢が若いほど高くなっている。
- ・高齢者層で「新聞・雑誌」「ラジオ」「家族」の数値が高い傾向にあるほか、29歳以下では「会社・学校」と「同じ国出身の友人・知人」の数値が、全体値に比べて高くなっている。

年齢別 生活に必要な情報の入手方法

		問23 生活に必要な情報の入手方法																	
合計		インターネット	新聞・雑誌	テレビ	ラジオ	県・市・区など	行政の窓口・広報紙(国・情報誌)	国際交流ラウンジの窓口・情報誌	横浜国際交流協会(YOKE)の情報・相談コーナー・情報誌	会社・学校	日本人の友人・知人	同じ国出身の友人・知人	ボランティア団体	大使館・領事館	家族	宗教団体	その他	入手する方法がない	無回答
全体		1505	71.2	32.3	58.1	8.2	11.6	3.7	1.9	22.0	40.7	39.4	2.1	5.4	39.4	2.9	0.7	0.8	1.3
問2 年齢	29歳以下	276	88.4	25.0	48.9	3.3	5.4	2.9	1.4	39.1	45.7	50.0	1.4	3.3	30.1	1.8	0.0	1.1	0.7
	30～39歳	456	84.6	26.5	50.2	5.7	12.7	5.5	2.2	23.9	45.2	45.8	2.0	6.4	38.8	3.1	0.9	0.2	0.0
	40～49歳	355	71.8	30.4	63.1	8.7	11.3	4.8	2.5	20.3	40.6	37.2	2.3	5.1	39.2	3.4	0.3	0.8	1.1
	50～59歳	230	58.7	38.3	64.3	7.8	13.9	2.2	2.6	13.5	39.6	35.2	3.0	7.0	47.0	3.5	1.3	0.9	1.7
	60～69歳	108	37.0	53.7	72.2	16.7	13.0	0.0	0.0	8.3	24.1	15.7	0.9	2.8	39.8	4.6	1.9	2.8	2.8
	70～79歳	53	17.0	54.7	75.5	22.6	20.8	0.0	0.0	1.9	24.5	22.6	3.8	5.7	54.7	0.0	0.0	0.0	7.5
	80歳以上	20	5.0	50.0	70.0	30.0	15.0	0.0	0.0	5.0	30.0	10.0	0.0	10.0	55.0	0.0	0.0	0.0	5.0

■ 国籍別 生活に必要な情報の入手方法

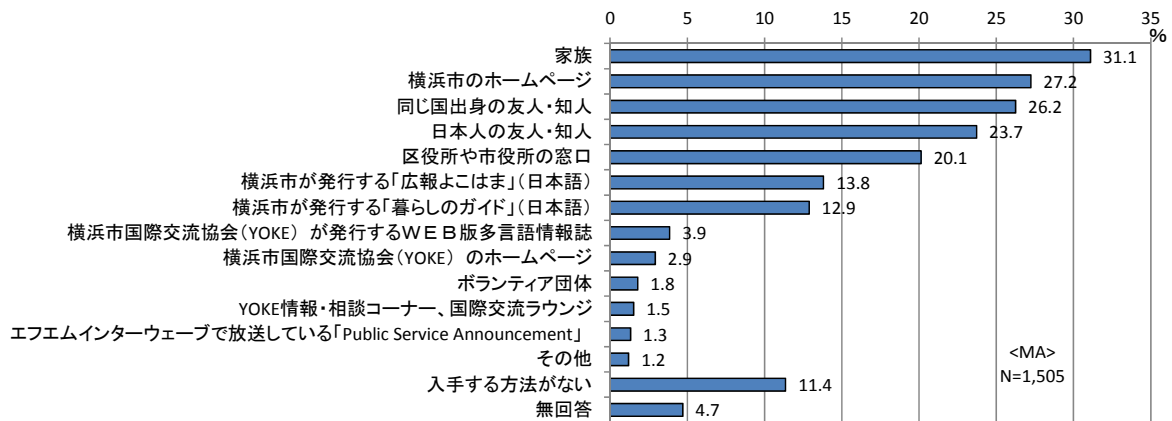
- ・韓国・朝鮮とタイでは「テレビ」、それ以外は「インターネット」が最も多くなっている。

国籍別 生活に必要な情報の入手方法

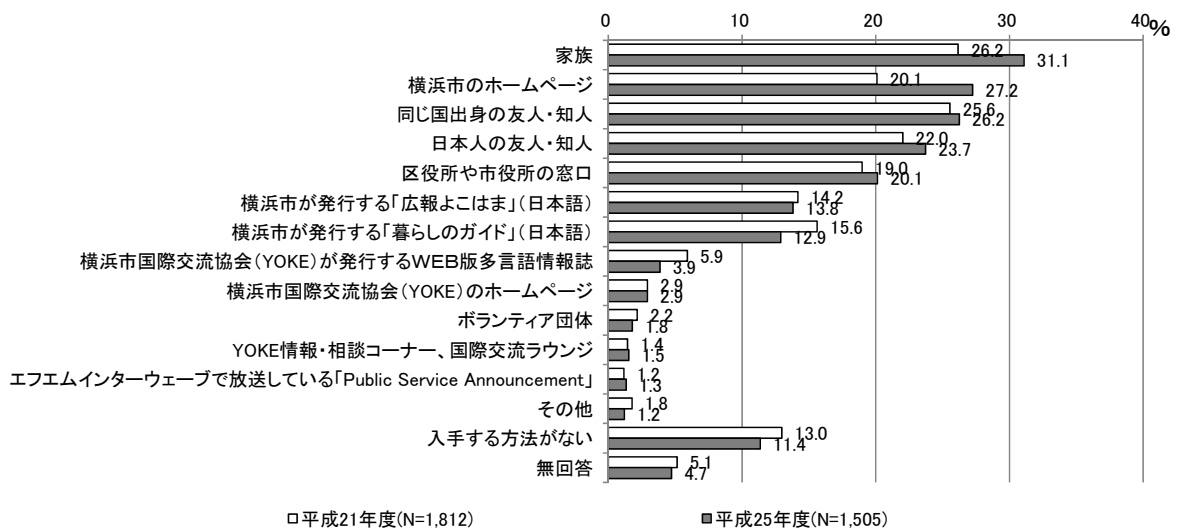
		問23 生活に必要な情報の入手方法																	
合計		インターネット	新聞・雑誌	テレビ	ラジオ	県・市・区など	行政の窓口・広報紙(国・情報誌)	国際交流ラウンジの窓口・情報誌	横浜国際交流協会(YOKE)の情報・相談コーナー・情報誌	会社・学校	日本人の友人・知人	同じ国出身の友人・知人	ボランティア団体	大使館・領事館	家族	宗教団体	その他	入手する方法がない	無回答
全体		1505	71.2	32.3	58.1	8.2	11.6	3.7	1.9	22.0	40.7	39.4	2.1	5.4	39.4	2.9	0.7	0.8	1.3
問4 国籍(総合)	中国	687	72.2	34.8	52.3	5.2	13.0	3.9	1.3	19.8	34.2	47.0	1.2	3.1	34.5	1.0	0.3	1.3	1.3
	韓国・朝鮮	276	56.2	43.8	73.6	14.1	12.0	0.7	0.0	17.4	41.7	23.2	0.0	3.6	43.5	2.9	0.4	0.4	2.5
	フィリピン	131	74.8	15.3	70.2	6.1	11.5	3.8	4.6	22.9	51.9	44.3	3.1	3.1	52.7	13.0	0.8	0.0	0.8
	ブラジル	35	88.6	20.0	71.4	2.9	11.4	5.7	2.9	17.1	48.6	25.7	2.9	8.6	42.9	2.9	2.9	0.0	0.0
	アメリカ合衆国	45	88.9	33.3	51.1	15.6	11.1	2.2	0.0	33.3	60.0	26.7	2.2	13.3	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	ベトナム	15	73.3	20.0	66.7	6.7	0.0	0.0	6.7	46.7	46.7	60.0	6.7	6.7	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	ペルー	18	61.1	22.2	16.7	16.7	11.1	16.7	5.6	16.7	50.0	27.8	5.6	0.0	38.9	0.0	5.6	5.6	0.0
	タイ	32	46.9	15.6	62.5	9.4	6.3	6.3	3.1	15.6	37.5	28.1	12.5	12.5	56.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他アジア	57	80.7	15.8	52.6	5.3	8.8	7.0	8.8	31.6	47.4	49.1	8.8	12.3	42.1	5.3	0.0	0.0	0.0
	その他	205	81.0	29.3	51.7	10.2	8.3	4.4	2.4	30.2	45.9	36.6	2.9	12.2	38.5	3.9	2.0	0.5	0.5

問 24 あなたは横浜市役所からの情報をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)

- ・「家族」が 31.1% で最も多く、3 割強の人が挙げている。次いで「横浜市のホームページ」(27.2%) が 3 割弱である。以下「同じ国出身の友人・知人」(26.2%)、「日本人の友人・知人」(23.7%)、「区役所や市役所の窓口」(20.1%) を 2 割以上が挙げている。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「家族」(26.2%) が最も多かったことは変わらないが、4 位だった「横浜市のホームページ」(20.1%) が 2 位に上昇し、「同じ国出身の友人・知人」(25.6%)、「日本人の友人・知人」(22.0%) と逆転した。



< 参考 平成 21 年度調査結果との比較 >



注) H21 では、「家族」のうち誰かを選ぶ付問がある。

■ 日本語習熟度別 横浜市役所からの情報入手方法

- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれも、「よくできる」では「横浜市のホームページ」が最も多くなっているほか、「横浜市が発行する「広報よこはま」（日本語）」の数値が全体値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。また、「話す」「聞く」が「できない」では、「入手する方法がない」の数値が、全体値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。
- ・「横浜市が発行する『暮らしのガイド』（日本語）」「区役所や市役所の窓口」は習熟度が高いほど数値が高く、「横浜市国際交流協会（YOKE）が発行するWEB版多言語情報誌」や「同じ国出身の友人・知人」では習熟度が低いほど数値が高い傾向にある。

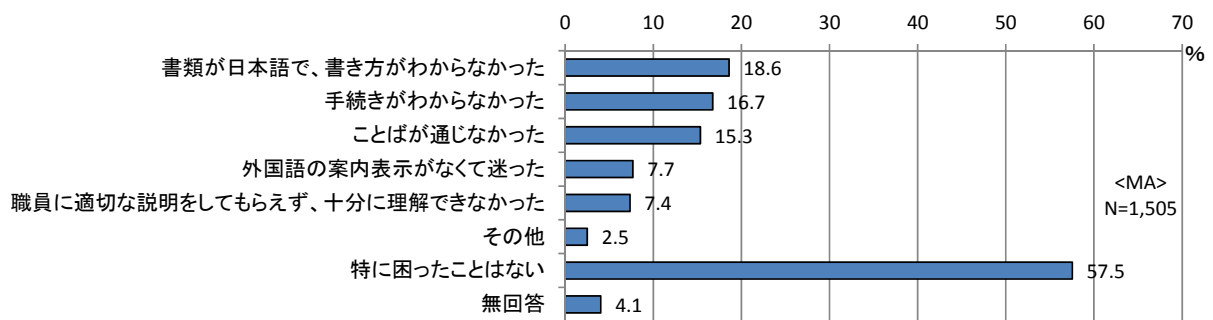
日本語習熟度別 横浜市役所からの情報入手方法

		問24 横浜市役所からの情報の入手方法																
合計		横浜市 のホーム ページ	横浜 市国際 交流協 会 (YOKE) のホーム ページ	横浜 市が発 行する 「暮らし のガイ ド」 (日本語)	横浜 市が発 行する 「広報 よこは ま」 (日本語)	横浜 市が発 行する 「広報 よこは ま」 (日本語)	横浜 市国際 交流協 会 (YOKE) が発行 するWEB 版多言 語情報 誌	横浜 市国際 交流協 会 Announcement 「Public Service 」	エフ エムイ ンター ウェブ で放送 し てゐる 「Public Service 」	区役 所や市 役所の 窓口	YOKE 情報・ 相談コ ーナー、 国際交 流ラウン ジ	日本 人の友 人・知 人	同じ 国出身 の友人 ・知人	ボラン ティア 団体	家族	その他	入手 する方 法がな い	無回 答
全体		1505	27.2	2.9	12.9	13.8	3.9	1.3	20.1	1.5	23.7	26.2	1.8	31.1	1.2	11.4	4.7	
A 話す	よくできる	574	39.0	2.1	18.1	25.8	1.6	0.7	26.8	0.9	21.1	13.9	1.7	27.4	0.9	6.3	5.2	
	まあまあできる	558	22.8	2.9	11.1	7.3	3.9	2.3	19.2	1.4	28.7	32.6	1.1	35.1	1.1	13.3	3.2	
	あまりできない	279	17.2	5.0	6.8	4.7	7.9	0.7	11.5	2.9	22.2	37.3	3.6	34.1	1.8	16.5	3.9	
	できない	52	17.3	3.8	9.6	1.9	7.7	1.9	7.7	3.8	17.3	40.4	1.9	17.3	3.8	23.1	3.8	
B 読む	よくできる	480	42.9	2.1	19.4	27.7	1.0	0.2	25.6	1.0	16.9	11.9	1.7	21.9	0.8	7.9	5.0	
	まあまあできる	490	26.5	3.1	12.2	10.4	3.9	1.4	20.0	1.8	29.6	31.8	1.8	31.4	0.8	12.2	3.5	
	あまりできない	317	16.1	4.4	7.3	4.7	5.7	3.5	16.7	1.9	24.9	34.7	1.6	42.6	1.3	16.4	4.1	
	できない	129	15.5	3.1	3.9	1.6	9.3	0.8	10.1	1.6	27.1	38.0	3.1	37.2	3.9	15.5	1.6	
C 書く	よくできる	408	44.6	2.2	19.6	28.4	1.0	0.2	26.2	1.0	16.2	13.2	1.5	21.8	0.7	6.4	5.4	
	まあまあできる	416	30.0	2.6	13.2	11.8	3.4	1.0	20.9	1.7	26.7	27.6	1.9	27.4	0.2	13.0	3.6	
	あまりできない	405	18.5	4.2	8.6	7.7	5.7	2.7	18.0	2.5	28.4	34.1	1.7	41.0	1.7	12.3	3.5	
	できない	188	13.3	3.2	6.4	2.7	7.4	2.1	10.6	1.1	25.5	34.6	2.7	39.4	3.2	19.7	2.7	
D 聞く	よくできる	588	38.6	2.2	17.2	24.5	1.7	0.5	25.2	0.9	21.1	14.6	1.5	27.9	0.9	7.1	4.9	
	まあまあできる	572	22.9	3.1	11.5	8.4	4.5	2.8	20.1	1.6	28.8	32.9	1.4	35.5	0.9	12.4	3.3	
	あまりできない	220	18.2	4.5	5.9	3.6	5.9		9.1	2.7	20.5	38.6	3.2	32.7	2.7	19.5	2.7	
	できない	52	13.5	3.8	11.5	1.9	11.5	1.9	9.6	3.8	21.2	36.5	1.9	17.3	1.9	23.1	3.8	

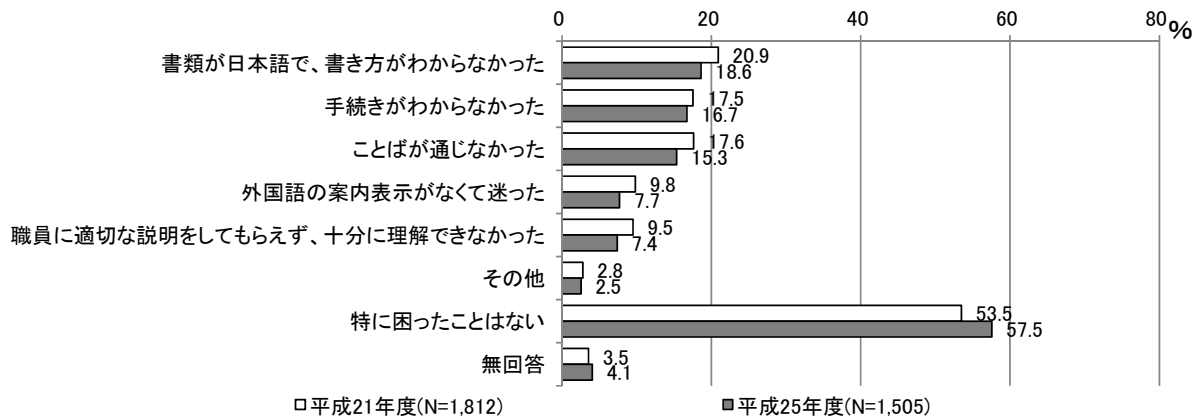
5. 行政窓口でのサービスについて

問 25 区役所などの行政窓口でのサービスについて伺います。あなたは区役所などの窓口で、困ったことはありますか。(〇はいくつでも)

- ・「特に困ったことはない」が 57.5% で最も多く、過半数の人が挙げている。困ったこととして最も多かったのは「書類が日本語で、書き方がわからなかった」の 18.6%、次いで「手続きがわからなかった」(16.7%)、「ことばが通じなかった」(15.3%)などの順となっている。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「特に困ったことはない」が 53.5% で最も多く過半数が挙げていることに変化はなく、類似した傾向となっている。



<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



■ 国籍別 行政窓口で困ること

- ・フィリピンとタイでは「書類が日本語で、書き方がわからなかった」、それ以外はいずれも「特に困ったことはない」が最も多くなっている。

国籍別 行政窓口で困ること

	合計	問25 行政窓口で困ること								
		な外国語の案内表示が	たことばが通じなかつた	か手続きがわからなかつた	た書類が日本語で、書き方がわからなかつた	にし職員に適切な説明を	その他	い特に困ったことはない	無回答	
全体	1505	7.7	15.3	16.7	18.6	7.4	2.5	57.5	4.1	
問4 国籍(統合)										
中国	687	3.9	20.1	19.4	11.5	4.8	2.2	58.2	3.8	
韓国・朝鮮	276	1.8	3.3	5.8	8.0	8.0	4.3	73.9	5.4	
フィリピン	131	22.1	19.1	22.9	45.8	13.7	0.8	38.9	2.3	
ブラジル	35	14.3	0.0	17.1	25.7	22.9	8.6	45.7	0.0	
アメリカ合衆国	45	8.9	17.8	24.4	31.1	8.9	0.0	57.8	2.2	
ベトナム	15	20.0	20.0	26.7	40.0	0.0	0.0	53.3	6.7	
ペルー	18	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	66.7	5.6	
タイ	32	34.4	9.4	34.4	37.5	6.3	0.0	28.1	9.4	
その他アジア	57	15.8	28.1	22.8	36.8	7.0	3.5	38.6	1.8	
その他	205	10.2	13.2	12.2	25.4	8.8	2.4	56.6	4.4	

■ 横浜での居住開始時期別 行政窓口で困ること

- ・いずれも「特に困ったことはない」が最も多く、居住開始年が古いほど数値が高い。また「ことばが通じなかつた」「手続きがわからなかつた」「書類が日本語で、書き方がわからなかつた」は、居住年数が浅いほど数値が高くなっている。

横浜での居住開始時期別 行政窓口で困ること

	合計	問25 行政窓口で困ること								
		な外国語の案内表示が	たことばが通じなかつた	か手続きがわからなかつた	た書類が日本語で、書き方がわからなかつた	にし職員に適切な説明を	その他	い特に困ったことはない	無回答	
全体	1505	7.7	15.3	16.7	18.6	7.4	2.5	57.5	4.1	
問7 横浜市在住開始年(統合)										
1984年以前	169	1.2	2.4	4.7	4.7	7.7	3.0	77.5	5.9	
1985年～1994年	154	9.7	7.1	13.0	16.2	10.4	2.6	64.9	4.5	
1995～2004年	343	6.4	9.3	14.6	17.8	6.7	1.5	62.4	3.2	
2005～2009年	393	7.4	19.3	20.1	19.6	6.9	3.1	52.9	4.6	
2010年以降	424	11.1	25.2	21.7	24.3	7.3	2.8	47.6	2.6	

■ 日本語習熟度別 行政窓口で困ること

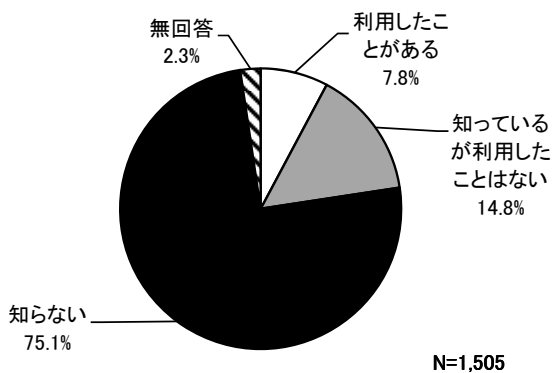
- ・「話す」「読む」「聞く」が「よくできる」「まあまあできる」場合は「特に困ったことはない」が最も多く、「書く」については「あまりできない」場合でも「特に困ったことはない」が最も多くなっている。
- ・「話す」「聞く」が「あまりできない」「できない」場合は「ことばが通じなかった」が最も多く、「読む」が「あまりできない」「できない」場合と「書く」が「できない」場合は「書類が日本語で、書き方がわからなかった」が最も多い。「話す」「読む」「聞く」が「できない」では「行政窓口で困ること」の4項目について全体値を10ポイント以上超えている。

日本語習熟度別 行政窓口で困ること

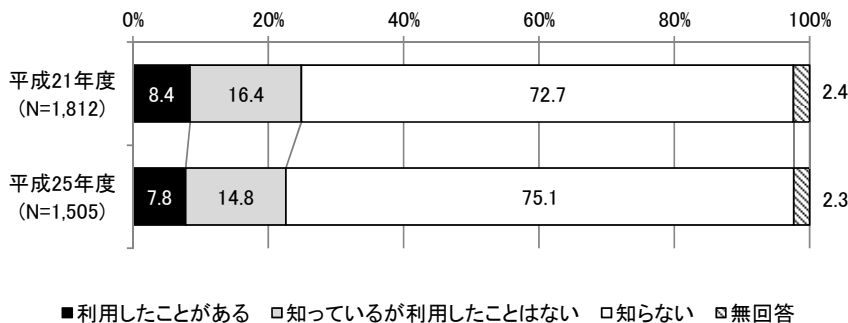
		合計	問25 行政窓口で困ること							無回答
			な外国語の案内表示が	たことばが通じなかった	か手続きがわからなかった	た書類が日本語で、書き方がわからなかった	にし職員に適切な説明を求められなかった	その他	い特に困ったことはない	
	全体	1505	7.7	15.3	16.7	18.6	7.4	2.5	57.5	4.1
A 話す	よくできる	574	1.2	0.7	8.0	5.9	6.8	3.7	77.2	3.1
	まあまあできる	558	8.4	11.6	21.1	22.2	7.9	2.3	55.0	3.8
	あまりできない	279	16.8	45.5	24.0	35.1	8.6	0.7	30.8	3.6
	できない	52	23.1	51.9	32.7	36.5	7.7	1.9	19.2	5.8
B 読む	よくできる	480	0.0	1.0	6.0	1.7	5.8	3.8	82.7	2.9
	まあまあできる	490	6.1	12.0	18.8	16.5	6.1	2.9	57.1	3.9
	あまりできない	317	16.4	29.7	25.9	39.1	11.4	1.9	36.6	2.2
	できない	129	21.7	40.3	27.9	42.6	10.9	0.0	26.4	5.4
C 書く	よくできる	408	0.2	0.7	5.9	2.0	5.4	3.9	83.1	3.2
	まあまあできる	416	4.3	11.3	16.8	12.0	5.5	2.4	61.8	3.1
	あまりできない	405	13.1	22.5	23.7	30.9	10.4	2.2	43.5	3.5
	できない	188	20.2	37.8	26.1	44.1	11.7	1.1	29.3	3.2
D 聞く	よくできる	588	1.0	1.2	8.7	6.1	6.6	3.6	76.7	3.1
	まあまあできる	572	10.1	14.0	21.0	24.5	9.3	2.6	53.3	3.5
	あまりできない	220	15.5	45.9	25.9	34.5	6.4	0.0	28.6	3.6
	できない	52	23.1	53.8	30.8	36.5	7.7	1.9	25.0	3.8

**問 26 あなたは港北区・鶴見区・中区の住民登録窓口に、外国語のできる国際サービス員が配置されているのを知っていますか。また、利用したことがありますか。
(○は1つだけ)**

- ・「知らない」が75.1%で、全体の4分の3を占めている。次いで「知っているが利用したことはない」が14.8%、「利用したことがある」は7.8%で1割に満たない。「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」を合わせると22.6%で、認知度は2割強となっている。
- ・平成21年度調査と比較すると、「利用したことがある」(8.4%)が0.7ポイント、「知っているが利用したことはない」(16.4%)が1.6ポイント減少し、「知らない」(72.7%)が2.3ポイント増加しており、認知度はわずかに下がっている。

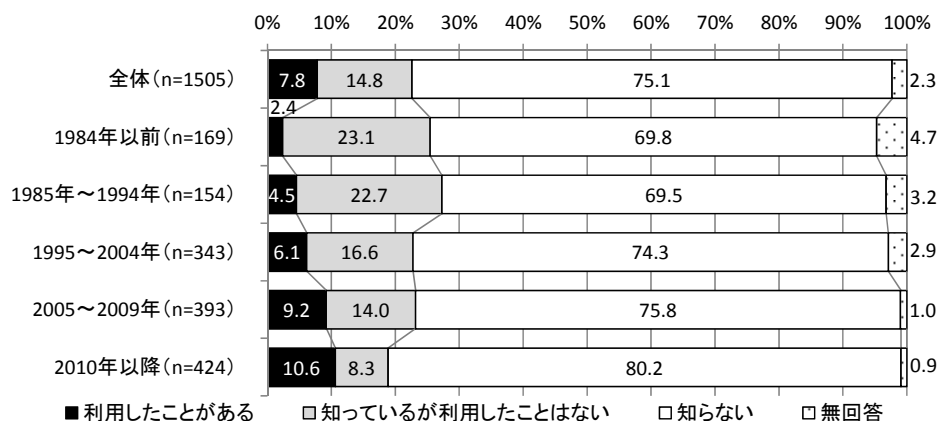


< 参考 平成21年度調査結果との比較 >



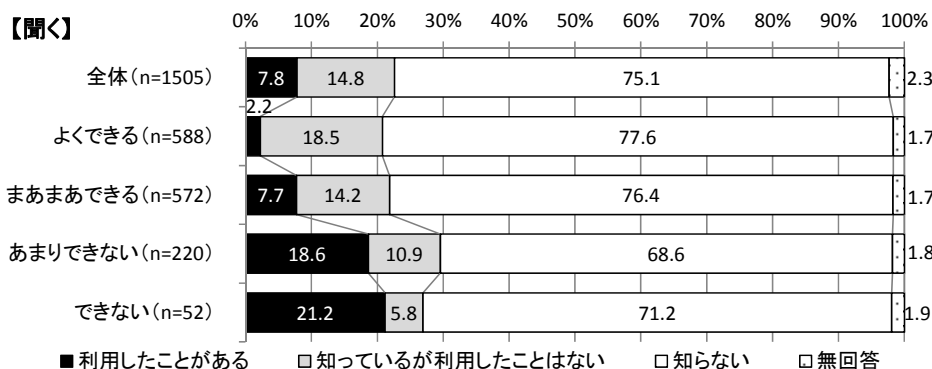
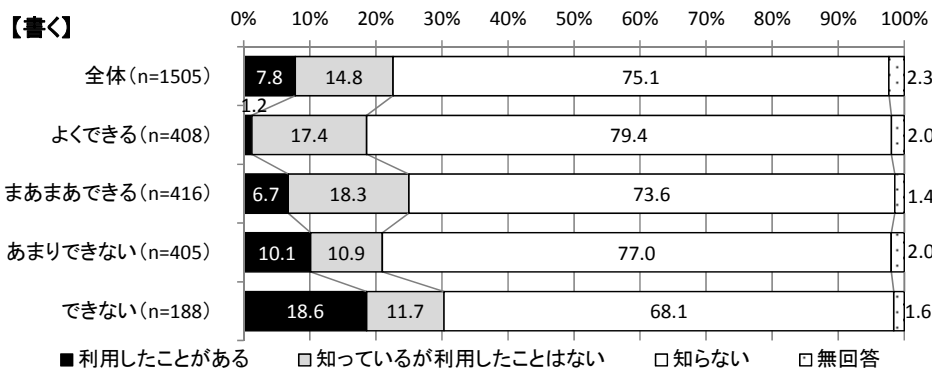
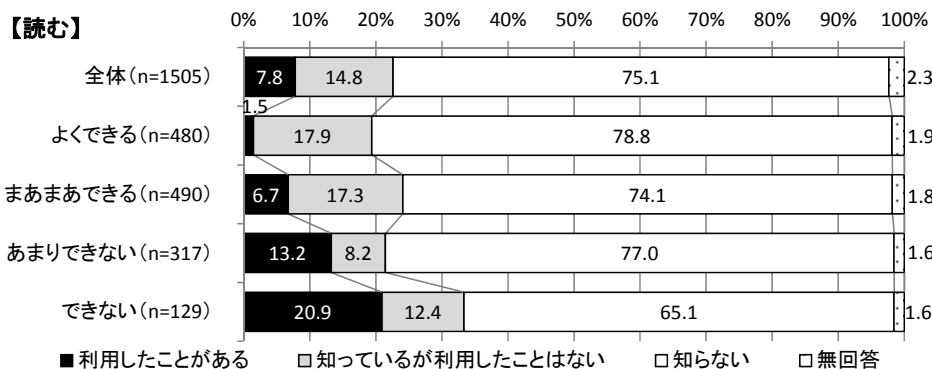
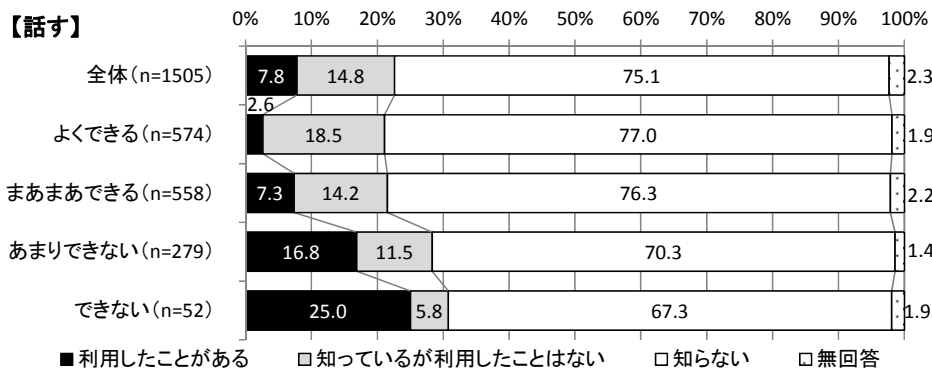
■ 横浜での居住開始時期別 国際サービス員の認知度

- ・いずれも「知らない」が最も多いが、居住年数が古いほど認知度が低いのにに対し「利用したことがある」の数値は居住年数が浅いほど高くなっている。



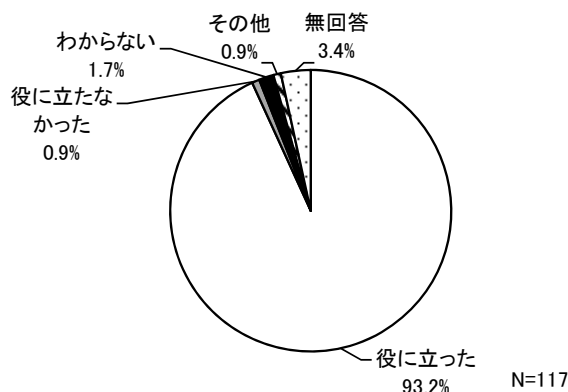
■ 日本語習熟度別 国際サービス員の認知度

- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれも「知らない」が最も多く、「よくできる」人では「知らない」が8割近い。また、「できない」人では「利用したことがある」の数値が全体値に比べて高いほか、「聞く」ことが「あまりできない」人でも「利用したことがある」の数値が高い。

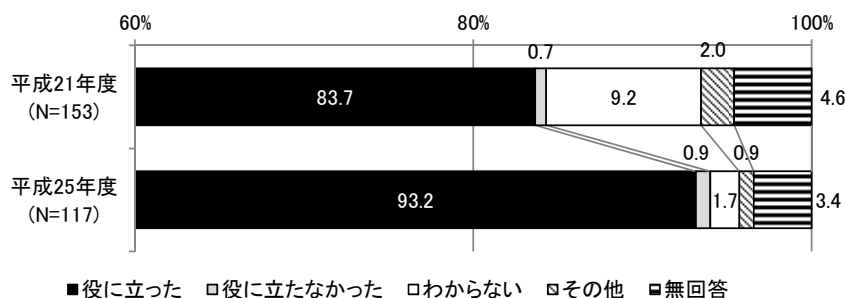


問 27 問 26 で「1. 利用したことがある」を選んだ方にお聞きします。国際サービス員は役に立ちましたか。(〇は 1 つだけ)

- ・「役に立った」が 93.2% で最も多く、圧倒的多数を占める。回答件数で見ると、回答者数 117 人のうち、「役に立った」109 人、「役に立たなかった」1 人、「わからない」2 人、「その他」は 1 人の回答であった。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「役に立った」が 83.7% から 9.5 ポイント大きく上昇、「わからない」(9.2%) が 7.4 ポイント減少している。



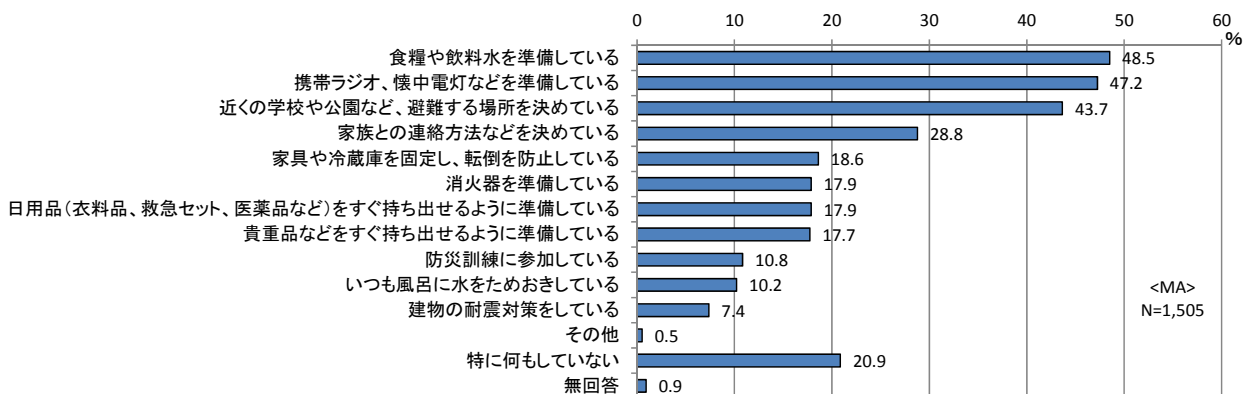
< 参考 平成 21 年度調査結果との比較 >



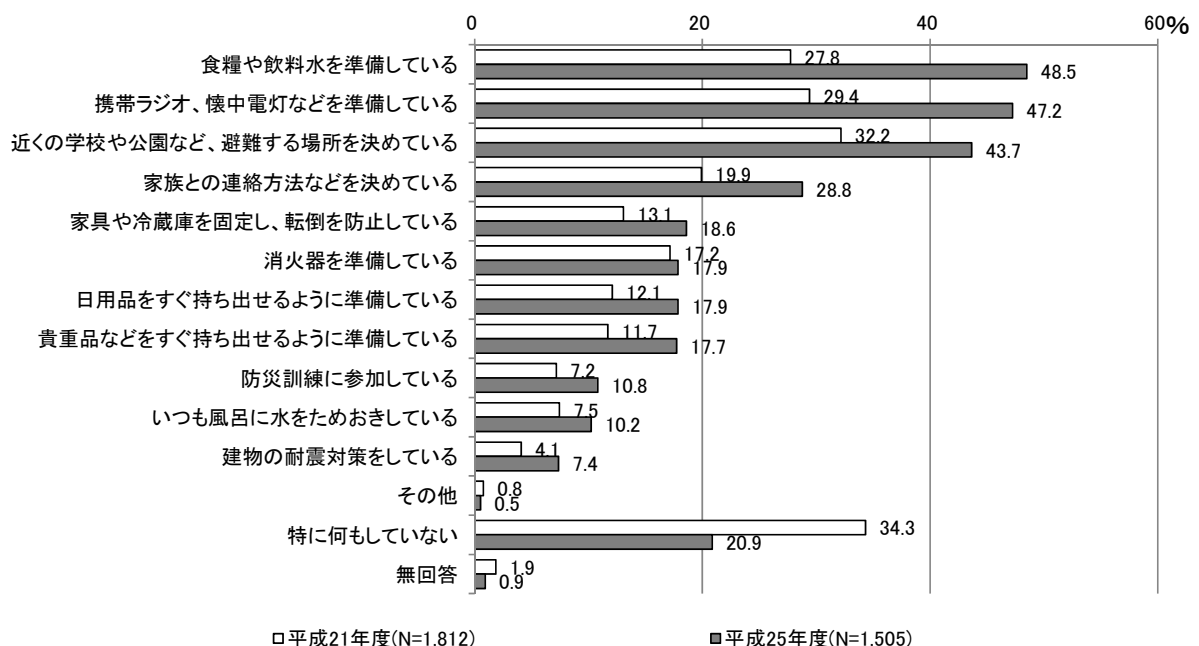
6. 防災について

問 28 あなたは日頃から、災害への備えを何かしていますか。(〇はいくつでも)

- ・「食糧や飲料水を準備している」が 48.5%で最も多く、「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」が 47.2%と僅差で続く。次いで「近くの学校や公園など、避難する場所を決めている」が 43.7%で、これら3つは4割以上の人々が挙げている。次いで「家族との連絡方法などを決めている」(28.8%)が3割弱である。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、平成 21 年度では「特に何もしていない」が 34.3%で最も多かったが、13.5 ポイント減少して5位に後退しており、平成 23 年の東日本大震災を経験して、防災意識に大きな変化があったことがわかる。4位の「食糧や飲料水を準備している」(27.8%)が 20.7 ポイント増加して1位、3位の「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」(29.4%)は 17.8 ポイント増加して2位となっている。また、これら以外の項目についても「その他」「特に何もしていない」を除き、数値が上昇している。



<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 日ごろからしている災害への備え

- ・29歳以下では「近くの学校や公園など、避難する場所を決めている」、30歳代では「食糧や飲料水を準備している」、40歳代以上の世代では「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」が最も多くなっている。

年齢別 日ごろからしている災害への備え

	合計	問28 日頃からしている災害への備え														
		携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している	食糧や飲料水を準備している	消火器を準備している	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	いつも風呂に水をためおきしている	家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している	家族との連絡方法などを決めている	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	日用品（衣料品、救急セット、医薬品など）をすぐ持ち出せるように準備している	建物の耐震対策をしている	防災訓練に参加している	その他	特に何もしていない	無回答	
全体	1505	47.2	48.5	17.9	43.7	10.2	18.6	28.8	17.7	17.9	7.4	10.8	0.5	20.9	0.9	
問2 年齢	29歳以下	276	29.0	33.3	9.4	40.6	4.3	8.3	25.4	13.0	11.6	4.7	13.0	0.4	30.1	0.7
	30～39歳	456	39.9	49.3	13.2	39.3	6.8	18.0	26.1	19.1	17.8	5.9	9.2	0.2	23.9	0.7
	40～49歳	355	56.9	54.6	20.0	49.0	11.0	21.4	30.7	17.7	21.1	6.5	12.1	0.6	14.9	0.6
	50～59歳	230	57.4	54.8	26.5	46.5	14.3	23.5	38.3	20.4	20.9	13.5	10.4	1.3	19.1	0.9
	60～69歳	108	65.7	53.7	26.9	52.8	23.1	22.2	24.1	16.7	19.4	10.2	12.0	0.9	9.3	1.9
	70～79歳	53	56.6	49.1	24.5	35.8	18.9	26.4	28.3	17.0	15.1	7.5	9.4	0.0	17.0	1.9
	80歳以上	20	60.0	40.0	45.0	40.0	20.0	35.0	30.0	35.0	20.0	10.0	0.0	0.0	15.0	5.0

■ 横浜での居住開始時期別 日ごろからしている災害への備え

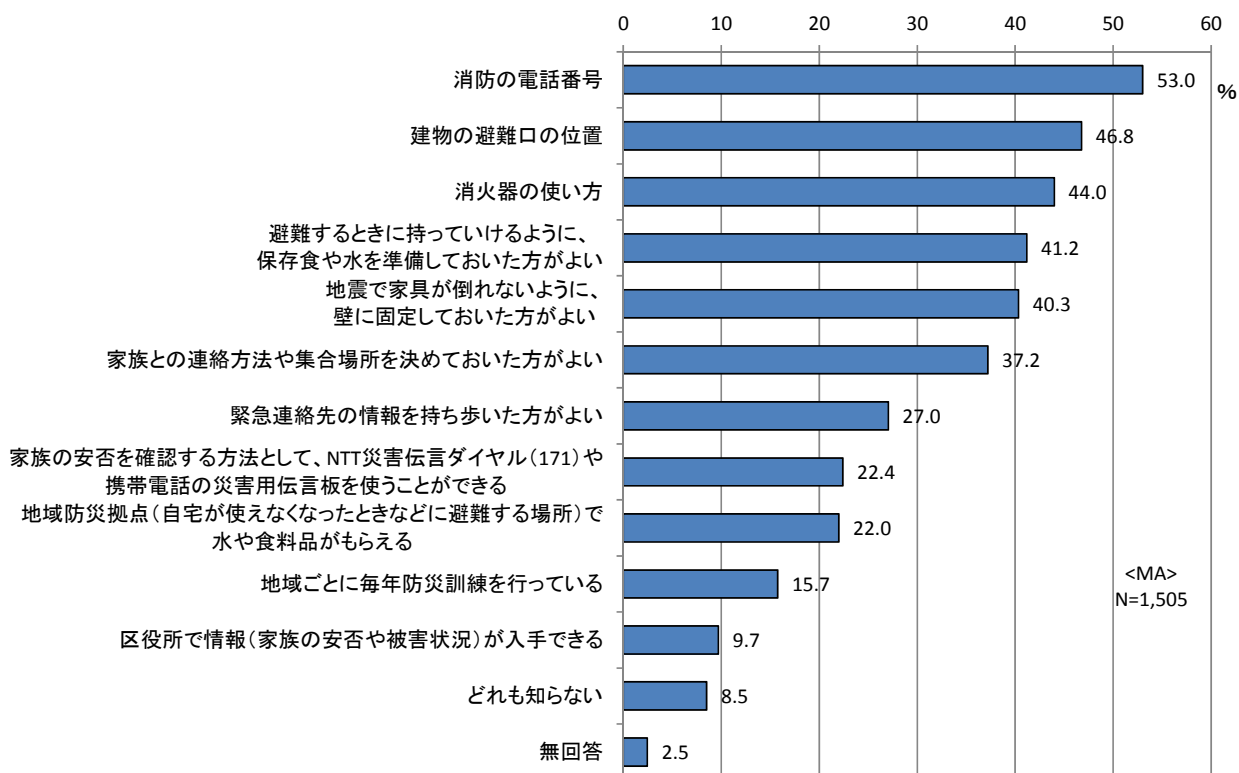
- ・1985年～1994年より以前に居住を開始した人では「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」、1995年以降に居住を開始した人では「食糧や飲料水を準備している」が最も多くなっている。また、1984年以前に居住を開始した人で「消火器を準備している」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高いほか、居住年数が浅いほど「特に何もしていない」の数値が高い。

横浜での居住開始時期別 日ごろからしている災害への備え

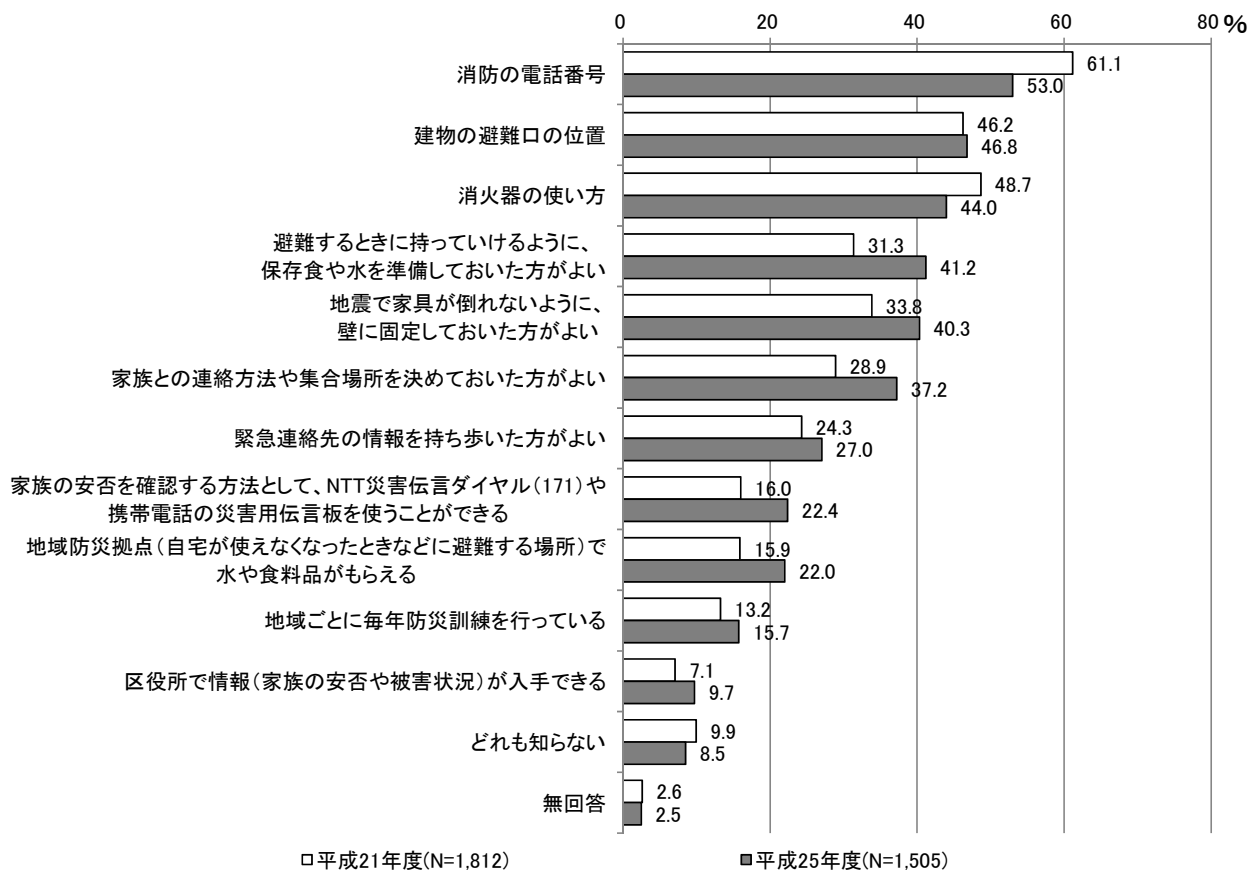
	合計	問28 日頃からしている災害への備え														
		携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している	食糧や飲料水を準備している	消火器を準備している	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	いつも風呂に水をためおきしている	家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している	家族との連絡方法などを決めている	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	日用品（衣料品、救急セット、医薬品など）をすぐ持ち出せるように準備している	建物の耐震対策をしている	防災訓練に参加している	その他	特に何もしていない	無回答	
全体	1505	47.2	48.5	17.9	43.7	10.2	18.6	28.8	17.7	17.9	7.4	10.8	0.5	20.9	0.9	
問7 横浜市内 居住開始年（統合）	1984年以前	169	59.2	46.2	29.0	45.0	18.3	20.7	26.0	17.2	16.0	10.7	8.9	0.0	18.3	1.8
	1985年～1994年	154	57.1	53.9	26.0	47.4	11.7	23.4	31.2	16.2	20.1	8.4	9.1	1.3	17.5	1.3
	1995～2004年	343	55.7	56.9	19.5	47.8	11.4	24.5	33.8	21.6	20.4	9.9	13.7	0.3	16.3	0.9
	2005～2009年	393	48.6	52.7	14.0	47.3	12.0	17.8	30.8	19.1	20.9	6.1	10.4	0.5	18.8	0.0
	2010年以降	424	30.4	37.7	12.0	35.4	3.5	11.6	23.3	14.2	13.0	5.0	10.6	0.7	28.8	0.7

問 29 あなたは災害に関して、次のことを知っていますか。(〇はいくつでも)

- ・「消防の電話番号」が最も多く 53.0%で、半数以上の方が挙げている。次いで「建物の避難口の位置」(46.8%)、「消火器の使い方」(44.0%)、「避難するときに持っていけるように、保存食や水を準備しておいた方がよい」(41.2%)、「地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい」(40.3%)を4割以上が、「家族との連絡方法や集合場所を決めておいた方がよい」(37.2%)を4割弱が挙げている。
- ・平成21年度調査と比較すると、「消防の電話番号」が61.1%で最も多いことに変化はないが、数値は8.1ポイント減少している。2位以下の項目についても、若干の順序の入れ替わりはあるが、傾向に変化はみられない。但し、「避難するときに持っていけるように、保存食や水を準備しておいた方がよい」が9.8ポイント、「家族との連絡方法や集合場所を決めておいた方がよい」が8.3ポイント、「地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい」が6.5ポイント、「家族の安否を確認する方法として、NTT災害伝言ダイヤル(171)や携帯電話の災害用伝言板を使うことができる」が6.4ポイント増加するなど、大きく数値が上昇している項目も多く、東日本大震災の経験で得た知識が反映していると考えられる。



<参考 平成21年度調査結果との比較>



■ 男女別 災害に関する知識

- ・男性は「消火器の使い方」、女性は「消防の電話番号」が最も多い。また、男性は女性より「建物の避難口の位置」が16.2ポイント高くなっている。

男女別 災害に関する知識

	合計	問29 災害に関する知識															
		消火器の使い方	消防の電話番号	建物の避難口の位置	区役所で情報(家族の安否や被害状況)が入手できる	用伝言板を使うことができる	家族の安否を確認する方法として、NTT災害伝言ダイヤル(171)や携帯電話の災害用伝言板を使うことができる	食料品がもらえる	地域防災拠点(自宅が使えなくなったときに避難する場所)で水や食料品がもらえる	地域ごとに毎年防災訓練を行っている	避難するときに持っていけるように、保存食や水を準備しておいた方がよい	壁に固定しておいた方がよい	地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい	地域ごとに毎年防災訓練を行っている	決めておいた方がよい	家族との連絡方法や集合場所を決めておいた方がよい	緊急連絡先の情報を持ち歩いた方がよい
全体	1505	44.0	53.0	46.8	9.7	22.4	22.0	41.2	40.3	15.7	37.2	27.0	8.5	2.5			
問1 性別	男	584	63.2	58.4	56.5	11.0	23.3	21.2	40.1	41.1	15.8	33.4	25.9	5.5	1.9		
	女	871	30.9	49.0	40.3	9.0	21.8	23.4	42.4	41.0	16.3	40.6	28.2	10.8	2.8		

■ 年齢別 災害についての知識

- ・いずれも「消防の電話番号」が最も多い。また、ややサンプル数が少ないものの、80歳以上では「地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい」の数値が高く、一方「建物の避難口の位置」の数値が低くなっている。

年齢別 災害についての知識

		合計	問29 災害についての知識														
			消火器の使い方	消防の電話番号	建物の避難口の位置	区役所で情報（家族の安否や被害状況）が入手できる	用伝言板を使うことができる	家族の安否を確認する方法として、NTT災害伝言ダイヤル（171）や携帯電話の災害用伝言板を使うことができる	食料品がもらえる	地域防災拠点（自宅が使えなくなったときに避難する場所）で水や飲料品がもらえる	避難するときに持つていけるように、保存食や水を準備しておいた方がよい	壁に固定しておいた方がよい	地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい	地域ごとに毎年防災訓練を行っている	決めておいた方がよい	家族との連絡方法や集合場所を決めておいた方がよい	方
全体		1505	44.0	53.0	46.8	9.7	22.4	22.0	41.2	40.3	15.7	37.2	27.0	8.5	2.5		
問2 年齢	29歳以下	276	43.5	52.9	49.3	10.9	14.5	14.1	29.0	27.5	10.1	26.1	26.8	10.1	0.7		
	30～39歳	456	43.6	50.0	48.0	9.4	23.0	21.3	43.2	42.3	13.6	36.6	27.9	9.9	1.3		
	40～49歳	355	42.0	51.3	42.3	6.8	25.4	24.5	45.9	45.6	20.3	41.4	29.3	6.5	2.5		
	50～59歳	230	45.2	53.5	50.0	12.2	27.0	25.2	44.8	42.6	18.3	45.7	23.9	8.3	3.0		
	60～69歳	108	53.7	68.5	50.0	12.0	25.0	29.6	45.4	44.4	21.3	40.7	31.5	5.6	5.6		
	70～79歳	53	41.5	54.7	39.6	11.3	17.0	22.6	34.0	34.0	13.2	30.2	11.3	7.5	7.5		
	80歳以上	20	40.0	60.0	30.0	10.0	15.0	30.0	50.0	55.0	15.0	35.0	35.0	10.0	10.0		

■ 横浜での居住開始時期別 災害についての知識

- ・2005～2009年までに居住開始した人では「消防の電話番号」、2010年以降の人では「建物の避難口の位置」が最も多い。また、1984年以前に居住開始した人では「家族の安否を確認する方法として、NTT災害伝言ダイヤル（171）や携帯電話の災害用伝言板を使うことができる」の数値が全体値に比べて高くなっている。また、「どれも知らない」の数値は居住年数が浅いほど高い。

横浜での居住開始時期別 災害についての知識

		合計	問29 災害についての知識														
			消火器の使い方	消防の電話番号	建物の避難口の位置	区役所で情報（家族の安否や被害状況）が入手できる	用伝言板を使うことができる	家族の安否を確認する方法として、NTT災害伝言ダイヤル（171）や携帯電話の災害用伝言板を使うことができる	食料品がもらえる	地域防災拠点（自宅が使えなくなったときに避難する場所）で水や飲料品がもらえる	避難するときに持つていけるように、保存食や水を準備しておいた方がよい	壁に固定しておいた方がよい	地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい	地域ごとに毎年防災訓練を行っている	決めておいた方がよい	家族との連絡方法や集合場所を決めておいた方がよい	方
全体		1505	44.0	53.0	46.8	9.7	22.4	22.0	41.2	40.3	15.7	37.2	27.0	8.5	2.5		
問7 横浜市在住開始年（統合）	1984年以前	169	51.5	71.6	51.5	13.0	33.1	29.0	45.6	47.3	18.3	46.7	29.0	4.1	5.3		
	1985年～1994年	154	47.4	56.5	44.8	9.1	31.8	31.2	48.1	46.8	22.7	44.8	27.3	5.8	6.5		
	1995～2004年	343	43.7	53.6	47.2	13.1	27.4	23.6	49.3	45.2	19.2	45.8	26.5	8.2	0.6		
	2005～2009年	393	43.3	50.4	45.0	7.4	18.6	22.1	40.5	38.7	16.0	32.8	28.8	8.9	2.5		
	2010年以降	424	40.6	46.0	46.5	7.8	14.4	14.2	31.8	33.0	9.4	28.5	25.0	11.3	0.7		

■ 日本語習熟度別 災害についての知識

- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」が「よくできる」「まあまあできる」人と「話す」「書く」が「あまりできない」人では「消防の電話番号」が、「話す」「読む」「書く」「聞く」が「できない」人と「読む」「聞く」が「あまりできない」人で「建物の避難口の位置」が最も多くなっている。また、日本語の習熟度が高い人ほど各項目の数値も高い。一方、日本語習熟度が低い人ほど「どれも知らない」の数値が高くなっており、特に「話す」ことが「できない」人では全体値を10ポイント以上上回っている。

日本語習熟度別 災害についての知識

		問29 災害についての知識															
		合計	消火器の使い方	消防の電話番号	建物の避難口の位置	区役所で情報（家族の安否や被害状況）が入手できる	用伝言板を使うことができる	家族の安否を確認する方法として、災害伝言ダイヤル（112）や携帯電話の災害伝言板を使うことができる	食料品がもらえる	地域防災拠点（自宅が使えなくなったときに避難する場所）で水や食料品がもらえる	避難するときに持つべきもの	壁に固定しておいた方がよい	地震で家具が倒れないように、壁に固定しておいた方がよい	地域ごとに毎年防災訓練を行っている	家族との連絡方法や集合場所を決めておいた方がよい	緊急連絡先の情報を持ち歩いた方がよい	どれも知らない
全体		1505	44.0	53.0	46.8	9.7	22.4	22.0	41.2	40.3	15.7	37.2	27.0	8.5	2.5		
A 話す	よくできる	574	50.9	63.6	53.1	13.6	34.7	30.1	51.6	51.7	21.4	50.9	30.3	4.9	1.9		
	まあまあできる	558	40.5	49.8	43.0	7.0	17.9	19.9	39.1	34.2	13.4	33.0	25.3	8.8	2.7		
	あまりできない	279	39.8	44.4	43.7	7.9	10.8	11.8	30.5	34.1	10.4	23.7	24.7	12.9	1.4		
	できない	52	32.7	19.2	40.4	5.8	9.6	9.6	17.3	21.2	7.7	21.2	25.0	19.2	1.9		
B 読む	よくできる	480	52.1	65.4	53.5	13.1	36.7	32.7	54.0	54.0	23.5	53.3	30.2	5.2	1.7		
	まあまあできる	490	43.3	52.9	42.4	9.2	20.4	19.4	40.4	35.7	13.7	33.1	25.3	7.6	2.7		
	あまりできない	317	36.3	42.9	46.7	5.7	10.7	15.1	34.7	34.4	10.4	29.3	25.6	12.6	1.6		
	できない	129	40.3	39.5	45.0	10.9	12.4	10.9	22.5	29.5	10.1	26.4	27.1	13.2	2.3		
C 書く	よくできる	408	52.2	66.2	53.7	13.7	39.0	32.1	54.9	53.4	22.5	52.0	32.1	5.1	2.0		
	まあまあできる	416	44.2	57.0	45.2	9.4	22.6	23.6	42.5	37.7	15.6	37.7	23.6	5.8	1.7		
	あまりできない	405	40.0	45.9	44.2	6.7	12.6	15.8	36.8	36.3	13.3	31.6	27.2	11.1	2.5		
	できない	188	39.4	37.2	46.8	9.0	11.2	12.2	24.5	31.4	8.0	25.5	24.5	14.9	2.1		
D 聞く	よくできる	588	50.7	63.8	53.1	13.6	34.5	29.8	51.0	52.4	21.1	50.2	29.6	5.3	1.7		
	まあまあできる	572	41.1	49.7	43.0	7.2	17.7	19.6	39.5	34.8	12.4	32.5	25.2	9.1	2.6		
	あまりできない	220	37.7	43.6	44.1	6.4	8.6	8.6	29.1	29.5	10.5	22.3	25.9	14.5	0.9		
	できない	52	38.5	25.0	42.3	11.5	5.8	15.4	21.2	25.0	15.4	26.9	23.1	15.4	3.8		

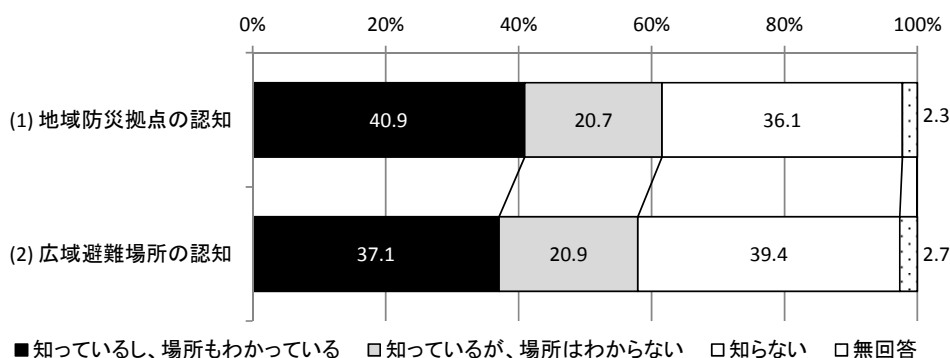
問 30 あなたは大地震が起こった場合に避難する、次の場所について知っていますか。

(○はそれぞれ1つだけ)

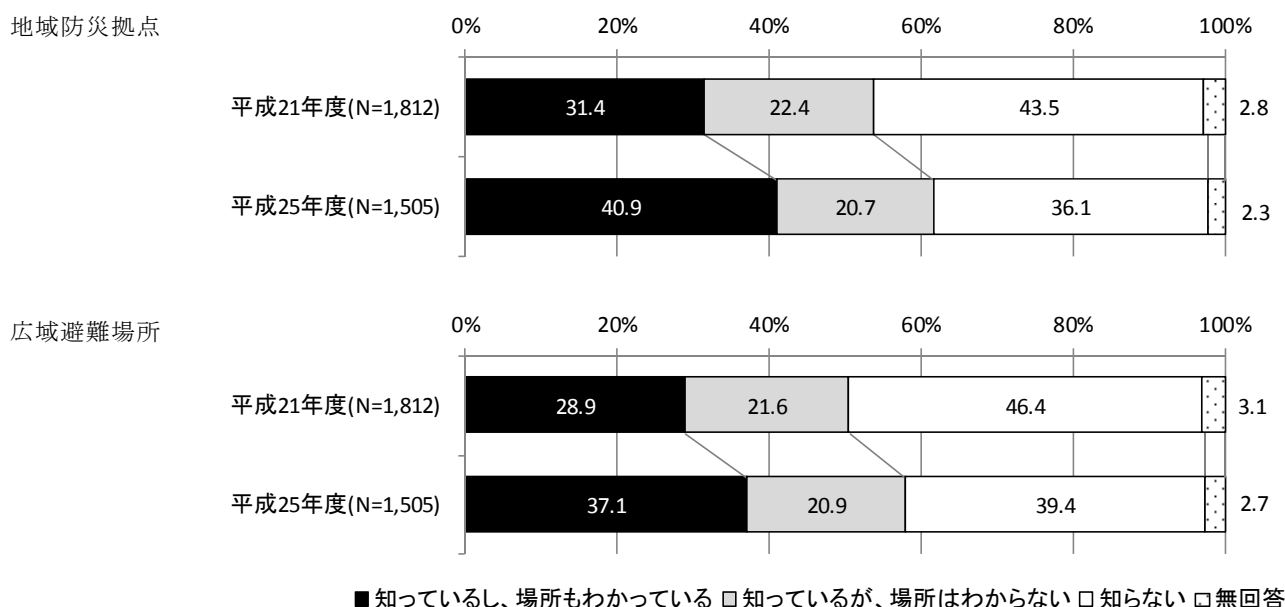
(1) 地域防災拠点 (自宅が使えなくなったときなどに避難する場所)

(2) 広域避難場所 (地震による大火災が発生したときに、一時的に避難する場所)

- ・地域防災拠点については、「知っているし、場所もわかっている」が40.9%で最も多く、次いで「知らない」が36.1%、「知っているが、場所はわからない」が20.7%となっている。
- ・広域避難場所については、「知らない」が39.4%で最も多く、地域防災拠点に比べて認知度がやや低い。次いで「知っているし、場所もわかっている」は37.1%、「知っているが、場所はわからない」は20.9%となっている。
- ・平成21年度調査と比較すると、地域防災拠点については「知っているし、場所もわかっている」(31.4%)が9.5ポイント上昇、「知らない」(43.5%)は7.3ポイント減少し、広域避難場所については「知っているし、場所もわかっている」(28.9%)が8.2ポイント上昇、「知らない」(46.4%)は7.0ポイント減少しており、ともに周知が進んでいる。



<参考 平成21年度調査結果との比較>

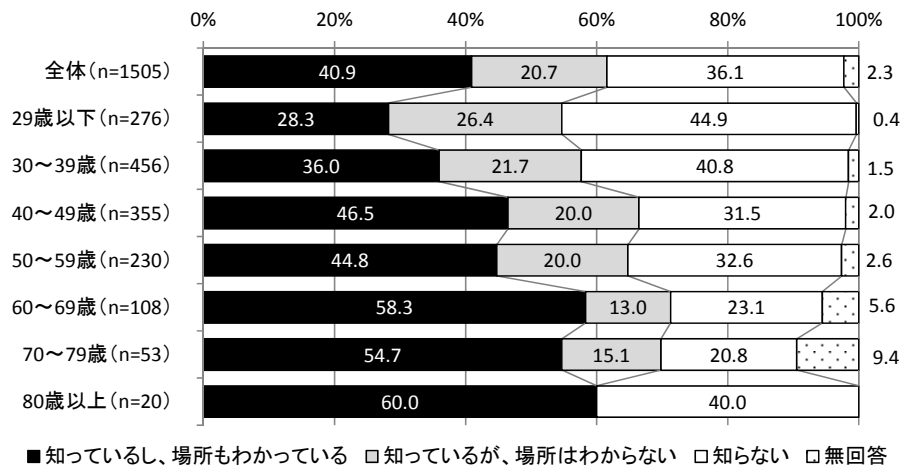


■ 年齢別 地域防災拠点・広域避難場所の認知度

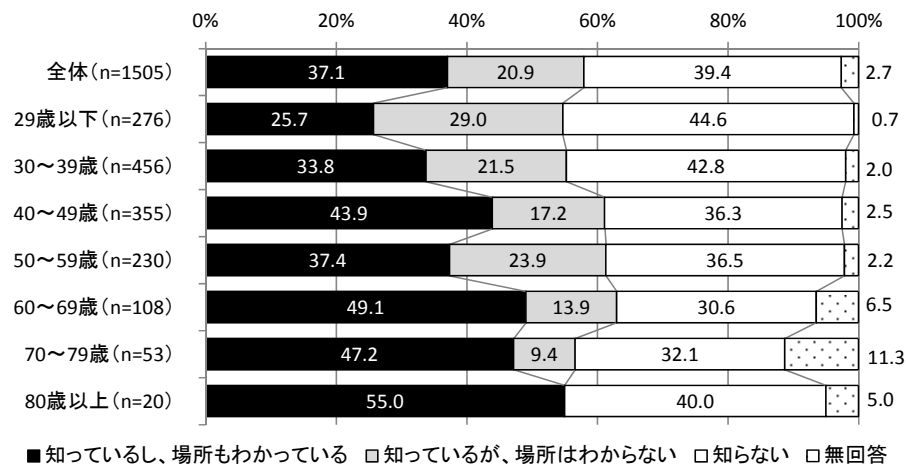
- ・ 地域防災拠点・広域避難場所ともに、30歳以下の若い世代では「知らない」、40歳以上の世代では「知っているし、場所もわかっている」が最も多くなっている。

年齢別 地域防災拠点・広域避難場所の認知度

地域防災拠点



広域避難場所

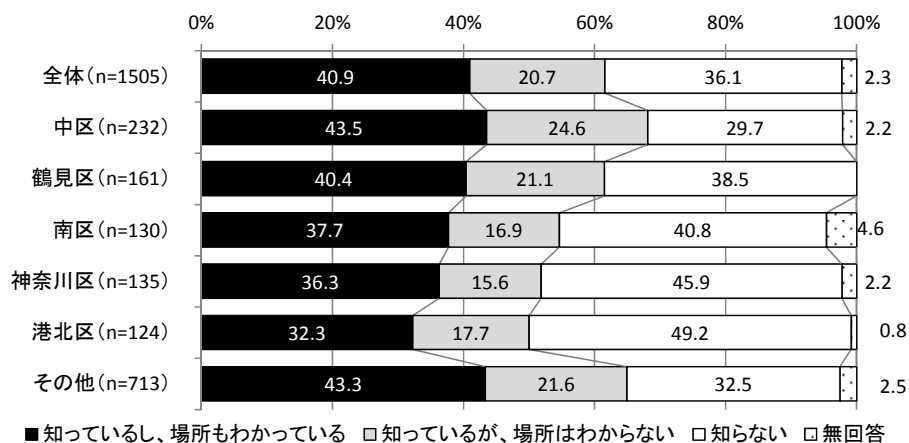


■ 居住区別 地域防災拠点・広域避難場所の認知度

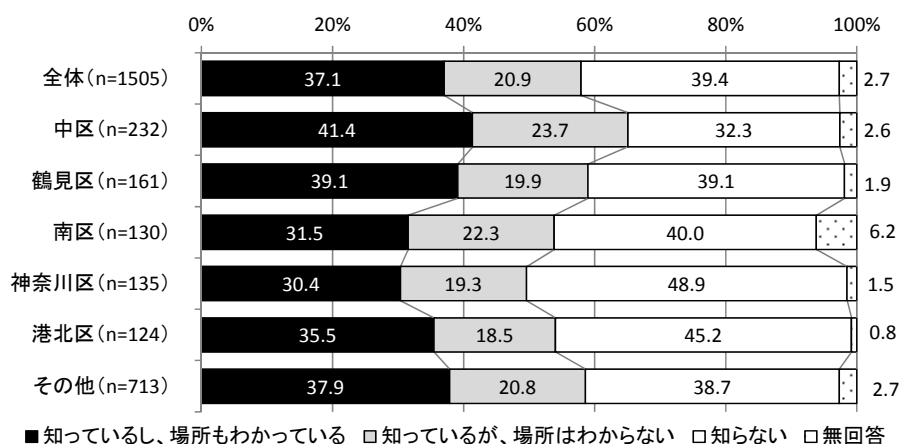
- ・地域防災拠点については、中区、鶴見区、その他の区で「知っているし、場所もわかっている」、南区、神奈川区、港北区では「知らない」が最も多くなっている。
- ・広域避難場所については、中区で「知っているし、場所もわかっている」、鶴見区で「知っているし、場所もわかっている」「知らない」が同率、南区、神奈川区、港北区では「知らない」が最も多くなっている。
- ・港北区では、広域避難場所を「知っている」の数値が地域防災拠点を「知っている」の数値をわずかながら上回っている。

居住区別 地域防災拠点・広域避難場所の認知度

地域防災拠点



広域避難場所

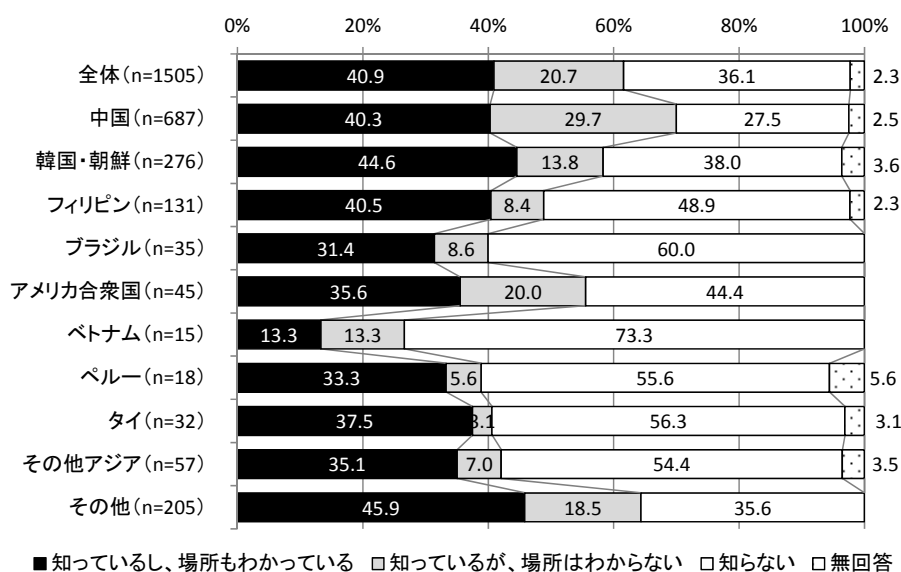


■ 国籍別 地域防災拠点・広域避難場所の認知度

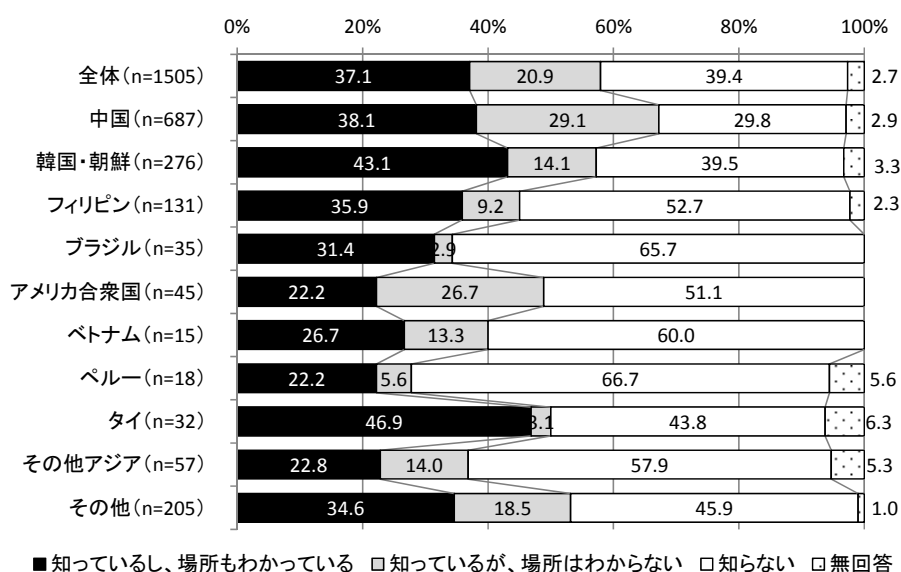
- ・ 地域防災拠点については、中国、韓国・朝鮮、その他で「知っているし、場所もわかっている」、それ以外の国籍では「知らない」が最も多くなっている。
- ・ 広域避難場所については、中国、韓国・朝鮮、タイで「知っているし、場所もわかっている」それ以外の国籍では「知らない」が最も多くなっている。
- ・ ベトナムとタイでは、地域防災拠点より広域避難場所の方が認知度は高くなっている。

国籍別 地域防災拠点・広域避難場所の認知度

地域防災拠点



広域避難場所

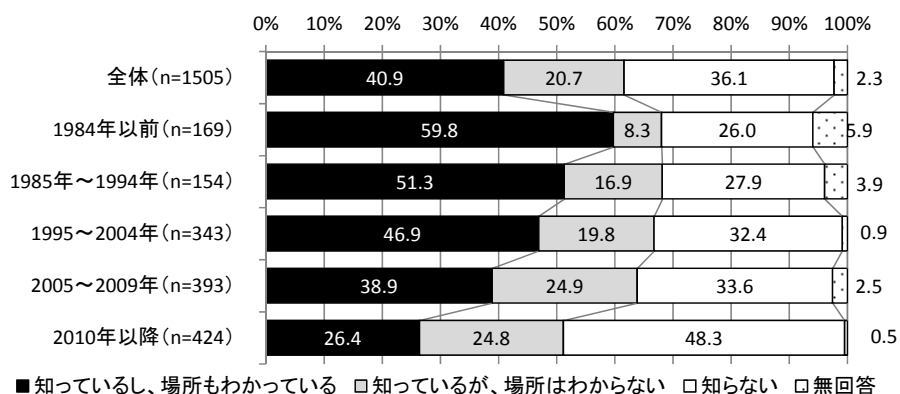


■ 横浜での居住開始時期別 地域防災拠点・広域避難場所の認知度

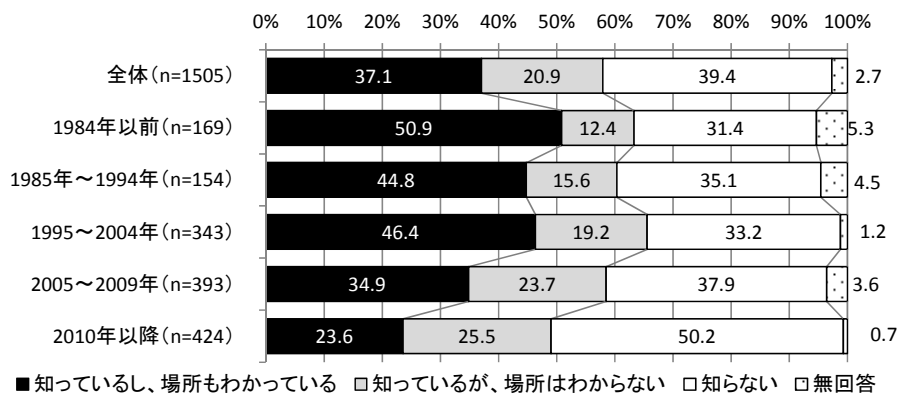
- ・地域防災拠点については、2005～2009年以前に居住を開始した人では「知っているし、場所もわかっている」、2010年以降では「知らない」が最も多く、居住開始年が浅くなるにつれて認知度が低くなっている。
- ・広域避難場所については、1995～2004年以前に居住を開始した人では「知っているし、場所もわかっている」、2005～2009年以降では「知らない」が最も多くなっている。

横浜での居住開始時期別 地域防災拠点・広域避難場所の認知度

地域防災拠点



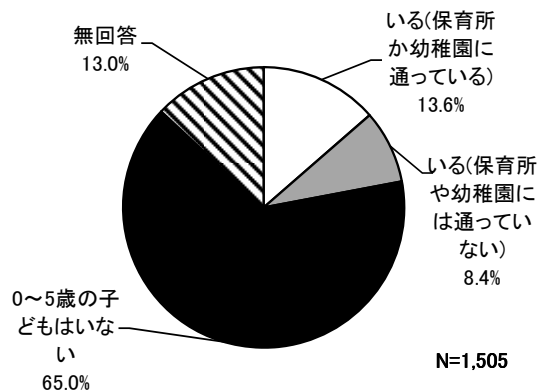
広域避難場所



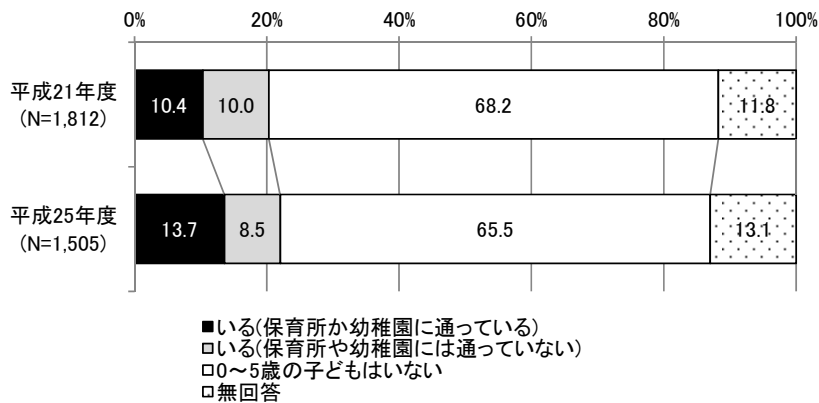
7. 子育て・教育について

問 31 あなたには0歳～5歳のお子さんがいますか。(〇はいくつでも)

- ・「0～5歳の子どもはいない」が65.0%で最も多くなっている。「いる(保育所か幼稚園に通っている)」は13.7%、「いる(保育所や幼稚園には通っていない)」は8.5%で、これらを合わせると22.2%となり、0～5歳の子どもがいるのは2割強である。
- ・平成21年度調査と比較すると、「0～5歳の子どもはいない」は68.2%から2.6ポイント減少している。「いる(保育所か幼稚園に通っている)」は3.3ポイント増加しているが、「いる(保育所や幼稚園には通っていない)」は1.5ポイント減少しており、0～5歳の子どもがいるのは1.8ポイントの増加となっている。

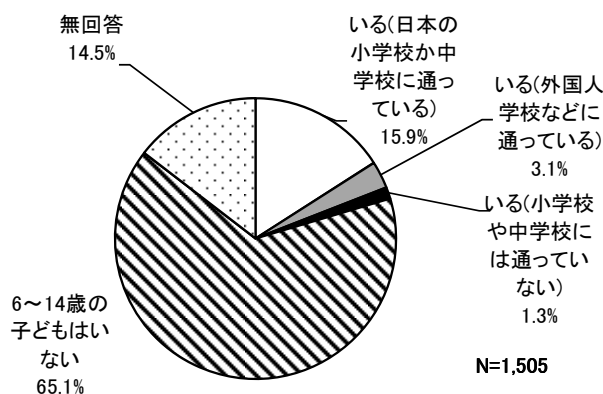


< 参考 平成21年度調査結果との比較 >

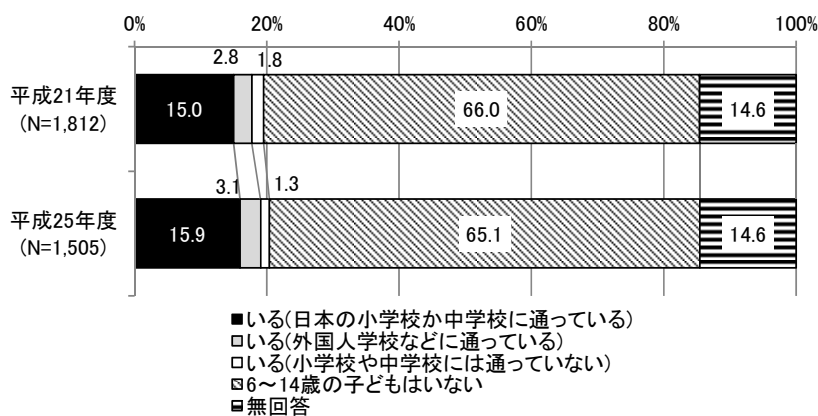


問 32 あなたには 6 歳～14 歳のお子さんがいますか。(〇はいくつでも)

- ・「0～5歳の子どもはいない」が 65.1%で最も多くなっている。「いる(日本の小学校か中学校に通っている)」は 15.9%、「いる(外国人学校などに通っている)」は 3.1%、「いる(小学校や中学校には通っていない)」は 1.3%で、これらを合わせると 20.3%となり、6～14歳の子どもがいるのは約2割である。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、いずれの選択肢も 1 ポイント未満の増減で、傾向に変化は見られない。

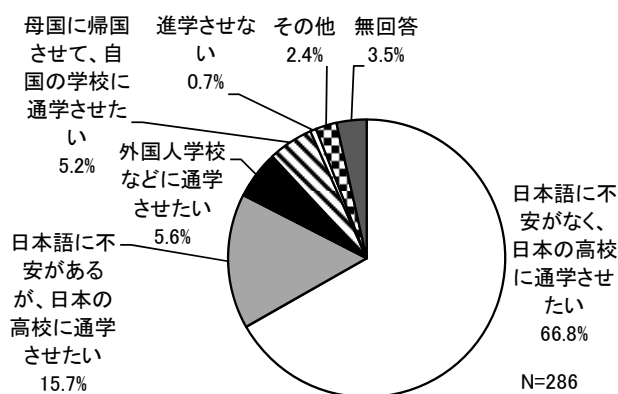


< 参考 平成 21 年度調査結果との比較 >

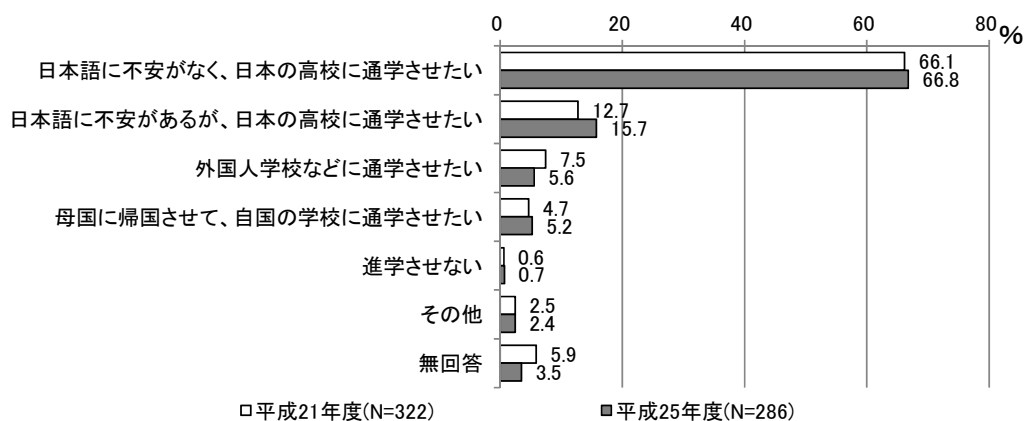


問 33 問 32 で「1. いる（日本の小学校か中学校に通っている）」か「2. いる（外国人学校などに通っている）」を選んだ方にお聞きします。あなたはお子さんが中学校を卒業したあと、どのような進路に進ませたいですか。（○は1つだけ）

- ・「日本語に不安がなく、日本の高校に通学させたい」が最も多く 66.8% で、7割近くを占める。次いで「日本語に不安があるが、日本の高校に通学させたい」が 15.7% で、これらを合わせると 82.5% と、8割以上が日本の高校に通学させたいとしている。以下「外国人学校などに通学させたい」（5.6%）、「母国に帰国させて、自国の学校に通学させたい」（5.2%）などとなっている。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「日本語に不安がなく、日本の高校に通学させたい」（66.1%）が最も多く、傾向に大きな変化は見られない。「日本語に不安があるが、日本の高校に通学させたい」が 12.7% から 3ポイント増加している。

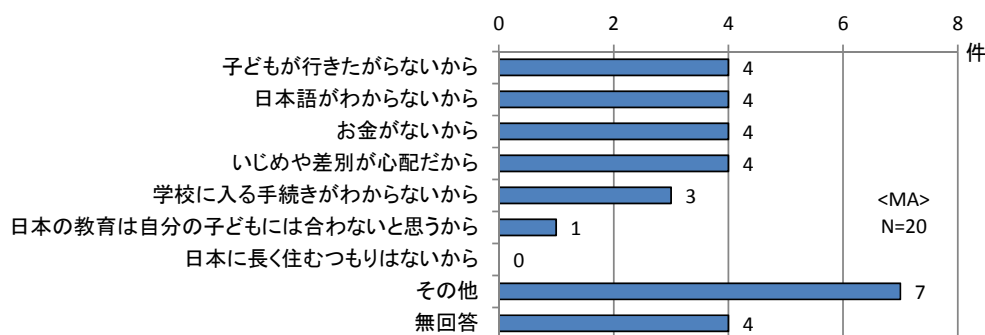


＜参考 平成 21 年度調査結果との比較＞

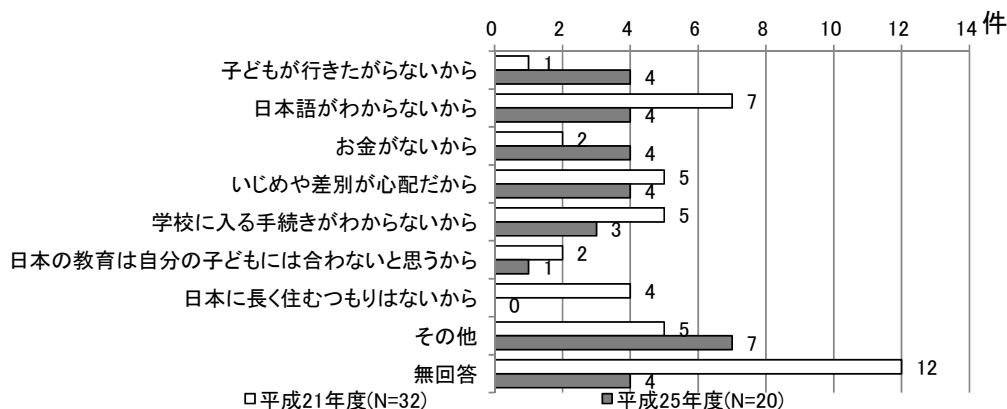


問 34 問 32 で「3. いる（小学校や中学校には通っていない）」を選んだ方にお聞き
 します。あなたのお子さんが学校に通っていないのはなぜですか。（〇はいく
 つでも）

- ・ 回答数が非常に少ないが、「子どもが行きたがらないから」「日本語がわからないから」「お金がないから」「いじめや差別が心配だから」がいずれも4件で並ぶ。「学校に入る手続きがわからないから」3件、「日本の教育は自分の子どもには合わないと思うから」1件となっている。「その他」は7件である。
- ・ 平成 21 年度調査と比較すると、「子どもが行きたがらないから」が3件、「お金がないから」「その他」が2件増加している。一方「日本に長く住むつもりはないから」が4件減少して0件になったほか、「日本語がわからないから」が3件、「学校に入る手続きがわからないから」が2件、「いじめや差別が心配だから」「日本の教育は自分の子どもには合わないと思うから」はそれぞれ1件ずつ減少している。

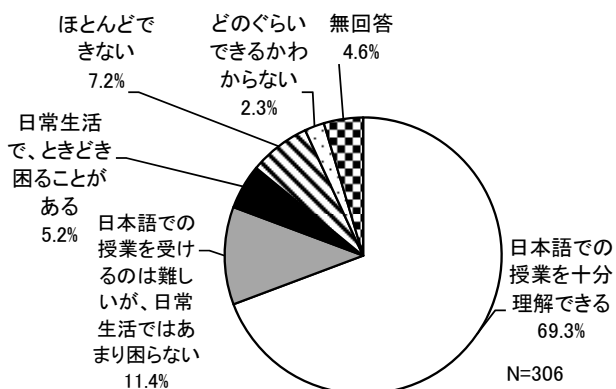


< 参考 平成 21 年度調査結果との比較 >

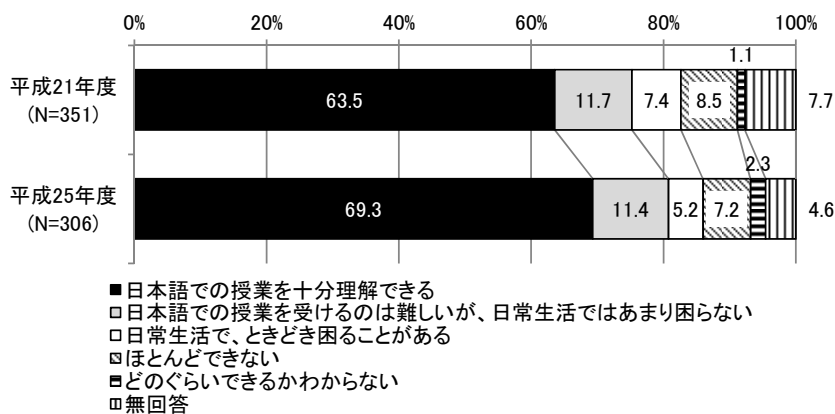


問 35 6歳～14歳のお子さんがある方にお聞きします。あなたのおさんは日本語がどのくらいできますか。(〇は1つだけ)

- ・「日本語での授業を十分理解できる」が最も多く 69.3%で、7割近くに達している。次いで「日本語での授業を受けるのは難しいが、日常生活ではあまり困らない」が 11.4%で1割強である。一方「ほとんどできない」も 7.2%と、1割弱存在する。以下「日常生活で、ときどき困ることがある」(5.2%)、「どのくらいできるかわからない」(2.3%)と続く。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「日本語での授業を十分理解できる」が 63.5%から 5.7ポイント増加している。「日常生活で、ときどき困ることがある」は 2.2ポイント、「ほとんどできない」は 1.4ポイント減少している。



< 参考 平成 21 年度調査結果との比較 >



■ 日本語習熟度別 子どもの日本語理解度

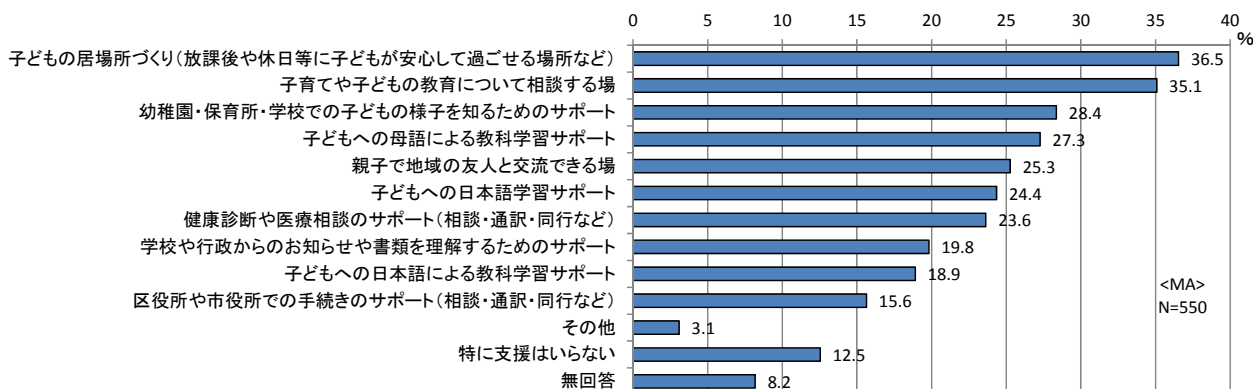
- ・日本語習熟度が高いほど、子どもの日本語理解度は高くなっており、「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれにおいても、「よくできる」では「日本語での授業を十分理解できる」が8割以上を占めている。

日本語習熟度別 子どもの日本語理解度

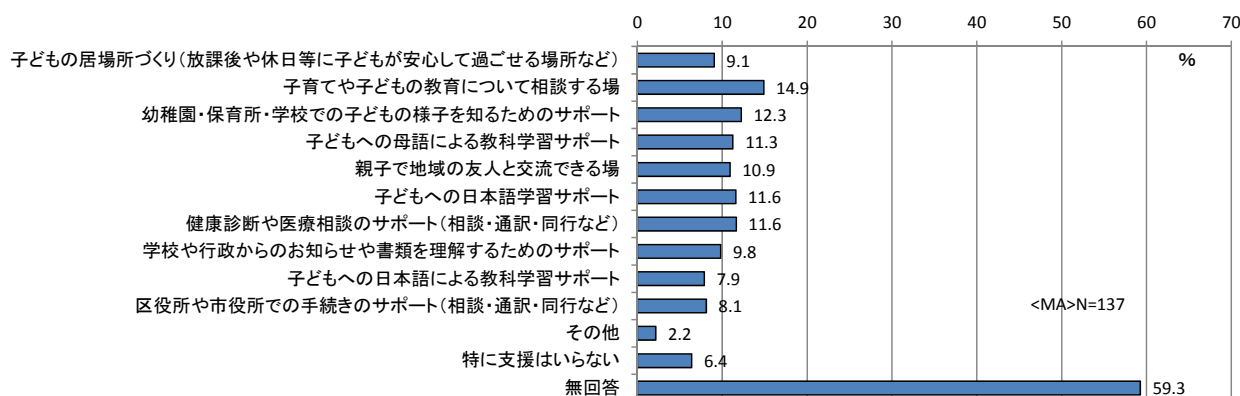
		合計	問35 お子さんの日本語の理解度					無回答
			日本語での授業を十分理解できる	日本語での授業を受けるのは難しいが、日常生活ではあまり困らない	日常生活で、ときどき困ることがある	ほとんどできない	どのぐらいできるかわからない	
全体		306	69.3	11.4	5.2	7.2	2.3	4.6
A 話す	よくできる	102	85.3	4.9	2.9	2.9	2.9	1.0
	まあまあできる	119	73.1	12.6	5.9	3.4	0.8	4.2
	あまりできない	62	46.8	16.1	9.7	16.1	4.8	6.5
	できない	11	18.2	27.3	0.0	27.3	0.0	27.3
B 読む	よくできる	79	87.3	5.1	1.3	5.1	1.3	0.0
	まあまあできる	83	84.3	7.2	3.6	2.4	1.2	1.2
	あまりできない	90	53.3	14.4	8.9	10.0	4.4	8.9
	できない	30	46.7	20.0	10.0	16.7	0.0	6.7
C 書く	よくできる	64	87.5	4.7	1.6	4.7	1.6	0.0
	まあまあできる	64	85.9	7.8	3.1	0.0	1.6	1.6
	あまりできない	107	59.8	13.1	7.5	8.4	2.8	8.4
	できない	48	56.3	14.6	8.3	16.7	2.1	2.1
D 聞く	よくできる	107	85.0	5.6	2.8	2.8	2.8	0.9
	まあまあできる	114	74.6	12.3	5.3	3.5	0.9	3.5
	あまりできない	56	44.6	16.1	10.7	17.9	3.6	7.1
	できない	10	30.0	30.0	0.0	30.0	0.0	10.0

問 36 お子さんがいる方にお聞きします。あなたは子育てや子どもの教育に関して、どんな支援があったらよいと思いますか。（〇はいくつでも）

- ・「子どもの居場所づくり（放課後や休日等に子どもが安心して過ごせる場所など）」が 36.5% で最も多く、これに「子育てや子どもの教育について相談する場」が 35.1% と僅差で続く。以下「幼稚園・保育所・学校での子どもの様子を知るためのサポート」（28.4%）、「子どもへの母語による教科学習サポート」（27.3%）、「親子で地域の友人と交流できる場」（25.3%）、「子どもへの日本語学習サポート」（24.4%）、「健康診断や医療相談のサポート（相談・通訳・同行など）」（23.6%）を 2 割以上の人が挙げている。
- ・平成 21 年度調査では集計方法が異なるため数値に開きがあるが、前回 8 位だった「子どもの居場所づくり（放課後や休日等に子どもが安心して過ごせる場所など）」が今回は 1 位となっている。前回調査では「子育てや子どもの教育について相談する場」が最も多く 14.9%、次いで 2 位が「幼稚園・保育所・学校での子どもの様子を知るためのサポート」（12.3%）、3 位が「健康診断や医療相談のサポート（相談・通訳・同行など）」（11.6%）であった。



< 参考 平成 21 年度調査結果 >



注) 21 年度調査では、非該当の回答者も含めた集計となっているため、無回答が多い

■ 日本語習熟度別 子育てや教育に関する支援への期待

- ・「話す」「聞く」ことが「よくできる」「まあまあできる」、「読む」「書く」ことが「まあまあできる」では「子どもの居場所づくり（放課後や休日等に子どもが安心して過ごせる場所など）」が、「読む」「書く」ことが「よくできる」では「子育てや子どもの教育について相談する場」が最も多く、この2つについては習熟度が高い人に選択されている傾向にある。
- ・「話す」「聞く」ことが「あまりできない」、「読む」「書く」が「できない」では「子どもへの日本語学習サポート」、「話す」「聞く」が「できない」では「健康診断や医療相談のサポート（相談・通訳・同行など）」が最も多く、これらは習熟度が低い人に選択されている傾向にある。
- ・このほか、「話す」ことが「あまりできない」では「幼稚園・保育所・学校での子どもの様子を知るためのサポート」、「読む」「書く」ことが「あまりできない」では「子どもの居場所づくり（放課後や休日等に子どもが安心して過ごせる場所など）」が最も多くなっている。
- ・また、「話す」「聞く」ことが「できない」で「子どもへの日本語学習サポート」、「読む」ことが「あまりできない」で「学校や行政からのお知らせや書類を理解するためのサポート」、「聞く」ことが「あまりできない」で「子どもへの日本語による教科学習サポート」の数値が、それぞれ全体値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

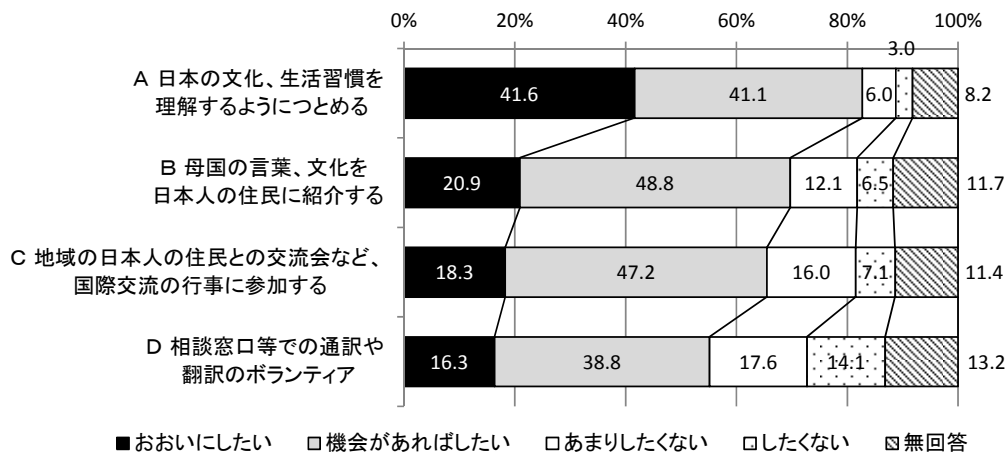
日本語習熟度別 子育てや教育に関する支援への期待

		合計	問36 子育てや教育に関する支援への期待																					
			子育てや子どもの教育に	親で地域の友人と交流	訳・同行など	区役所や市役所での相談・通訳	のサポート	幼稚園・保育所・学校での様子を知るため	行など	ポ（相談・通訳・同行など）	健康診断や医療相談のサポート	課後や休日等に子どもが安心して過ごせる場所など	子どもの居場所づくり（放課後や休日等に子どもが安心して過ごせる場所など）	科学習サポート	子どもへの日本語による教	ポ	子どもへの日本語学習サ	教	子どもへの日本語による	のサポート	学校や行政からのお知らせや書類を理解するための	その他	特に支援はほらない	無回答
全体		550	35.1	25.3	15.6	28.4	23.6	36.5	27.3	24.4	18.9	19.8	3.1	12.5	8.2									
A 話す	よくできる	189	39.7	29.6	13.8	25.9	19.6	41.8	27.5	18.5	14.3	9.5	4.2	15.3	5.3									
	まあまあできる	219	36.5	25.1	17.4	32.4	26.9	37.4	28.8	26.0	19.6	26.9	2.3	10.5	7.3									
	あまりできない	107	28.0	20.6	17.8	30.8	23.4	29.0	25.2	30.8	27.1	25.2	3.7	14.0	14.0									
B 読む	よくできる	154	44.2	29.9	14.9	23.4	17.5	40.9	29.2	20.1	14.3	7.8	4.5	15.6	4.5									
	まあまあできる	188	36.7	30.9	17.6	38.8	29.8	39.4	30.9	25.5	17.6	21.3	2.1	10.6	7.4									
	あまりできない	127	28.3	18.1	17.3	24.4	25.2	37.0	29.1	26.8	26.8	33.1	3.1	11.0	12.6									
C 書く	よくできる	122	42.6	28.7	13.1	23.8	18.9	40.2	27.0	19.7	14.8	7.4	5.7	18.0	4.1									
	まあまあできる	155	38.7	29.7	17.4	34.2	27.7	41.3	33.5	27.1	18.7	19.4	1.3	9.7	7.7									
	あまりできない	171	31.6	24.0	19.3	29.8	24.0	38.0	29.8	22.8	21.1	28.7	3.5	11.7	10.5									
D 聞く	よくできる	71	25.4	18.3	8.5	25.4	26.8	23.9	18.3	29.6	25.4	21.1	2.8	9.9	9.9									
	まあまあできる	191	39.3	28.3	14.1	27.7	19.9	42.4	29.8	19.4	15.7	11.5	4.2	16.2	3.7									
	あまりできない	228	36.4	27.2	16.7	31.6	26.3	37.7	28.1	24.6	18.0	25.9	2.6	10.1	8.3									
D 聞く	あまりできない	86	27.9	19.8	18.6	29.1	24.4	27.9	24.4	32.6	29.1	24.4	3.5	11.6	15.1									
	できない	19	15.8	21.1	15.8	10.5	42.1	21.1	31.6	36.8	26.3	10.5		5.3	10.5									

8. 多文化共生について

問 37 「多文化共生のまちづくり」を進めていくにあたって、あなたは以下のことをどの程度したいと思いますか。(A~Dそれぞれについて、1~4に○は1つだけ)

- ・「A 日本の文化、生活習慣を理解するように努める」のみ「おおいにしたい」が最も多く 41.6%で、「機会があればしたい」の 41.1%を僅かに上回っている。またこれら2つを合わせると 82.2%で、8割を超える人が日本の文化、生活習慣を理解したいと考えている。
- ・「B 母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する」については、「機会があればしたい」が最も多く 48.8%で、半数弱を占める。次いで「おおいにしたい」が 20.9%で、これら2つを合わせると 69.7%と、母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介したいと考えている人は7割近くとなっている。
- ・「C 地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する」については、「機会があればしたい」が最も多く 47.2%、「おおいにしたい」が 18.3%で、これら2つを合わせると、地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加したい人は 65.5%である。
- ・「D 相談窓口等での通訳や翻訳のボランティア」については、「機会があればしたい」が最も多く 38.8%、次いで「あまりしたくない」が 17.6%となっている。「おおいにしたい」「機会があればしたい」を合わせると 45.1%で、相談窓口等での通訳や翻訳のボランティアをしたいと考えている人は半数弱である。

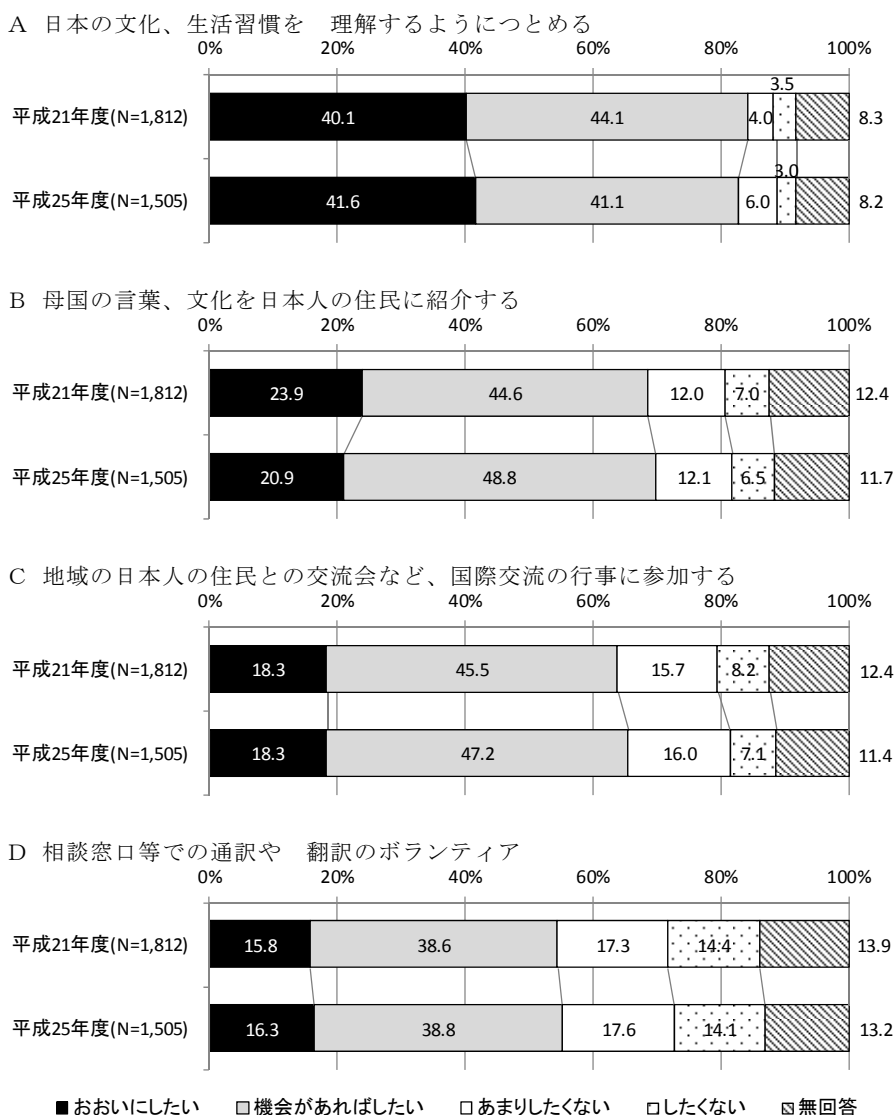


- ・平成 21 年度調査と比較してみると、傾向に大きな変化は見受けられない。
- ・各項目を詳細にみると、「A 日本の文化、生活習慣を理解するように努める」については「おおいにしたい」が 1.5 ポイント増加しているが「機会があればしたい」が 3 ポイント減少し、「おおいにしたい」「機会があればしたい」を合わせた数値は 1.5 ポイントの減少となっている。
- ・「B 母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する」については、「おおいにしたい」が 3 ポイント減少しているが「機会があればしたい」が 4.1 ポイント増加しているため、「おおいにしたい」「機会があればしたい」を合わせた数値は 1.2 ポイントの増加である。

「C 地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する」については「おおいにしたい」の数値に変化はなく「機会があればしたい」が 1.8 ポイント増加し、「おおいにしたい」「機会があればしたい」を合わせた数値は 1.7 ポイントの増加である。

「D 相談窓口等での通訳や翻訳のボランティア」については、各項目とも 2 ポイント未満の小幅な増減で、傾向の変化は見られない。

＜参考 平成 21 年度調査結果との比較＞



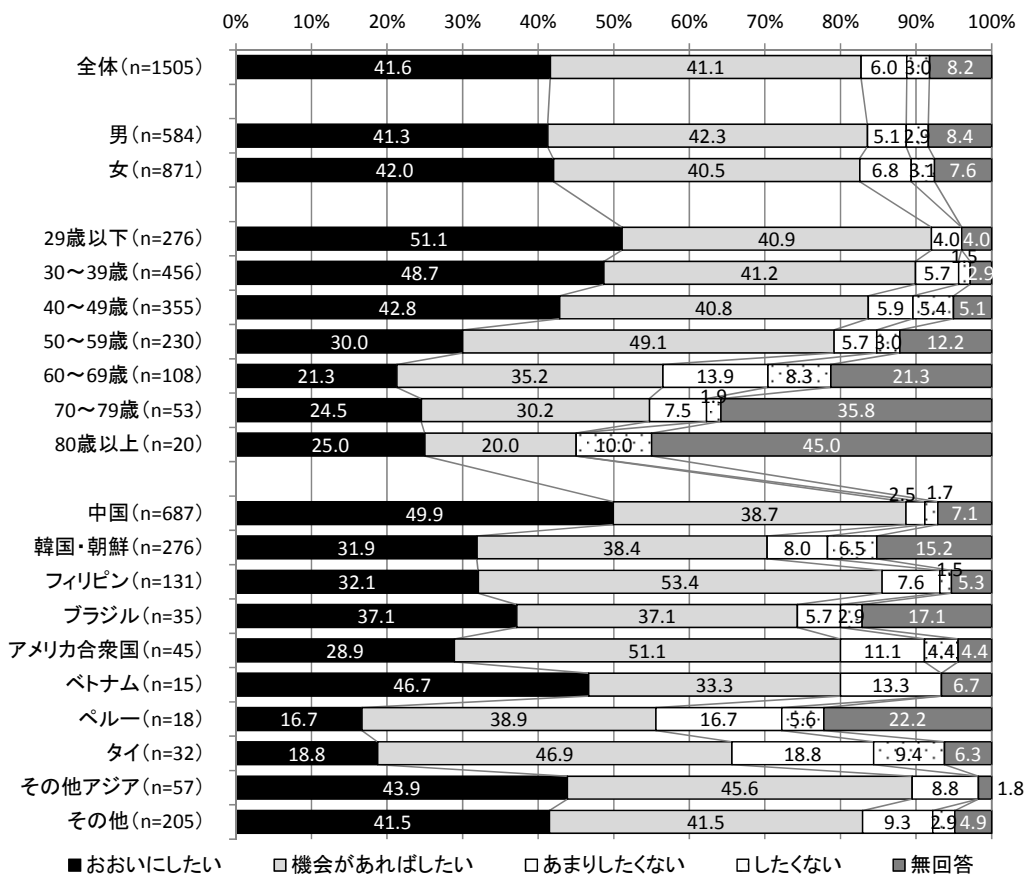
■ 男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」についてしたいと思うこと

A 日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる

- ・男女とも「おおいにしたい」「機会があればしたい」が拮抗しているが、男性は「機会があればしたい」、女性は「おおいにしたい」の方がわずかに多くなっている。
- ・年齢別では、40歳代までと80歳以上では「おおいにしたい」、50歳代から70歳代では「機会があればしたい」が最も多く、年齢が若いほど「おおいにしたい」の数値が高い。
- ・国籍別では、中国、ベトナムで「おおいにしたい」が最も多くなっており、ブラジル、その他で「おおいにしたい」「機会があればしたい」が同率、それ以外では「機会があればしたい」が最も多くなっている。ペルーとタイでは「あまりしたくない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」についてしたいと思うこと

A 日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる

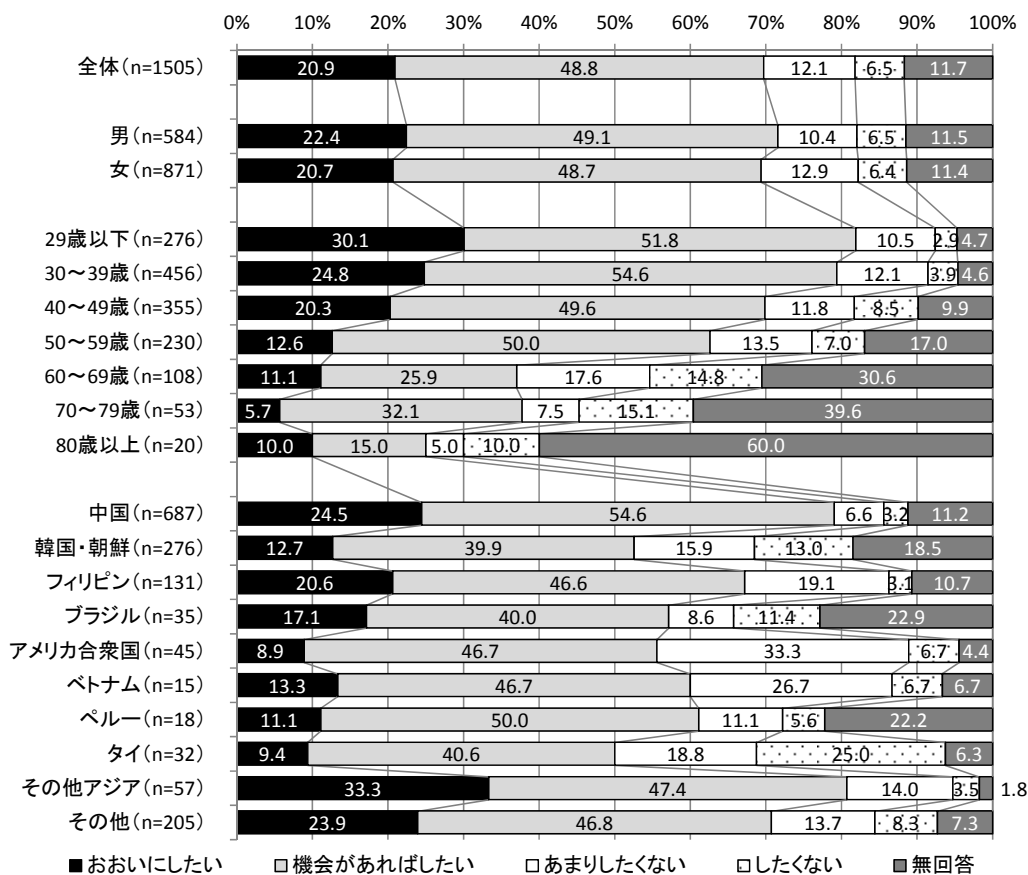


B 母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する

- ・男女とも「機会があればしたい」が最も多く、顕著な男女差は見られない。
- ・年齢別では、いずれも「機会があればしたい」が最も多い。年齢が若いほど「おおいにしたい」「機会があればしたい」の数値が高く、29歳以下、30歳代ではこれら2つを合わせると8割前後の高い数値となっている。
- ・国籍別では、いずれも「機会があればしたい」が最も多くなっている。その他アジアでは「おおいにしたい」、アメリカ合衆国、ベトナムでは「あまりしたくない」、タイでは「したくない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。「おおいにしたい」「機会があればしたい」を合わせた数値は、中国、その他アジアで高くなっている。

男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」についてしたいと思うこと

B 母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する

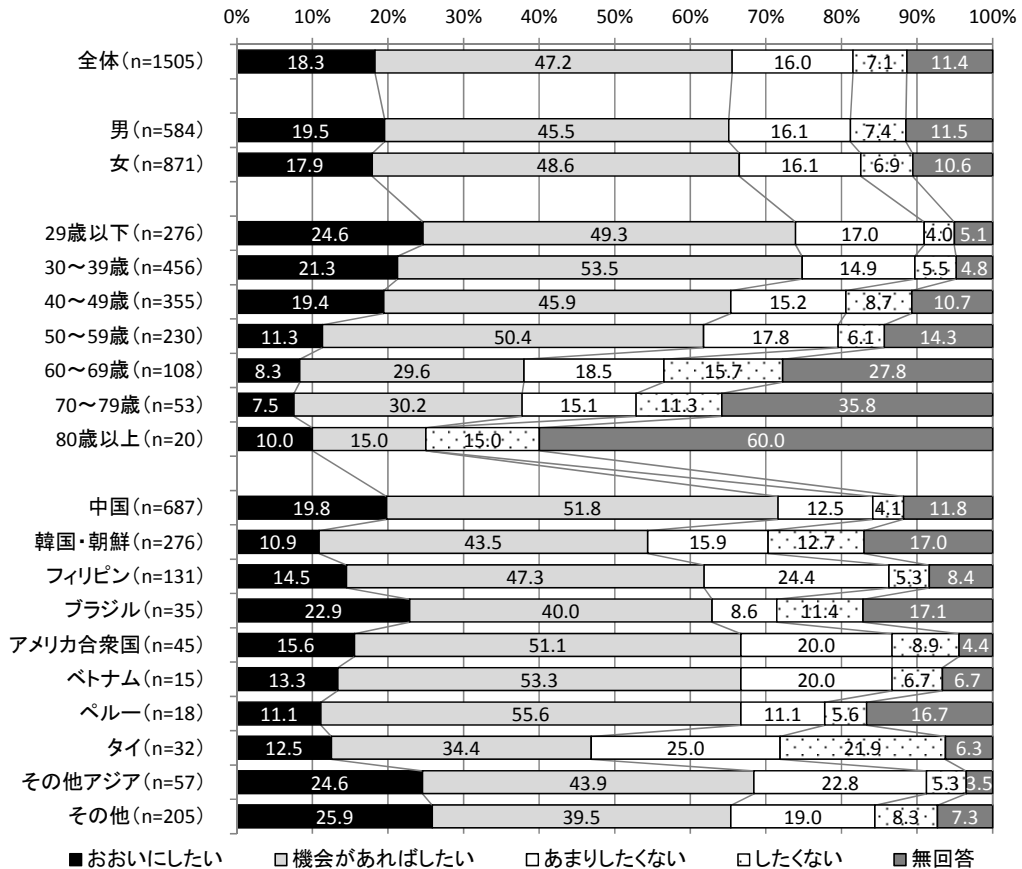


C 地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する

- ・男女とも「機会があればしたい」が最も多く、顕著な男女差は見られない。
- ・年齢別では、いずれも「機会があればしたい」が最も多い。年齢が若いほど「おおいにしたい」の数値が高い傾向にある。
- ・国籍別では、いずれも「機会があればしたい」が最も多くなっている。タイでは「したくない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」についてしたいと思うこと

C 地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する

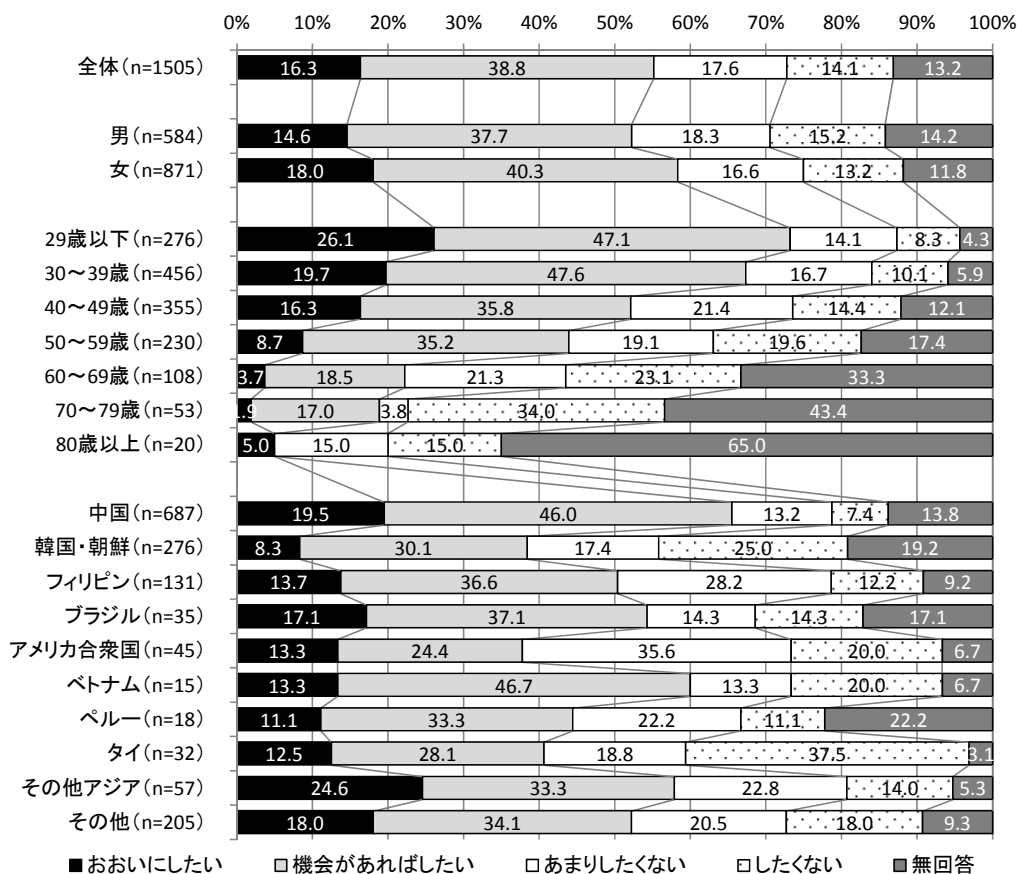


D 相談窓口等での通訳や翻訳のボランティア

- ・男女とも「機会があればしたい」が最も多い。「おおいにしたい」「機会があればしたい」を合わせた数値は、女性が男性より6.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、50歳代までは「機会があればしたい」、60歳代以上の世代では「したくない」が最も多い。年齢が若いほど「おおいにしたい」「機会があればしたい」の数値が高くなっている。
- ・国籍別では、アメリカ合衆国で「あまりしたくない」、タイでは「したくない」、それ以外の国では「機会があればしたい」が最も多くなっている。また、フィリピンで「あまりしたくない」、韓国・朝鮮で「したくない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。「おおいにしたい」「機会があればしたい」を合わせた数値が最も高いのは中国である。

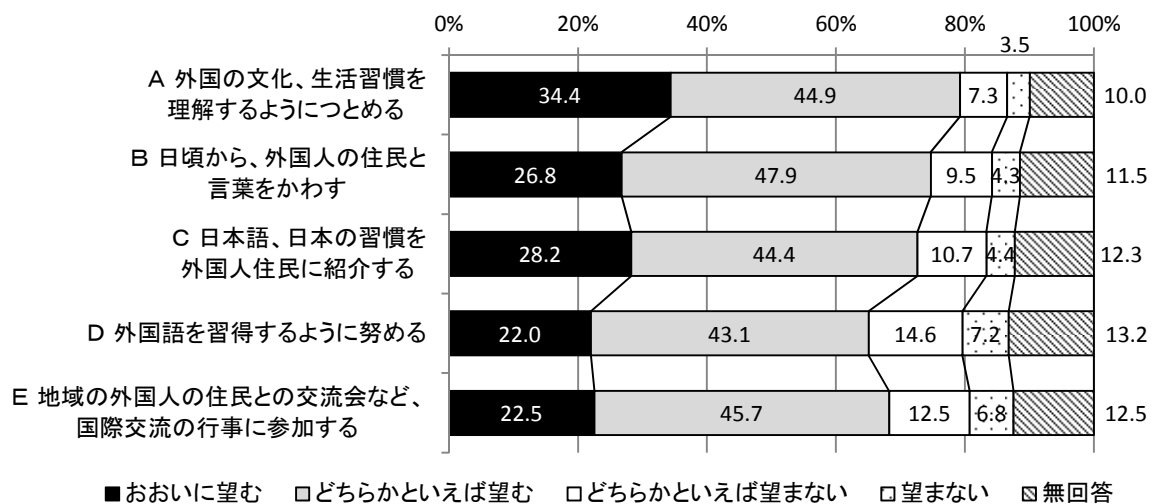
男女・年齢・国籍別「多文化共生のまちづくり」についてしたいと思うこと

D 相談窓口等での通訳や翻訳のボランティア



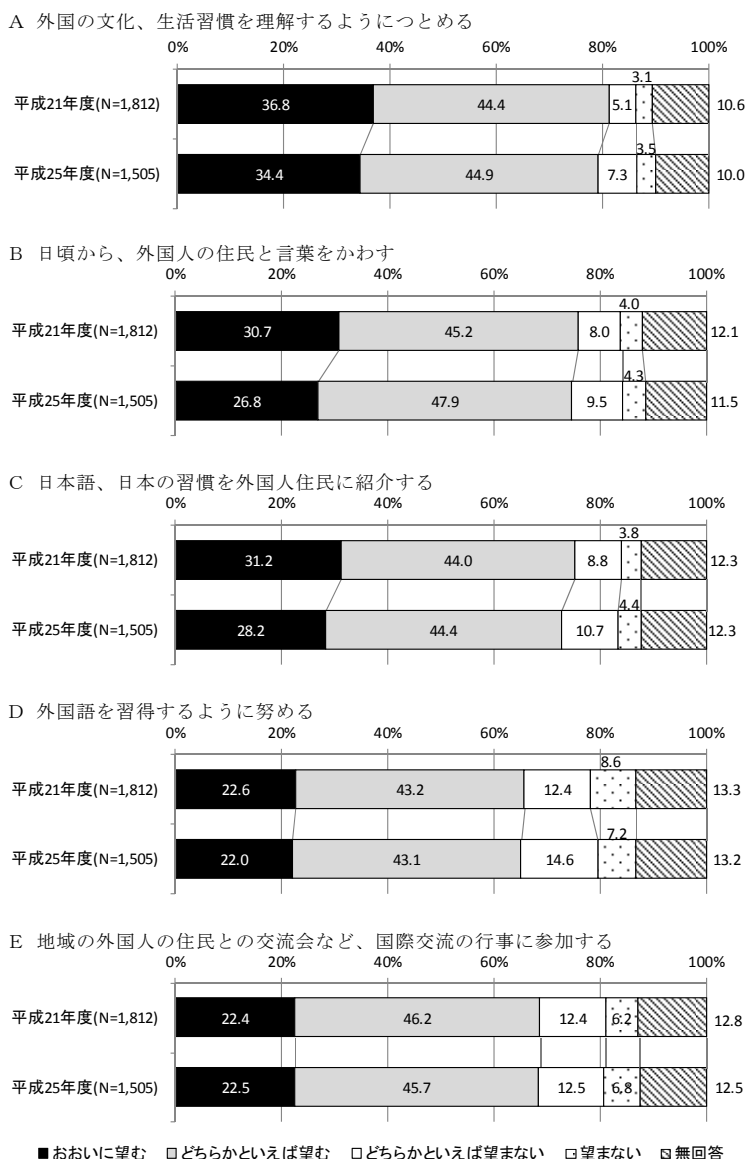
問 38 「多文化共生のまちづくり」を進めていくにあたって、あなたは地域の日本人の住民に対して、以下のことを望みますか。(A~Eそれぞれについて、1~4に○は1つだけ)

- ・「A 外国の文化、生活習慣を理解するように努める」については「どちらかといえば望む」が 44.9%で最も多く、次いで「おおいに望む」が 34.4%となっている。またこれら2つを合わせると 79.3%で、8割近くの人が日本人に外国の文化、生活習慣を理解してほしいと考えている。
- ・「B 日頃から、外国人の住民と言葉をかわす」については、「どちらかといえば望む」が 47.9%で最も多く、半数近くを占める。次いで「おおいに望む」が 26.8%となっている。またこれら2つを合わせると 74.7%で、7割以上の人が日本人に外国人の住民と言葉をかわしてほしいと考えている。
- ・「C 日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する」については、「どちらかといえば望む」が 44.4%で最も多く、次いで「おおいに望む」が 28.2%となっている。またこれら2つを合わせると 72.6%で、7割以上の人が日本語、日本の習慣を紹介してほしいと考えている。
- ・「D 外国語を習得するように努める」については、「どちらかといえば望む」が 43.1%で最も多く、次いで「おおいに望む」が 22.0%となっている。またこれら2つを合わせると、日本人に外国語を習得してほしいと考えているのは 65.1%となっている。
- ・「E 地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する」については、「どちらかといえば望む」が 45.7%で最も多く、次いで「おおいに望む」が 22.5%となっている。またこれら2つを合わせると 68.2%で、7割弱が日本人に国際交流の行事に参加してほしいと考えている。



- 平成 21 年度調査と比較してみると、「A 外国の文化、生活習慣を理解するように努める」については「おおいに望む」が 2.5 ポイント減少、「どちらかといえば望む」が 0.5 ポイント増加し、「おおいに望む」「どちらかといえば望む」を合わせた数値は 2 ポイントの減少となっている。
- 「B 日頃から、外国人の住民と言葉をかわす」については、「おおいに望む」が 3.9 ポイント減少、「どちらかといえば望む」が 2.5 ポイント増加し、「おおいに望む」「どちらかといえば望む」を合わせた数値は 1.2 ポイントの減少となっている。
- 「C 日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する」については、「おおいに望む」が 2.9 ポイント減少、「どちらかといえば望む」が 0.4 ポイント増加し、「おおいに望む」「どちらかといえば望む」を合わせた数値は 2.5 ポイントの減少となっている。
- 「D 外国語を習得するように努める」「E 地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する」については、各項目とも小幅な増減で、傾向の変化は見られない。

<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



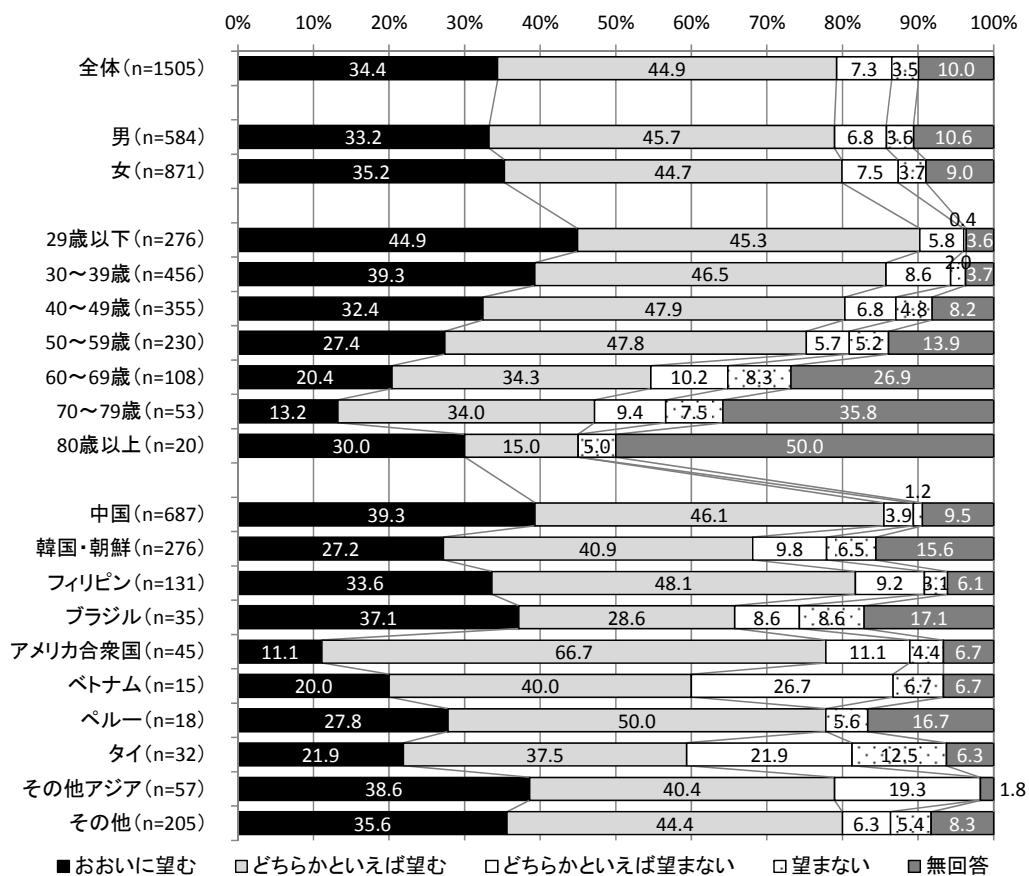
■ 男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」について地域の日本人住民に望むこと

A 外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる

- ・男女とも「どちらかといえば望む」が最も多く、顕著な男女差は見られない。
- ・年齢別では、70歳代までは「どちらかといえば望む」、80歳以上では「おおいに望む」が最も多い。年齢が若いほど「どちらかといえば望む」「おおいに望む」を合わせた数値が高く、29歳以下では9割に達している。
- ・国籍別では、ブラジルで「おおいに望む」、それ以外では「どちらかといえば望む」が最も多くなっている。ベトナム、タイ、その他アジアでは「どちらかといえば望まない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。「どちらかといえば望む」「おおいに望む」を合わせた数値が最も高いのは中国である。

男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」について地域の日本人住民に望むこと

A 外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる

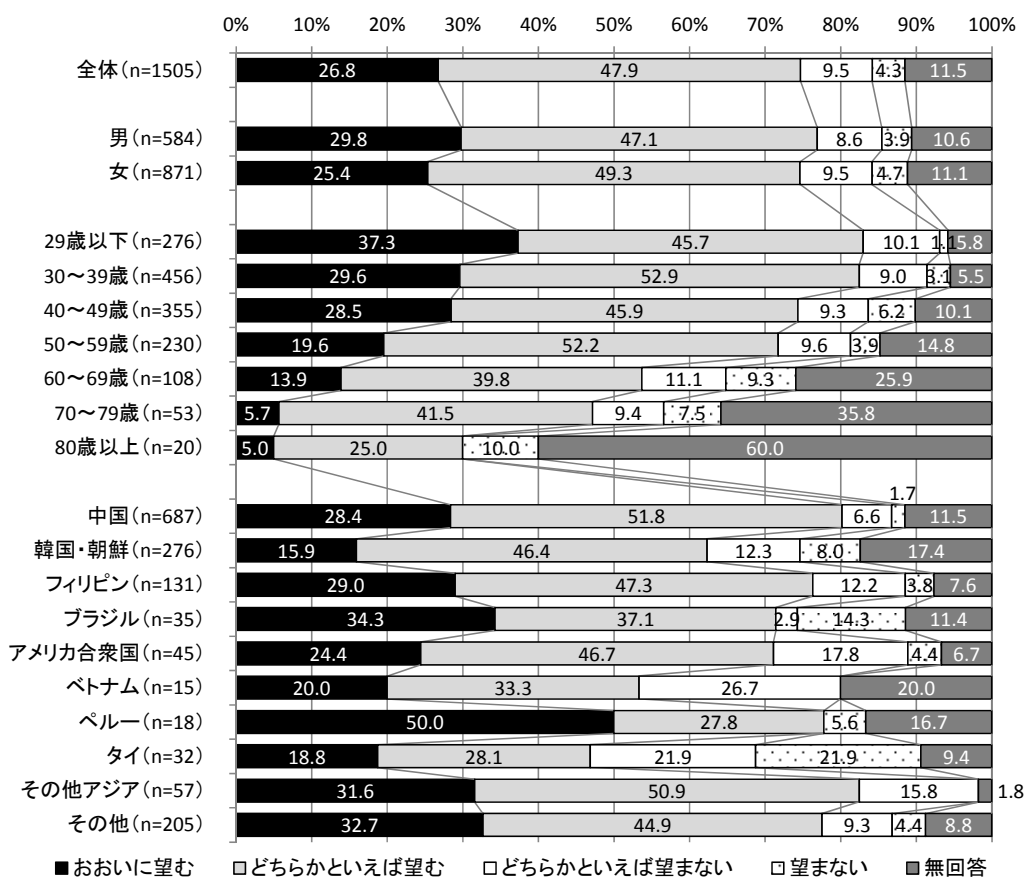


B 日頃から、外国人の住民と言葉をかわす

- ・男女とも「どちらかといえば望む」が最も多く、顕著な男女差は見られない。
- ・年齢別では、いずれも「どちらかといえば望む」が最も多い。年齢が若いほど「おおいに望む」の数値が高く、「どちらかといえば望む」「おおいに望む」を合わせた数値も年が若いほど高くなっている。
- ・国籍別では、ペルーで「おおいに望む」、それ以外では「どちらかといえば望む」が最も多くなっている。ベトナムでは「どちらかといえば望まない」、「望まない」の数値が全体値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」について地域の日本人住民に望むこと

B 日頃から、外国人の住民と言葉をかわす

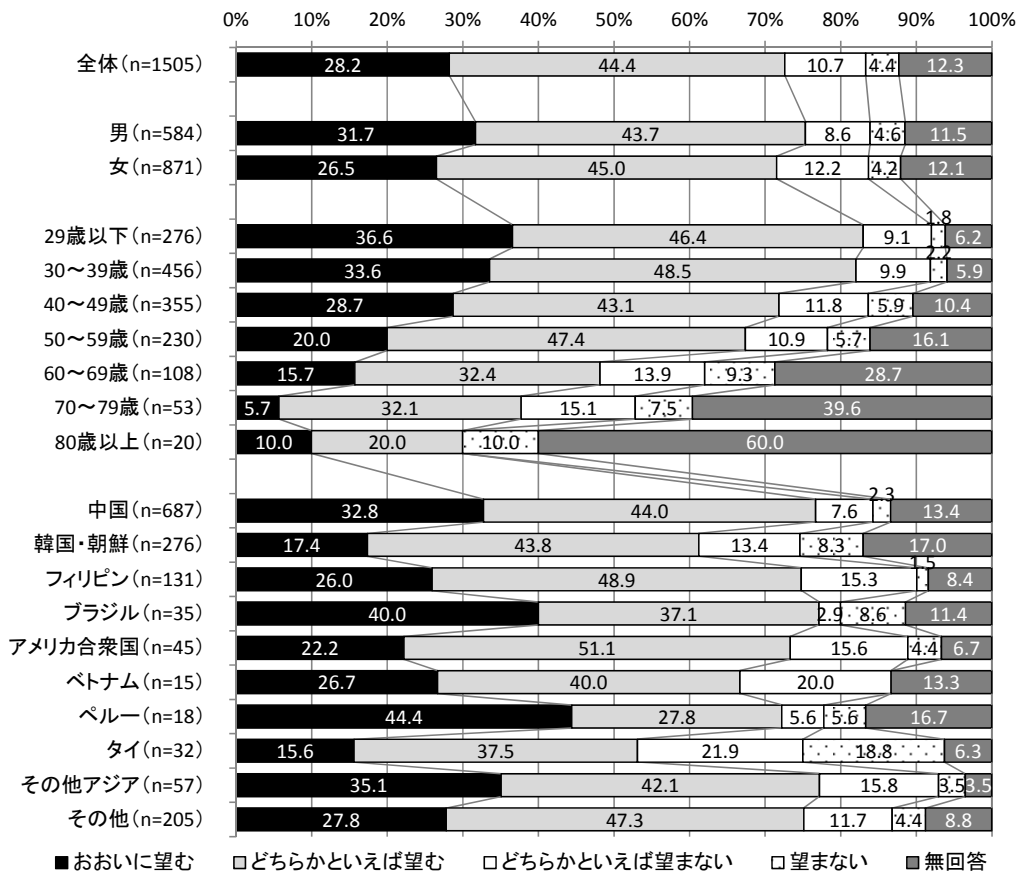


C 日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する

- ・男女とも「どちらかといえば望む」が最も多い。
- ・年齢別では、いずれも「どちらかといえば望む」が最も多い。「おおいに望む」は、年齢が若いほど数値が高くなっている。
- ・国籍別では、ブラジルとペルーで「おおいに望む」、それ以外では「どちらかといえば望む」が最も多くなっている。タイでは「どちらかといえば望まない」「望まない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」について地域の日本人住民に望むこと

C 日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する

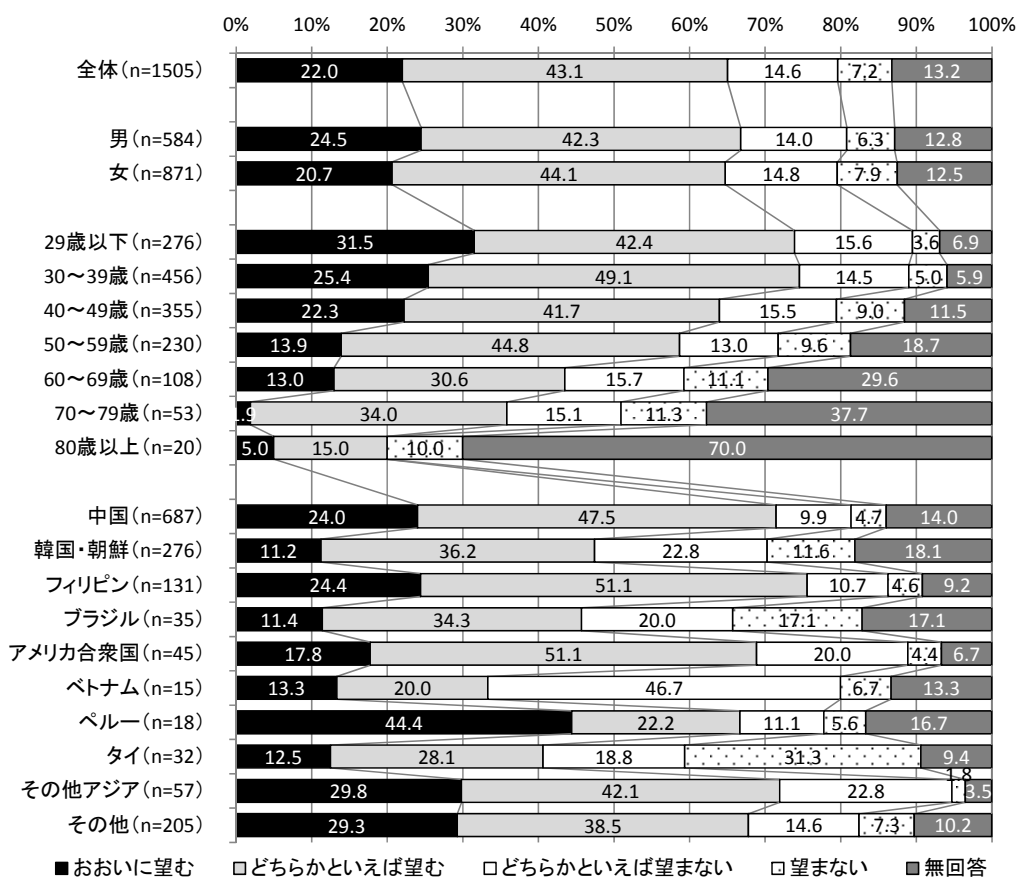


D 外国語を習得するように努める

- ・男女とも「どちらかといえば望む」が最も多い。
- ・年齢別では、いずれも「どちらかといえば望む」が最も多い。年齢が若いほど「おおいに望む」の数値が高くなっている。
- ・国籍別では、ペルーで「おおいに望む」、ベトナムで「どちらかといえば望まない」、タイで「望まない」、それ以外では「どちらかといえば望む」が最も多くなっている。「どちらかといえば望む」「おおいに望む」を合わせた数値が最も高いのはフィリピンである。

男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」について地域の日本人住民に望むこと

D 外国語を習得するように努める

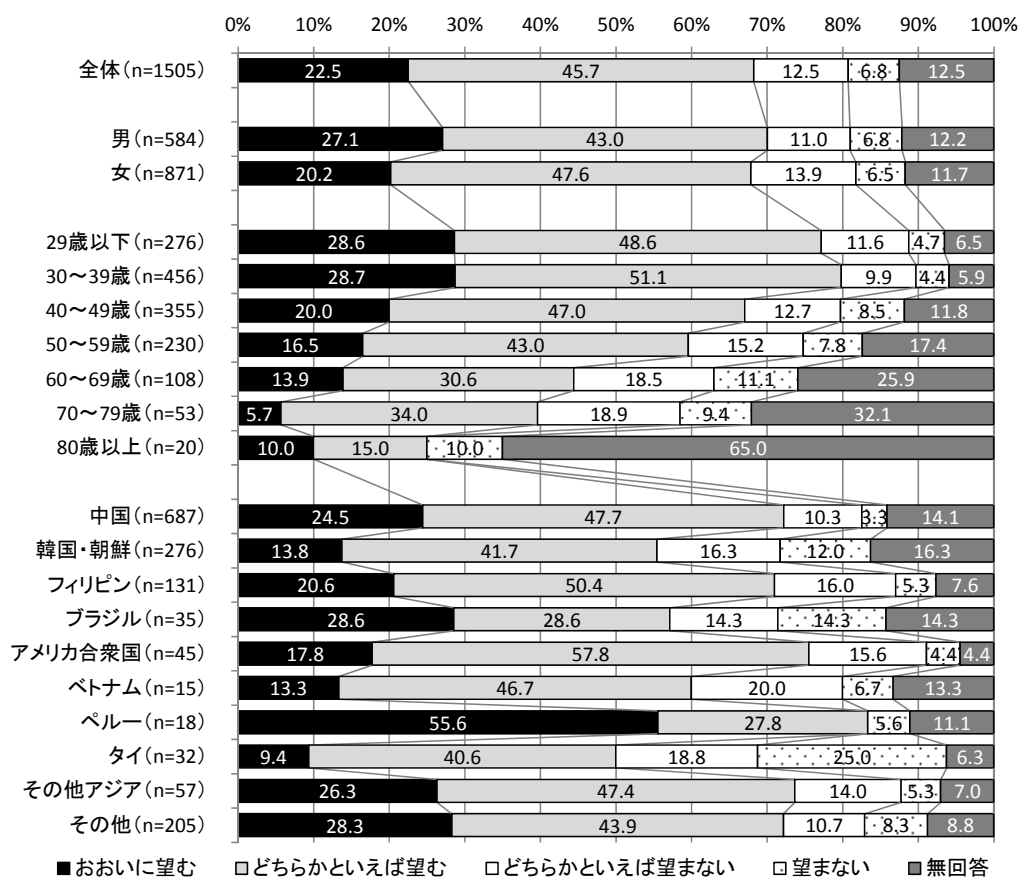


E 地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する

- ・男女とも「どちらかといえば望む」が最も多い。
- ・年齢別では、いずれも「どちらかといえば望む」が最も多い。年齢が若いほど「おおいに望む」の数値が高くなっている。
- ・国籍別では、ペルーで「おおいに望む」、ブラジルで「おおいに望む」「どちらかといえば望む」が同率、それ以外では「どちらかといえば望む」が最も多くなっている。タイでは「望まない」の数値が全体値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

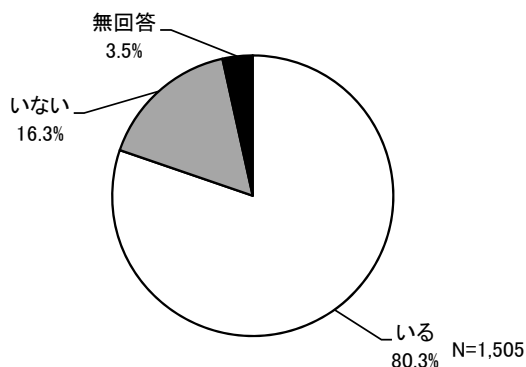
男女・年齢・国籍別 「多文化共生のまちづくり」について地域の日本人住民に望むこと

E 地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する

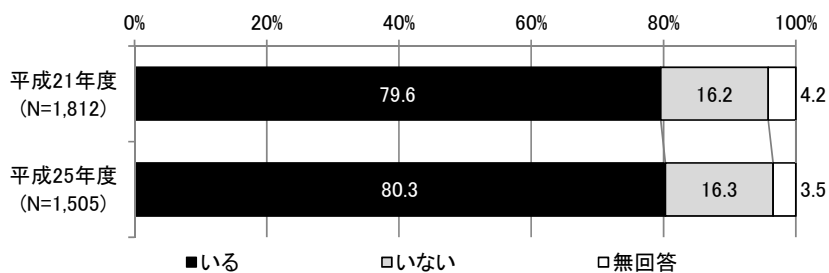


問 39 あなたには、信頼して相談できる友人がいますか。(○は1つだけ)

- ・「いる」が圧倒的に多く 80.3%で、全体の約8割を占める。「いない」は 16.3%である。
- ・平成 21 年度調査においても「いる」が 79.6%と、8割近くを占めており、傾向に変化は見られない。



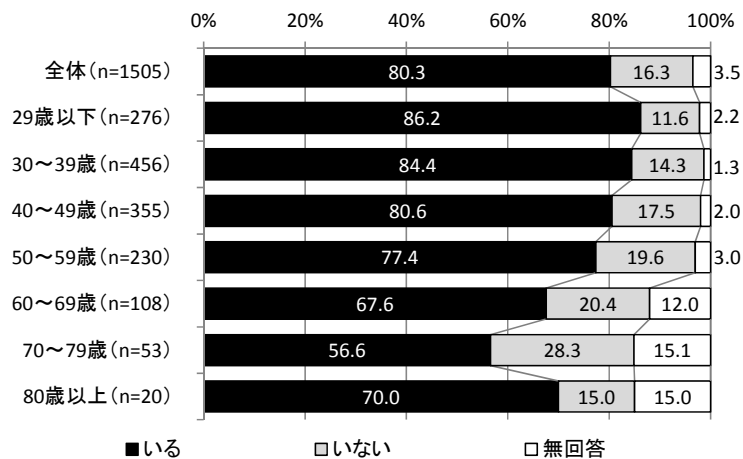
<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 信頼して相談できる友人の有無

- ・ いずれも「いる」の方が多く、40歳代までの世代では8割を超えている。70歳代では「いない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

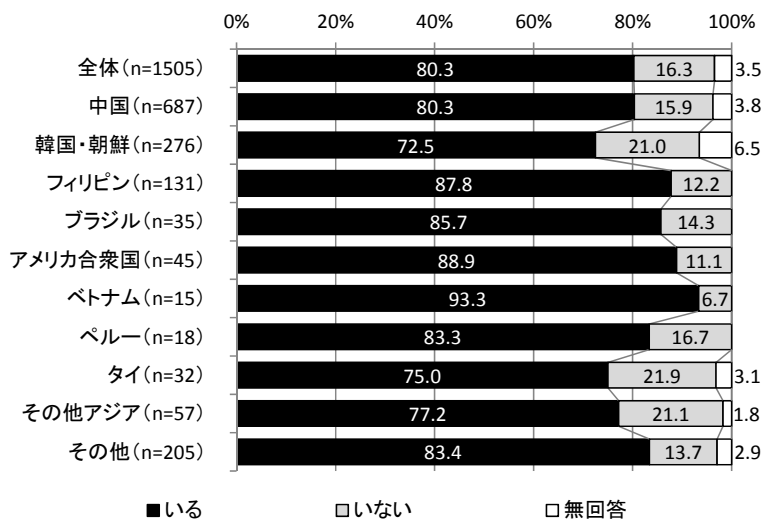
年齢別 信頼して相談できる友人の有無



■ 国籍別 信頼して相談できる友人の有無

- ・ いずれも「いる」の方が多くなっている。「いる」の割合が最も高いのはベトナム、低いのは韓国・朝鮮である。

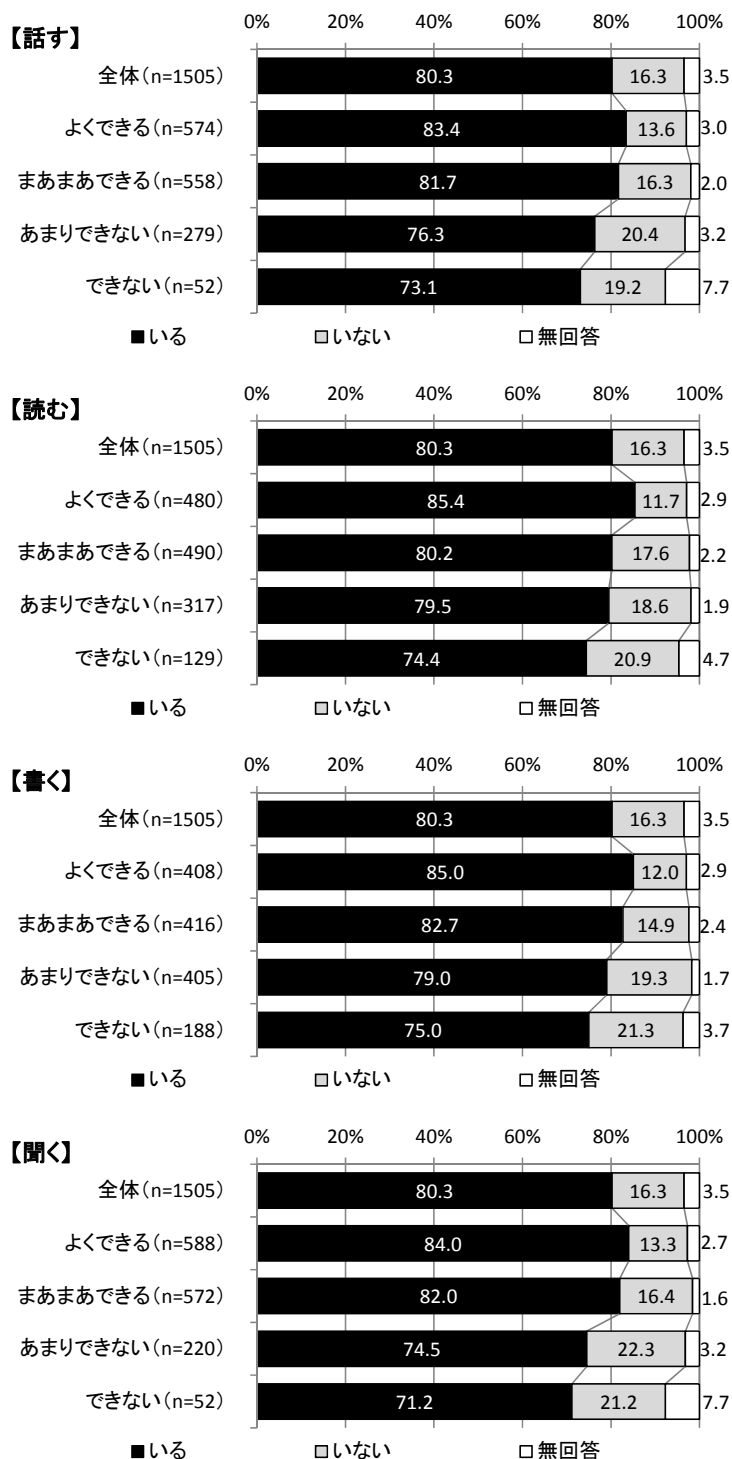
国籍別 信頼して相談できる友人の有無



■ 日本語習熟度別 信頼して相談できる友人の有無

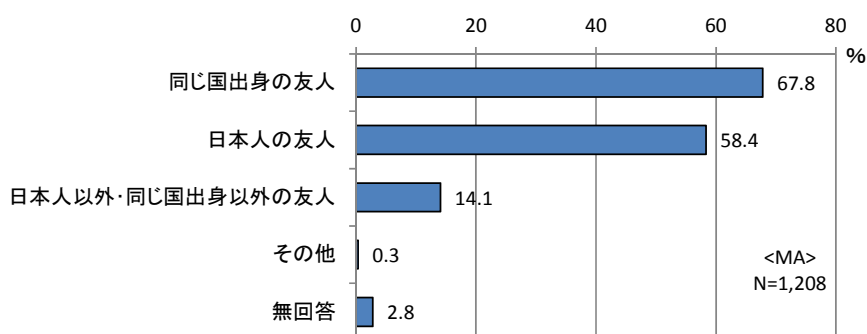
- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のすべての習熟度において「いる」の方が多い。「聞く」ことが「できない」人でわずかに「いる」の数値が低いですが、習熟度によってさほど大きな差は表れなかった。

日本語習熟度別 信頼して相談できる友人の有無

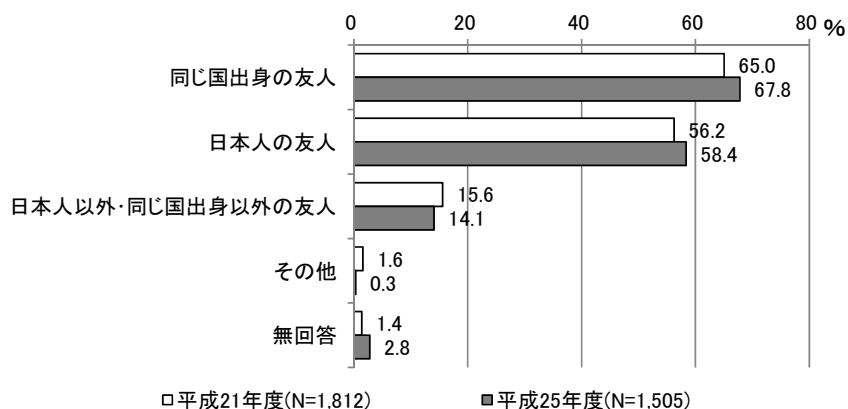


問 40 問 39 で、「1. いる」を選んだ方にお聞きします。それは次のどれですか。(〇はいくつでも)

- ・「同じ国出身の友人」が最も多く 67.8% で、7 割近くの方が挙げている。次いで「日本人の友人」が 58.4%、以下「日本人以外・同じ国出身以外の友人」が 14.1%、「その他」が 0.3% となっている。
- ・平成 21 年度調査と比較してみると、数値にわずかな増減はあるものの「同じ国出身の友人」(65.0%) が最も多く、次いで「日本人の友人」(56.2%) となっており、傾向に変化は見られない。



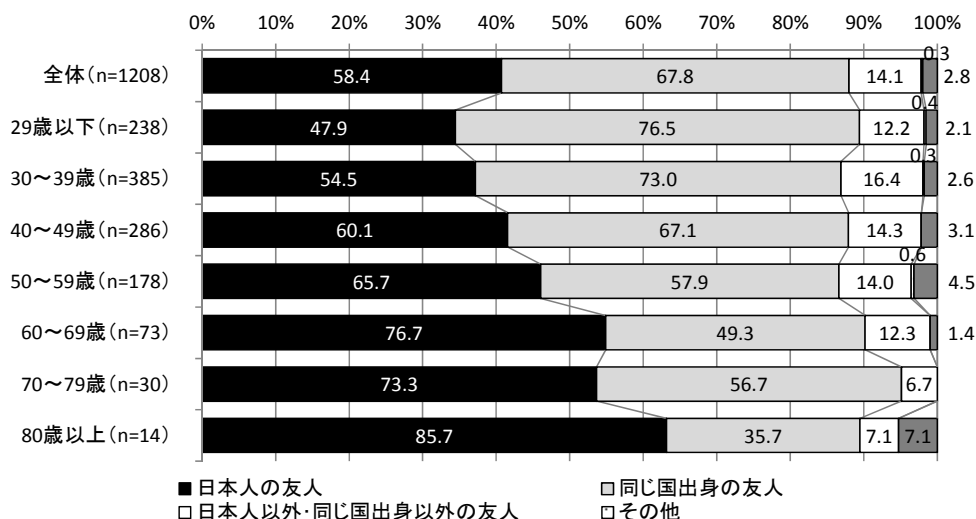
<参考 平成 21 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 信頼して相談できる友人の国籍

- ・ 40 歳代までの世代では「同じ国出身の友人」、50 歳代以上の世代では「日本人の友人」が最も多く、世代により傾向が分かれた。

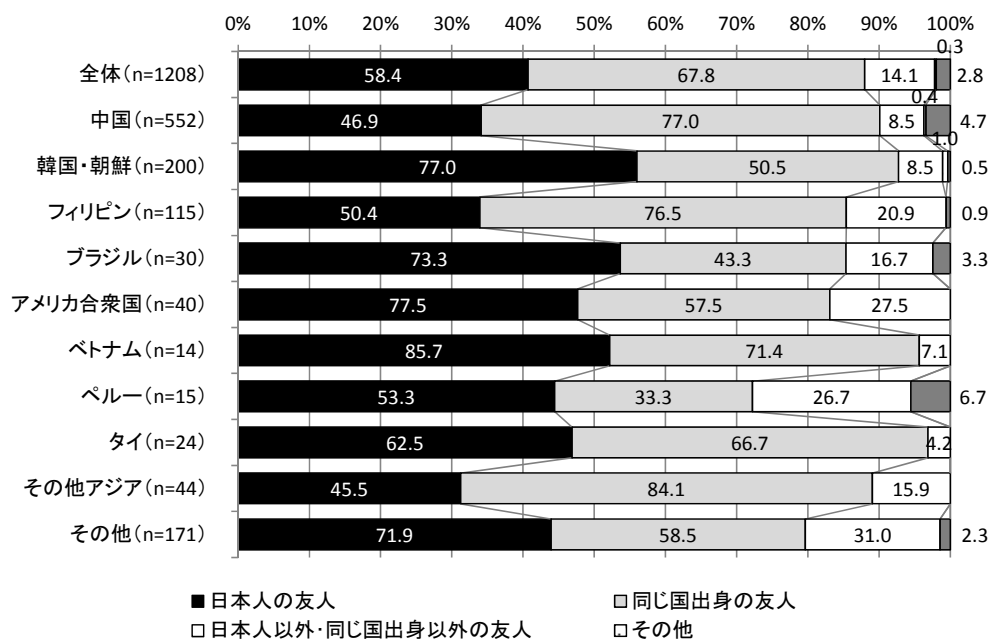
年齢別 信頼して相談できる友人の国籍



■ 国籍別 信頼して相談できる友人の国籍

- ・ 韓国・朝鮮、ブラジル、アメリカ合衆国、ベトナム、ペルー、その他では「日本人の友人」、中国、フィリピン、タイ、その他アジアでは「同じ国出身の友人」が最も多い。アメリカ合衆国、ペルー、その他では「日本人以外・同じ国出身以外の友人」の数値が全体値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

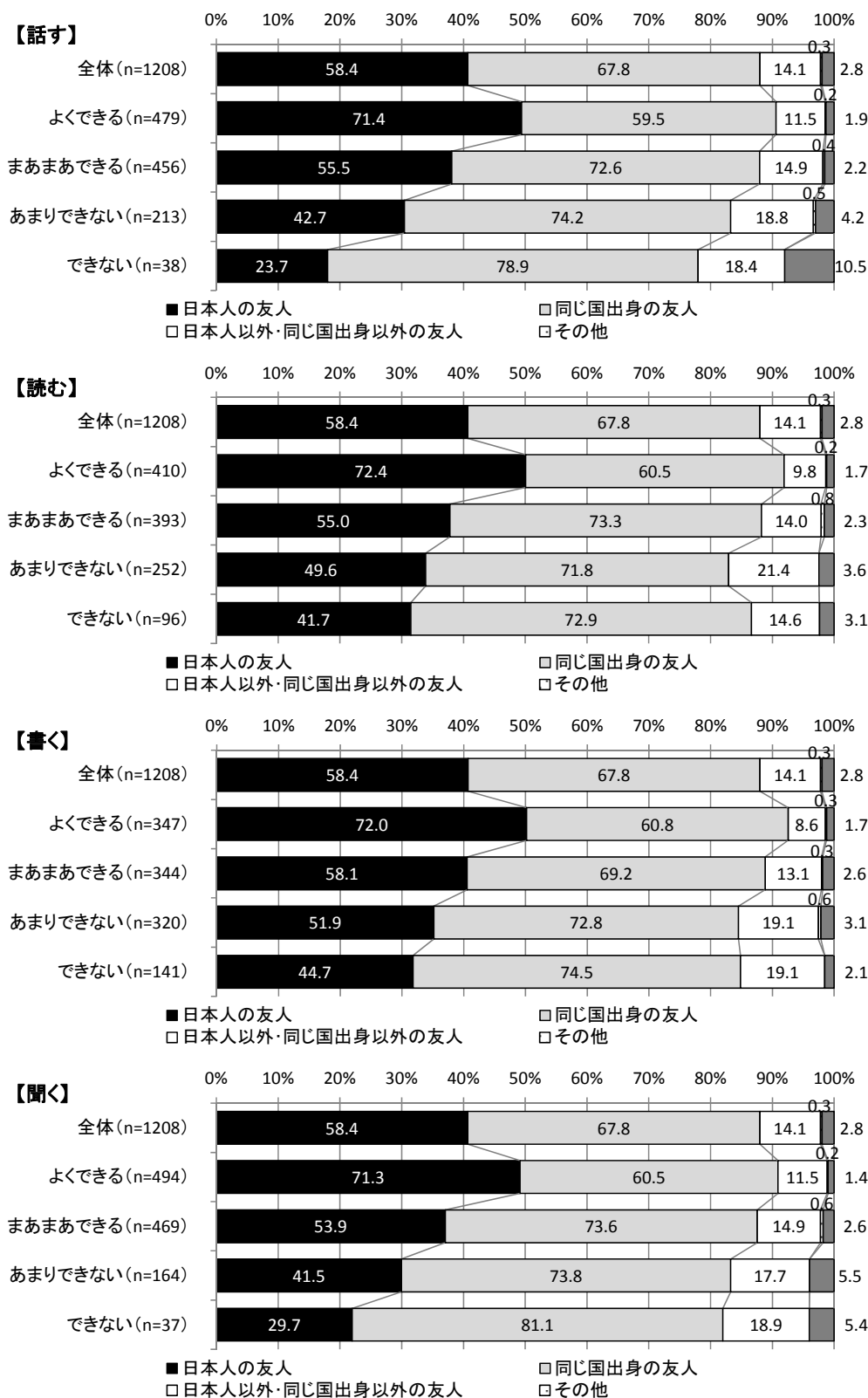
国籍別 信頼して相談できる友人の国籍



■ 日本語習熟度別 信頼して相談できる友人の国籍

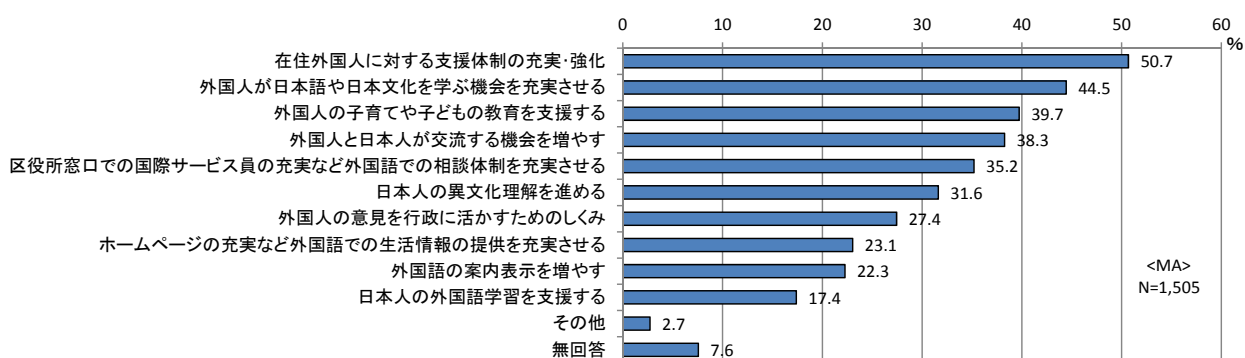
- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれも、「よくできる」では「日本人の友人」、「まあまあできる」「あまりできない」「できない」では「同じ国出身の友人」が最も多く、習熟度が高いほど日本人の友人が多くなっている。特に「話す」「聞く」ことが「できない」ひとでは「日本人の友人」の数値が全体値を大きく下回っている。

日本語習熟度別 信頼して相談できる友人の国籍



問 41 あなたは横浜を外国人にとって暮らしやすいまちにするためには、横浜市が何をすればよいと思いますか。(〇は5つまで)

- ・ 回答は分散しており、「在住外国人に対する支援体制の充実・強化」が最も多く50.7%で、約半数の人が挙げている。次いで「外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」が44.5%である。以下「外国人の子育てや子どもの教育を支援する」(39.7%)、「外国人と日本人が交流する機会を増やす」(38.3%)、「区役所窓口での国際サービス員の充実など外国語での相談体制を充実させる」(35.2%)、「日本人の異文化理解を進める」(31.6%)を3割以上の人が挙げている。
- ・ 平成21年度調査と比較してみると、「在住外国人に対する支援体制の充実・強化」は7.2ポイント、「外国人の意見を行政に活かすためのしくみ」が5.6ポイント減少しているなどの違いはあるが、全体の傾向として変化は見られない。



<参考 平成21年度調査結果との比較>



■ 年齢別 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割

- ・ いずれの年代でも「在住外国人に対する支援体制の充実・強化」が最も多い。30歳代では「外国人の子育てや子どもの教育を支援する」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

年齢別 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割

		問41 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割															
		合計	制 在 住 外 国 人 に 対 す る 支 援 体 制 の 充 実 ・ 強 化	相 談 体 制 を 充 実 さ せ る	区 役 所 窓 口 で の 国 際 サ ー ビ ス 員 の 充 実 な ど 外 国 語 で の 相 談 体 制 を 充 実 さ せ る	充 実 さ せ る	ホ ー ム ペ ー ジ の 充 実 な ど 外 国 語 で の 生 活 情 報 の 提 供 を	外 国 語 の 案 内 表 示 を 増 や す	外 国 人 の 意 見 を 行 政 に 活 か す	外 国 人 の 子 育 て や 子 ど も の 教 育 を 支 援 す る	外 国 人 が 日 本 語 や 日 本 文 化 を 学 ぶ 機 会 を 充 実 さ せ る	日 本 人 の 外 国 語 学 習 を 支 援 す る	機 会 を 増 や す	外 国 人 と 日 本 人 が 交 流 す る	日 本 人 の 異 文 化 理 解 を 進 め る	そ の 他	無 回 答
問2 年齢	全体	1505	50.7	35.2	23.1	22.3	27.4	39.7	44.5	17.4	38.3	31.6	2.7	7.6			
	29歳以下	276	56.2	33.3	25.4	24.3	27.9	41.7	49.3	19.2	43.8	37.7	1.4	5.1			
	30～39歳	456	52.4	36.8	26.5	22.1	25.4	52.4	50.4	20.4	41.7	32.5	3.3	3.3			
	40～49歳	355	50.1	34.6	22.8	21.4	28.7	39.7	43.4	18.6	38.9	29.6	2.8	6.8			
	50～59歳	230	49.6	43.9	22.2	25.7	29.6	25.2	43.5	15.7	31.3	28.7	2.2	7.0			
	60～69歳	108	40.7	27.8	13.0	21.3	30.6	20.4	24.1	7.4	29.6	25.9	4.6	22.2			
	70～79歳	53	39.6	20.8	13.2	9.4	22.6	28.3	32.1	7.5	26.4	34.0	3.8	22.6			
	80歳以上	20	40.0	15.0	5.0	10.0	15.0	25.0	25.0	5.0	35.0	30.0	0.0	35.0			

■ 国籍別 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割

- ・ 中国、韓国・朝鮮、フィリピン、タイで「在住外国人に対する支援体制の充実・強化」、ブラジル、アメリカ合衆国、ペルー、その他で「外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」、ベトナムでは「外国語の案内表示を増やす」「外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」が同率、その他アジアでは「区役所窓口での国際サービス員の充実など外国語での相談体制を充実させる」が最も多い。

国籍別 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割

		問41 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割															
		合計	制 在 住 外 国 人 に 対 す る 支 援 体 制 の 充 実 ・ 強 化	相 談 体 制 を 充 実 さ せ る	区 役 所 窓 口 で の 国 際 サ ー ビ ス 員 の 充 実 な ど 外 国 語 で の 相 談 体 制 を 充 実 さ せ る	充 実 さ せ る	ホ ー ム ペ ー ジ の 充 実 な ど 外 国 語 で の 生 活 情 報 の 提 供 を	外 国 語 の 案 内 表 示 を 増 や す	外 国 人 の 意 見 を 行 政 に 活 か す	外 国 人 の 子 育 て や 子 ど も の 教 育 を 支 援 す る	外 国 人 が 日 本 語 や 日 本 文 化 を 学 ぶ 機 会 を 充 実 さ せ る	日 本 人 の 外 国 語 学 習 を 支 援 す る	機 会 を 増 や す	外 国 人 と 日 本 人 が 交 流 す る	日 本 人 の 異 文 化 理 解 を 進 め る	そ の 他	無 回 答
問4 国籍(統 合)	全体	1505	50.7	35.2	23.1	22.3	27.4	39.7	44.5	17.4	38.3	31.6	2.7	7.6			
	中国	687	53.6	33.2	18.2	14.6	30.0	46.9	47.2	14.1	42.2	34.4	1.3	7.3			
	韓国・朝鮮	276	47.1	21.7	22.1	13.0	30.1	38.0	31.5	15.2	32.2	32.2	2.9	13.4			
	フィリピン	131	67.9	58.8	28.2	49.6	23.7	31.3	51.9	26.7	36.6	22.9	0.8	2.3			
	ブラジル	35	42.9	42.9	34.3	37.1	25.7	37.1	57.1	11.4	22.9	22.9	5.7	2.9			
	アメリカ合衆国	45	26.7	40.0	33.3	20.0	22.2	24.4	48.9	8.9	33.3	20.0	6.7	8.9			
	ベトナム	15	40.0	40.0	20.0	46.7	26.7	20.0	46.7	20.0	33.3	13.3	0.0	0.0			
	ペルー	18	44.4	38.9	33.3	44.4	16.7	27.8	55.6	22.2	27.8	38.9	0.0	5.6			
	タイ	32	46.9	37.5	21.9	43.8	18.8	18.8	37.5	9.4	28.1	21.9	6.3	15.6			
	その他アジア	57	54.4	59.6	29.8	40.4	14.0	40.4	40.4	29.8	28.1	26.3	1.8	3.5			
その他	205	42.4	35.1	29.8	28.3	25.4	32.7	45.9	24.9	42.9	34.6	7.3	5.4				

■ 日本語習熟度別 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割

- ・「話す」「聞く」ことが「よくできる」「まあまあできる」では「在住外国人に対する支援体制の充実・強化」、「あまりできない」「できない」では「外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」が最も多い。
- ・「読む」では、いずれも「在住外国人に対する支援体制の充実・強化」が最も多いほか、「あまりできない」で「区役所窓口での国際サービス員の充実など外国語での相談体制を充実させる」が同率となっている。
- ・「書く」ことが「よくできる」では「外国人の子育てや子どもの教育を支援する」、「まあまあできる」「あまりできない」「できない」では、「在住外国人に対する支援体制の充実・強化」が最も多い。
- ・「読む」「書く」ことが「よくできる」では「日本人の異文化理解を進める」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。
- ・「話す」「読む」「書く」「聞く」のいずれも、「あまりできない」「できない」で「区役所窓口での国際サービス員の充実など外国語での相談体制を充実させる」、「できない」で「外国語の案内表示を増やす」の数値が全体値を10ポイント以上上回り、習熟度の低い人を中心に外国語での相談体制や案内表示の充実が求められている。

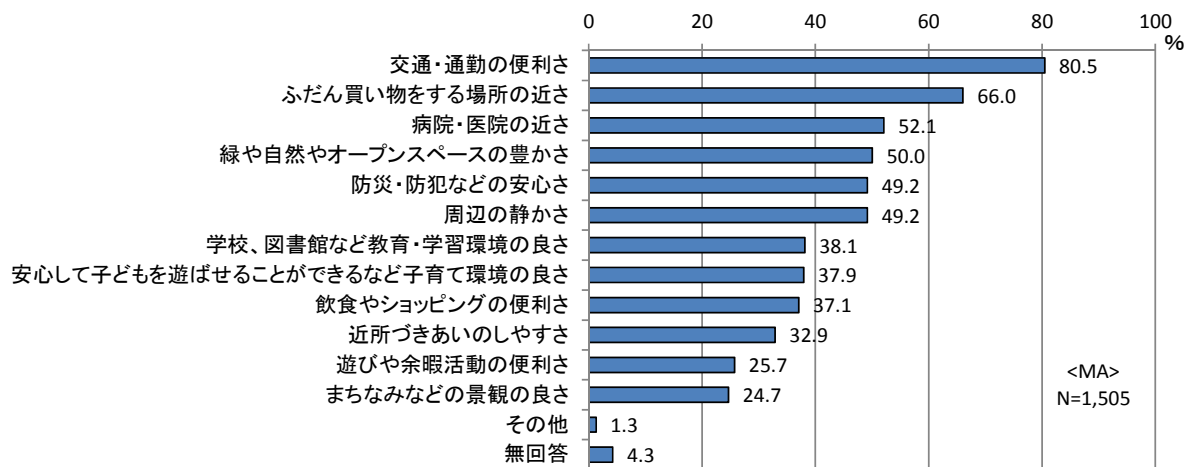
日本語習熟度別 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割

		問41 外国人が暮らしやすくするための横浜市の役割															
		合計	在住外国人に対する支援体制の充実・強化	相談体制の充実など外国語でのサポート	区役所窓口での国際サービス員の充実	充実させる生活情報提供を	外国語での生活情報の提供を	ホームページの充実など	外国語の案内表示を増やす	外国人の意見を行政に活かす	外国人の子育てや子どもの教育を支援する	外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる	日本人の外国語学習を支援する	日本人と日本人が交流する機会を増やす	外国人の異文化理解を進める	その他	無回答
全体		1505	50.7	35.2	23.1	22.3	27.4	39.7	44.5	17.4	38.3	31.6	2.7	7.6			
A 話す	よくできる	574	47.9	23.2	19.9	14.1	34.1	42.9	36.1	15.0	40.4	38.3	4.0	8.7			
	まあまあできる	558	54.1	38.5	25.4	25.1	27.6	40.5	45.5	17.6	39.8	31.2	1.8	4.7			
	あまりできない	279	52.7	51.3	29.0	31.9	18.3	34.8	57.0	21.1	33.0	21.5	1.8	8.2			
	できない	52	46.2	46.2	15.4	38.5	13.5	34.6	65.4	26.9	40.4	25.0	3.8	9.6			
B 読む	よくできる	480	47.5	19.4	18.5	12.1	35.4	47.1	35.8	15.2	42.7	41.7	3.8	8.5			
	まあまあできる	490	55.1	36.5	23.9	19.6	28.2	39.8	48.4	18.4	42.7	32.4	2.4	4.3			
	あまりできない	317	52.4	52.4	31.5	35.3	23.7	37.2	52.1	19.9	32.8	23.0	2.5	6.0			
	できない	129	53.5	48.8	27.1	45.7	13.2	30.2	49.6	20.9	29.5	22.5	1.6	7.8			
C 書く	よくできる	408	46.8	18.4	17.9	12.3	36.0	47.1	34.3	14.5	41.9	43.6	3.7	9.3			
	まあまあできる	416	55.3	32.9	23.1	17.8	28.4	41.1	47.1	19.2	44.5	35.1	2.9	4.6			
	あまりできない	405	53.1	47.7	31.1	30.1	24.9	39.8	51.9	18.5	34.8	23.0	2.2	4.9			
	できない	188	52.7	51.6	25.0	42.0	18.1	29.8	50.5	19.7	31.9	23.9	2.1	6.9			
D 聞く	よくできる	588	47.8	24.0	21.1	14.6	33.2	44.2	36.9	15.3	40.8	38.9	4.1	8.0			
	まあまあできる	572	55.1	39.9	25.5	26.2	29.5	39.0	46.3	18.4	39.9	30.8	1.6	4.2			
	あまりできない	220	54.1	51.4	28.6	30.5	15.0	37.7	59.1	19.1	32.3	22.3	2.3	8.2			
	できない	52	51.9	46.2	19.2	44.2	9.6	34.6	61.5	28.8	38.5	19.2	3.8	9.6			

9. 住まいの環境について

問 42 仮に、あなたが今のお住まいから転居するとしたら、新しい住まいの周辺の環境で、特に重視するのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- ・「交通・通勤の便利さ」が 80.5% で最も多く、8 割以上の人々が挙げている。次いで「ふだん買い物をする場所の近さ」が 66.0% である。以下「病院・医院の近さ」(52.1%)、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」(50.0%)、「防災・防犯などの安心さ」(49.2%)、「周辺の静かさ」(49.2%) についても 5 割前後が挙げているなど、回答は分散した



■ 年齢別 住まいの周辺環境で、特に重視すること

- ・いずれの年代でも「交通・通勤の便利さ」が最も多く、特に若い年代ほど数値が高い。また 29 歳以下では「飲食やショッピングの便利さ」、30 歳代では「安心して子どもを遊ばせることができるなど子育て環境の良さ」「学校、図書館など教育・学習環境の良さ」、70 歳代で「病院・医院の近さ」の数値が全体値に比べて 10 ポイント以上高く、年代別の特徴が見られた。

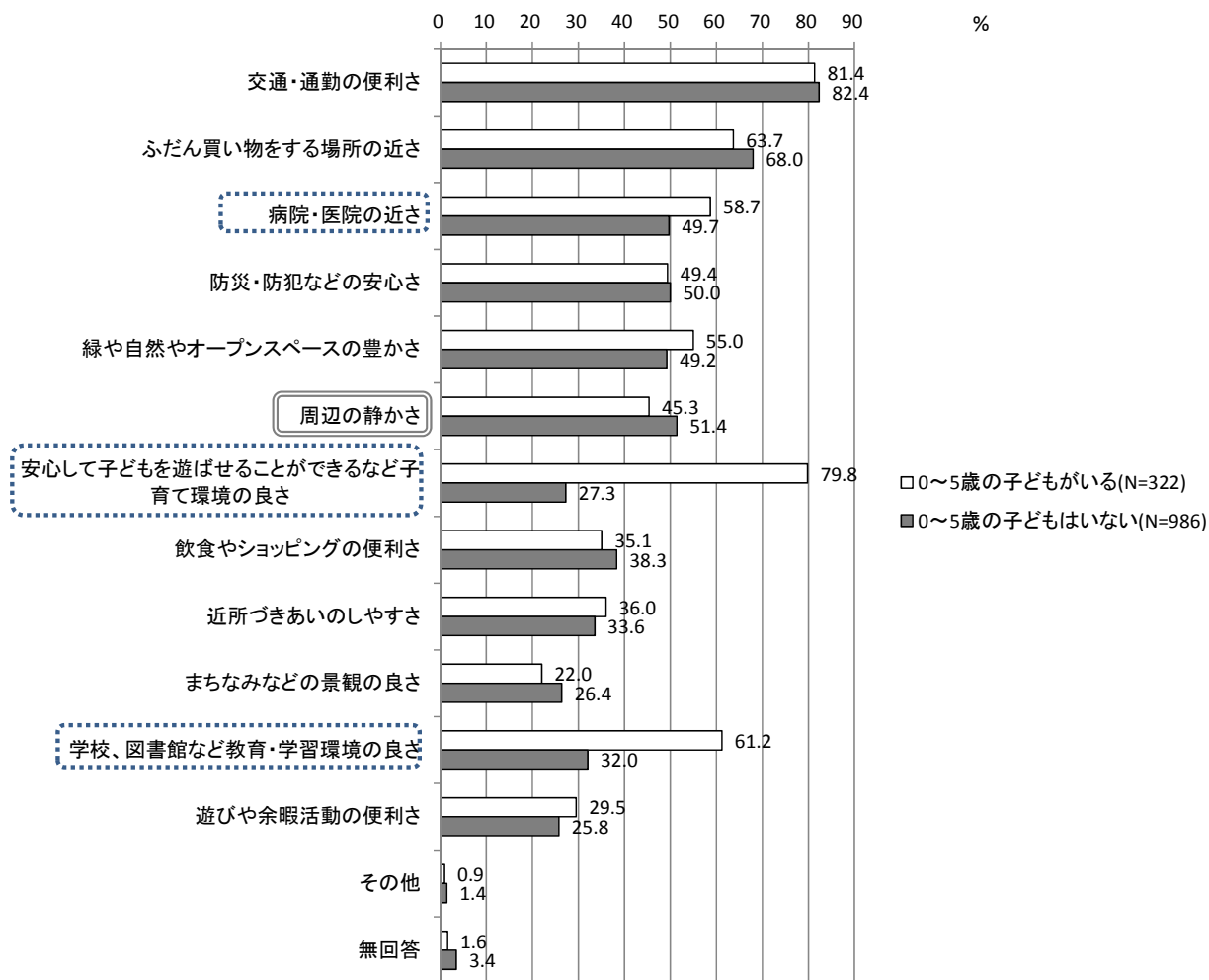
年齢別 住まいの周辺環境で、特に重視すること

問 2 年齢	合計	問42 住まいの周辺環境で、特に重視すること													
		交通・通勤の便利さ	ふだん買い物をする場所の近さ	病院・医院の近さ	防災・防犯などの安心さ	緑や自然やオープンスペースの豊かさ	周辺の静かさ	子育て環境の良さ	安心して子どもを遊ばせることができるなど	飲食やショッピングの便利さ	近所づきあいのしやすさ	まちなみなどの景観の良さ	学校、図書館など教育・学習環境の良さ	遊びや余暇活動の便利さ	その他
全体	1505	80.5	66.0	52.1	49.2	50.0	49.2	37.9	37.1	32.9	24.7	38.1	25.7	1.3	4.3
29歳以下	276	88.4	75.4	43.1	41.3	44.9	49.6	30.8	47.1	26.4	23.9	35.1	33.0	0.7	1.8
30～39歳	456	82.9	63.6	52.0	52.2	54.8	50.0	59.6	36.2	33.8	23.2	51.3	28.5	0.4	2.2
40～49歳	355	76.1	63.7	50.7	49.6	52.7	51.3	40.3	36.3	36.3	25.9	42.0	24.2	2.3	3.1
50～59歳	230	82.6	66.1	56.5	53.0	50.9	50.4	17.4	34.8	33.9	27.0	22.6	20.4	1.3	4.8
60～69歳	108	70.4	64.8	62.0	47.2	45.4	42.6	15.7	31.5	29.6	26.9	22.2	18.5	1.9	12.0
70～79歳	53	69.8	66.0	67.9	54.7	35.8	45.3	15.1	28.3	35.8	24.5	22.6	17.0	1.9	13.2
80歳以上	20	60.0	50.0	55.0	40.0	30.0	30.0	10.0	25.0	35.0	15.0	15.0	10.0	5.0	25.0

■ 0～5歳のお子さんの有無(統合)別 住まいの周辺環境で、特に重視すること

- ・ 0～5歳の子どもの有無別に比較すると、0～5歳の子どもがいる世帯がない世帯に比べて特に重視しているのは、「安心して子どもを遊ばせることができるなど子育て環境の良さ」「学校、図書館など教育・学習環境の良さ」「病院・医院の近さ」である。逆に、0～5歳の子どもがいない世帯がいる世帯に比べて特に重視しているのは「周辺の静けさ」である。

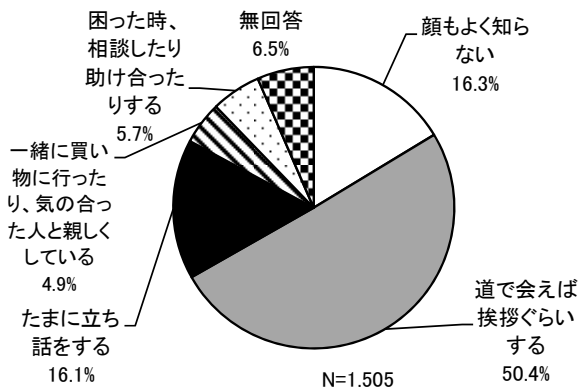
0～5歳のお子さんの有無(統合)別 住まいの周辺環境で、特に重視すること



10. 地域とのつながりについて

問 43 あなたは隣近所とどのようなつき合いをしていますか。(〇は1つだけ)

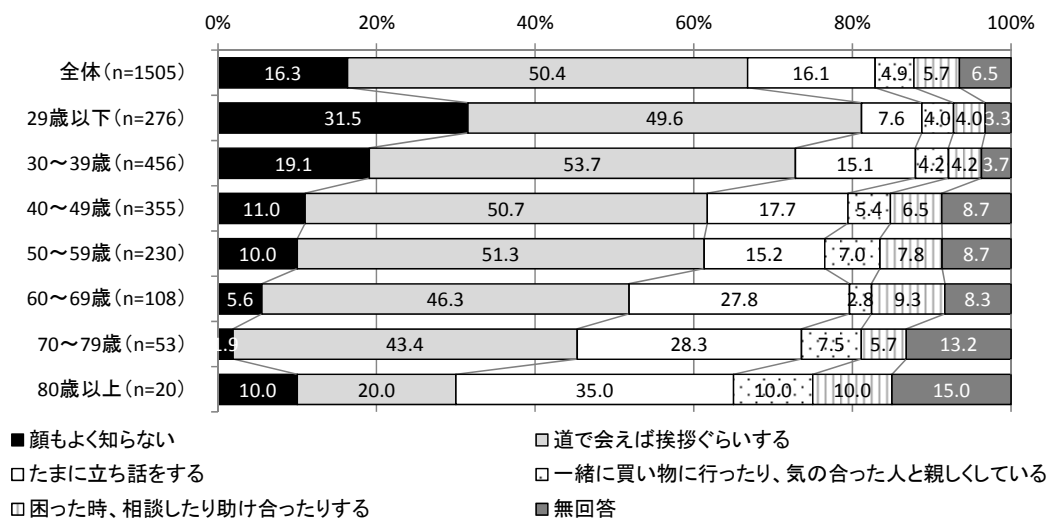
- ・「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多く 50.4%で、約半数を占める。次いで「顔もよく知らない」が 16.3%、「たまに立ち話をする」が 16.1%でほぼ並ぶ。以下「困った時、相談したり助け合ったりする」が 5.7%、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」が 4.9%となっている。



■ 年齢別 隣近所との付き合い

- ・80歳以上では「たまに立ち話をする」、70歳代以下の世代では「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多い。また29歳以下では「顔もよく知らない」、60歳代、70歳代では「たまに立ち話をする」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高く、若い世代ほど隣近所との付き合いが浅い様子が見られる。

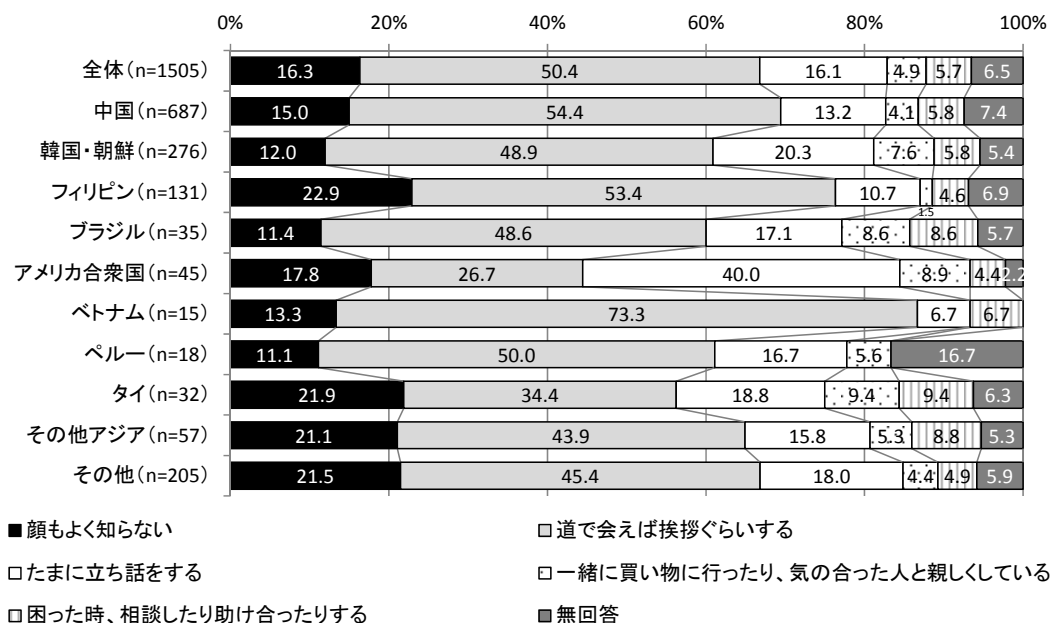
年齢別 隣近所との付き合い



■ 国籍別 隣近所との付き合い

- ・アメリカ合衆国のみ「たまに立ち話をする」、それ以外は「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多い。

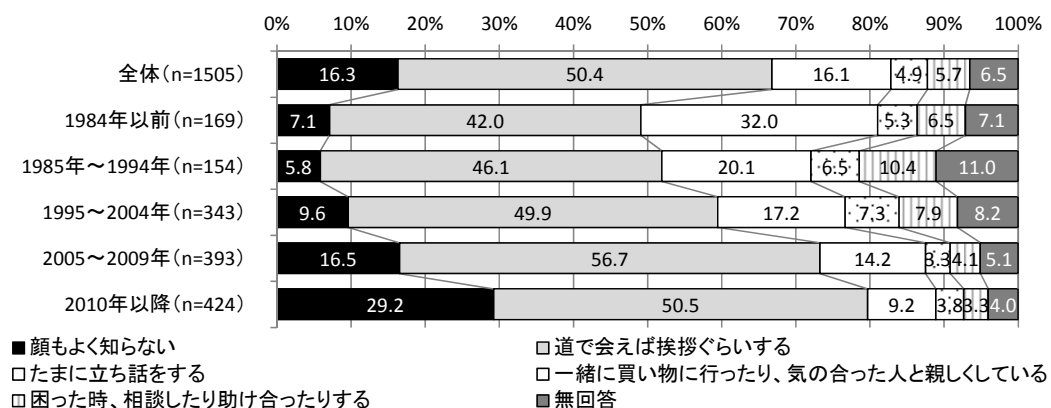
国籍別 隣近所との付き合い



■ 横浜での居住開始時期別 隣近所との付き合い

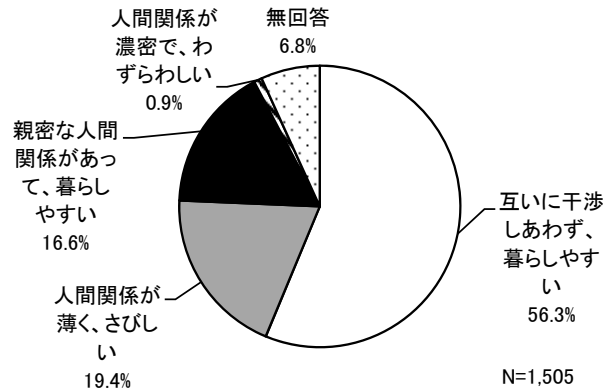
- ・いずれも「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多い。1984年以前では「たまに立ち話をする」、2010年以降では「顔もよく知らない」数値が全体値に比べて10ポイント以上高く、居住年数が浅いほど付き合いも浅くなっている。

横浜での居住開始時期別 隣近所との付き合い



問 44 あなたは隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

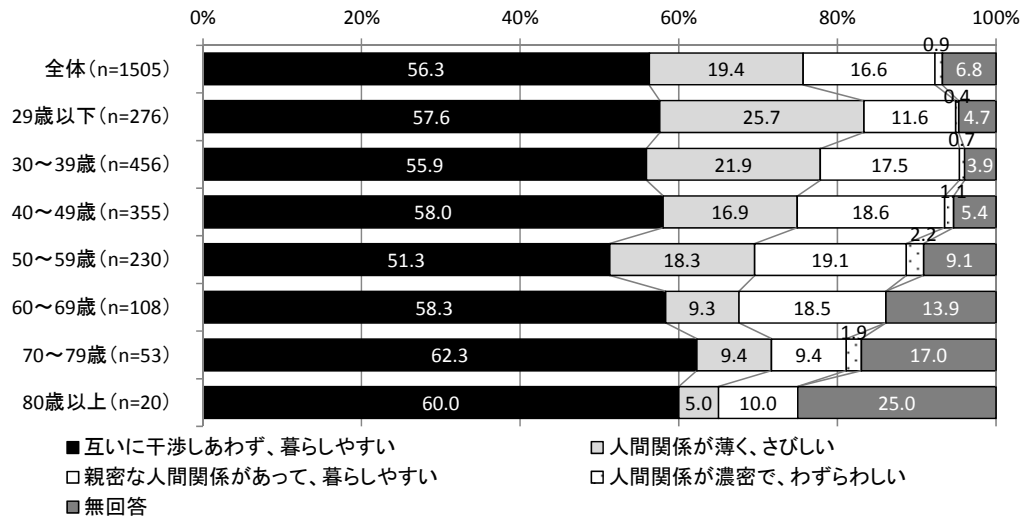
- ・「互いに干渉しあわず、暮らしやすい」が最も多く 56.3%で、過半数に達している。次いで「人間関係が薄く、さびしい」が 19.4%、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」が 16.6%、「人間関係が濃密で、わずらわしい」は 0.9%である。



■ 年齢別 隣近所との付き合いで感じること

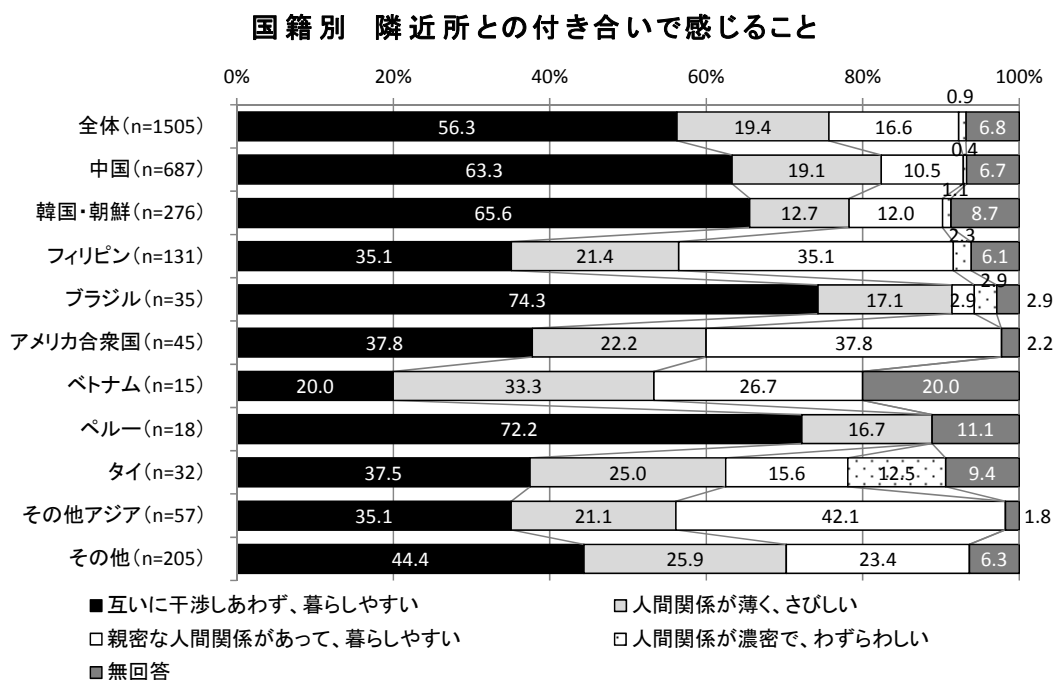
- ・いずれの年代でも「互いに干渉しあわず、暮らしやすい」が最も多い。「人間関係が薄く、さびしい」は、若い世代で数値が高い傾向にある。

年齢別 隣近所との付き合いで感じること



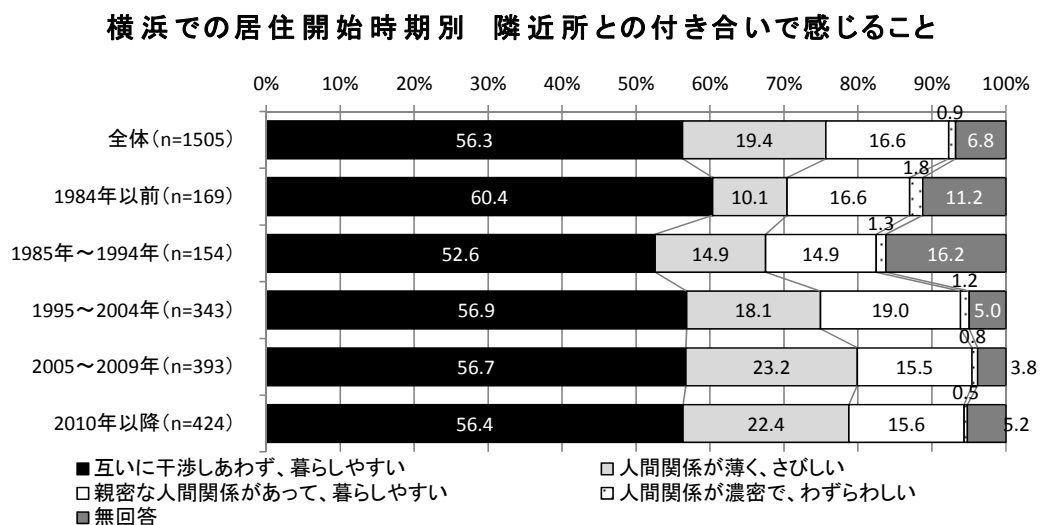
■ 国籍別 隣近所との付き合いで感じる事

- ・ フィリピンとアメリカ合衆国では「互いに干渉しあわず、暮らしやすい」「親密な人間関係があって、暮らしやすい」が同率、ベトナムでは「人間関係が薄く、さびしい」、その他アジアで「親密な人間関係があって、暮らしやすい」が最も多く、それ以外は「互いに干渉しあわず、暮らしやすい」が最も多くなっている。なおタイでは「人間関係が濃密で、わずらわしい」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。



■ 横浜での居住開始時期別 隣近所との付き合いで感じる事

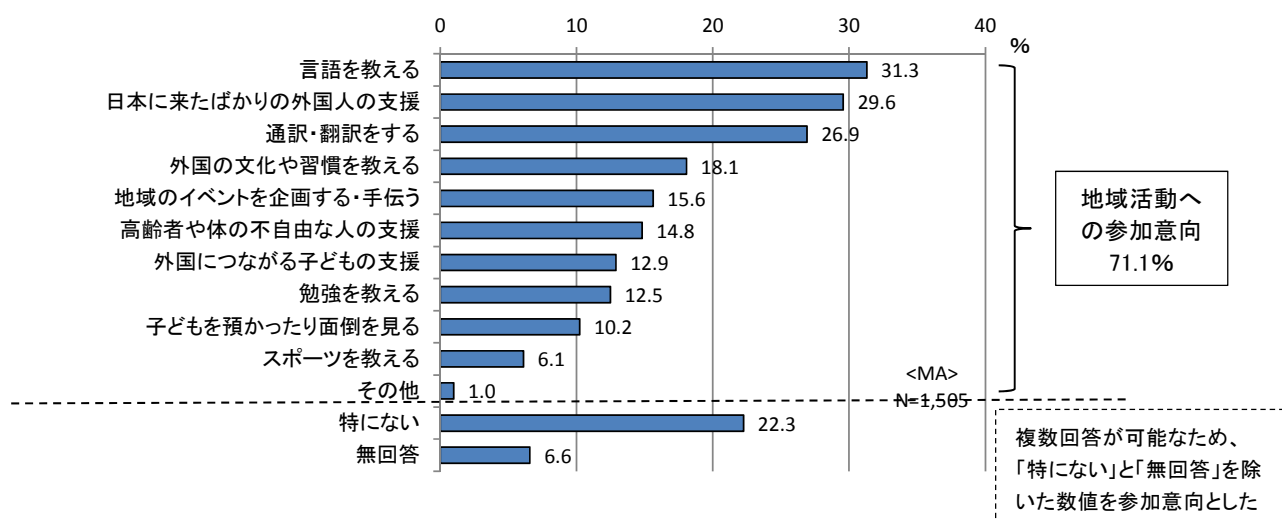
- ・ いずれの年代も「互いに干渉しあわず、暮らしやすい」が最も多い。「人間関係が薄く、さびしい」は、居住年数の浅い方が数値は高い傾向にある。



問 45 あなたがやってみたいと思う地域活動は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- ・やってみたいと思う地域活動で「特にない」22.3%と無回答 6.6%を除くと、71.1%の人が地域活動への参加意向を有している。
- ・やってみたいと思う地域活動では、「言語を教える」が最も多く 31.3%で、3割強の人が挙げている。次いで「日本に来たばかりの外国人の支援」が 29.6%、「通訳・翻訳をする」が 26.9%である。一方、「特にない」も 22.3%と、2割以上が挙げている。以下「外国の文化や習慣を教える」(18.1%)、「地域のイベントを企画する・手伝う」(15.6%)、「高齢者や体の不自由な人の支援」(14.8%)などの順となっている。

あなたがやってみたいと思う地域活動



■ 性別・年齢別 あなたがやってみたいと思う地域活動

- ・参加意向の有無は男女別には大きな差は見られない。年齢別では、若年層（39歳以下）で参加意向が高く、高年層（60歳以上）で参加意向が低くなっている。

性別・年齢別 あなたがやってみたいと思う地域活動

	合計	問1 性別			問2 年齢(統合)				
		男	女	無回答	若年層 (39歳以下)	中年層 (40歳～59歳)	高年層 (60歳以上)	無回答	
全体	1505	38.8	57.9	3.3	48.6	38.9	12.0	0.5	
地域活動への参加意向	参加意向がある	1071	37.1	60.6	2.3	55.2	38.3	6.3	0.2
	参加意向はない	434	43.1	51.2	5.8	32.5	40.3	26.0	1.2

■ 国籍別 あなたがやってみたいと思う地域活動

- ・国籍別に見た地域活動への参加意向では、「参加意向がある」とする人の割合が「参加意向はない」とする人の割合より高い国は、中国、フィリピン、ベトナム、ペルー、その他アジア、その他であり、逆に地域活動への「参加意向がない」とする割合の方が高いのは、韓国・朝鮮、ブラジル、アメリカ合衆国、タイであった。とくに、韓国・朝鮮では「参加意向はない」とする割合が高い。

国籍別 あなたがやってみたいと思う地域活動

	合計	問4 国籍(統合)											
		中国	韓国・朝鮮	フィリピン	ブラジル	アメリカ合衆国	ベトナム	ペルー	タイ	その他アジア	その他	無回答	
全体	1505	45.6	18.3	8.7	2.3	3.0	1.0	1.2	2.1	3.8	13.6	0.3	
地域活動への参加意向	参加意向がある	1071	47.2	14.6	10.0	2.1	2.5	1.2	1.3	1.9	4.2	14.8	0.1
	参加意向はない	434	41.7	27.6	5.5	2.8	4.1	0.5	0.9	2.8	2.8	10.6	0.7

■ 在留資格別 あなたがやってみたいと思う地域活動

- ・在留資格別に見た地域活動への参加意向では、永住者、特別永住者で「参加意向がない」とする人の割合が高い。

在留資格別 あなたがやってみたいと思う地域活動

	合計	問5 在留資格(統合)												
		永住者	特別永住者	日本人の配偶者等	家族滞在	定住者	留学・就学	技術	人文知識・国際	技能実習・技能・研修	短期滞在	その他	無回答	
全体	1505	41.5	9.6	13.0	6.6	3.5	6.1	5.0	3.1	4.0	0.1	5.3	2.1	
地域活動への参加意向	参加意向がある	1071	38.9	7.1	13.4	7.7	3.8	8.0	6.3	3.5	4.2	0.1	5.7	1.2
	参加意向はない	434	47.9	15.9	12.2	3.7	2.8	1.4	2.1	1.8	3.5	0.0	4.4	4.4

■ 日本での居住開始年別 あなたがやってみたいと思う地域活動

- ・日本での居住開始年別に見た地域活動への参加意向では、1984年以前に居住を開始した人で「参加意向がない」とする人の割合が高い。

日本での居住開始年別 あなたがやってみたいと思う地域活動

	合計	問6 居住開始年(統合)					無回答	
		1984年以前	1985年～1994年	1995～2004年	2005～2009年	2010年以降		
全体	1505	17.3	14.2	27.2	23.6	16.3	1.4	
地域活動への参加意向	参加意向がある	1071	11.8	13.9	28.9	25.7	18.8	0.9
	参加意向はない	434	31.1	15.0	22.8	18.4	10.1	2.5

■ 日本語以外で日常会話のできる言語別 あなたがやってみたいと思う地域活動

- ・日本語以外で日常会話のできる言語別に見た地域活動への参加意向では、英語ができる人で「参加意向がある」とする割合が高く、「特にない」では「参加意向がない」とする人の割合が高い。

日本語以外で日常会話のできる言語別 あなたがやってみたいと思う地域活動

	合計	問17 日本語以外で日常会話のできる言語												
		英語	中国語	ハンガ ル	スペイ ン語	ポルト ガル語	タガロ グ語	ベトナ ム語	タイ語	インド ネシア 語	その他	特にな い	無回答	
全体	1505	38.7	48.4	13.2	3.7	2.9	8.3	0.9	2.2	1.4	6.2	8.2	1.5	
地域活動への 参加意向	参加意向がある	1071	44.7	50.4	13.1	4.2	2.9	9.4	1.0	2.0	1.2	7.4	5.3	0.6
	参加意向はない	434	23.7	43.5	13.6	2.3	3.0	5.5	0.7	2.8	1.8	3.5	15.4	3.7

■ 日本語の学習（現在・意向）別 あなたがやってみたいと思う地域活動

- ・現在日本語を学んでいない人では、「参加意向がない」とする人の割合が高い。今後の日本語の学習意向では、「積極的に学びたい」とする人の「参加意向がある」とする割合が高く。「学ぶ必要がない」とする人では「参加意向がない」とする人の割合が高い。

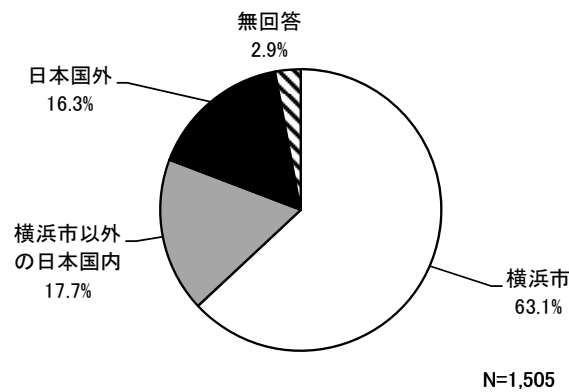
日本語の学習（現在・意向）別 あなたがやってみたいと思う地域活動

	合計	問19 現在の日本語の学習			問21 今後の日本語の学習意向							
		学んで いる	学んで いない	無回答	積極 的に学 びたい	機会 があれば 学びたい	無料な ら学び たい	あまり 学びた くない	学びた くない	学ぶ必 要がない	無回答	
全体	1505	35.7	60.4	3.9	28.0	26.6	13.8	4.3	1.3	18.1	7.8	
地域活動への 参加意向	参加意向がある	1071	40.7	57.4	1.9	34.2	28.4	12.8	3.2	1.0	15.1	5.3
	参加意向はない	434	23.5	67.7	8.8	12.9	22.4	16.1	7.1	2.1	25.3	14.1

11. 東日本大震災の時、困ったことについて

問 46 東日本大震災の時、あなたはどこにいましたか。(〇は1つだけ)

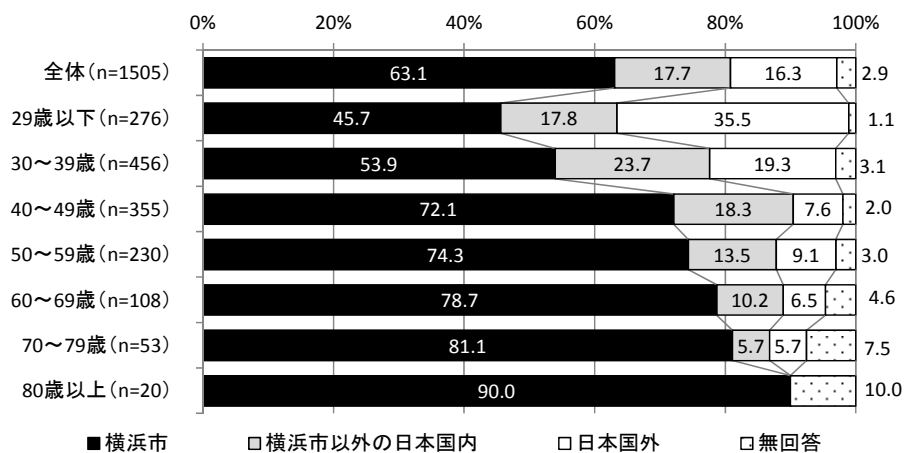
- ・「横浜市」が最も多く 63.1%で、全体の6割以上を占める。次いで「横浜市以外の日本国内」が 17.7%で、これらを合わせると 80.8%と、全体の約8割が震災当時日本国内にいたと回答している。「日本国外」が 16.3%となっている。



■ 年齢別 東日本大震災の時にいた場所

- ・いずれも「横浜市」が最も多く、年齢が高いほど数値も高くなっている。29歳以下では「日本国外」の数値が全体値を大きく上回っている。

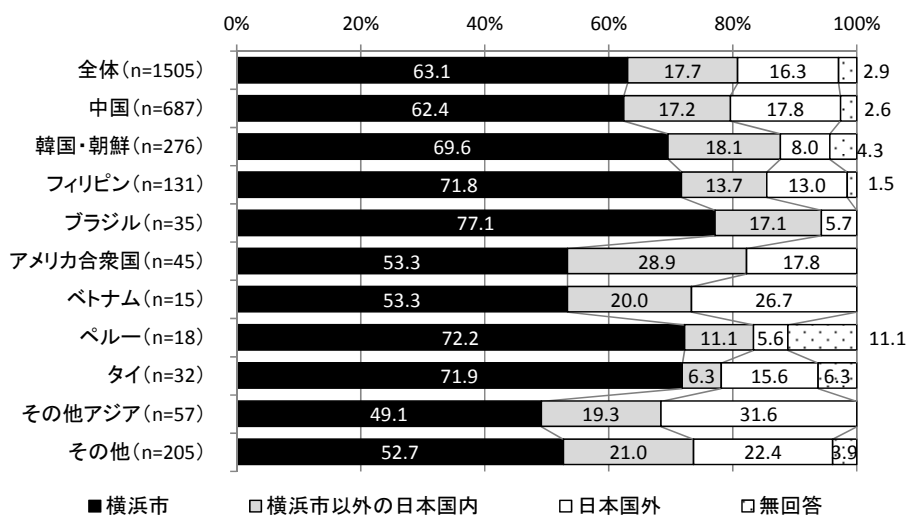
年齢別 東日本大震災の時にいた場所



■ 国籍別 東日本大震災の時にいた場所

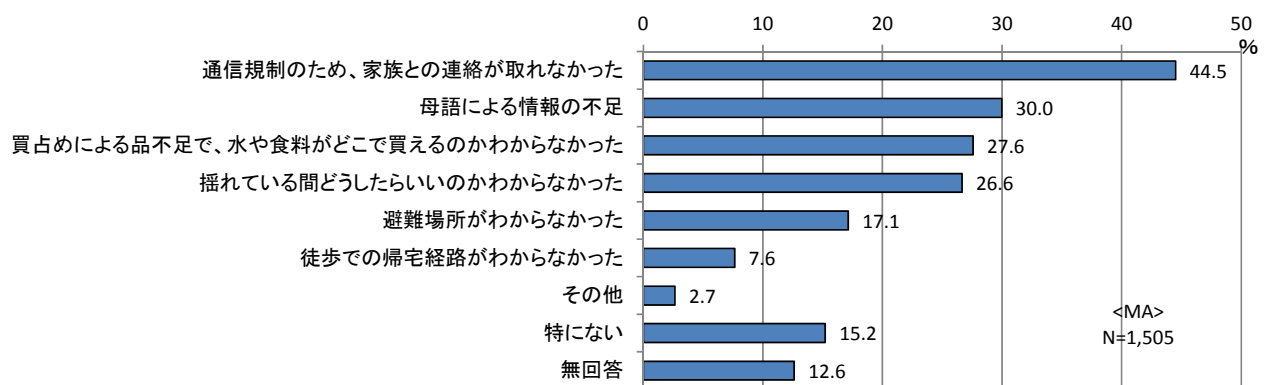
- ・ いずれも「横浜市」が最も多く、フィリピン、ブラジル、ペルー、タイでは7割を超えている。また、アメリカ合衆国では「横浜市以外の日本国内」が全体値を10ポイント以上上回っている。

国籍別 東日本大震災の時にいた場所

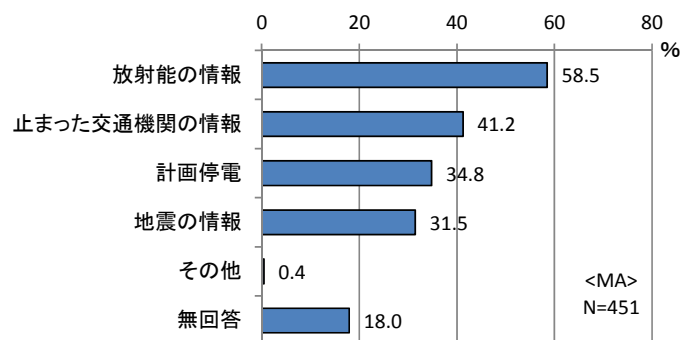


問 47 東日本大震災の時、困ったことは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「通信規制のため、家族との連絡が取れなかった」が 44.5% で最も多い。次に「母語による情報の不足」(30.0%)、「買占めによる品不足で、水や食料がどこで買えるのかわからなかった」(27.6%)、「揺れている間どうしたらいいのかわからなかった」(26.6%)を 3 割前後が、「避難場所がわからなかった」(17.1%)を 2 割弱が挙げている。一方「特にない」は 15.2% であった。
- ・情報不足で困ったこととしては「放射能の情報」が最も多く 58.5% で、6 割近くの人が挙げている。次いで「止まった交通機関の情報」が 41.2% で、4 割強である。以下「計画停電」(34.8%)、「地震の情報」(31.5%)、「その他」(0.4%)の順となっている。



<情報不足で困ったこと>



■ 年齢別 東日本大震災の時困ったこと

- ・60歳代より下の世代では「通信規制のため、家族との連絡が取れなかった」、70歳代以上では「揺れている間どうしたらいいのかわからなかった」が最も多い。
- また、70歳代では「特にない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高い。

年齢別 東日本大震災の時困ったこと

		合計	問47 東日本大震災の時に困ったこと								
			母語による情報の不足	避難場所がわからなかった	揺れている間どうしたらいいのかわからなかった	通信規制が取れなかった、家族との連絡が	水や食料が不足した	買占めによる品不足で、	徒歩での帰宅経路がわからなかった	その他	特にない
全体		1505	30.0	17.1	26.6	44.5	27.6	7.6	2.7	15.2	12.6
問2 年齢	29歳以下	276	25.0	19.2	22.1	42.4	28.6	6.2	1.4	17.4	20.7
	30～39歳	456	29.8	21.7	26.5	45.8	31.4	9.4	2.2	12.9	13.8
	40～49歳	355	37.2	15.8	28.7	52.1	29.6	9.9	3.9	12.1	5.6
	50～59歳	230	30.9	15.2	30.0	45.2	24.8	8.3	3.0	16.5	8.7
	60～69歳	108	22.2	9.3	17.6	37.0	17.6	0.9	1.9	22.2	13.0
	70～79歳	53	22.6	3.8	37.7	15.1	13.2	0.0	3.8	26.4	15.1
	80歳以上	20	20.0	5.0	30.0	10.0	10.0	0.0	5.0	15.0	30.0

■ 国籍別 東日本大震災の時困ったこと

- ・ペルー、その他アジアで「母語による情報の不足」、それ以外は「揺れている間どうしたらいいのかわからなかった」が最も多い。

国籍別 東日本大震災の時困ったこと

		合計	問47 東日本大震災の時に困ったこと								
			母語による情報の不足	避難場所がわからなかった	揺れている間どうしたらいいのかわからなかった	通信規制が取れなかった、家族との連絡が	水や食料が不足した	買占めによる品不足で、	徒歩での帰宅経路がわからなかった	その他	特にない
全体		1505	30.0	17.1	26.6	44.5	27.6	7.6	2.7	15.2	12.6
問4 国籍（統合）	中国	687	28.7	16.7	27.8	47.7	27.5	8.4	2.0	12.7	14.6
	韓国・朝鮮	276	18.1	12.0	29.3	40.2	26.8	4.3	4.0	19.9	11.2
	フィリピン	131	41.2	20.6	34.4	51.9	30.5	9.2	0.0	13.7	6.1
	ブラジル	35	48.6	31.4	22.9	51.4	45.7	8.6	2.9	17.1	5.7
	アメリカ合衆国	45	33.3	15.6	13.3	35.6	17.8	8.9	8.9	20.0	11.1
	ベトナム	15	33.3	33.3	20.0	40.0	33.3	0.0	0.0	26.7	20.0
	ペルー	18	72.2	50.0	11.1	50.0	22.2	11.1	0.0	5.6	5.6
	タイ	32	31.3	21.9	28.1	46.9	25.0	3.1	9.4	15.6	6.3
	その他アジア	57	38.6	17.5	17.5	35.1	28.1	7.0	0.0	15.8	15.8
	その他	205	33.2	16.1	21.5	37.6	26.8	9.3	3.4	17.1	13.7

■ 日本語習熟度別 東日本大震災の時困ったこと

- ・「話す」「読む」「書く」ことが「できない」人と、「聞く」ことが「あまりできない」人では「母語による情報の不足」、それ以外は「通信規制のため、家族との連絡が取れなかった」が最も多い。

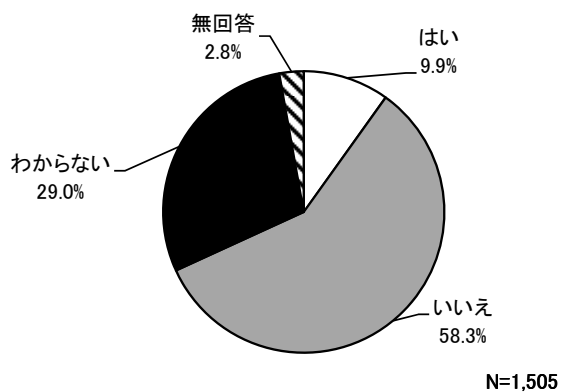
日本語習熟度別 東日本大震災の時困ったこと

		合計	問47 東日本大震災の時に困ったこと								
			母語による情報の不足	た避難場所がわからなかった	揺れている間どうしたらいいかわからなかった	通信規制が取れなかった、家族との連絡がとれなかった	水や食料がどこで買えるかわからなかった	買占めによる品不足で、必要な品が買えなかった	徒歩での帰宅経路がわからなかった	その他	特になし
全体		1505	30.0	17.1	26.6	44.5	27.6	7.6	2.7	15.2	12.6
A 話す	よくできる	574	22.3	14.6	24.2	44.8	30.5	7.0	4.2	17.6	7.5
	まあまあできる	558	34.6	20.4	30.5	49.1	29.7	8.2	2.3	12.5	11.6
	あまりできない	279	36.9	17.2	26.5	38.7	18.6	8.2	1.1	16.1	20.1
	できない	52	32.7	11.5	19.2	30.8	23.1	5.8	0.0	17.3	26.9
B 読む	よくできる	480	19.0	12.1	22.3	44.6	32.3	5.4	5.0	17.5	9.2
	まあまあできる	490	31.8	18.6	28.4	47.1	28.8	8.4	1.6	12.7	12.4
	あまりできない	317	40.7	26.2	33.1	49.5	24.6	10.7	1.9	14.2	12.0
	できない	129	40.3	12.4	16.3	31.8	21.7	7.8	1.6	20.9	20.9
C 書く	よくできる	408	17.4	12.0	22.5	44.1	32.4	5.4	5.1	17.9	9.3
	まあまあできる	416	31.0	18.0	25.7	48.1	28.8	7.9	2.4	14.2	12.0
	あまりできない	405	36.5	22.0	32.1	48.1	25.4	10.4	1.5	13.1	11.9
	できない	188	42.0	19.7	24.5	36.7	25.0	8.5	1.6	17.6	17.0
D 聞く	よくできる	588	21.3	14.8	24.1	45.2	31.6	6.8	4.3	17.5	7.7
	まあまあできる	572	36.0	20.5	31.5	50.0	30.1	8.7	2.1	11.2	12.1
	あまりできない	220	40.0	20.0	24.1	36.8	18.2	9.5	1.4	17.7	17.7
	できない	52	23.1	7.7	13.5	26.9	15.4	3.8	0.0	25.0	32.7

12. その他

問 48 平成 21 年 7 月に横浜市はこのアンケート調査と同様の調査を行いました。あなたはそのアンケート調査に回答しましたか。(○は 1 つだけ)

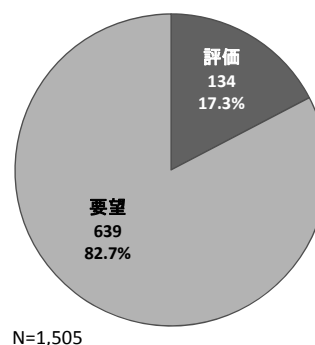
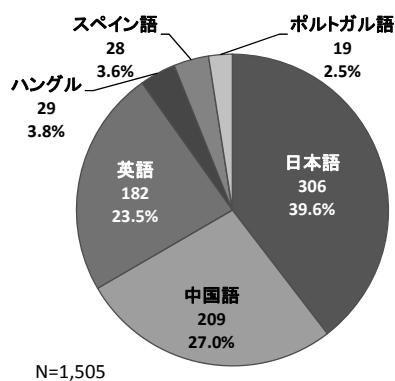
- ・「いいえ」が 58.3%で最も多く、「はい」の 9.9%を 48.4 ポイント上回っている。「わからない」は 29.0%となっている。



問 49 最後に、横浜市にぜひ取り組んでほしいこと、日常生活の中で不便に感じていること、困っていること、またそれ以外でも、この調査に対するご意見などがあつたら、何でもご自由にご記入してください。

- ・自由記述(問 49)に回答があつたのは 536 件 (1,505 件の 35.6%)、延べ意見数は 773 件であつた。言語別回答数は、日本語 39.6%、中国語 27.0%、英語 23.5%、ハングル 3.8%、スペイン語 3.6%、ポルトガル語 2.5%であつた。
- ・今回の調査だけでなく、横浜での生活、施策、サービスなども含め、評価する意見は 134 件 (17.3%) であつた。
- ・要望に関する意見は 639 件 (82.7%) で、分野別に見ると、「行政」、「多文化共生」、「子育て・教育」、「言葉」、「仕事」の順に多く、これら上位 5 位で全体の約 7 割を占めている。
- ・各分野に関わる要望が多かつたのは次のとおり

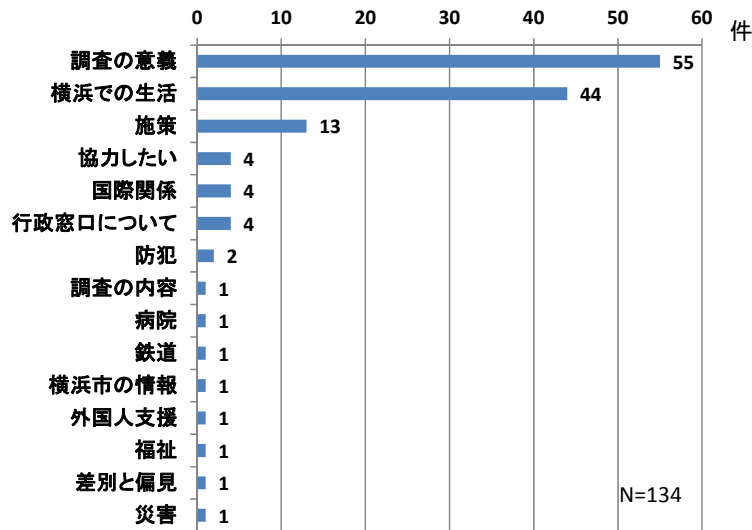
行政	「税金・年金・保険」68 件、「行政窓口について」27 件
多文化共生	「日本人の意識」22 件、「差別と偏見」21 件
言葉	「言葉で困っている」44 件、「言葉の勉強の仕方について」42 件
子育て・教育	「必要な支援について」37 件、「学校」18 件
仕事	「就職について」34 件、「職業について」19 件
調査	「調査方法」15 件、「調査対象」10 件
街の美化・活性化	「街の美化」21 件、「街の活性化」8 件
住宅	「賃貸契約」21 件、「住宅支援」7 件
交通	「道路」7 件、「鉄道」6 件
生活	「横浜での生活」14 件、「ごみ出しについて」7 件
安全・安心	「災害」7 件、「防犯」6 件
医療	「医療」5 件、「病院」3 件



回答言語別件数

回答言語	実数(件)			構成比(%)	
	評価	要望	合計	評価	要望
日本語	25	281	306	8.2	91.8
中国語	49	160	209	23.4	76.6
英語	47	135	182	25.8	74.2
ハングル	1	28	29	3.4	96.6
スペイン語	8	20	28	28.6	71.4
ポルトガル語	4	15	19	21.1	78.9
総計	134	639	773	17.3	82.7

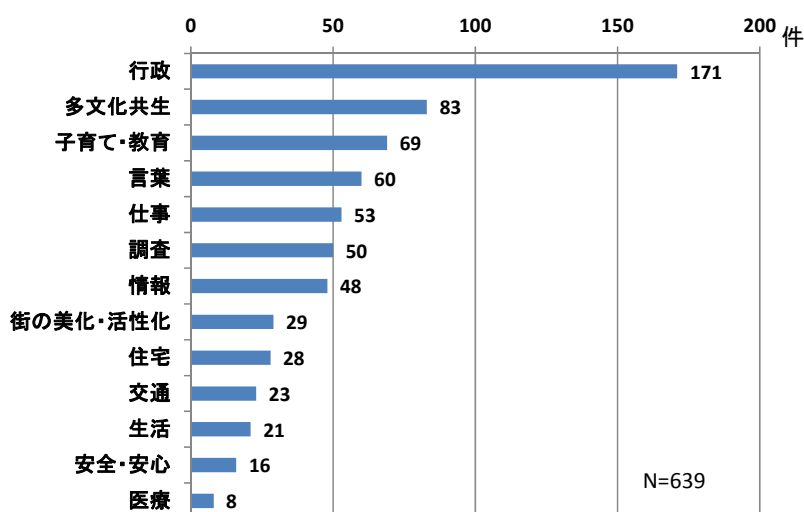
評価する意見の分野



評価する意見の主な内容

分野	分類	件数
調査	すばらしい、感謝している	43
	結果を活かしてほしい	12
	設問が良い	1
生活	満足している、不満はない	28
	横浜に住めて良かった・ずっと住みたい	16
行政	横浜市はよくやっている	11
	職員が親切	4
	がんばってほしい	2
	生活保護で助かっている	1
	外国人支援が充実している	1
多文化共生	意思疎通を図って友好関係を築きたい	4
	外国語を活かして協力したい	3
	暮らしやすい街を作りたい	1
	差別・偏見が少なくなった	1
安全・安心	街が安全	2
	防災情報は多言語で提供されている	1
交通	交通網は整備されている	1
情報	回覧板が便利	1
医療	通訳がいて助かる	1
総計		134

要望に関する意見の主な分野



要望に関する意見の主なテーマ

分野	件数	テーマ	件数	分野	件数	テーマ	件数
行政	171	税金・年金・保険	68	仕事	53	就職について	34
		行政窓口について	27			職業について	19
		外国人の待遇	18	情報	47	外国語での情報	33
		外国人支援	12			横浜市の情報	14
		福祉	11	調査	36	調査方法	15
		外国人登録証・在留カード	9			調査対象	10
		サービスについて	9			調査の内容	9
		公共施設	8			その他	1
		研修生・留学生支援	4			調査の対象	1
		施策	2	街の美化・活性化	29	街の美化	21
		帰化申請	2			街の活性化	8
その他	1	賃貸契約	21				
多文化共生	82	日本人の意識	22	住宅	28	住宅支援	7
		差別と偏見	21			道路	7
		交流	15	交通	22	鉄道	6
		外国の文化	10			バス	3
		外国人の意識向上	5			駅	3
		国際関係	5			駐車場・駐輪場	3
子育て・教育	69	日本の文化	4	生活	21	横浜での生活	14
		必要な支援について	37			ごみ出しについて	7
		学校	18	安全・安心	13	災害	7
幼稚園・保育園	14	防犯	6				
言葉	60	言葉の勉強の仕方について	35	医療	8	医療	5
		言葉で困っていること	25			病院	3
						総計	639

要望に関する意見の主な内容-1)

分野	テーマ	分類	集計
行政	税金・年金・保険	税金・年金・健康保険料などが高い	46
		納税、年金、保険等について説明してほしい	12
		税金の有効活用	3
		留学生の税金・保険免除	2
		年金、保険に加入したい	2
		帰国費用の税控除検討	1
		年金を強制的に払わされているのは不満	1
		納税の審査を厳しく	1
	行政窓口について	外国語を話せる職員の配置	15
		担当者が親切でない	3
		外国語の用紙が欲しい	3
		親しみやすくしてほしい、わかりやすくしてほしい	2
		外国人専用の窓口が欲しい	1
		利用時間の延長、土日の窓口利用	1
		仕事が遅い	1
		公的機関の国際化	1
	外国人の待遇	政治行政への参加について	11
		永住資格について	3
		母国と不便なく往来したい	1
		本名を使ってほしい	1
		日本人と同じ待遇を受けたい	1
		VISAなし長期在留者への特別在留を認める制度	1
	外国人支援	国際サービス員の充実	5
		外国人への支援体制の充実	4
		来日した家族への支援	2
		外国人を支援対象とだけしかとらえていない	1
	福祉	高齢者福祉の充実	5
		障害児・者への支援	2
		失業者への支援	1
		福祉の充実	1
		健康診断を受診したい	1
		在日外国人の生活保護審査の厳格化	1
	外国人登録証・在留カード	手続きが不便	2
		説明してほしい	2
		在留カード常時携帯は不便	2
		氏名の漢字が変わってしまった	1
		外国人登録証に日本名が使えない	1
		在留カードに香港表記が必要	1
	サービスについて	通訳・翻訳サポートが欲しい	5
		来日したばかりの人への支援	2
		証明書発行手続きが面倒	1
		親しみやすくしてほしい、わかりやすくしてほしい	1
	公共施設	スポーツ施設が少ない	4
		入国管理局が遠い	3
		図書館がほしい	1
	研修生・留学生支援	留学生への支援の充実	2
		留学生会館の増設	1
		奨学金制度の充実	1
	施策	意見を言える場が欲しい	2
	帰化申請	帰化申請の支援	1
	帰化できなくて困っている	1	
その他	青葉区の住居表示が訂正されていない	1	

要望に関する意見の主な内容-2)

分野	テーマ	分類	集計	
多文化共生	日本人の意識	日本人を理解するのは難しい	6	
		日本人に理解してほしい	6	
		外国人として特別扱いしないでほしい	4	
		日本人の英語力の向上	4	
		近隣コミュニティの構築	2	
	差別と偏見	差別・偏見をなくしてほしい	21	
	交流	交流の場の拡充	12	
		日本人コミュニティに融合できるような取組	3	
	外国の文化	母国語・母国文化の教育	6	
		夫婦別姓への理解	2	
		母国の商品が手に入らない	2	
	外国人の意識向上	入国者側が歩み寄るべき	3	
		外国人へのマナー講習	2	
	国際関係	国家間の問題が影響しないようにしてほしい	4	
香港と中国の違い		1		
日本の文化	日本の文化を学びたい	4		
子育て・教育	必要な支援について	教育に関する支援	7	
		仕事と子育ての両立支援	6	
		子育て支援の充実	4	
		子どもの医療費	4	
		進学に関するサポート	4	
		ママ友を作りたい	4	
		児童手当の拡充	3	
		外国人の子どもへのサポート	2	
		子どもが遊べる場の充実	2	
		母子・父子家庭への支援	1	
	学校	中学校の給食を希望	5	
		英語の授業の充実	2	
		学校、インターナショナルスクールの充実	2	
		学校外での学習の場	2	
		中華学校への支援	1	
		朝鮮学校への支援	1	
		中国語ができる教師の配置	1	
		学童保育の充実	1	
		役員負担をなくしてほしい	1	
		語学学校に入れない	1	
		子どもの安全確保	1	
	幼稚園・保育園	幼稚園・保育園に入りやすくしてほしい	8	
		外国人園児への配慮	3	
		幼稚園の学費が高い	2	
		延長保育の充実	1	
	言葉	言葉の勉強の仕方について	無料(低料金)で日本語を学べるとよい	15
			日本語を学べる場の拡充	11
			日本語を勉強したい	3
			時間がなくて勉強できない	3
			どこで学んだらよいかわからない	2
上級者向けの日本語教室がほしい			1	
言葉で困っていること		病院で言葉が通じない	10	
		言葉が通じないことが一番困る	9	
		学校からの書類が読めない	2	
		教習所に外国語ができる教官がいてほしい	2	
		銀行で言葉が通じない	2	

要望に関する意見の主な内容-3)

分野	テーマ	分類	集計
仕事	就職について	外国人は就職が困難	19
		働く場を増やしてほしい	8
		就職支援の充実	7
	職業について	待遇の改善	5
		もっといい仕事がしたい	5
		起業支援	4
		パートタイムで働きたい	2
		外国人であることを活かせる仕事がしたい	2
		雇用に関する法律が知りたい	1
			1
情報	外国語での情報	外国語での情報が欲しい	9
		英語での情報が欲しい	7
		スペイン語での情報が欲しい	4
		交通機関の外国語(ローマ字)表記が欲しい	3
		韓国語での情報が欲しい	2
		ポルトガル語での情報が欲しい	2
		タイ語での情報が欲しい	2
		中国語での情報が欲しい	1
		正しい情報を提供してほしい	1
		アジア系外国人向けの情報が欲しい	1
		ロシア語の表記がない	1
			1
		横浜市の情報	行政サービス情報の提供
	横浜の状況がわかる印刷物がほしい		2
	お金に関するセミナー		1
	広報紙の情報では足りない		1
	YOKEの情報誌を自宅に届けてほしい		1
	外国人による情報発信		1
			1
	調査	調査方法	6か国語は不要
もっと頻繁に調査してほしい			5
普通の日本語の調査票でよい			1
アンケート以外の方法もある			1
返信用封筒を大きく			1
ネット調査にすべき			1
調査対象		特別永住者、日本生まれには必要ない・ピンとこない	11
調査の内容		翻訳を直してほしい	3
		設問が回答しにくい	3
		来日したばかりでわからない	1
	アフリカ大陸の国が選択肢にない	1	
	選択肢を優先順位に選べるようにしてほしい	1	
その他	協力申出書を失くしてしまった	1	
街の美化・活性化	街の美化	緑地・自然環境の保全	5
		清掃・草むしり	3
		ポイ捨て禁止	3
		カラス対策	3
		ペットの糞害対策	2
		鶴見川の美化	1
		電柱の地中化	1
		古い建物の保全	1
		街路樹の植樹	1
		喫煙者にも優しいまちづくり	1
	街の活性化	大型店舗・家電量販店が欲しい	2
		観光の推進	2
		無料Wi-Fiができる場所が少ない	1
		地域間格差がある	1
		商店街の活性化	1
	青葉台駅周辺の再開発	1	

要望に関する意見の主な内容-4)

分野	テーマ	分類	集計
住宅	賃貸契約	外国人に貸してくれない	7
		家賃が高い	3
		部屋が探しにくい	3
		もう少し良いところに住みたい	3
		市営住宅に入りたい	2
		手続きにお金がかかる	2
		ローンが組めない	1
	住宅支援	外国人向け住宅の提供	4
	住宅支援が必要	3	
交通	道路	歩道が狭い	2
		運転マナーの改善	2
		歩き携帯の禁止	1
		違法駐車を取り締まり	1
		自転車専用道路が少ない	1
		運賃が高い	2
	鉄道	鉄道の延伸	2
		人身事故が多い	2
	バス	バスの増便	1
		市営バスカードの廃止は残念	1
		バス料金が安い	1
	駅	ベビーカーでは不便	2
		混雑している	1
駐車場・駐輪場	駐車場・駐輪場が少ない	3	
生活	横浜での生活	将来が不安	4
		物価が高い	3
		騒音対策	2
		光熱費が高い	2
		蚊が多い	1
		公共放送の受信料をなくしてほしい	1
		近隣トラブルがある	1
	ごみ出しについて	ゴミの出し方が大変	4
		ルールを徹底してほしい	2
		ごみの収集日を変えてほしい	1
安全・安心	災害	防災関連情報の提供	5
		防災情報を多言語で提供してほしい	1
		避難訓練の開催	1
	防犯	風俗店・性犯罪の取り締まり	3
		個人情報の保護	1
		暴力団の取り締まり	1
	暴走族対策	1	
医療	医療	医療費が高い	3
		予防接種を受けられるようにしてほしい	1
		子どもの医療の充実	1
	病院	わかりやすい医療情報の提供	1
		病院の手続きが不便	1
		救急体制の充実	1
総計			639